

27号配石(第14表 第620図 PL.275)

調査年度 平成30年度**位置** 90区L-16・17 90区M~17・18**経過** 7区東側の沢縁辺部の微高地上に位置する。西側には、9~12号水場、28~29号配石が、西側には、168号竖穴建物が隣接する。**規模** 南北250cm×東西300cm**重複** 28号配石、168号竖穴建物よりも新しく、169号竖穴建物より新しいもしくは、同時期に構築されたと想定される。**形状** 不整円形**構造** 北西方向に対し配置された30cm程の丸石を軸に扁平な丸石を周間に配置する。**下部遺構** なし。**石材等** 河原石を主体と利用されている。**遺物** 13点確認され、晚期前葉の土器が主体を占める。南西部からは、動物形土製品(4)が出土した。形態から亀を模した土製品と考えられ、本遺物は、腹部にあたる部位である。**時期** 晩期前葉

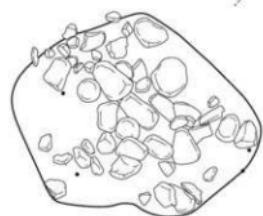
28号配石(第14表 第621、622図 PL.275)

調査年度 平成30年度**位置** 90区K・L-10・11**経過** 7区東側の沢縁辺部の微高地上に位置する。西側には、9~12号水場、29号配石が、西側には、27号配石、168号竖穴建物が隣接する。**規模** 南北400cm×東西390cm**重複** 27号配石よりも古く、29号配石よりも古い。**形状** 不整形**構造** 1面では、扁平な河原石を主体として、不整円形状に配石を行い、東側に丸石を配置していた。2面目では、扁平な河原石をブロック状に3箇所に配列し、北側では丸石を配置する。**下部遺構** なし。**石材等** 河原石を主体として、鉄平石も部分的に利用されている。**遺物** 縄文土器は、45点出土し、後期後葉の加曾利B3式が主体を占める。注口土器の出土が多い。**時期** 後期後葉

29号配石(第14表 第621、622図 PL.276)

調査年度 平成30年度**位置** 90区K・L-10・11**経過** 7区東側の沢縁辺部の微高地上に位置する。西側には、9~12号水場、西側には、28号配石が隣接する。**規模** 南北400cm×東西390cm**重複** 28号配石よりも古く、9号水場遺構と同時期と想定される。**形状** 不整形**構造** 40cm前後の扁平な河原石を主体として、不整円形状に配石を行う**下部遺構** なし。**石材等** 河原石を主体とする。**遺物** 縄文土器は、29点出土し、加曾利B2式が多い傾向にある。**時期** 加曾利B2式

平面図

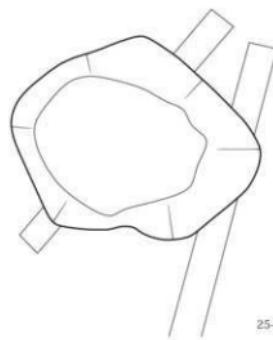


25-90-L-U



A-A', 1:30 10m

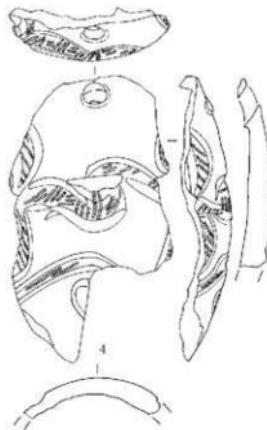
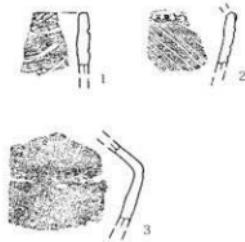
掘り方



25-90-L-U

0 1:60 2m

27号配石

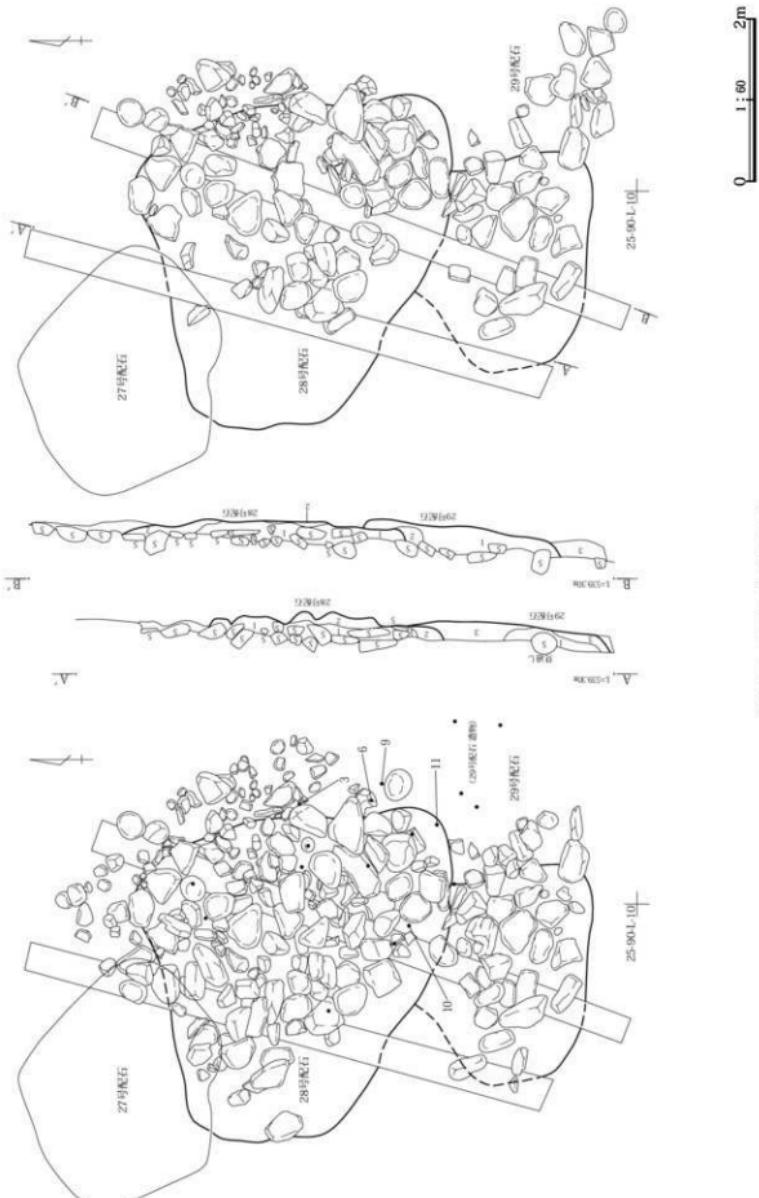


0 1:3 10cm

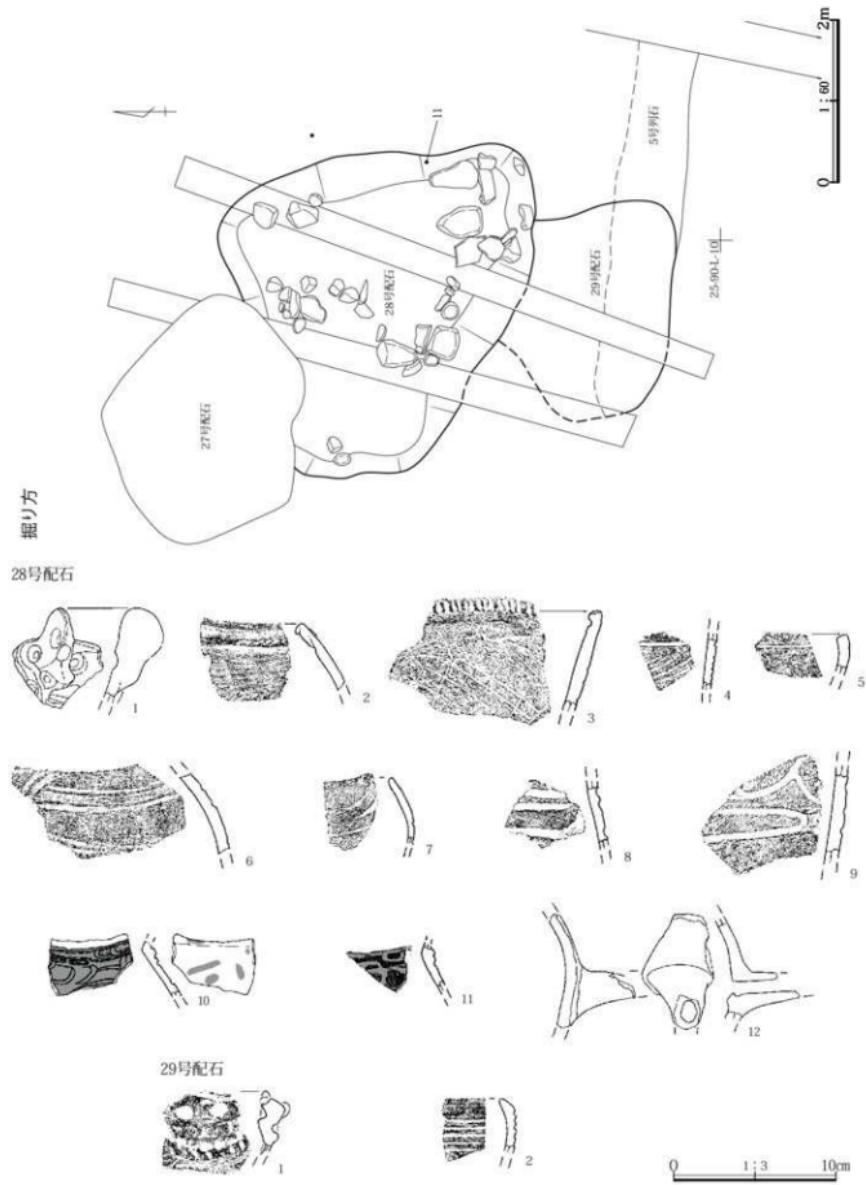
第620図 7区27号配石・27号配石出土遺物

2面目

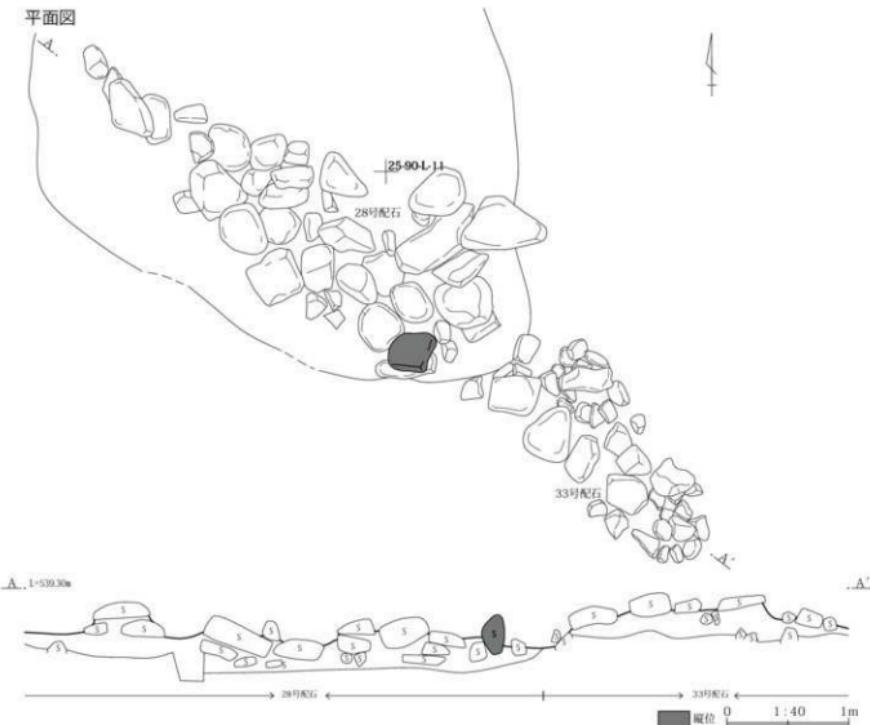
平面図



第21図 7号28・29号配石(1)



第622図 7区28・29号配石(2)・28・29号配石出土遺物



33号配石(第14表 第621、623図 PL.276-4)

調査年度 平成30年度

位置 90区 K・L-10・11

経過 7区東側の沢縁辺部の微高地上に位置する。9号水場、29号配石と隣接する。

規模 南北90cm×東西300cm

重複 28と33号配石の関係は不明瞭であるが、確認状況から9号水場遺構も含めて同時期だと想定される。

形状 不整形

構造 40cm前後の扁平な河原石を主体として、列状に配置する。

下部遺構 なし。

石材等 河原石を主体とする。

遺物 縄文土器は、7点出土し、後期後葉が多い傾向にある。

時期 後期後葉



0 1:3 10cm

第623図 7区33号配石・33号配石出土遺物

第2章 発見された遺構と遺物

39号配石(第14表 第624図 PL.276-5)

調査年度 平成30年度

位置 90区H・I-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認される。

規模 範囲不明。

重複 2114号土坑によって切られる。

形状 範囲不明。

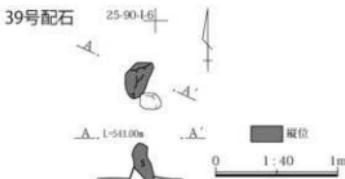
構造 30cm前後の礫が縦位に配置される。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

下部遺構 なし。

石材等 扁平な河原石を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期



41号配石(第14表 第624図 PL.276-6)

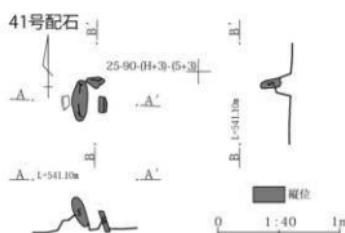
調査年度 平成30年度

位置 90区H・I-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認されており、本遺構は根固め礫を伴う柱穴の可能性がある。

規模 範囲不明。

重複 なし。



形状 範囲不明。

構造 30cm前後の礫がコの字状に縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

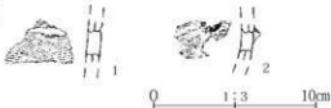
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 1と2は晩期中葉に併行する。

時期 晩期中葉

41号配石



42号配石(第41表 第624図 PL.276-7)

調査年度 平成30年度

位置 90区I-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認される。

規模 範囲不明。

重複 なし。

形状 範囲不明。

構造 30cm前後の礫が対になって縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

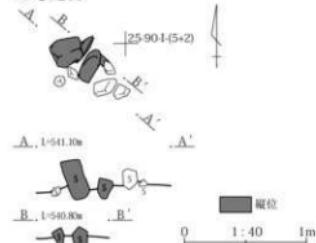
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

42号配石



第624図 7区39・41・42号配石・41号配石出土遺物

43号配石(第14表 第625図 PL.276-8)

調査年度 平成30年度

位置 90区1-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 規模不明。

重複 なし。

形状 規模不明。

構造 30cm前後の礫が東西に對になって縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

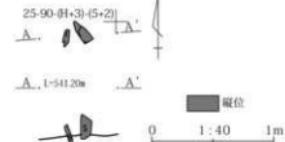
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

43号配石



45号配石(第14表 第625図 PL.277-1)

調査年度 平成30年度

位置 90区H・1-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 規模不明。

重複 なし。

形状 規模不明。

構造 30cm前後の礫を四方取り囲むように配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。石團状の配石の東側にも、縦位の配石が確認でき、近接して、配石が存在した可能性がある。

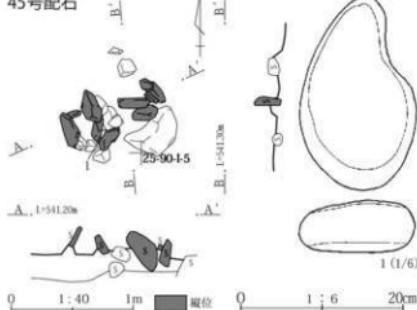
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 磨石1点。

時期 晩期

45号配石



46号配石(第14表 第625図 PL.277-2)

調査年度 平成30年度

位置 90区1-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認される。

規模 規模不明。

重複 なし。

形状 規模不明。

構造 30cm前後の扁平礫を東側に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

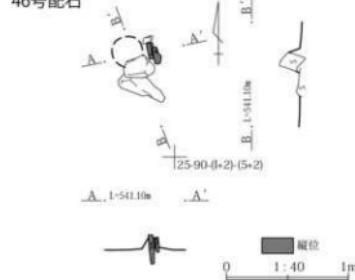
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

46号配石



第625図 7区43・45・46号配石・45号配石出土遺物

第2章 発見された遺構と遺物

47号配石(第14表 第626図 PL.277-3)

調査年度 平成30年度

位置 90区J・K-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫が伴う土坑は複数確認された。

規模 範囲不明。

重複 なし。

形状 範囲不明。

構造 30cm前後の礫が縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

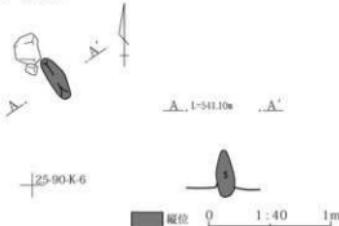
下部遺構 なし。

石材等 扁平な河原石を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

47号配石



第626図 7区47・48号配石・48号配石出土遺物

48号配石(第14表 第626図 PL.277-4)

調査年度 平成30年度

位置 90区J-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、122号竪穴建物、43号集石と隣接する。

規模 最大長80cm

重複 43号集石と隣接するが、新旧関係は不明である。

形状 範囲不明。

構造 40cm前後の扁平礫を横位、縦位に組み合わせる。

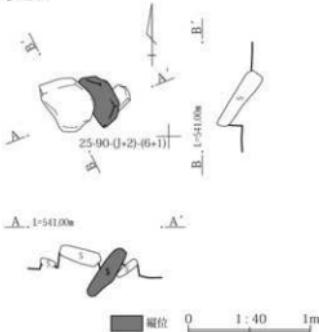
下部遺構 なし。

石材等 扁平な河原石を使用する。

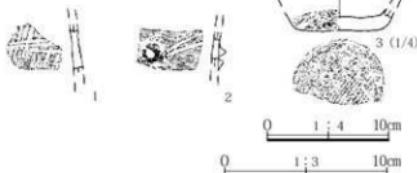
遺物 加曾利B3式(1)と瘤付土器(2)が出土する。

時期 後期後葉

48号配石



48号配石



第626図 7区47・48号配石・48号配石出土遺物

49号配石(第14表 第627、628図 PL.278-1)

調査年度 平成30年度

位置 90区J-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、122号竪穴建物、43号集石と隣接する。

規模 最大長650mm前後

重複 なし。

形状 不整形。

構造 立石を伴い、周囲に20~30cm程の礫を配置する。

特に2079、2080号土坑の上面に礫が密集する。

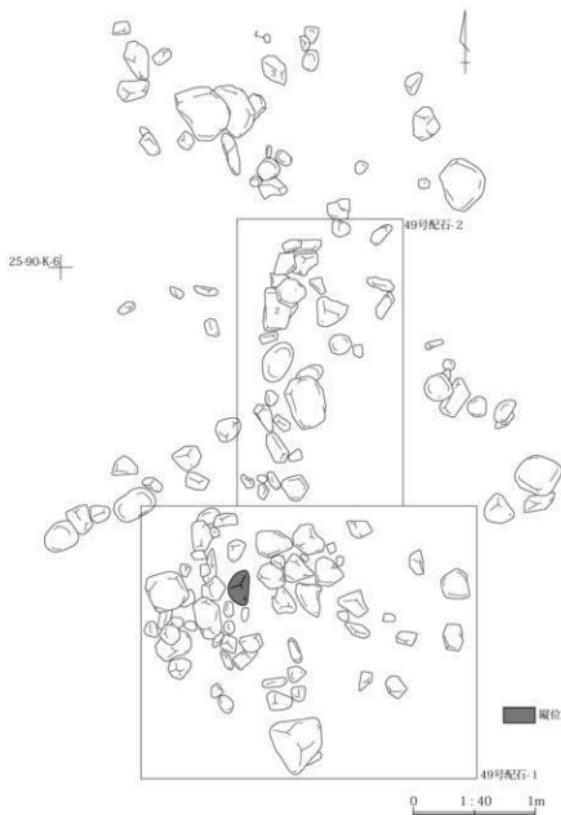
下部遺構 2079、2080号土坑。

石材等 不規則に河原石と地山礫を使用する。

遺物 加曾利B3式~高井東式中段階が出土した。

時期 後期後葉

平面図



第627図 7区49号配石(1)

2面目



49号配石

第628図 7区49号配石(2)・49号配石出土遺物

56号配石(第14表 第629図)

調査年度 平成30年度

位置 90区O-17

経過 6区東側、埋没沢内の水場遺構が集中とした生産域に位置する。北側には8号水場遺構、南側には3~6号低湿性土坑が形成されている。周辺遺構から水場遺構および関連遺構の可能性も考えたが、腐植土がなかったこと、堅果類の残滓が少量出土するのみだったことから、配石遺構ととらえ、56号配石として扱った。

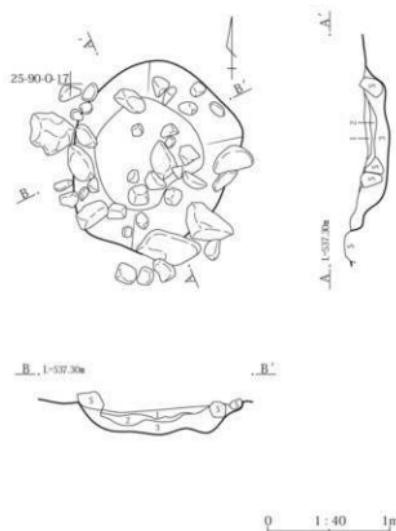
規模 156cm×132cm×32cm

重複 なし

形状 不整円形

構造 156cm×132cmの不整円形を呈する。配石内には、50cm程の礫が不規則に散在しており、上面を中心として確認された。下面には、砂層主体の炭化物、堅果類の残滓が1、2層より多く確認できた。

平面図



第629図 7区56号配石

下部遺構 なし

石材等 河原石と地山礫を使用し、円礫が主体を占める。

自然遺物 トチノキの残滓が少量出土した。

遺物 なし。

所見 本配石の形態から、堅果類の植物遺体の遺存状態は悪く、少量のみ出土したが、低湿性土坑だと考えられる。周辺の低湿性土坑の規模から、本来は、80cmほどの深さを有するものと考えられ、中期後葉から後期前葉に帰属すると想定される。

時期 中期後葉から後期前葉

57号配石(第14表 第630図)

調査年度 平成30年度

位置 90区I・J-6・7

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石南側に位置する。石の配列が確認されたことから、57号配石として扱った。

規模 最大長750cm前後

重複 なし。

形状 不整形

構造 50cm前後の礫を蛇行状に配置する。礫は地山礫を主体とした。配列には規則性はなく、すべて横位に敷設していた。

下部遺構 なし。

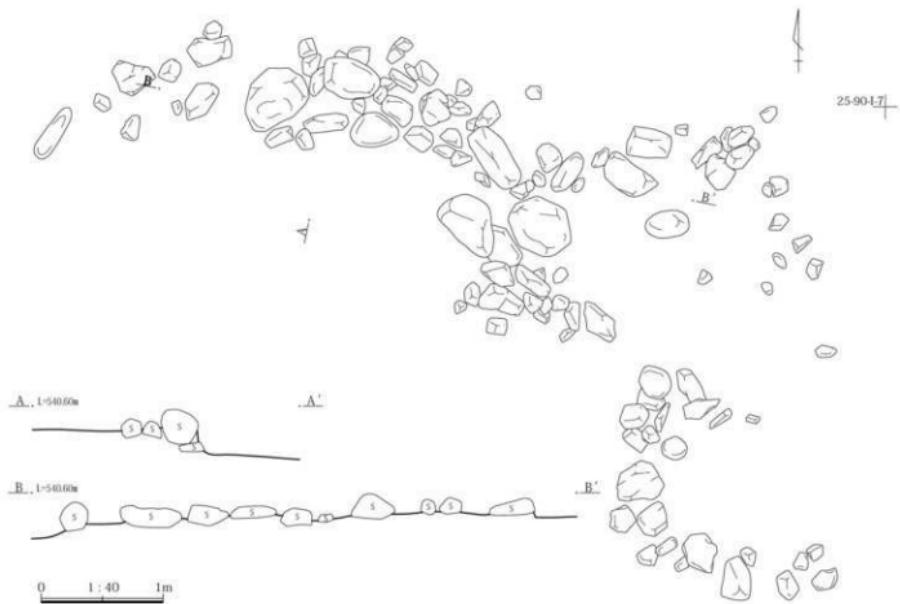
石材等 河原石と地山礫を不規則に使用する。

遺物 11点出土し、加曾利B3式が主に出土する。1は加曾利B2~B3式、2は加曾利B3式併行の中部高地中段階である。

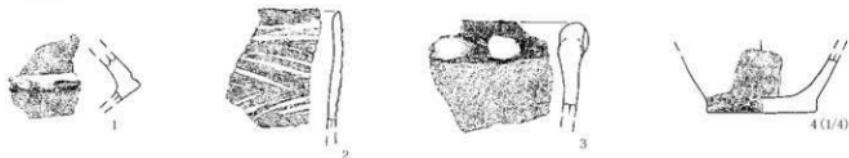
所見 本配石の周辺には、竪穴建物が集中しており、本来は、竪穴建物一部を形成していた可能性もある。6号列石が南側に構築されており、列石の一部の可能性も考えたが、出土遺物や周辺遺構との関係から可能性は低い。出土遺物は、加曾利B3式にまとまっており、当該期に帰属する。

時期 後期後葉

平面図



57号配石



第630図 7区57号配石・57号配石出土遺物

60号配石(第14表 第631図)

調査年度 平成30年度

位置 90区J-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 規模不明。

重複 なし。

形状 規模不明。

構造 30cm前後のコの字状に扁平礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

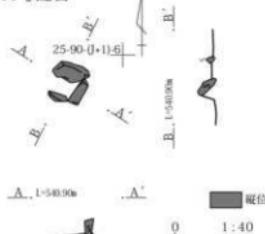
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

60号配石



61号配石(第14表 第631図)

調査年度 平成30年度

位置 90区J-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 規模不明。

重複 なし。

形状 規模不明。

構造 30cm前後の扁平礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

61号配石



62号配石(第14表 第631図)

調査年度 平成30年度

位置 90区J-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 規模不明。

重複 なし。

形状 規模不明。

構造 立石を伴う土坑である。50cm程の礫を縦位に配置し、下面には、20cm程の角礫を充填させる。立石の周囲には北側と東側に縦位の配石が確認した。

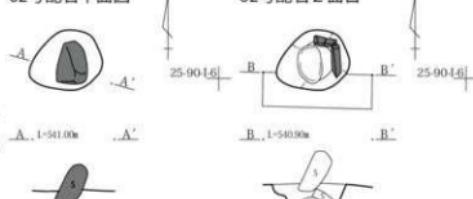
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

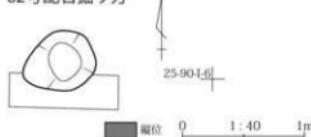
遺物 遺物なし。

時期 晩期

62号配石平面図



62号配石掘り方



第631図 7区60~62号配石

第2章 発見された遺構と遺物

63号配石(第14表 第632図)

調査年度 平成30年度

位置 90区J-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の北側に隣接する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 範囲不明。

重複 なし。

形状 範囲不明。

構造 30cm前後の扁平礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

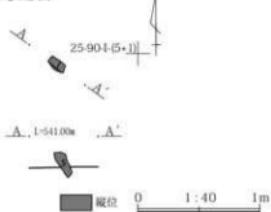
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

63号配石



64号配石(第14表 第632図 PL.278-2~4)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-5

経過 7区東側、緩傾斜地に位置する。周囲には3号掘立柱建物、126号竪穴建物が隣接する。

規模 146cm×142cm深さ34cm

重複 なし。

形状 円形

構造 中央部に40cm前後の石を縦位に配置する。縦位の石は、方形状に区画され、北側には20cm程の角礫が散在する。形態から柱穴の根固め石の可能性がある。

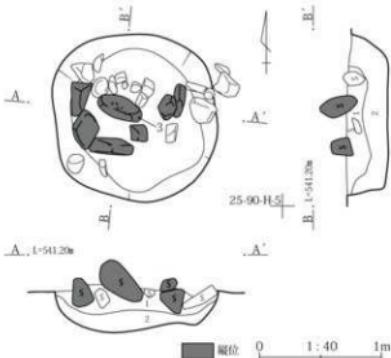
下部遺構 なし。

石材等 河原石と地山礫を不規則に使用する。

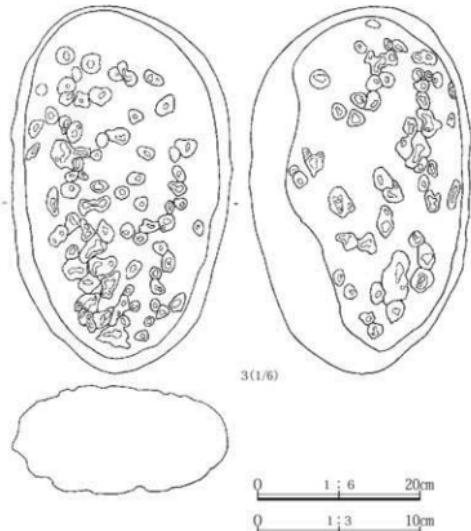
遺物 高井東式古墳階(1、2)の土器が出土した。

時期 後期後葉

64号配石



64号配石



第632図 7区63・64号配石・64号配石出土遺物

65号配石(第14表 第633図 PL.279)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-5

経過 7区東側、沢縁辺部に等高線と直交する形で構築される。

規模 最長約10m、最大幅4m

重複 66号配石とは一連の遺構と想定される。

形状 帯状

構造 帯状に拳大の礫を敷き詰め、部分的に30cm程の扁平な礫を使用する。66号配石と接する部分の縁辺には、L字状に立石を配置し、内部に50cmの扁平な礫を敷設する。状況から道状の遺構と想定される。

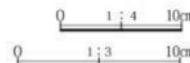
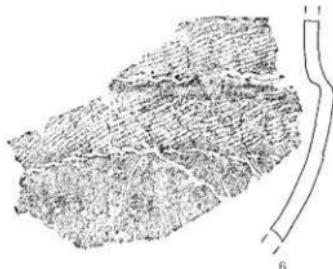
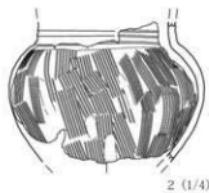
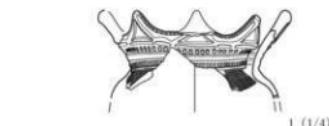
下部遺構 なし。

石材等 河原石と地山礫を不規則に使用し、L字状の立石に区画された部分には河原石を用いる。

遺物 16点が出土し、晩期末葉の土器が主体を占める1と2は大洞A式、3は大洞A式併行、4は佐野式新段階、5は大洞C2式である。

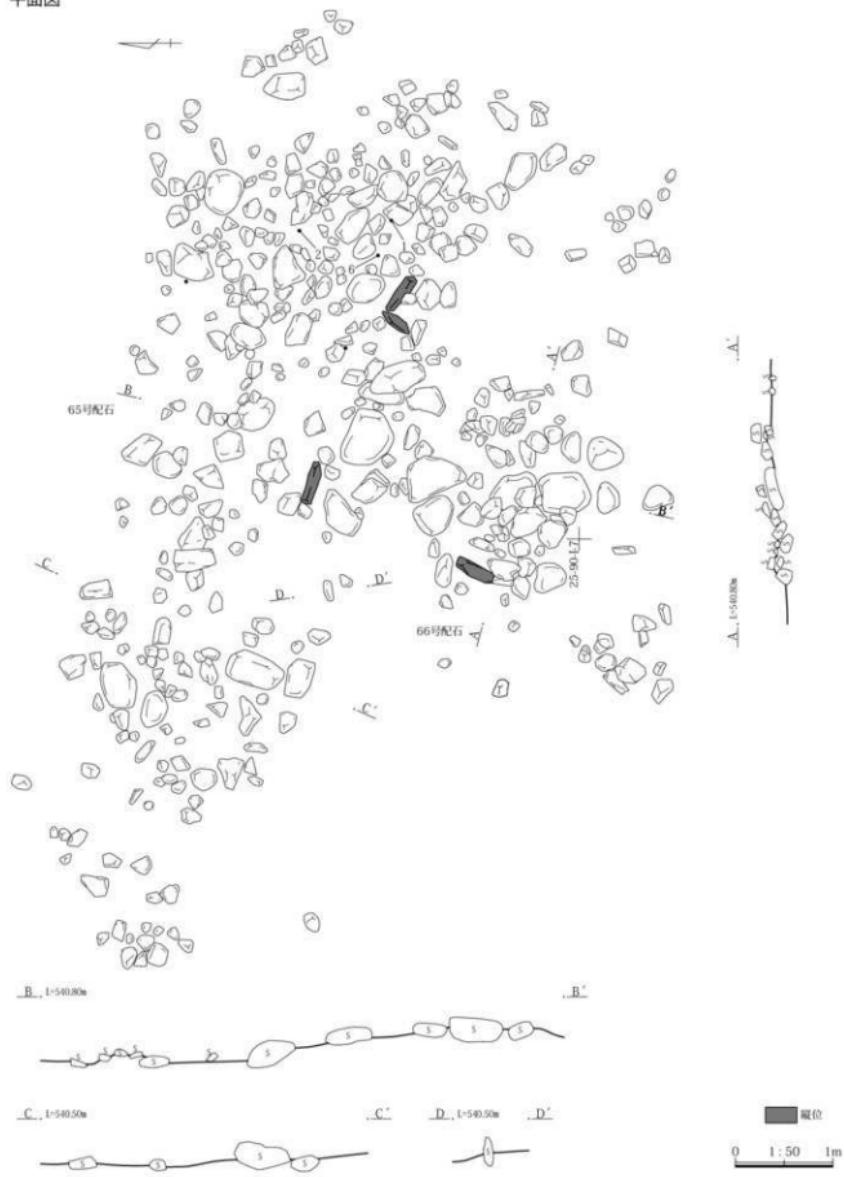
時期 晩期末葉

65号配石



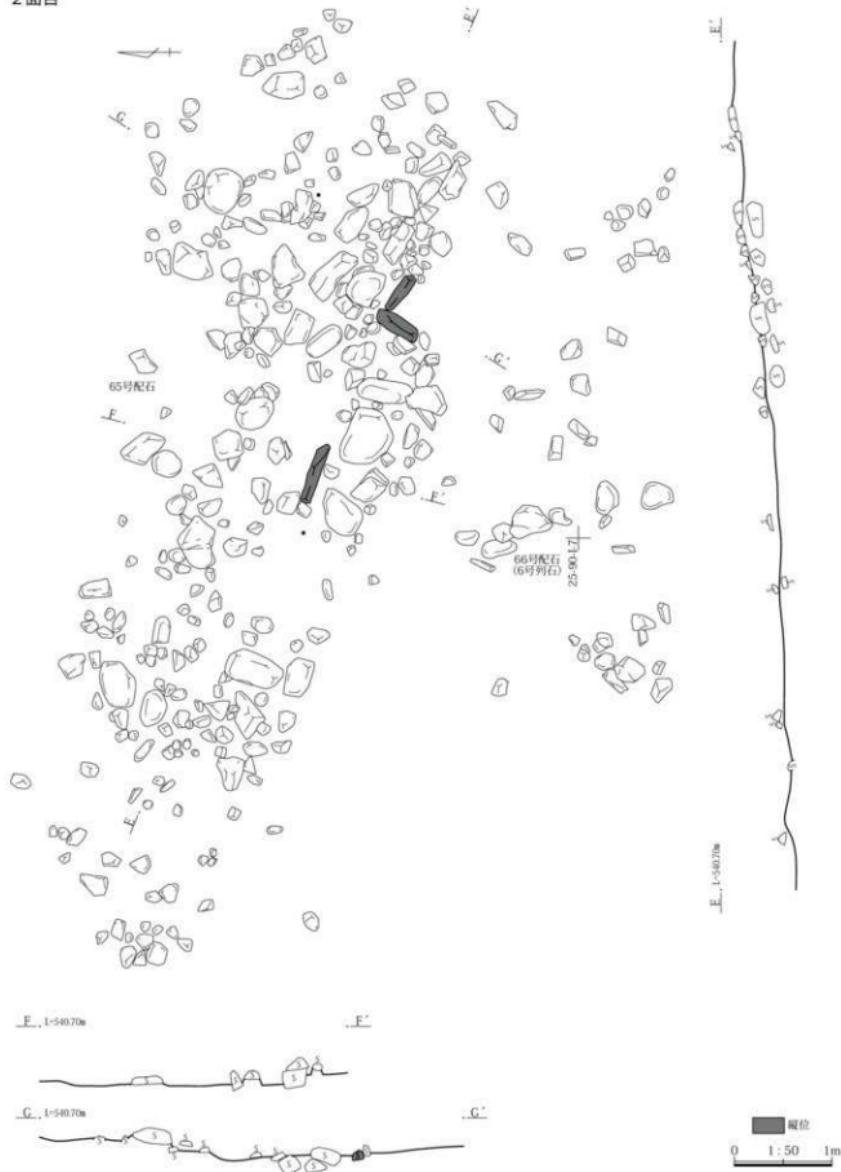
第633図 7区65号配石出土遺物

平面図



第634図 7区65・66号配石(1)

2面目



第635図 7区65・66号配石(2)

第2章 発見された遺構と遺物

66号配石(第14表 第636図 PL.280-1, 2)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-5

経過 7区東側、沢縁辺部に等高線と直交する形で構築されていた。

規模 最長約2m

重複 65号配石とは一連の遺構と想定される。

形状 帯状

構造 帯状に拳大的な礫を敷き詰め、部分的に30cm程の扁平な礫を使用する。65号配石と接する部分の縁辺には、立石を配置し、内部に50cmの扁平な礫を敷設する。状況から道状の遺構と想定される。

下部遺構 なし。

石材等 河原石と地山礫を不規則に使用し、立石に区画された部位分には河原石を用いる。

遺物 1は佐野Ⅱ式中段階、2は晩期中葉に併行する粗製土器である。

時期 晩期中葉

66号配石



67号配石(第14表 第636図 PL.280-2, 3)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の上段部に位置する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 範囲不明。

重複 なし。

形状 範囲不明。

構造 30cm前後の礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

下部遺構 なし。

石材等 扁平な河原石を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

67号配石



68号配石(第14表 第636図 PL.280-2, 3)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の上段部に位置する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 範囲不明。

重複 なし。

形状 範囲不明。

構造 30cm前後の礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

68号配石



第636図 7区67・68号配石・66号配石出土遺物

69号配石(第14表 第637図 PL.280-4)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の上段部に位置する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 範囲不明。

重複 なし。

形状 範囲不明。

構造 30cm前後の礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

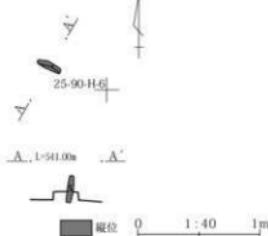
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

69号配石



70号配石(第14表 第637図 PL.280-7)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の上段部に位置する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認される。

規模 範囲不明。

重複 なし。

形状 範囲不明。

構造 30cm前後の礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

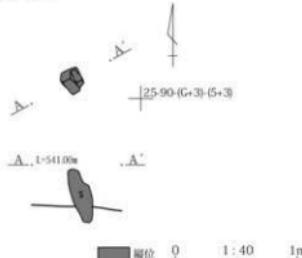
下部遺構 なし。

石材等 やや扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

70号配石



71号配石(第14表 第637図 PL.280-8)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の上段部に位置する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認される。

規模 範囲不明。

重複 なし。

形状 範囲不明。

構造 30cm前後の礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

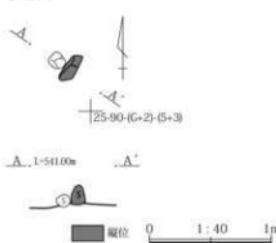
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。

遺物 遺物なし。

時期 晩期

71号配石



第637図 7区69~71号配石

第2章 発見された遺構と遺物

77号配石(第14表 第638図 PL.281-1, 2)

調査年度 平成30年度

位置 90区H-6

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の上段部に位置する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 最大長200cm

重複 なし。

形状 不整形。

構造 40cm前後の地山礫を横位に据え、南北軸に扁平な地山礫を縦位に据える。周囲に拳大程の地山礫を配置する。

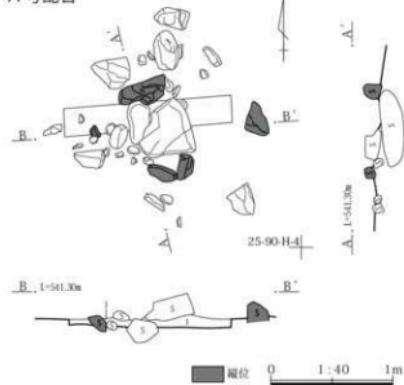
下部遺構 なし。

石材等 扁平な地山礫を使用する。20~30cm前後の磨石が集中する。

遺物 無文土器の小片のみ出土した(1)。

時期 晩期

77号配石



77号配石



78号配石(第14表 第638図 PL.281-3)

調査年度 平成30年度

位置 90区G・H-4

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、6号列石の上段部に位置する。周囲には、立石、根固め礫を伴う土坑は複数確認された。

規模 最大長30cm

重複 なし。

形状 不整形。

構造 30cm前後の礫を縦位に配置されている。立石の可能性があるが、周囲に柱穴の根固め石が複数認められることから、柱穴の根固め石の可能性もある。

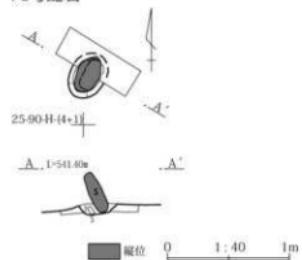
下部遺構 なし。

石材等 扁平な河原石を使用する。

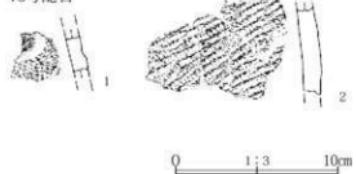
遺物 1は佐野Ⅱ式中段階、2は晩期中葉の粗製土器である。

時期 晩期中葉

78号配石

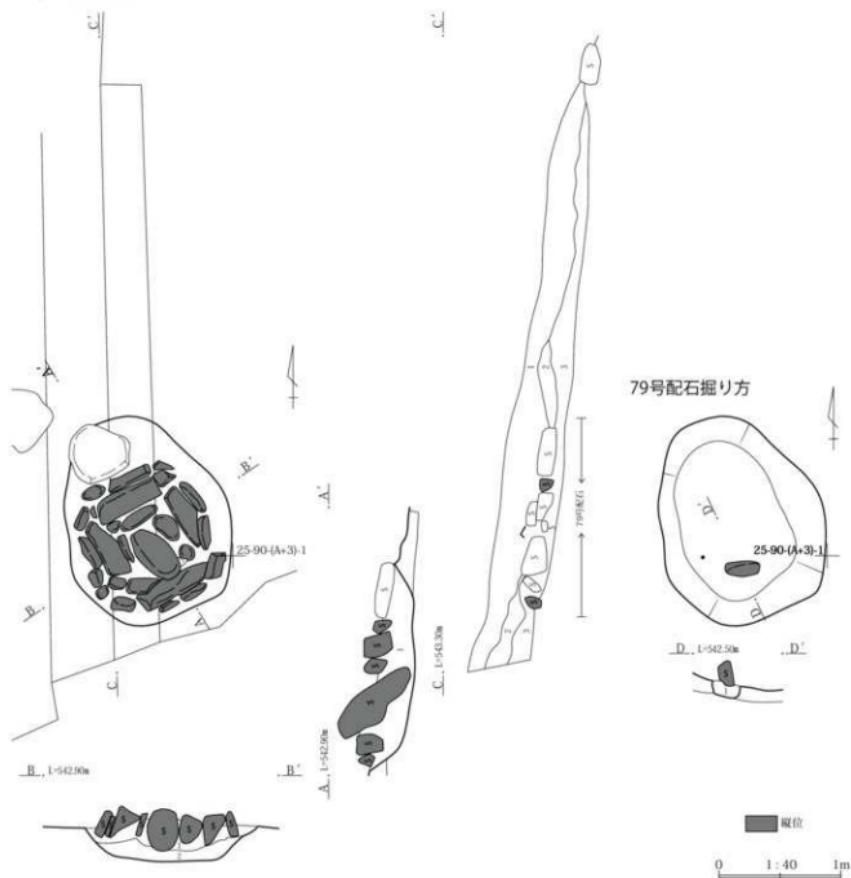


78号配石



第638図 7区77・78号配石・77・78号配石出土遺物

79号配石平面図



第639図 7区79号配石

第2章 発見された遺構と遺物

79号配石(第14表 第640図 PL.281-4, 5)

調査年度 平成30年度

位置 90区 G・H-4

経過 7区南側、緩傾斜地に位置し、西側に129号竪穴

建物、東側に9号列石が構築されている。

規模 190cm×140cm

重複 なし。

形状 方形。

構造 中央部下位に上位の棒状の河原石を支えるように

縦位の地山礫を据え、支えるように60cm前後の棒状の河

原石を縦位に据える。周囲に30cm程の不整円形状の河原

79号配石

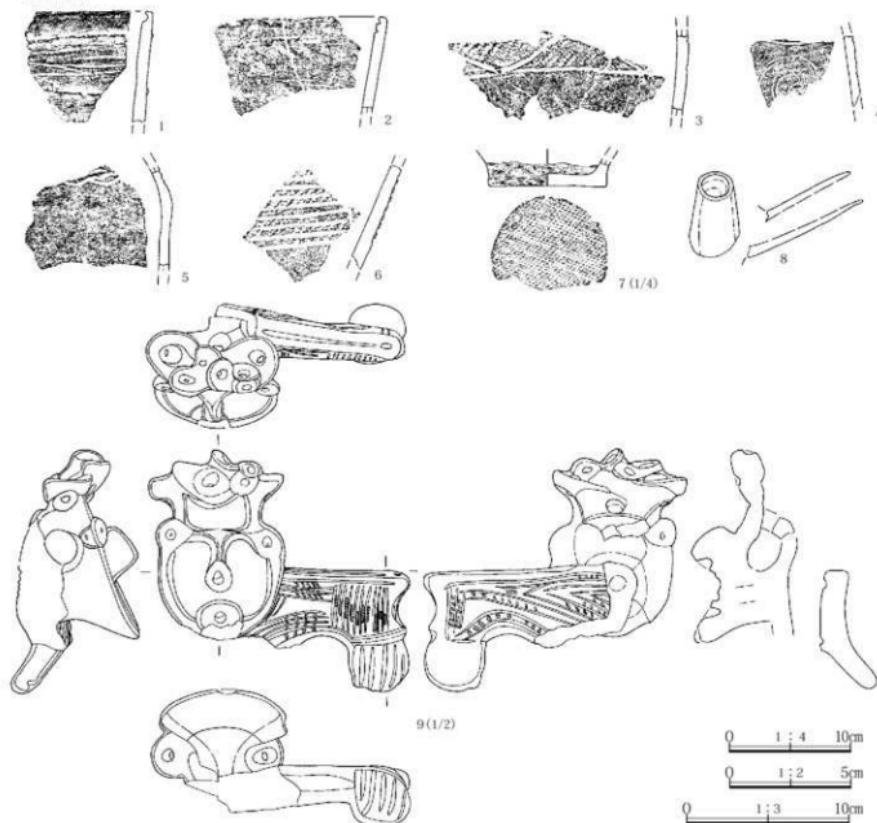
石を横位、縦位に据え、一重させる。外線に棒状の河原石、地山礫を横位に据え、一重させ、さらに外線に扁平な河原石、地山礫を縦位に据え、一重させる。北側には、50cm前後の礫を横位に据える。

下部遺構 血状の掘り込み。

石材等 河原石と地山礫を半分ずつ用い、意図的な使い分けがみられる。また、棒状の河原石と南側の横位に据えた河原石には、磨り痕が認められた。

遺物 出土遺物から堀之内2式とみられ、付近には仮面形土偶が出土している。

時期 後期前葉



第640図 7区79号配石出土遺物

82号配石(第14表 第641図 PL.283-1~4)

調査年度 平成30年度

位置 90区I・J-2

経過 7区東側、緩傾斜地に位置し、108号竪穴建物の南側に隣接する。

規模 245cm×110cm

重複 108号竪穴建物の周堤縄下部より確認。

形状 楕円形。

構造 40cm前後の地山礫を横位に無作為に据えている。中央部には炭化物の集中が確認された。

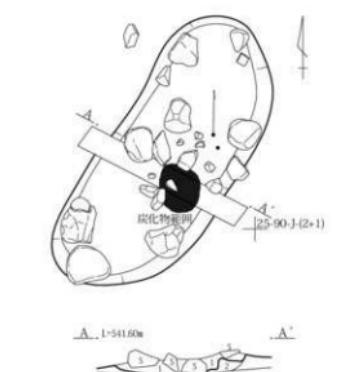
下部遺構 なし。

石材等 地山礫を主体として使用する。

遺物 出土遺物から後期初葉(2)に属すると想定される。

時期 後期初葉

82号配石



85号配石(第14表 第641図)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-5、C-5・6

経過 7区西側、緩傾斜地に位置し、129号配石が西側に隣接する。

規模 216cm×100cm

重複 なし。

形状 不整形

構造 30cm前後の地山礫を東西軸に列状に据えている。

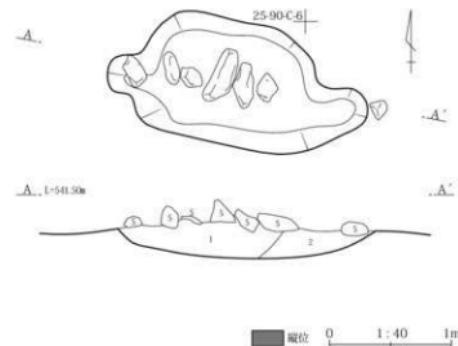
下部遺構 血状の掘り込み。

石材等 地山礫を主体として使用する。

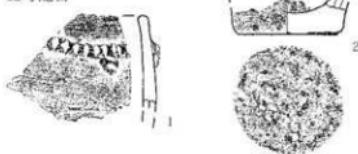
遺物 出土遺物から後期後葉に属すると想定される。1は加曾利B2式、2、3は加曾利B3式、4は佐野II式新段階である。

時期 後期後葉

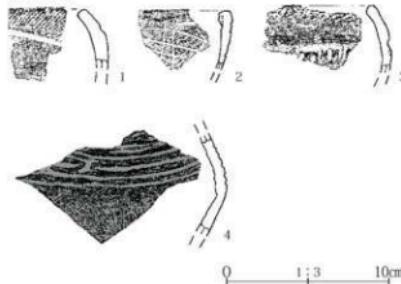
85号配石



82号配石



85号配石



第641図 7区82・85号配石・82・85号配石出土遺物

第2章 発見された遺構と遺物

86号配石(第14表 第642図 PL.283.5~8)

調査年度 平成30年度

位置 90区 G・H-4

経過 7区南側、緩傾斜地に位置し、西側に129号竪穴

建物、東側に9号列石が構築されている。

規模 112cm×98cm

重複 なし。

形状 不整形

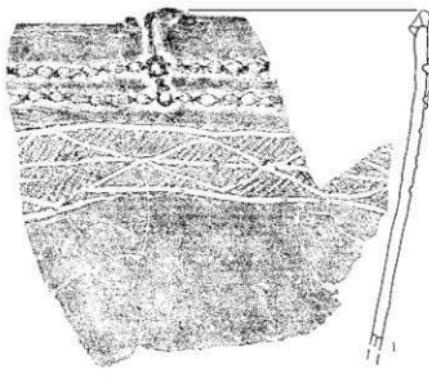
構造 30cm前後の丸石を中央部に据え、扁平な地山礫を北側が開口するようコの字状に据え、南側は縦位に据える。北側には、50cm前後の河原石を横位に据える。

下部遺構 箱状の掘り込み。

石材等 河原石と地山礫を半分ずつ用い、意図的な使い分けがみられる。また、丸石には、磨り痕が認められた。

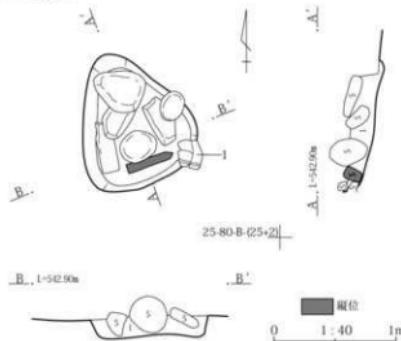
遺物 出土遺物(1、2)から堀之内2式期に属すると想定される。

時期 後期前葉



0 1:3 10cm

86号配石



第642図 7区86号配石・86号配石出土遺物

93号配石、138号配石(第14表 第643~645図 PL.283~288)

調査年度 平成29年度

位置 89区 Y-12

経過 平成29年度に「2号配石E」として調査された遺構を整理作業時に93号配石として変更した。中央部にある立石は、「2396号土坑」として調査が行われたが、93号配石と一緒にこの遺構のため、138号配石とした。

規模 93号配石：東西に約3.5m、南北に約3.7m

138号配石：130cm×100cm×70cm

形状 93号配石：七角形あるいは八角形

138号配石：方形

構造 7区東側の丘稜部裾で確認した。後に判明した12号列石の段上にあり、133号竪穴建物の出入り口部に重なる。調査当初は多量の礫群の合間にあいた空白部のような状態だったが、動いた石等を整理して掘り下げると、空白部の中央に配石を作り立石が確認された。

立石は周囲に30~50cmの扁平な河原石12個を縦位に使用した組石が施され、その外側に長軸2.6m、短軸2m程の空白を置いて、長軸4.6m、短軸3.9m程の方形状の範囲に30~50cmの川原石を中心とする扁平の石を敷いた敷石を施している。この方形状の敷石は、南西側は12号列石に接しているのでその方向性をそのまま維持しており、南東側の半分と北東側の辺は30~50cmの扁平な石を縦位に使った直線状の石列で区画し、そのコーナー部分に長さ60cmの大きな立石を配置している。北西側の辺には石列が無く、敷石も無いことから、転用されたか削平されたものと見られるが、中央の立石が中心にあることを前提にすると、本配石の長軸は4.6mであったと考えられる。

立石は方形状の敷石面より一段低い位置にあるため、敷石面を確認した段階では頭部が隠れていて見えなかつた。楕円形の空白部を20cm程掘り下げると、立石とそれを取り囲む配石が出現した。配石の石は側面を立てて円形状に取り囲んでおり、いくつかは倒れ込んでいた。この段階で上面の配石を取り除くと、立石を中心にして直径2.38mの円形を描くように細かな石を並べた配石と、12号列石の段上に長さ50cmの大きな扁平石を埋め込んで設置した通路が出現した。これは幅60cmで設置しており、そこに扁平な河原石5個を並べた階段状の施設で、12号

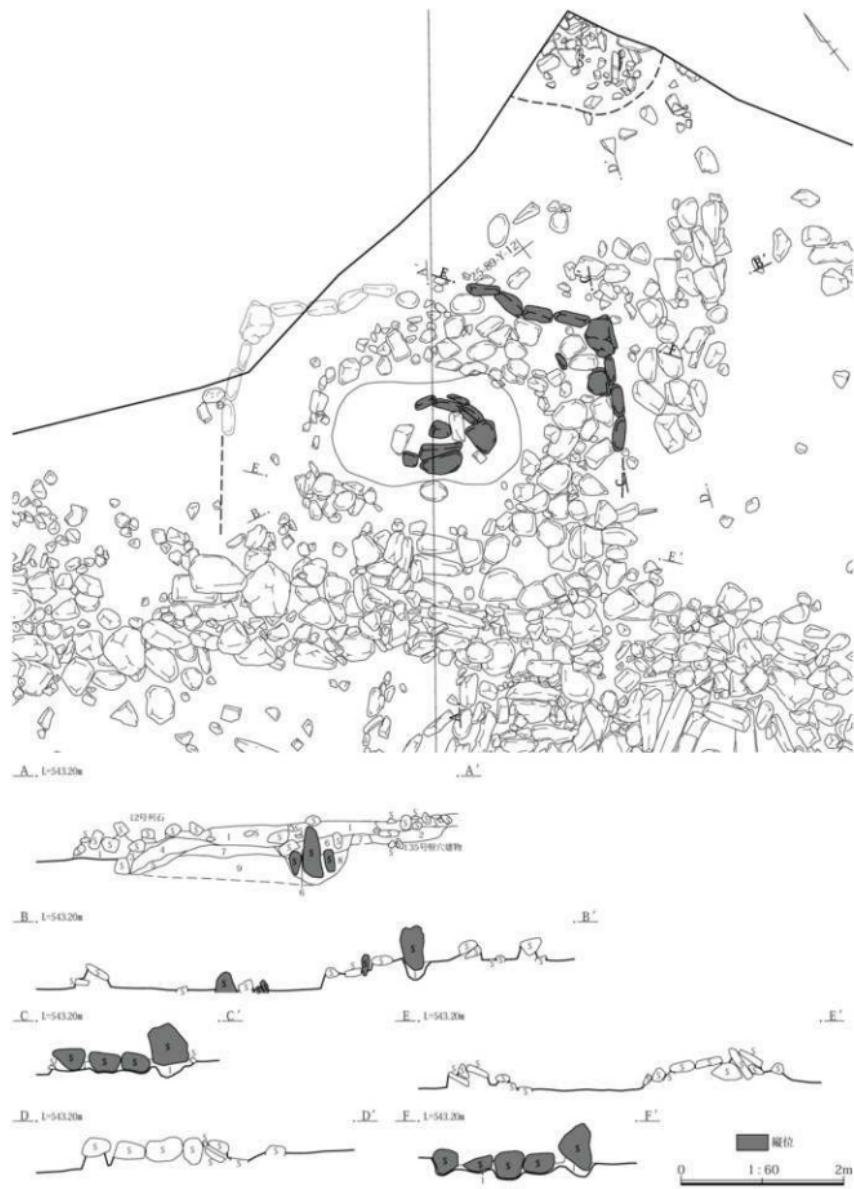
列石の大きな石をこの部分だけ取り除いて設置したものである。さらに、立石を取り囲む円形状の配石を取り除くと、その下から長さ50cm以上の棒状の山石を方形形状に組んだ配石が現れ、さらに下から長さ30cm程の棒状の河原石で方形に組んだ根固めが確認された。この立石には、長さ75cmの太い棒状の河原石が使われていた。

なお、その後の調査で中央部立石の下から64号配石墓が確認された。立石は配石墓の中央よりやや南東寄りに位置しており、立石周囲の空白部の形状は配石墓より一回り大きいがほぼ相似形となっている。本配石の軸線も配石墓の長軸線とほぼ合致しており、本配石は64号配石墓の上部施設と考えてよいだろう。ちなみに12号列石の段上で確認された配石墓は64号配石墓が唯一である。

遺物 93号配石は、称名寺2式から加曾利B2式まで出土した。1~3は称名寺2式、4~9は堀之内1式、10~12は堀之内2式、13、14は加曾利B1式、15、16、18は加曾利B2式、17は加曾利B3式、19は高井東式中段階、20、21は後期後葉に併存する粗製土器である。土製品は、耳飾り(22)と土器片加工円盤(23)が出土した。両遺物とも後期後葉に帰属すると考えられる。

138号配石では、堀之内1式(1~4)が出土した。本遺構は138号配石と一緒にこの遺構であり、堀之内1式に帰属すると考えられる。

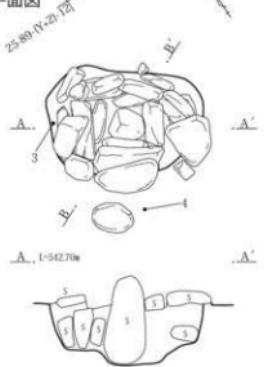
時期 後期前葉(堀之内1式)



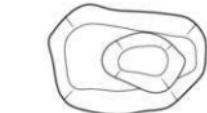
第643図 7区93・138号配石(1)



138号配石平面図



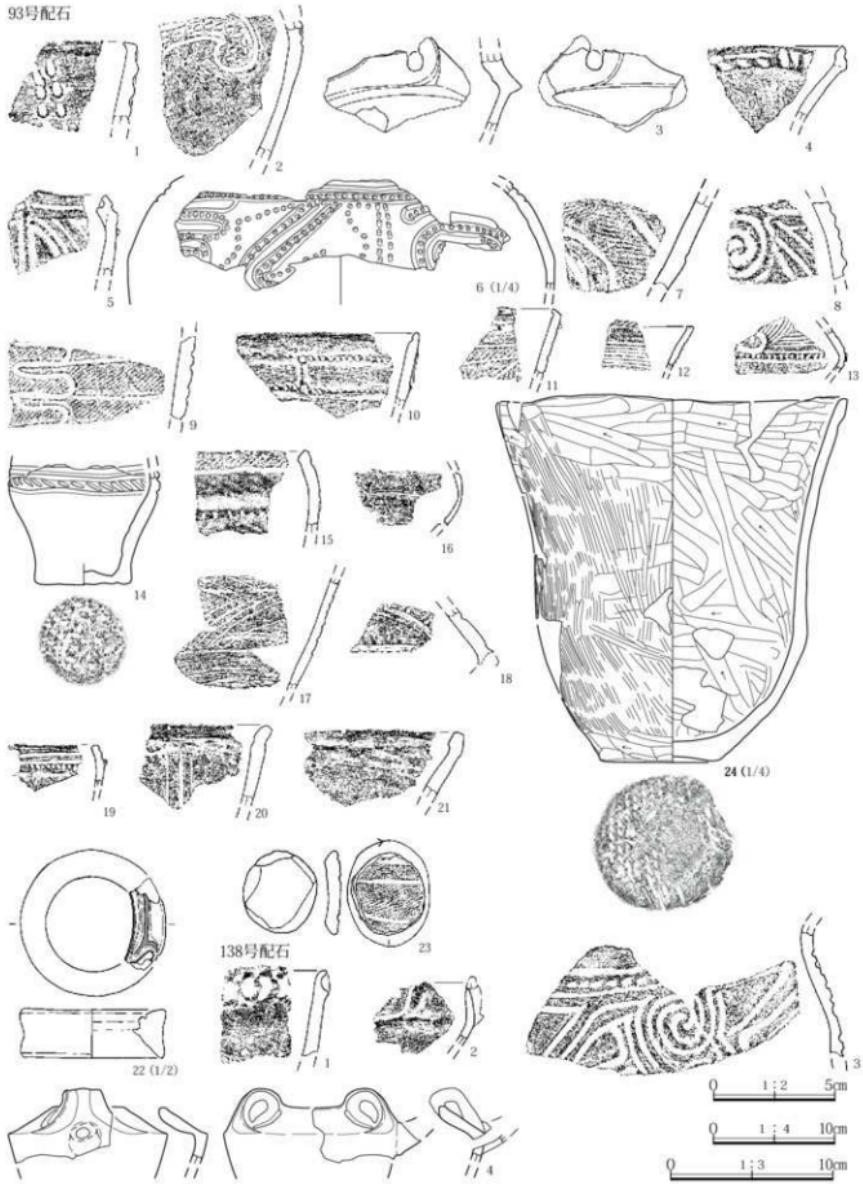
138号配石掘り方



第644図 7区93・138号配石(2)



93号配石



第645図 7区93・138号配石出土遺物

94号配石(第14表 第646~648図 PL289)

調査年度 平成29・30年度

位置 90区C-7

経過 平成29年度に「2号配石F」として調査された遺構を整理作業時に94号配石として変更した。

規模 南北に1m、東西4mを測る。

形状 蛇行し、列を形成する。

構造 配石墓群の上面にまだ礫が多量に分布する初期段階に確認したもので、一部をトレンチで失っているが、大小の丸石100個以上が集積された状態で確認された。数が最も多いものは直径10cm以下の小さなもので、

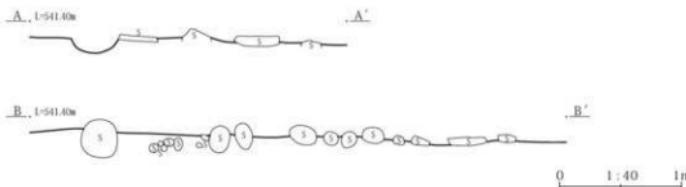
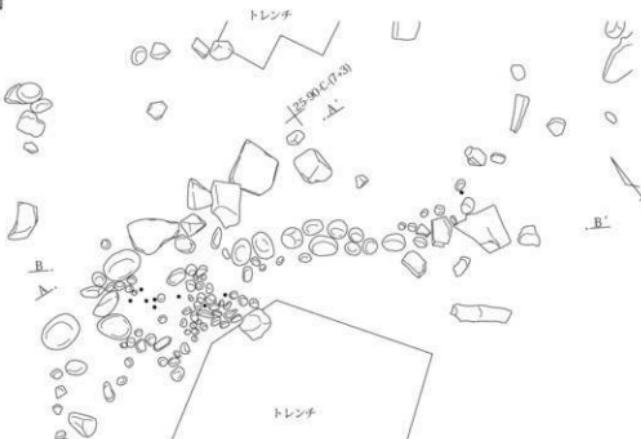
これは1m程の範囲に数十個が集積しており、その北側を区画するように直径30cm、長さ30~40cmもある楕円形の円礫3個と長さ40cm前後の鉄平石や板石が数個置いてあり、小さな丸石群の東側には3mにわたって10~25cm程の丸石10個前後とさらに小さな丸石数個が、等高線に沿って並べるように置いてあった。

こうした丸石は隣接する配石墓でも使われており、墓域内の一画に場所を決めて仮置きしたものであろう。

遺物 丸石が多量に出土する。

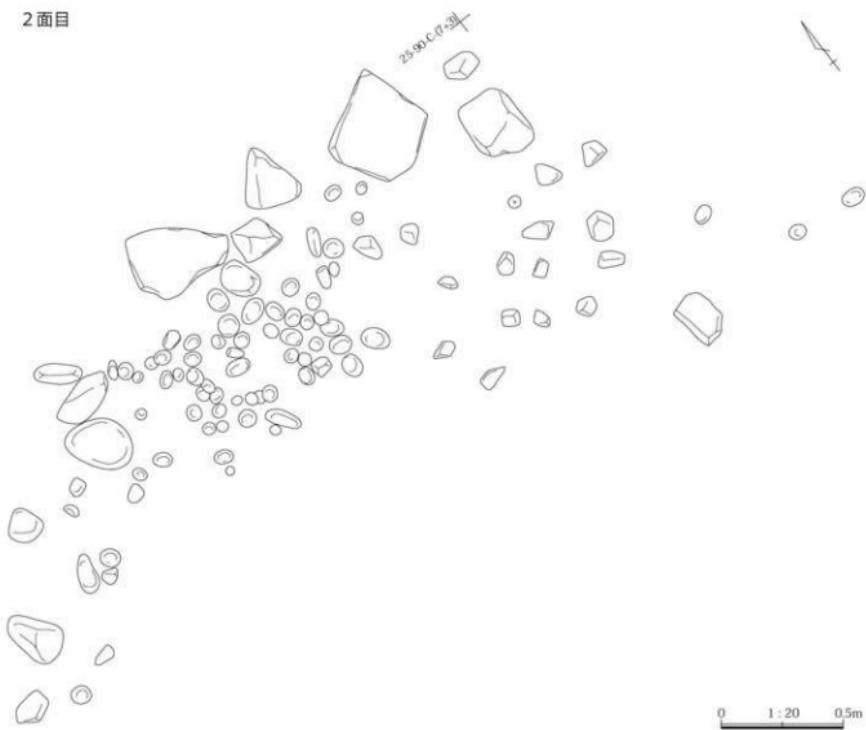
時期 晩期か

平面図



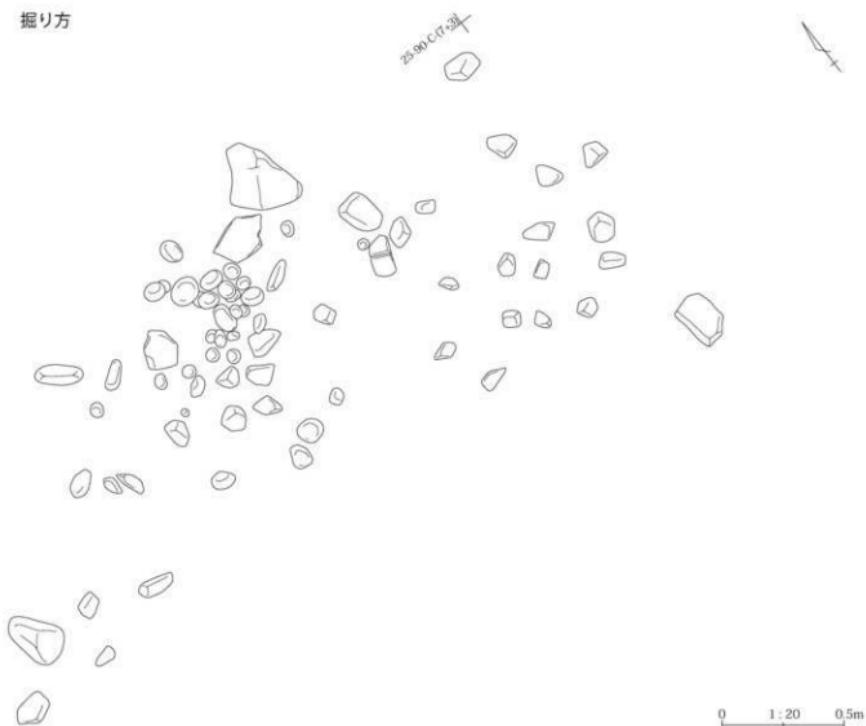
第646図 7区94号配石(1)

2面目



第647図 7区94号配石(2)

掘り方



第648図 7区94号配石(3)

第2章 発見された遺構と遺物

96号配石(第14表 第649、650図)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-11

経過 90区B-11付近に位置し、緩傾斜地の裾部分に位置する。平成30年度調査で「2号配石Y」として設定され、整理作業時96号配石に変更した。

規模 4m程の範囲に礫を集積する。

形状 不整形

構造 7区24号配石墓の上面東側で確認した。直径1.5m程の範囲に長さ10~20cm大の扁平な川原石20個以上を山のように集積したもので、周囲には長さ40cm程のやや大きな川原石もいくつか点在していた。こうした河原石は配石墓の底面に敷き込む石として使用されるもので、周囲にもうした配石墓があることから、この場所に備蓄されたものであろう。

下部遺構 20号配石墓

遺物 高井東式新段階、安行2式などの後期末葉と佐野I a式の晩期前葉が出土した。1は高井東式中段階、2は高井東式新段階、3は安行2式である。晩期前葉は佐野I a式が4と5が出土しており、6~9は晩期前葉に併行する粗製土器である。土製品は土器片加工円盤(12、13)と耳飾り(10、11)が出土した。

上部配石では、耳飾りと土器片加工円盤がセットで出土する例がほかでも見られる。台付鉢も出土していることから、遺構更新時の祭祀的な様相がうかがえる。

時期 晩期前葉

97号配石(第14表 第481、649図)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-11

経過 90区B-11付近に位置し、緩傾斜地の裾部分に位置する。平成30年度調査で「2号配石Z」として設定され、整理作業時に97号配石と変更した。下部には、配石墓が認められることから、当初下部の配石墓と別遺構として認定したが、確認状況などから、上部配石、下部配石墓含めて、「20号配石墓」として認定した。そのため、遺構の詳細は20号配石墓(30頁)を準拠されたい。下記では、上部配石の様相について述べる。

規模 4m程の範囲に礫を集積する。

形状 不整形

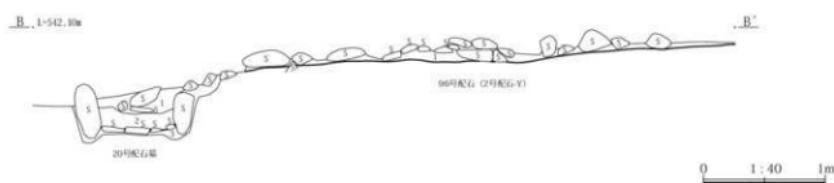
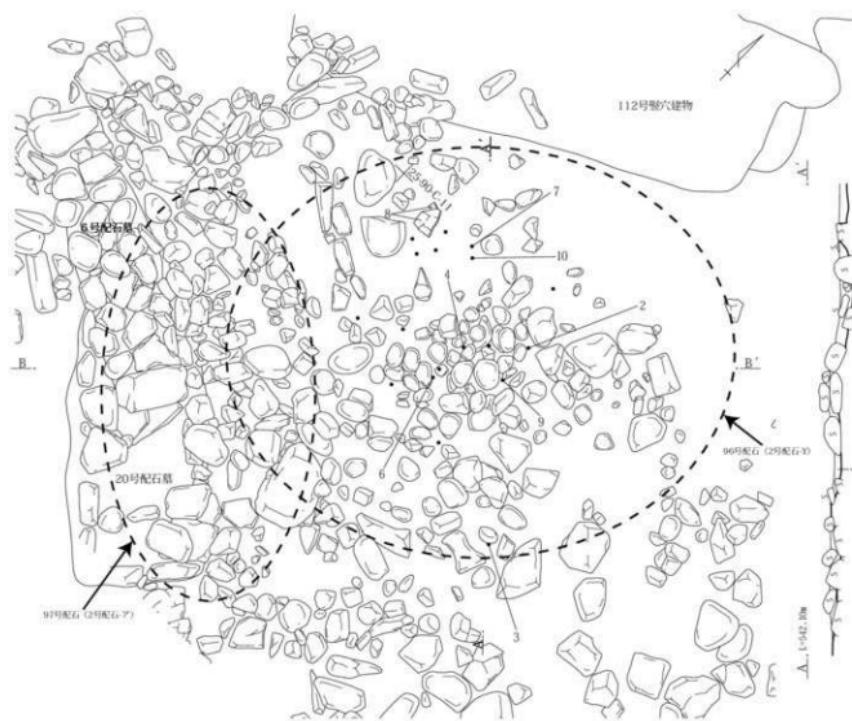
構造 2号配石Yのすぐ西側で確認した。長さ35cm程の棒状の礫を真っ直ぐに立てた立石で、断面三角形に割れた山石を使用しており、細くなる先端部が一部欠損している。この立石は20号配石墓の長軸上東側に位置しており、20号配石墓の墓標だった可能性がある。

下部遺構 20号配石墓

遺物 後期後葉から晩期前葉まで出土し、ほかの上部配石の様相から晩期前葉に帰属すると考えられる。

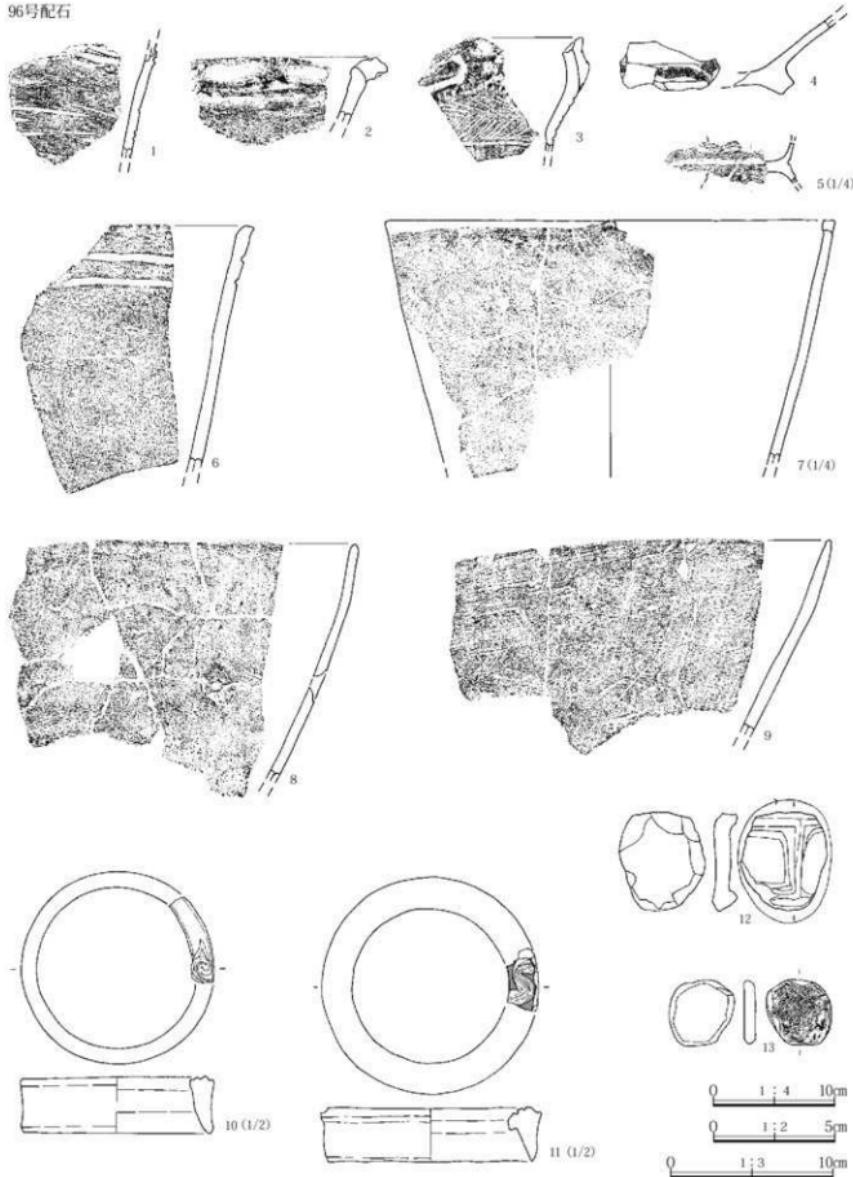
時期 晩期前葉

平面図



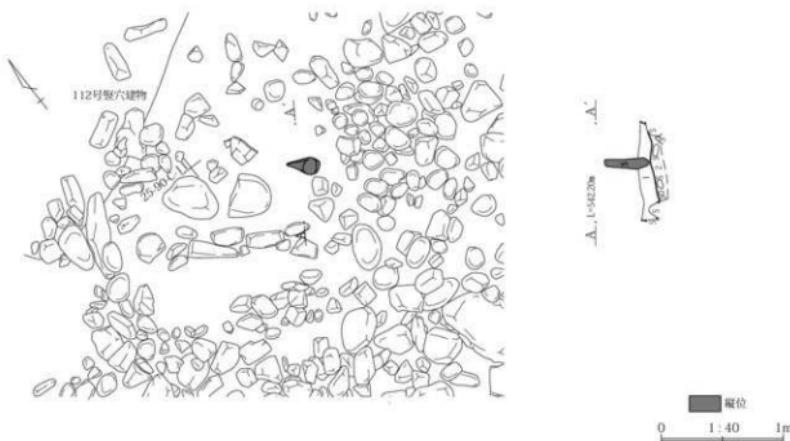
第649図 7区96・97号配石

96号配石



第650図 7区96号配石出土遺物

平面図



第651図 7区98号配石

98号配石(第14表 第651図 PL.290-8)

調査年度 平成30年度

位置 90区C-9

経過 2号配石Yのすぐ西側で確認した。緩傾斜地の裾部分に位置する。平成30年度調査で「2号配石ア」として設定され、整理作業時に97号配石と変更した。

規模 長さ35cm

形状 立石

構造 長さ35cm程の棒状の礫を真っ直ぐに立てた立石で、断面三角形に割れた地山礫を使用しており、細くなる先端部が一部欠損している。この立石は24号配石墓の長軸上東側に位置しており、24号配石墓の墓標だった可能性がある。

下部遺構 24号配石墓

遺物 遺物は出土していないが、24号配石墓からは高井東式が出土しており、同時期あるいは高井東式以降に属すると想定される。

時期 後期後葉

99号配石(第14表 第652図 PL.291-1~5)

調査年度 平成30年度

位置 90区C-9

経過 7区2号配石の西側中央部で確認した。19号・20号配石墓の東側にほぼ接した位置にある。平成30年度に「2号配石ウ」として調査を行い、整理作業時99号配石として調査を行った。

規模 1m四方

重複 52号配石墓上面に構築される。

形状 方形

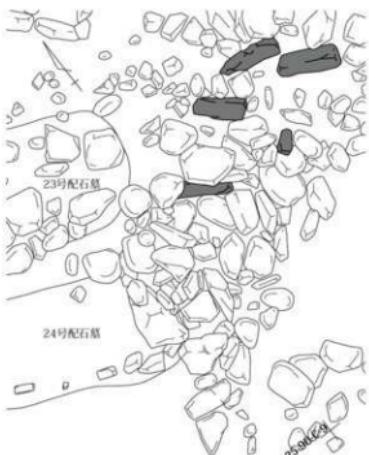
構造 配石は、長さ50cm前後の板石で一辺1m四方、深さ30cm程の方形石組みをつくり、その底面に20~30cm前後の欠損した鉄平石や板石を敷き詰め、その上に同様の石を2~3段に詰め込み、上面に蓋をするようにやや大きな川原石と鉄平石を方形状に組んでいる。上面の中央部に石が無い空白部があり、ここに大きな丸石か立石があったのかもしれない。

石材等 河原石や鉄平石を多用する。

遺物 高井東式古段階の土器(1~3)が出土した。

時期 高井東式古段階

平面図



2面目



3面目



99号配石



0 1:3 10cm



■ 置位
0 1:40 1m

第652図 7区99号配石・99号配石出土遺物

100号配石(第14表 第653図 PL.291-7)

調査年度 平成30年度

位置 90区C-8

経過 平成30年度に2号配石南西部で確認した。調査時には、「2号配石エ」として調査を行い、整理作業時に100号配石と名称を変更した。

規模 直径10cm、深さ8cm

形状 円形

構造 直径10cm、深さ8cm程の浅い円形の掘り込み内に、長さ12~18cm、厚さ2~3cmの扁平な川原石9枚が並べた状態で置かれていた。9点のうち4点は底面に伏せた状態で一列に並べ、そのうち2点の両側に2枚と3枚の石を合わせ、立てた状態で検出された。その傍らには20cm程の丸い石などもあり、本来はもう少し石が集積されていたのかもしれない。

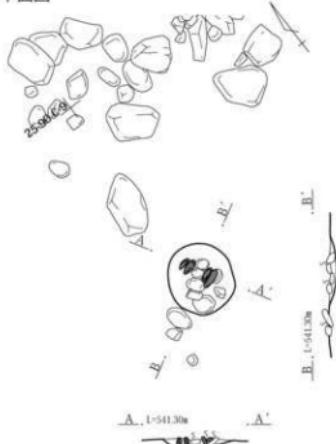
こうした石は、配石墓の底面に施される石敷きやその根詰めにも必ず使うもので、そのために備蓄されていたものであろう。これより小さいが、1号配石でも類似した河原石を揃えた状態の遺構が確認されている。

石材等 円碟を多用する。

遺物 なし

時期 晩期か

平面図



掘り方



第653図 7区100号配石

立石群について（第654図）

概要

立石群は、2号配石東部、配石墓域の東側隅に位置する。調査当初から南北軸に37度東へずれる形の直線上に立石の並びが確認できた。南北は、北から110号配石、111号配石、136号配石、112号配石、101号配石、137号配石、113号配石、114号配石と並ぶ。東西軸は140号配石を軸として結ぶ。東側には133号竪穴建物と付属する12号列石が位置し、133号竪穴建物と12号列石の石の配列と立石群の配列が平行関係にあることから、関係性が想定される。本文では立石群の全体的な様相を述べ、各種遺構の解説は、後述する。

南北軸の立石群

南北軸の立石群は南北に10mの規模があり、等高線と平行する形で位置している。北側、中央部、南側の3つのグループに分けることができる。北側は、南側端部が西側へ向かってL字状を呈する。中央部は西側に向かってL字状を呈する。L字状、コの字状に屈曲する部分では、礫が散財しない空間が認められることから、入口部と祭祀空間と想定される。下記では、立石群を北側立石群、中央部立石群、南部について解説する。

北側立石群

北側では108~111号配石で構成されている。形状はL字状に縦位に石を配する。礫は、河原石が多く、60~80cmの石を用いる。立石の西側には、30cm程の角礫がL字状に屈折する内側には、53号土器埋設遺構が立石から約50cm離れた位置に埋設されている。

角礫は、埋設時の周囲にみられることから、立石と埋設土器、埋設時を囲む角礫は一連の施設と考えられる。また立石の北側には、108号配石、109号配石が確認されており、これらも一連の施設と考えられる。

中央部立石群

中央部立石群は、101号配石、112号配石で構成される。東側では101号配石によって構成される。中央部に50cm程の棒状礫を横位に据え、階段状に配置している。

階段状の遺構の両脇には南北を軸として、60~70cmの扁平礫を縦位に据える。立石は、北端と南端で西側へ屈折し、石を敷設する。北端は、112号配石によって構成され、立石を東西軸に配置する。南端も同様に東西軸に扁平礫の立石を配置する。コの字状に立石によって形成された内側には、北側に30cm程の立石を東西軸に配列し、南側には、60cm程の礫を敷設する。中には凹み石の転用もみられる。

南部立石群

南側立石群は113号配石、114号配石、137号配石の立石によって構成される。立石は、南東西軸に配列し、50cm程の扁平礫を縦位に据える。立石の北端は、西側へL字状に屈折する。

L字状の屈曲部は、残存率が悪いものの、北側の立石群と同様の形態であると捉えられる。南側には、北側立石群と同じく、埋設土器が確認されており、北側立石群と同様に立石群と伴うものと捉えられる。立石の東側には、30cm前後の円礫を中心に敷設され、中には、丸石も確認できる。

東西軸の配石群

東西軸の配石群は、101号配石を軸として、140号配石を結ぶラインが想定される。101号配石の立石と37号集石の扁平礫を縦位に配した礫は、ほぼ並行関係にある。北側についても、141号配石が位置し、東西軸に横位に石を並べている。南側では、仕切り状の石はみられないが、存在した可能性もあり得る。

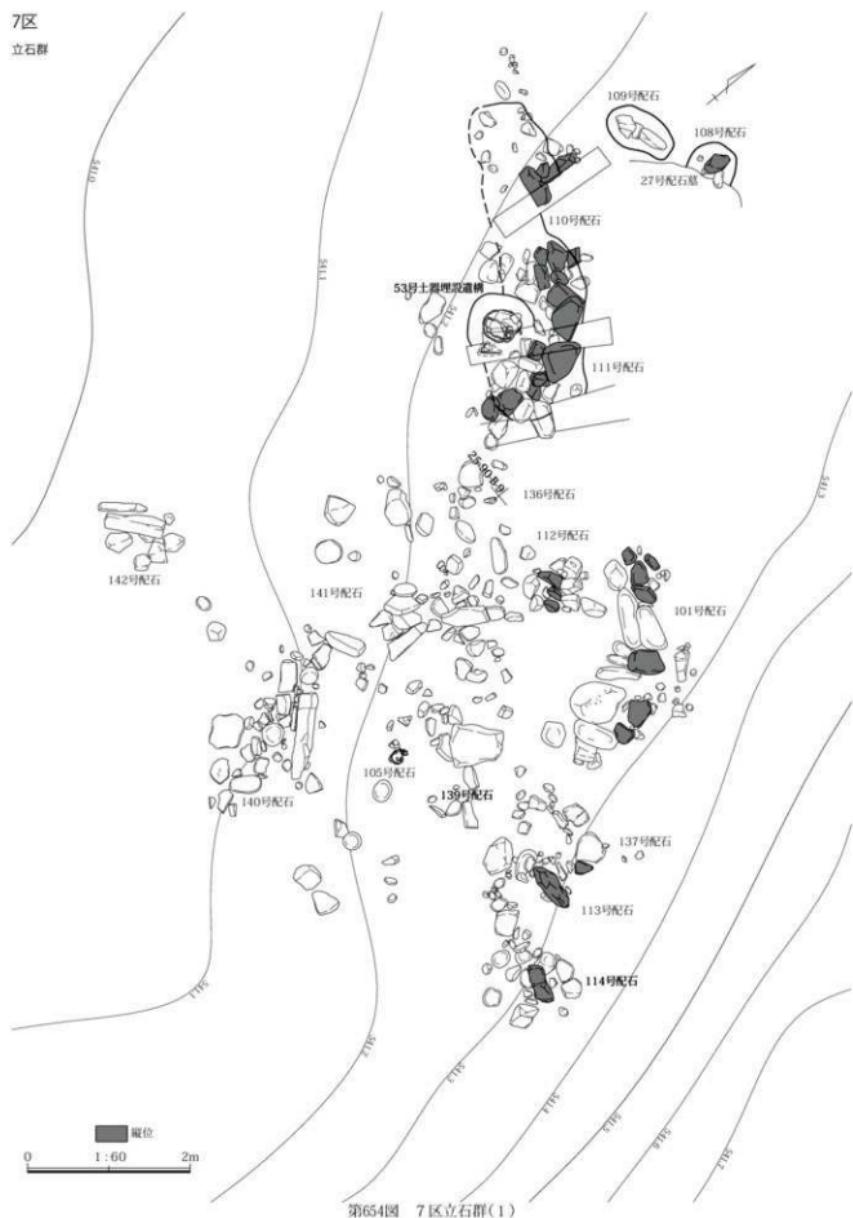
101号配石、140号配石、141号配石に囲まれた空間は、長方形に区画されており、他と比べて礫が散在しない空間を形成している。空間内には、中央部に台石が配置され、西側には、手燭形土偶と瘤付土器が出土している。ほかにも丸石など特異な遺物が出土しており、祭祀場としての利用を行っていたと想定される。

133号竪穴建物との位置関係

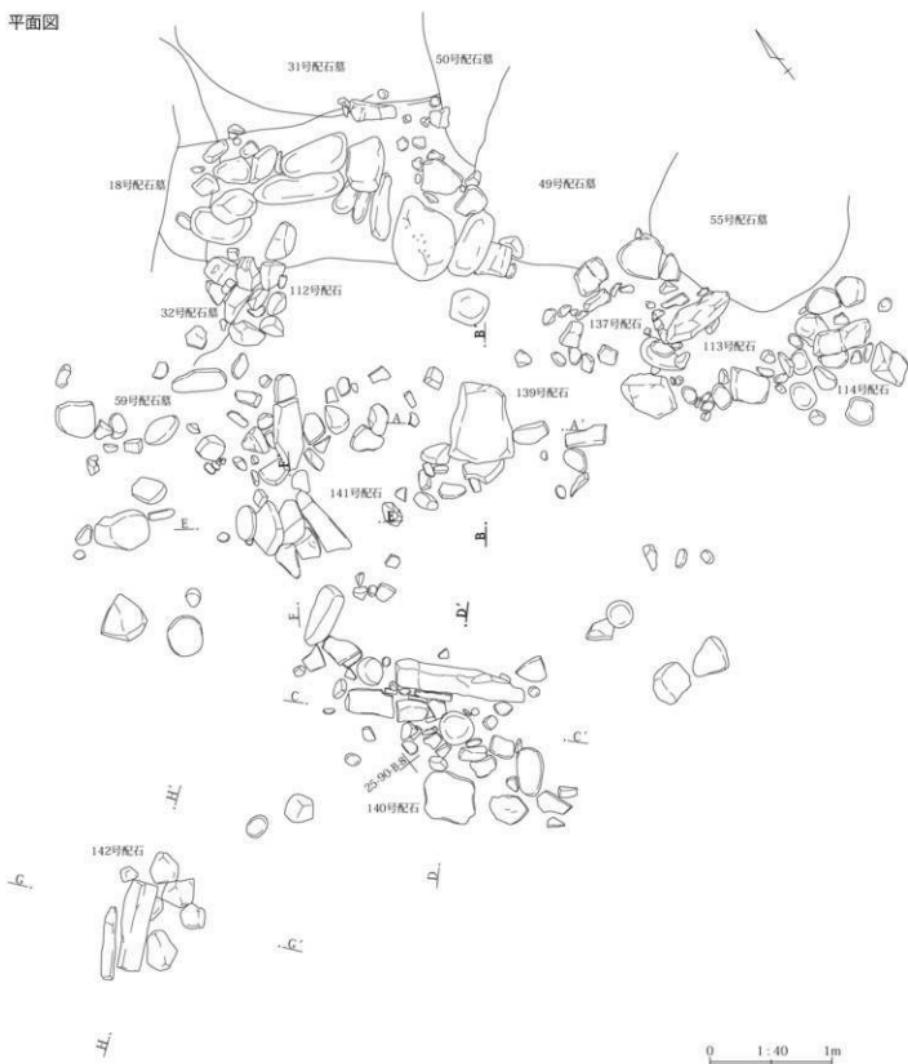
133号竪穴建物は、7区東端部に位置する堀之内1式の列石を伴った柄鏡形敷石建物である。竪穴建物半分は、調査区外にあるため、全体像は不明であるが、柄部の接続部には、立石が敷設されている。

7区

立石群

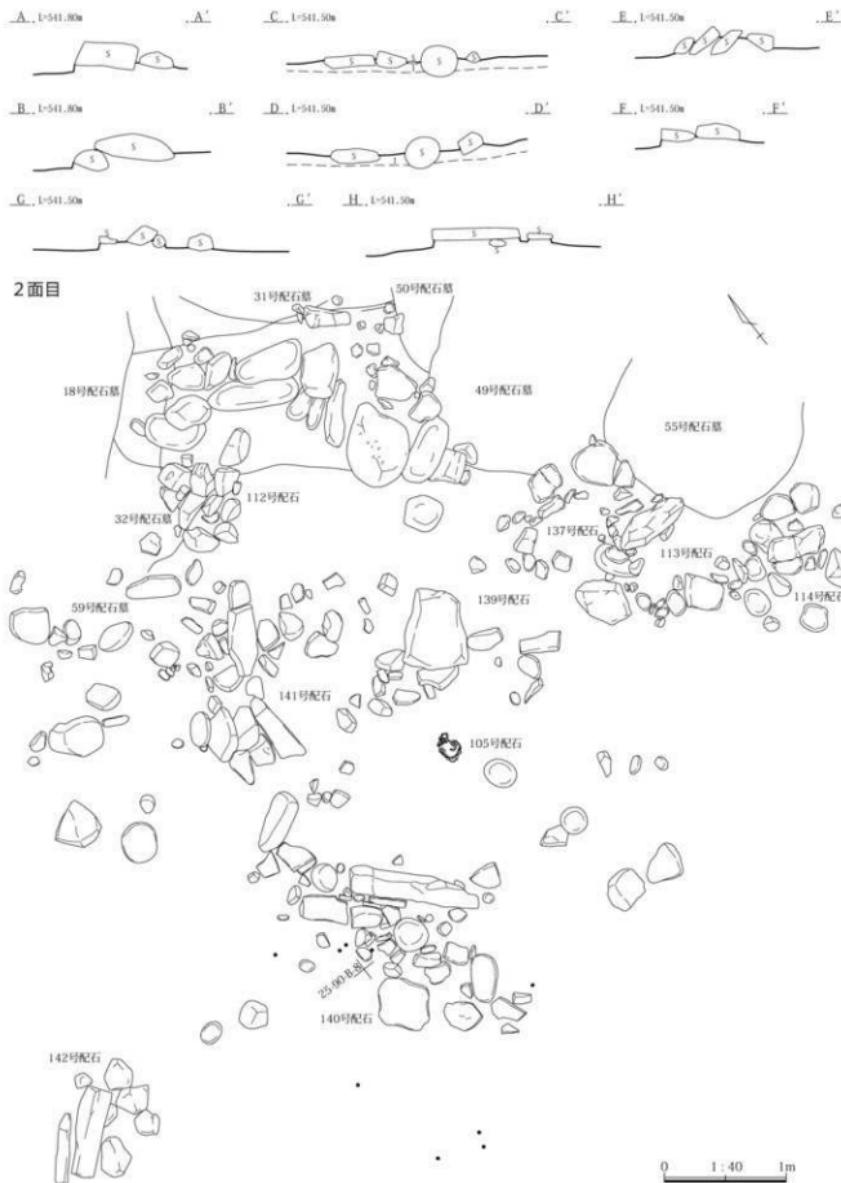


平面図

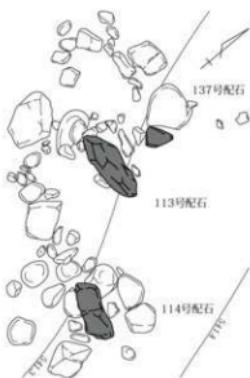
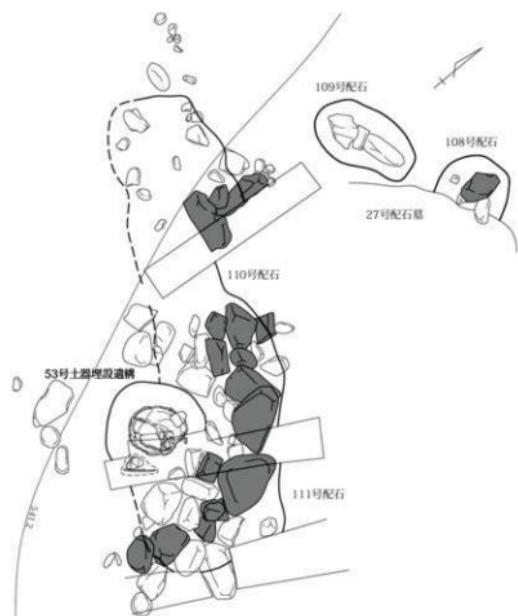


第655図 7区立石群(2)

第1節 縄文時代の遺構



第656図 7区立石群(3)



■ 墓位 0 1:40 1m

第657図 7区立石群(4)

立石を軸にして、南側には、13号列石を伴って階段状の配石を敷設する。さらに南側には14号列石の100cm前後の巨石を伴った入口部が存在し、台石を挟んで、101号配石、140号配石へと延びる構図となっている。これらは、直線上に構築されており、一連の遺構と捉えられる。

堀之内2式以降は、12号列石と101号配石に区画された空間内に配石墓が構築されはじめ、後期後半まで、墓域としての規律が守られることになる。その反面、133号竪穴建物が構築された堀之内1式では、区画外に構築されており、竪穴建物の廃絶時に居住域としての利用から墓域への利用に転換したと考えられる。

墓域への利用後も、105号配石を中心とした祭祀空間は維持し、晚期にも埋設土器等を構築していることから、追憶の中で儀礼行為を行い、遺構更新を継続したと考えられる。

101号配石(第14表 第658、659図 PL.291-8)

調査年度 平成30、31年度

位置 90区A-9

経過 7区東側の2号配石中央部に位置する。立石と祭壇状の遺構が確認されたことから、「2号配石ニ」として調査を行った。整理作業時に、101号配石として変更を行った。

規模 南北280cm、東西100cm

形状

構造 7区2号配石の中央部南側で確認した。ここには3つの立石と大きな河原石を使用した多孔石が2mの範囲にあり、不規則に截せられた礫を取り去ると、南西側以外の3方を配石墓に囲まれた祭壇状の施設であることが判明した。

他の遺構が見当たらない南西側から見ると、石の配置は北東に向かって弧を描いており、正面に長さ80cmの棒状の河原石を横にして置き、その奥の一段高い位置に長さ60cmの河原石を平坦面を上にして据え、左側に長さ50cmの棒状の河原石を斜めに立て掛けスペースを調整している。その左には長さ70cmの棒状の川原石2個を立てて立石とし、その手前にいくつかの石を置いて袖状の部分を作り出し、その先端に長さ70cmの割石を立てた立石を配置し、袖部の内側に板石を立て掛けている。右側

は長さ80cmの板石を立てた立石を配置し、その手前に40cmの棒状の川原石を2個と60cmの棒状の川原石1個を揃えて置き、袖部の先端に68cmの一際大きな多孔石を配置し、その裏側を囲むように鉄平石2個と長さ60cmの河原石を並べている。

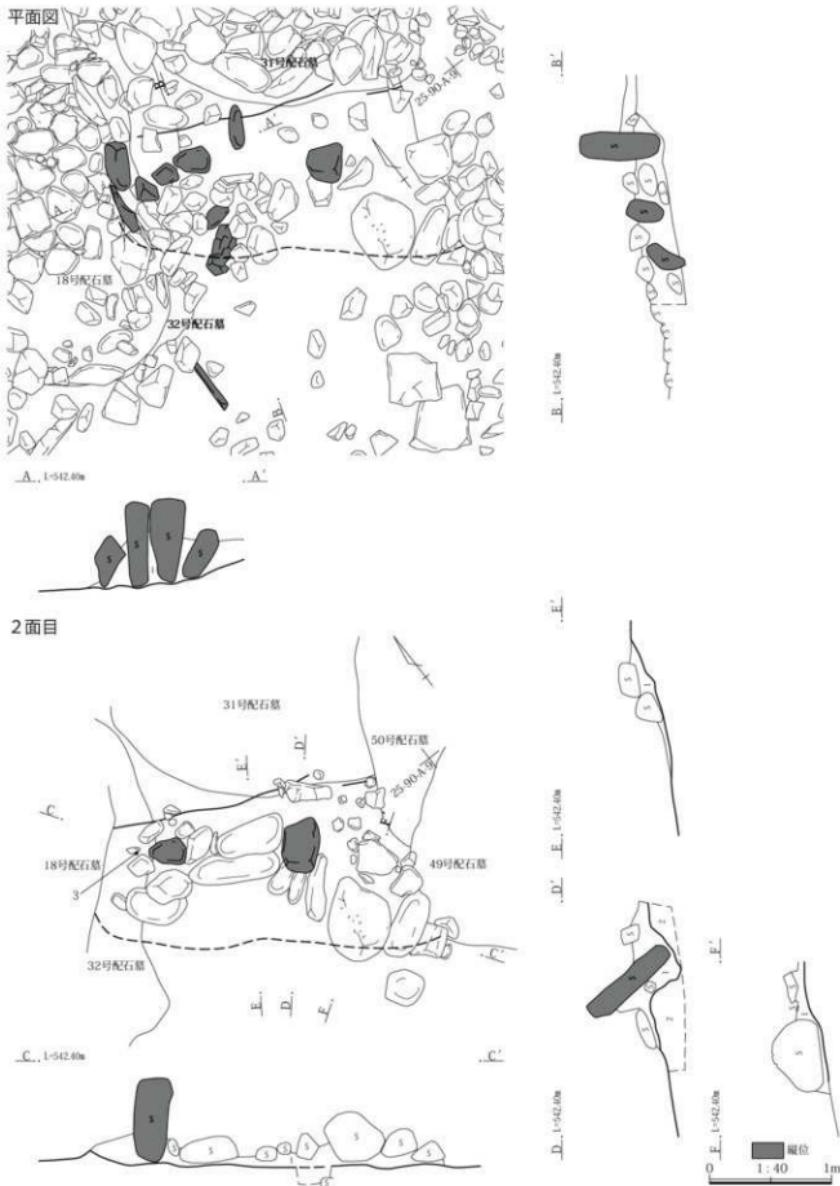
この配石は南西から北東に向かって配置しているが、実は2号配石で検出された配石墓の大半はこの方向性に合わせて長軸あるいは短軸を揃えており、この配石が配石墓群と一連の施設であることを示していると言えよう。また、この配石の南西側に他の遺構が見当たらないとしたが、その方向は2号配石の外側まで7mにわたって空白となっており、これが墓域に入る通路または参道であった可能性が高い。

掘り方は、南側を階段状に削平して、立石を構築しており、構築時に平坦面を形成し、配石が構築されたと想定される。

石材等 河原石を主体とする。

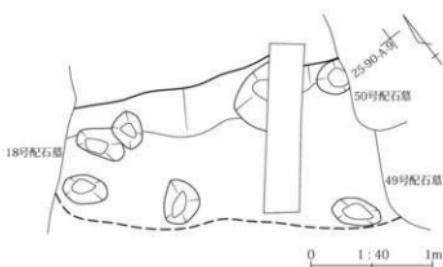
遺物 高井東古段階(1~3)から中段階の土器が出土し、多孔石などの石器も転用材として出土している。

時期 高井東式古段階から中段階

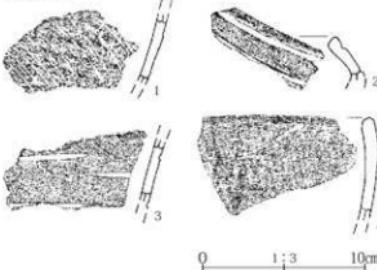


第658図 7区101号配石(1)

掘り方



101号配石



102号配石(第14表 第659図 PL.292)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-11

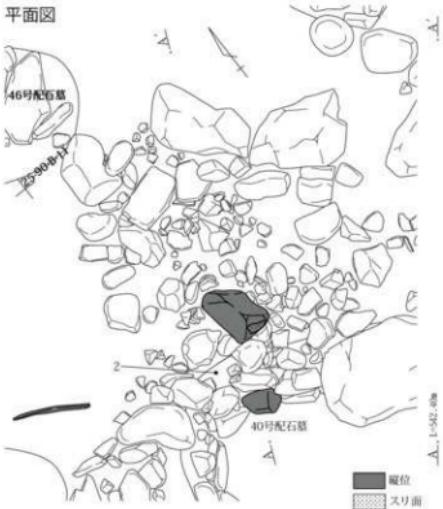
経過 2号配石群の北方、36号配石墓のすぐ北側で確認した。40号配石墓と46号配石墓の間に立石が構築され、周囲に角礫が確認できたことから、「2号配石へ」として調査を行った。整理作業時には、102号配石に名称を変更した。

規模

形状 立石

構造 2号配石群の北方、36号配石墓のすぐ北側で確認

平面図



した。60度程の角度で北側に倒れかけているが、長さ90cmのやや扁平な河原石を立てた立石である。確認時にこの状態だったが、周囲には、立石を囲むように30~50cmの礫を敷き詰めている。

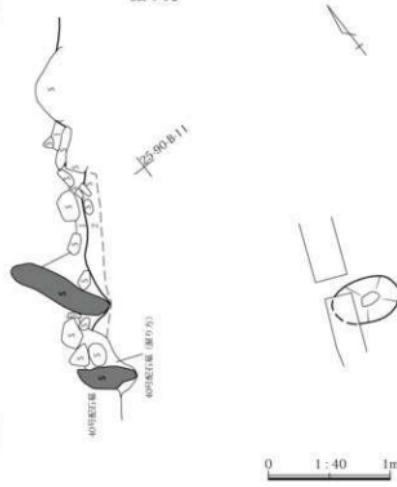
本配石は南側30cmのところに36号配石墓があり、その西側短辺のほぼ延長上に設置されていることから、36号配石墓の墓標だった可能性が高い。

石材等 河原石を主に用いる。

遺物 1と2が出土し、1は加曾利B3式、2は1に伴う粗製土器である。

時期 後期後葉(加曾利B3式)

掘り方



第659図 7区101(2)・102号配石・101号配石出土遺物

102号配石



第660図 7区102号配石出土遺物

103号配石(第14表 第661図 PL.292)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-1

経過 7区東側、2号配石墓群の西方に位置する。北側には、26号配石墓、南側には27号配石墓が位置する。平成30年度調査で、「2号配石ホ」として調査を行った。整理作業時に以降の確認状況から「103号配石」として名称を変更した。

規模 挖り方: 40cm四方。

形状 立石

構造 2号配石群の西方、26号配石墓と27号配石墓の間で確認した。長さ50cmの棒状の川原石を立てた立石で、周囲を小ぶりな石で囲い、27号配石墓側に長さ30cmに打ち欠いた扁平な川原石を据えている。この立石の東側30cmには欠損した棒状の石があり、これも周囲を小ぶりな石で囲まれ、反対側の27号配石墓側に40cm方形の扁平な川原石を据えている。

これらは両配石墓に伴う墓標で、据えてある扁平な川原石は供え物を置くための造作だと考えられる。

石材等 河原石を用いる。

遺物 なし

時期 後期後葉

104号配石(第14表 第661図 PL.292)

調査年度 平成30年度

位置 89区Y-9

経過 7区東側、2号配石墓群の南側に位置し、42、43号配石墓に隣接する。配石墓の底面のようにも見えるが、側石が見当たらないことから調査時に配石と捉え、「2号配石へ」として調査を行った。整理作業時に状況から「104号配石」と変更した。

規模 300cm×150cm

重複 碰の重なり方から42号配石墓よりも新しく43号配石墓よりも古い。

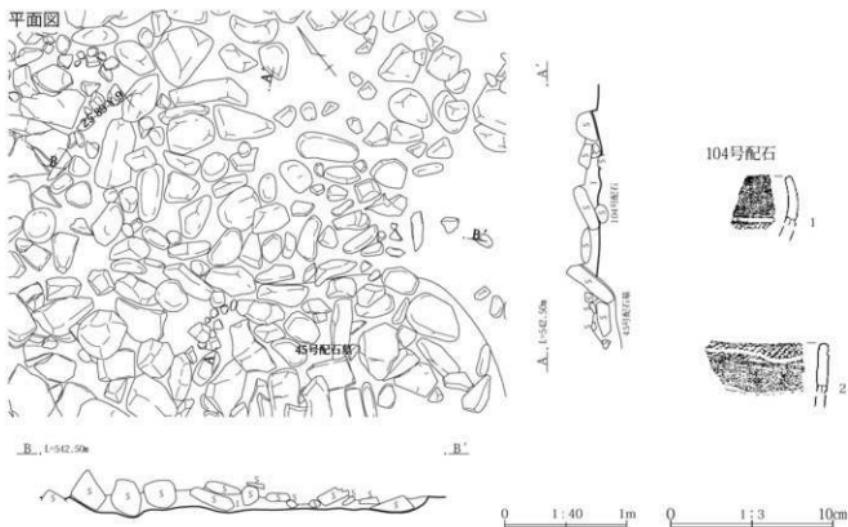
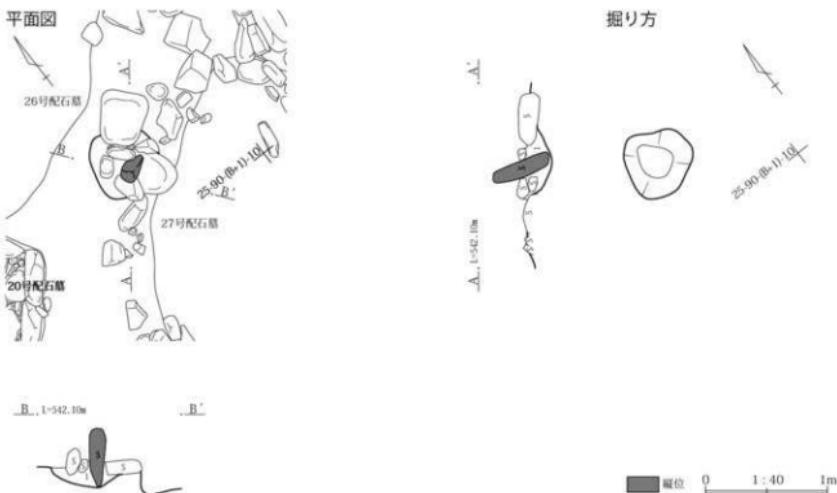
形状 楕円形

構造 長軸280cm、短軸180cmの楕円形状に平坦な川原石を敷き込み、その周縁を長さ40~70cmの棒状の石で区画する。碰は面を揃えるような形で配置される。一見すると配石墓の底面のようにも見えるが、側石が見当たらないことから配石とした。北側には42号配石墓、南側には43号配石墓が隣接しており、ほかの配石墓の構築過程で上部が壊された可能性もあり得る。

石材等 扁平な河原石を用いる。

遺物 1は加曾利B1式、2は加曾利B3式である。

時期 後期後葉



第661图 7区103·104号配石·104号配石出土遗物

第2章 発見された遺構と遺物

105号配石(第14表 第662~664図 PL.293~4)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-8

経過 7区東側、2号配石墓群の南西部に位置する。立石群の中央部の祭祀空間内に構築されている。台石が集中する範囲が認められることから、「2号配石リ」として調査を行った。2面目では、頗る土偶が瘤付土器の注口土器と一緒に出土している。整理作業時には、名称を「105号配石」に変更した。

規模 120cm×90cm

形状 不整形

構造 37号集石の北東部に50cm程の台石として用いた扁平礫を100cm四方に敷設し、さらに北側には、70cm程の台石を敷設する。台石群の東側には丸石(№505)が位置され、ほかにも丸石が敷設される。台石群下面(№440付近)からは、注口土器とともに土偶が出土した。掘り込みなどは不明だが、遺物を埋納後に台石を敷設したとみられる。丸石(№505)の出土位置は、土偶と注口土器と同じレベルで出土しており、同時期に埋納されたと考えられる。

石材等 扁平礫を多用する。

遺物 土偶(2)と注口土器(1)が出土している。注口土器は、瘤付土器で南側に傾いた状態で出土しており、当初は正位に据えられていた可能性も考えられるが、土偶との位置関係や出土状況から、斜位の状態で据えられたと考えられる。注口土器の斜位になった上面部は失われているが、故意による可能性も出土状況からうかがえる。土偶は、北東方向を頭にして横臥する形で、出土している。

時期 後期末葉

138号配石(第14表 第654図)

調査年度 平成31年度

位置 89区-X-2

経過 7区東側、配石墓群の東側に位置する。立石群内に位置し、105号配石の北側に隣接する。横位に据えた鉄平石の周辺に小礫を集積していたことから、「2号配石(5)」として調査を行った。整理作業時に遺構の形態から、「138号配石」として名称を変更した。

規模 長軸110cm×短軸40cm

形状 不整形。

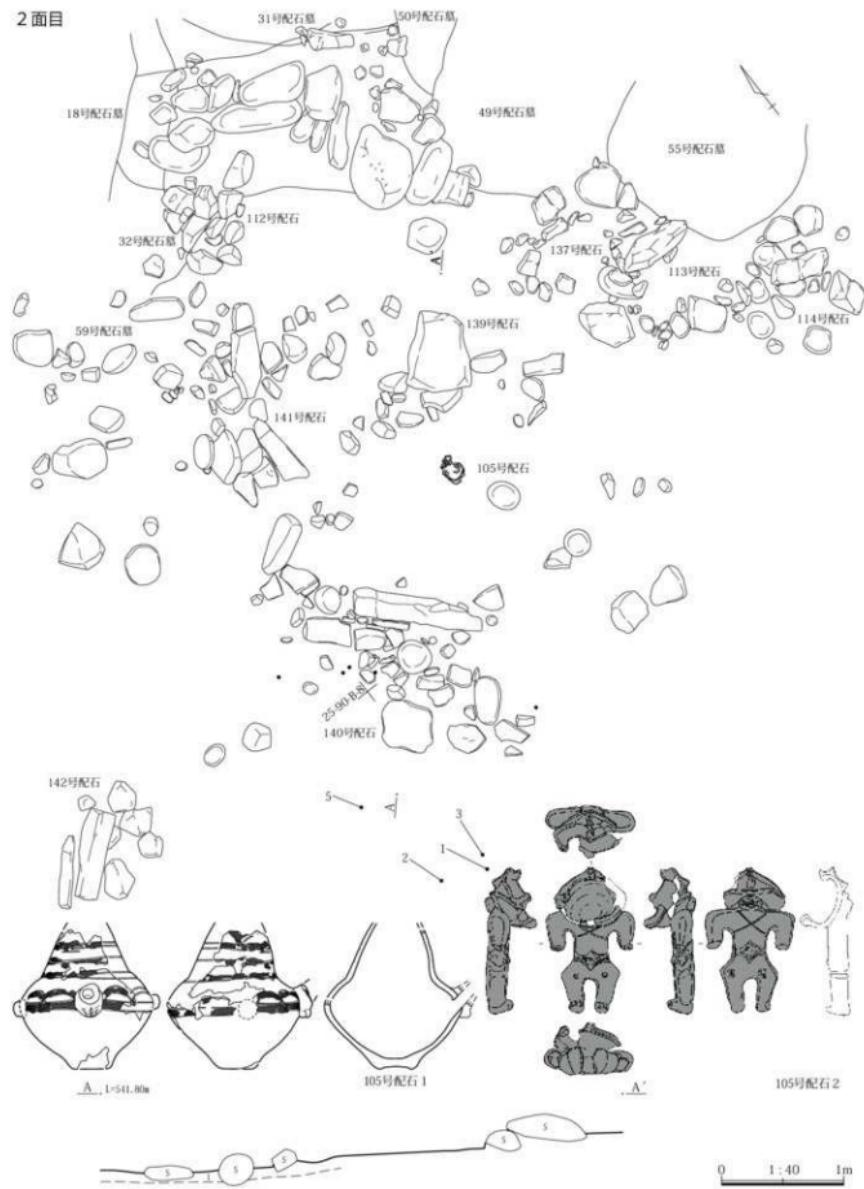
構造 50cm程の鉄平石を横位に据えた状態で周囲に10~20cmほどの角礫が長軸110cm、短軸40cmの規模で散在していた。石の配置は不規則で集積された状態で確認された。集石の南側には、105号配石が構築されており、一連の遺構の可能性もあり得る。

石材等 鉄平石を用いる。

遺物 高井東式中段階が出土している。

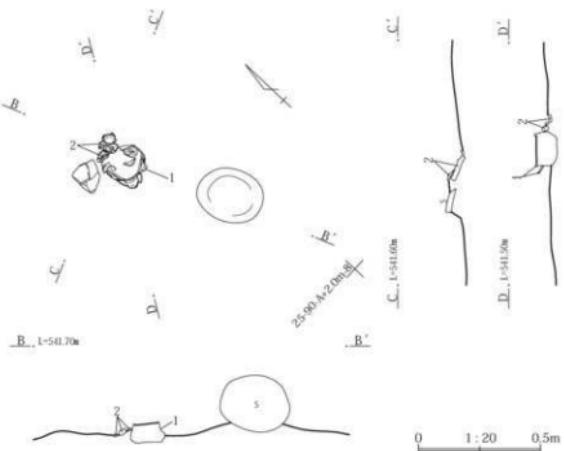
時期 後期後葉

2面目



第662図 7区105号配石(1)・140号配石

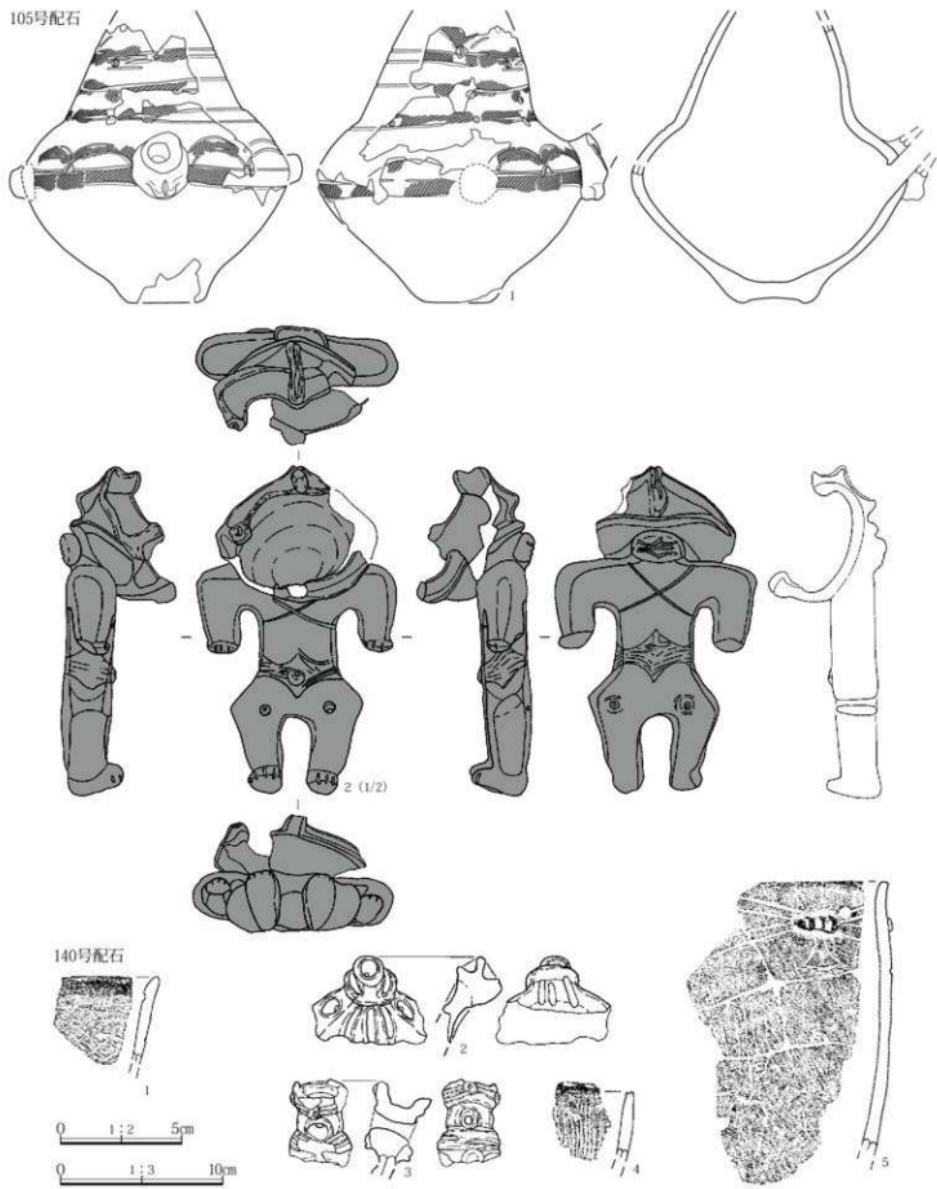
遺物出土状況



遺物出土拡大図



第663図 7区105号配石(2)



第664図 7区105・140号配石出土遺物

第2章 発見された遺構と遺物

139号配石(第14表 第654図 PL.297)

調査年度 平成31年度

位置 89区X-2

経過 7区東側、配石墓群の東側に位置する。立石群内に位置し、105号配石の北側に隣接する。横位に据えた鉄平石の周辺に小礫を集積していたことから、「2号配石⑤」として調査を行った。整理作業時に遺構の形態から、「139号配石」として名称を変更した。

規模 長軸110cm×短軸40cm

形状 不整形。

構造 50cm程の鉄平石を横位に据えた状態で周囲に10~20cm程の角礫が長軸110cm、短軸40cmの規模で散在していた。石の配置は不規則で集積された状態で確認された。集石の南側には、105号配石が構築されており、一連の遺構の可能性もあり得る。

石材等 鉄平石を用いる。

遺物 なし。

時期 後期後葉

140号配石(第14表 第654、662、664図 PL.297~298)

調査年度 平成31年度

位置 89区X-2

経過 7区東側、配石墓群の東側に位置する。立石群内に位置し、105号配石の南西側に隣接する。丸石を中心にして集石が確認できたことから「2号配石⑥」として調査を行った。整理作業時に遺構の形態から、「140号配石」として名称を変更した。

規模 長軸274cm×短軸154cm

重複 なし

形状 不整形

構造 105号配石の南西部に30cm程の丸石を中心に10cm程の角礫が274cm程の範囲に集積されている。丸石の南西部には50cm程の扁平石を横位に据え、北東部には80cm程の棒状礫を南北軸に据えている。棒状礫、丸石、扁平石の間隔は規則的であり、立石群の一連の施設と捉えられる。本来配石として扱うべきであるが、周辺に不規則な石が集積していた。

石材等 河原石と地山礫を用いる。

遺物 後期中葉から後期後葉が出土した。

時期 後期中葉~後葉

141号配石(第14表 第654図 PL.297~298)

調査年度 平成31年度

位置 89区X-2

経過 7区東側、配石墓群の東側に位置する。立石群内に位置し、105号配石の北西側に隣接する。斜位に配置された石の周辺を「2号配石⑦」として調査を行った。整理作業時に遺構の形態から、「141号配石」として名称を変更した。

規模 長軸198cm×短軸150cm

重複 なし

形状 不整形

構造 105号配石の北西部に50cm程の扁平礫を斜位に配置し、周辺に礫を集積していた。本来は立石として構築されたものと考えられ、北側にも確認できる。36号集石を囲むように位置しており、前節で扱った立石群の一連の施設と捉えられる。

石材等 地山礫を用いる。

遺物 帰属する遺物は出土していないが、周辺遺構から後期中葉から後期後葉と判断した。

時期 後期中葉~後葉

142号配石(第14表 第654図 PL.297~298)

調査年度 平成31年度

位置 89区X-2

経過 7区東側、配石墓群の東側に位置する。立石群内に位置し、105号配石の北側に隣接する。横位に据えた鉄平石の周辺に小礫を集積していたことから、「2号配石⑧」として調査を行った。整理作業時に遺構の形態から、「142号配石」として名称を変更した。

規模 長軸110cm×短軸40cm

形状 不整形。

構造 50cm程の鉄平石を横位に据えた状態で周囲に10~20cm程の角礫が長軸110cm、短軸40cmの規模で散在していた。石の配置は不規則で集積された状態で確認された。集石の南側には、105号配石が構築されており、一連の遺構の可能性もあり得る。

石材等 鉄平石を用いる。

遺物 高井東式中段階が出土している。

時期 後期後葉

107号配石(第14表 第665図 PL.296-1, 2)

調査年度 平成30年度

位置 90区A-10

経過 7区東側の配石墓群中央東側に位置し、12号列石に近い29号・33号・42号配石墓が密集する場所に位置する。調査時は「2号配石@」として調査を行い、整理作業時に「107号配石」に変更した。

規模 60cm程

形状 立石

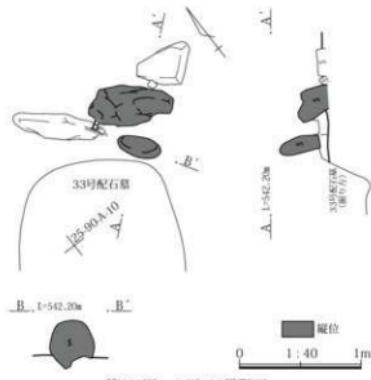
構造 長さ70cm程の扁平で大きな石2個と小さな川原石1個を縦位に並べ、その横に鉄平石1個を敷いた状態で確認された。使われた石や配置状況は配石墓の一部であった可能性もあるが、その他の手懸かりは得られていない。

石材等 河原石、鉄平石を用いる。

遺物 なし

時期 後期後葉か

平面図



第665図 7区107号配石

108号配石(第14表 第666図 PL.296)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-10

経過 2号配石群の中央東側、12号列石に近い29号・33号・42号配石墓が密集する場所に位置する。平成30年度調査により、立石が認められたことから、「2号配石@」として調査を行い、整理作業時に「108号配石」に変更した。

規模 60cm四方

形状 立石

構造 2号配石群の中央東側、12号列石に近い29号・33号・42号配石墓が密集する場所に位置する。長さ70cm程の扁平で大きな石2個と小さな河原石1個を立てて並べ、その横に鉄平石1個を敷いた状態で確認された。109号配石とは、石の高さを揃えており、一連のものと考えられ、使われた石や配置状況は配石墓の一部であった可能性もあるが、その他の手懸かりは得られていない。

石材等 河原石と鉄平石を用いる。

遺物 なし

時期 後期後葉か

109号配石(第14表 第666図 PL.296)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-10

経過 2号配石群の中央東側、12号列石に近い29号・33号・42号配石墓が密集する場所に位置し、108号配石に隣接する。調査時には「2号配石@」として調査を行い、整理作業時に「109号配石」に変更した。

規模 90cm×50cm

形状 立石

構造 柱状に割れた鉄平石を立てた立石で、上方を欠損しており、残っていたのは根元40cm程である。この立石は根固めが無く、底面よりやや浮いた位置に長さ40cm程の棒状になった川原石を横にして置いている。108号配石とは、石の高さを揃えており、一連のものと考えられ、使われた石や配置状況は配石墓の一部であった可能性もあるが、その他の手懸かりは得られていない。

石材等 河原石と鉄平石を用いる。

遺物 なし

時期 後期後葉

110号配石(第14表 第667図 PL.300)

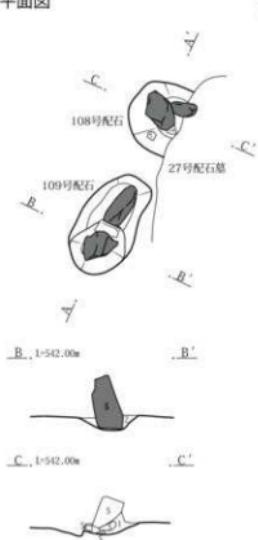
調査年度 平成30年度

位置 90区B-9

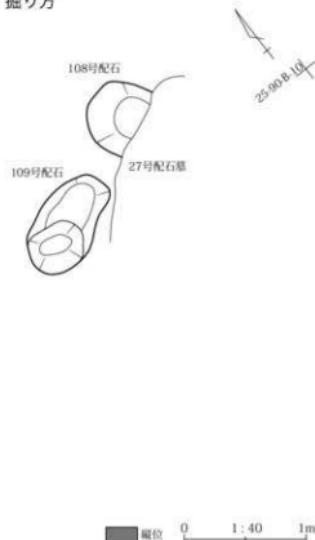
経過 7区東側、配石墓群の東側に位置する。27、52号配石墓等に囲まれた空白部で確認した。調査当初は、「2号配石@」として調査を行い、整理作業時には、「110号配石」と認定した。

規模 190cm×120cm

平面図



掘り方



第666図 7区108・109号配石

形状 不整形

構造 長さ50~65cm程の鉄平石3枚が北側に倒れかけた状態で確認されており、3枚の内1枚は板状だが、2枚は棒状を呈することから、立石だった可能性がある。また、板状の1枚は上方が欠損しており、もとは60cm以上であった可能性が高い。立石群の「儀礼空間」に属する遺構と捉えられる。

石材等 鉄平石

遺物 1~3は高井東式中段階である。

時期 後期後葉

111号配石(第14表 第667図 PL.298、300)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-9

経過 7区東側、配石墓群の東側に位置する。調査当初は、埋設土器を閉むように立石が確認できたことから、「2号配石@」として調査を行った。整理作業時には、「111号配石」と変更を行った。

規模 280cm×200cm

形状 列状

構造 110号配石の南東に隣接する。53号埋設土器に伴う立石を主体とする配石で、長軸2.5m、短軸1.1m程の範囲に埋設土器の背後を取り囲むように弧状に立ち並んでいる。

立石は長さ50cm前後の扁平な川原石を中心に15個程が立ち並ぶが、多くは倒れ込んでおり、先端を欠損するものもいくつか見られる(PL.300)。根元には根固め用と思われる小さな石が数多くあり、南東側の端に直径20cm程の丸石が配置されている。

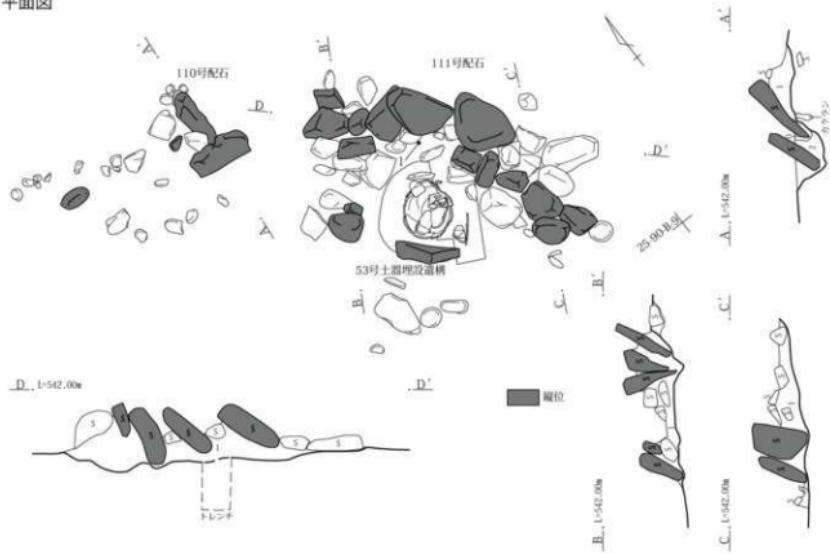
なお、53号埋設土器は立石群と対向する南西側掘り方に大きな板石を添えて埋設しており、上面には蓋をするように別個体の土器の大型破片と大型の鉄平石を載せている。また、埋設土器の南西40cm程の位置に長さ40cmの鉄平石1個と20cm前後の扁平な川原石2個が並んでおり、これらは埋設土器前面の供養台として配置したものであろう(第667図)。しかし出土遺物の時期が異なっており、両遺構の検討が必要である。

石材等 河原石を中心用いる。

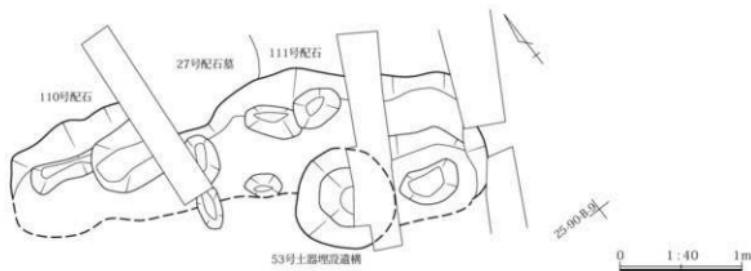
遺物 1は瘤付土器第3~4段階である。

時期 後期後葉

平面図



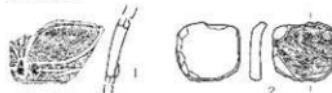
掘り方



110号配石



111号配石



第667図 7区110・111号配石・110・111号配石出土遺物

第2章 発見された遺構と遺物

112号配石(第14表 第668図 PL.299)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-9

経過 7区東側、2号配石南西部に位置し、立石群の南北軸の一部を構成している。調査時に立石が認められたことから、「2号配石@」として調査を行った。整理作業時には、「112号配石」と名称を変更した。

規模 240cm×250cm

形状 立石を伴う配石

構造 基準配石である101号配石の南西で確認した。配石二の左袖部の下から北西側へ長さ2.5m、幅1m程の範囲に石を配置するもので、その北東側の長辺中央部に長さ50cmの川原石を側面を立てて設置し、南東側端辺には長さ80cmの鉄平石を直行する方向で置き、北西側短辺には30cm四方の扁平な河原石を配置している。いずれもこの地区的配石墓と同様の北+38度の方位に準拠している。

石材等 河原石を多用する。

遺物 なし

時期 後期後葉

136号配石(第14表 第668、669図 PL.297)

調査年度 平成30年度

位置 90区B-9

経過 7区東側、配石墓群の南西部に位置、113号配石が隣接する。立石群の南北軸の一部を構成している。調査時に立石が認められたことから、「2号配石@」として調査を行った。整理作業時には、「136号配石」と名称を変更した。

規模 30cm四方

形状 立石

構造 112号配石の南東に近接する。長さ70cmの扁平な山石を立てた立石で、周間に20~30cm程の鉄平石や河原石を配置している。

石材等 河原石を用いる。

遺物 なし

時期 112号配石と一緒に遺構と考えられるため後期後葉に比定される。

113号配石(第14表 第668、669図)

調査年度 平成30年度

位置 90区A-8

経過 7区東側、配石墓群の南西部に位置する。立石群の南北軸の一部を構成している。調査時に立石が認められたことから、「2号配石@」として調査を行った。整理作業時には、「113号配石」と名称を変更した。

規模 40cm四方

形状 立石

構造 2号配石の南東3mで確認した。北側に49号・55号配石墓が近接する。長さ50cmの柱状に欠けた鉄平石を立てた立石で、北西側根元に40cm大の円形状の扁平石を置き、そこから西側に小さな扁平の石2個を立て並べ、その他の小石を配置している。

石材等 扁平礫

遺物 佐野式併行の粗製土器(1)が出土しているが、周辺の遺構を踏まると、後期後葉に遺構が帰属すると考えられる。

時期 後期後葉

114号配石(第14表 第668、669図 PL.301)

調査年度 平成30年度

位置 90区A-8

経過 7区東側、配石墓群の南西部に位置、113号配石が隣接する。立石群の南北軸の一部を構成している。調査時に立石が認められたことから、「2号配石@」として調査を行った。整理作業時には、「114号配石」と名称を変更した。

規模 30cm四方

形状 立石

構造 2号配石@の南東に近接する。長さ70cmの扁平な山石を立てた立石で、周間に20~30cm程の鉄平石や川原石を配置している。

この配石の東側には54号・55号埋設土器が近接しており、関連性が想定される。

石材等 河原石を用いる。

遺物 加曾利B3式(1、2)が出土しており、後期後葉に本遺構が帰属する。

時期 後期後葉

137号配石(第14表 第668、669図 PL.300)

調査年度 平成30年度

位置 90区A-8

経過 7区東側、配石墓群の南西部に位置する。立石群の南北軸の一部を構成している。調査時に立石が認められたことから、「2号配石@」として調査を行った。整理作業時には、「137号配石」と名称を変更した。

規模 40cm四方

形状 立石

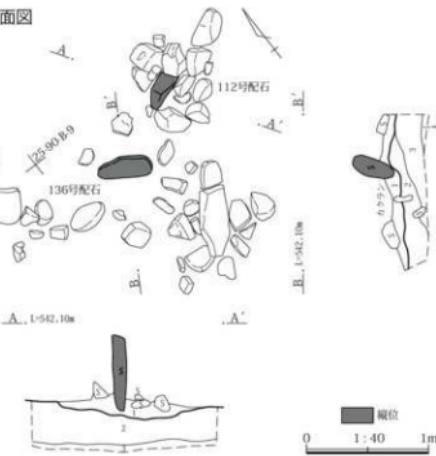
構造 2号配石の南東3mで確認した。北側に49号・55号配石墓が接する。長さ50cmの柱状に欠けた鉄平石を立てた立石で、北西側根元に40cm大の円形状の扁平石を置き、そこから西側に小さな扁平の石2個を立てて並べ、その他の小石を配置している。

石材等 扁平礫

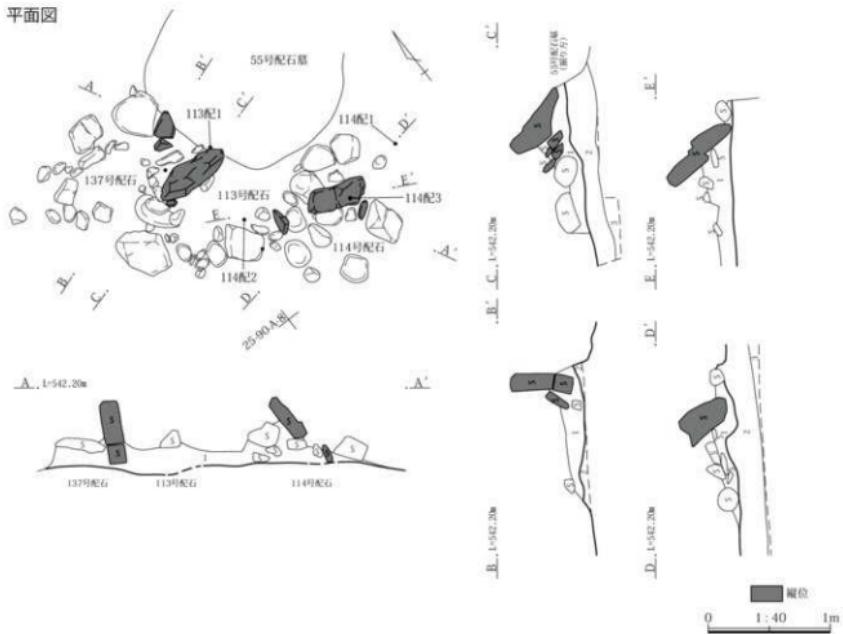
遺物 後期中葉が出土した。

時期 後期中葉

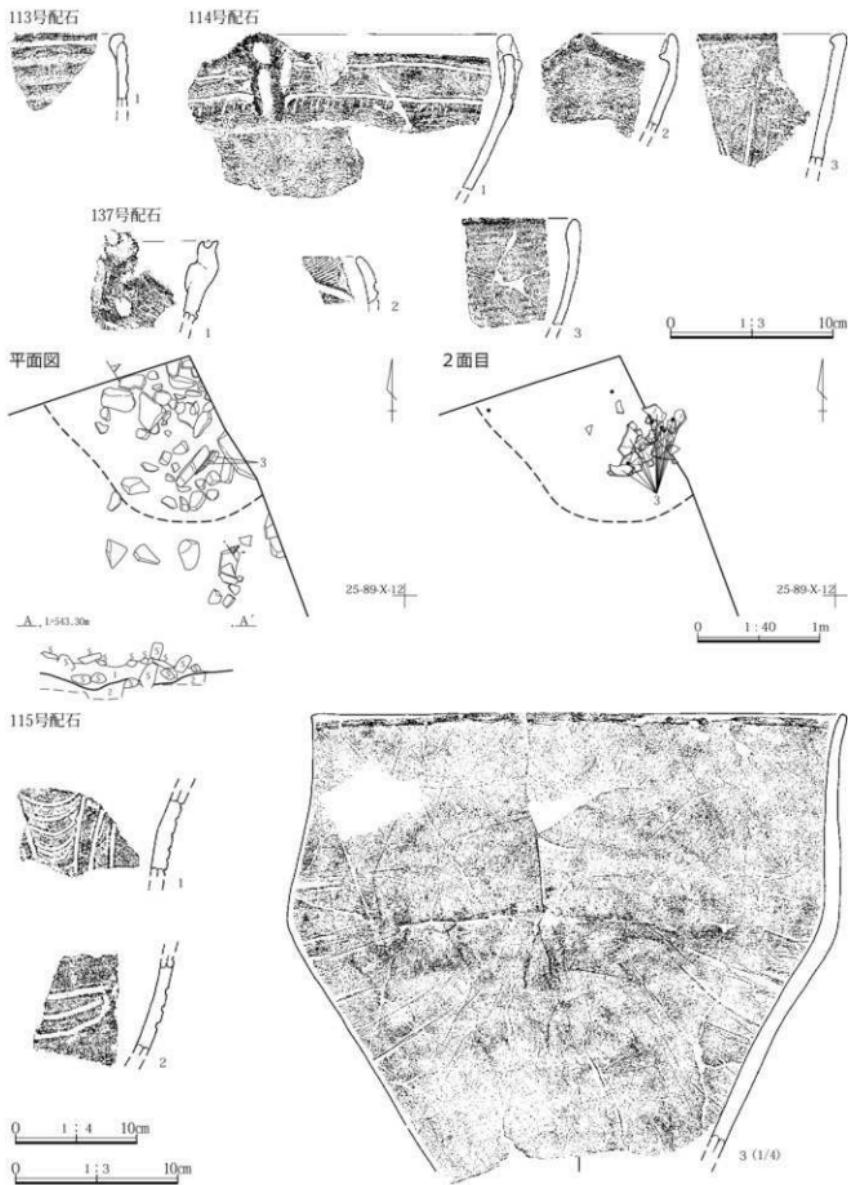
平面図



平面図



第668図 7区112~114・136・137号配石



第669図 7区115号配石・113~115・137号配石出土遺物

115号配石(第14表 第669図 PL.306)

調査年度 平成30年度

位置 89区X-12

経過 7区東側の調査区境に位置し、133号竪穴建物に隣接する。遺構の2/3は調査区外に延びている。角礫のまとまりが確認されたため、「2号配石◎」と認定した。整理作業時には遺構の状況から、「115号配石」とした。

規模 120cm×130cm

形状 不整円形

構造 形状は、2/3が調査区外に延びているため、不明であるが、不整形を呈する。遺構正面は、30~50cm程の円礫、角礫を中心に投げ込まれ、集積された状態で確認された。石には規則性は確認できず、石除去後に下面からは大形の粗製深鉢が出土した(第669図-3)。3は埋設され、押しつぶれた状態ではなく、大形片の状態で、投棄されたと考えられる。遺構の形態、遺物出土状況からは、「集石土坑」とした方が良かろう。

石材等 地山礫や河原石が集積する。

遺物 1・2は天神原式新段階、3は晩期中葉に併行する粗製土器である。

時期 晩期中葉

116号配石(第14表 第670図 PL.307)

調査年度 平成30年度

位置 90区A-10

経過 7区東側、2号配石南東部に位置する。32、45号配石墓の間に位置し、101号配石の下面で、列状の配石が確認されたことから、「2号配石◎」として調査を行った。整理作業は、確認状況から「116号配石」とした。

規模 南北40cm、東西100cm

形状 列状

構造 2号配石メの下で確認した。長さ30~50cm程の扁平な川原石3個を側面に縦位の状態で直線上に並べ、その内側に厚手の鉄平石の平坦面を組み合わせている。確認されたのはわずかだが、配石墓の一部であった可能性がある。

石材等 鉄平石

遺物 なし

時期 遺物はみられないが、周辺遺構の切り合い関係から後期中葉~後葉と比定したい。

117号配石(第14表 第670図 PL.307)

調査年度 平成31年度

位置 90区A-10

経過 7区東側、配石墓群の東側に位置する。33号配石墓と42号配石墓の間に位置し、両配石墓の下面より出土した。平成31年度調査で、「2号配石◎」として調査を行い、整理作業時には「117号配石」として扱った。

規模 120cm×100cm

形状 方形

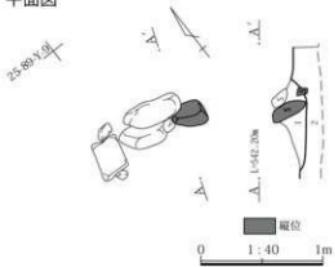
構造 30cm程の鉄平石を方形に配する。33号配石と42号配石の下面より、両配石墓に挟まれた状態で確認されていることから、全体像は不明である。配石墓群の特徴として、2層の褐色砂質土はこの周辺に散見されるもので、配石墓群の多くはこの層を切って構築されていることから、1段階古い遺構と捉えられる。形態としては、配石墓の底面石敷き、あるいは敷石竪穴建物の一部の可能性がある。

石材等 鉄平石を用いる。

遺物 1は高井東式古段階であるが、上面の遺構に帰属する可能性がある。

時期 後期後葉

平面図



120号配石(第14表 第670図 PL.307)

調査年度 平成29、30年度

位置 90区L-2

経過 平成29年度に「3号配石B」と認知され、平成30年度に調査を行った。

規模 865cm×400cm

形状 不整形

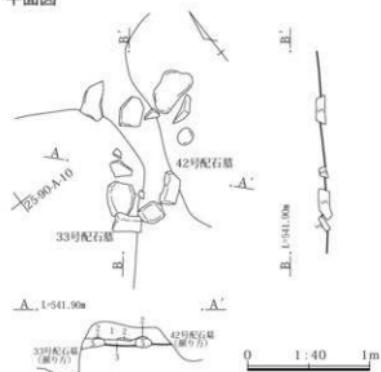
構造 108号竪穴建物の南西で確認した。108号の外周には周堤帯があり、その南側に接して弧を描くように明瞭な配石が5mにわたって延びていた。ここでは30~50cm程の石を2~3列に並べ、その間に小石を充填して幅1m程の帯状に整えている。108号と同様に竪穴建物がある前提で調査を進めたが、配石はこの部分のみで、建物も確認されなかった。出土した土器は晩期後葉のものが多い。

石材等 角礫を主体とする。

遺物 1は佐野II式新段階、2は大洞A式併行、4~6は1、2に併行する粗製土器である。後期末葉の安行2式の紐線文系粗製土器も出土した(3)。そのほかには土器片加工円盤(9~12)や土玉(8)が出土した。

時期 晩期後葉

平面図

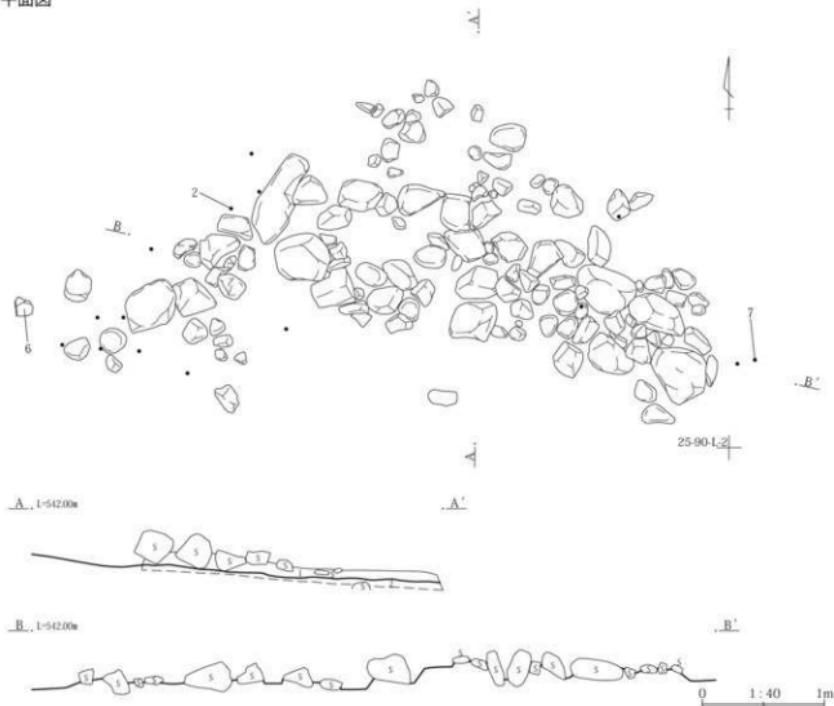


117号配石

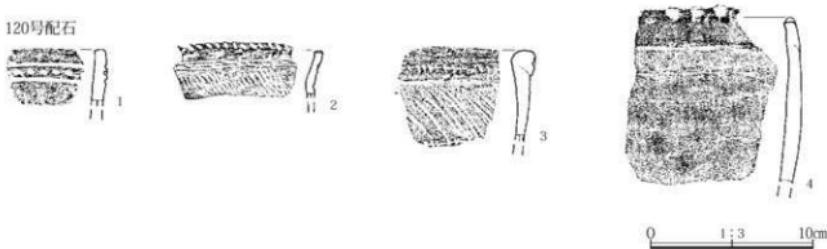


第670図 7区116・117号配石

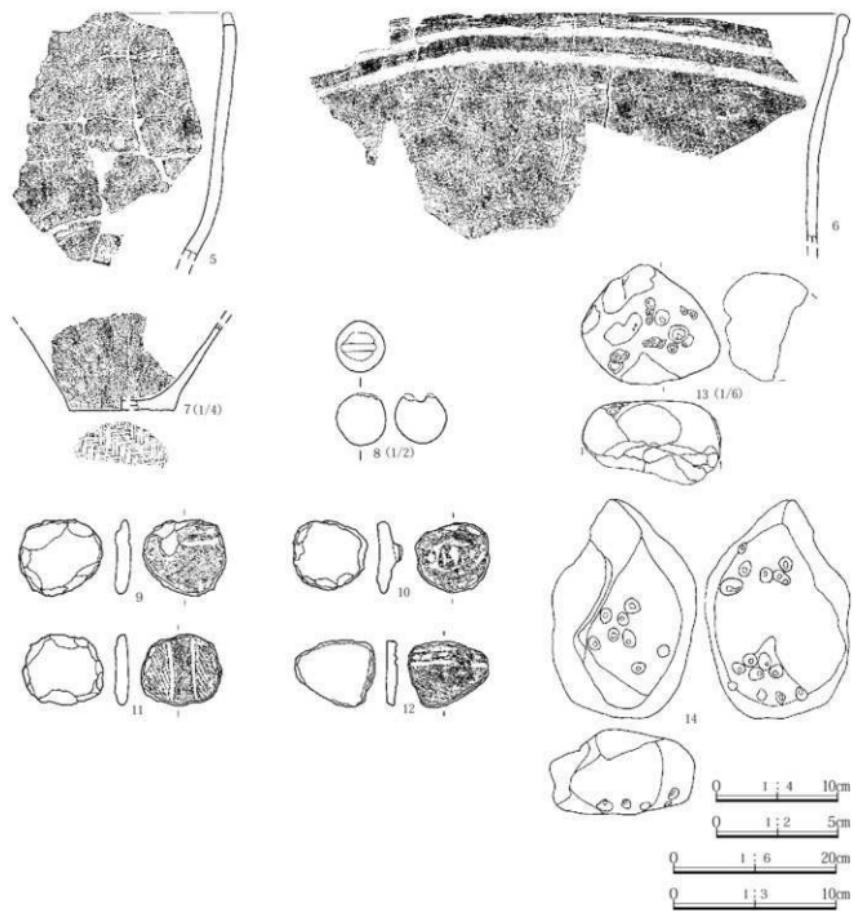
平面図



120号配石



第671図 7区120号配石・120号配石出土遺物(1)



第672図 7区120号配石出土遺物(2)

121号配石(第14表 第673~675図 PL.308)

調査年度 平成29、30年度

位置 90区K- 6

経過 7区西側、108号竪穴建物の東側に隣接する。平成29年度に「3号配石F」と認知され、平成30年度に調査を行った。整理作業時には「121号配石」として扱った。

規模 約400cm×380cm

形状 楕円形

構造 108号竪穴建物の北側で確認した。南北3m、東西1.5mの楕円形状の範囲に長さ30~50cm程の鉄平石や川原石を並べるように集積し、その中央から西側に長さ2mにわたって列状に石を配している。全体の軸は北からかなり東に振れており、2号配石の北+38度に近い。当初確認された石のうち、楕円形状の範囲の長軸北端に長さ50cmの長方形を呈する厚手の鉄平石の下から、ほぼ完存状態の大きな岩版が出土した。岩版は鉄平石の角で押し潰されて欠けた状態で確認されており、一部を失っている。上面の石を外し、岩版と同じ面の石だけを残してみると、長さ20~30cmの円礫を中心とする7石が直径1m程の円形に配置され、岩版はその内側の長軸北側に置いてあったことが判明した。しかし、この配石下に明瞭な掘り方等は確認できなかった。

石材等 河原石(円礫)を主体として用いる。

遺物 1~6は、佐野Ⅱ式中段階、7は中屋2式、9、10は大洞C2式、12、13は天神原式新段階である。21は岩板である。

時期 晩期中葉(佐野Ⅱ式中段階)

122号配石(第14表 第675図 PL.309)

調査年度 平成30年度

位置 90区M- 6

経過 7区西側に位置し、107号竪穴建物の北側に隣接する。平成30年度において、U字状の石の配列が認められることから、「3号配石G」として調査した。

規模 約400cm×380cm

形状 U字状

構造 107号竪穴建物の北側で確認した。107号建物の出入り口と想定する位置にあり、2m四方の範囲に南西側に開いたU字状に石を配置した形状と判断した。開く南西側を上にして見ると、左半分は20~40cmの棒状あるいは長方形の石を長軸を揃えて1列で並べ、右半分はそれ

よりやや大きな石を2列にして長軸を揃えて並べている。また、左半分の内側には中央付近に10cmに満たない小さな丸石3個と10cm前後の楕円形の丸石3個が並べた状態で置いてあり、右半分の中央部配石の間に1個、左右が合わさる部分にも10~15cmの楕円形の丸石3個が確認されている。

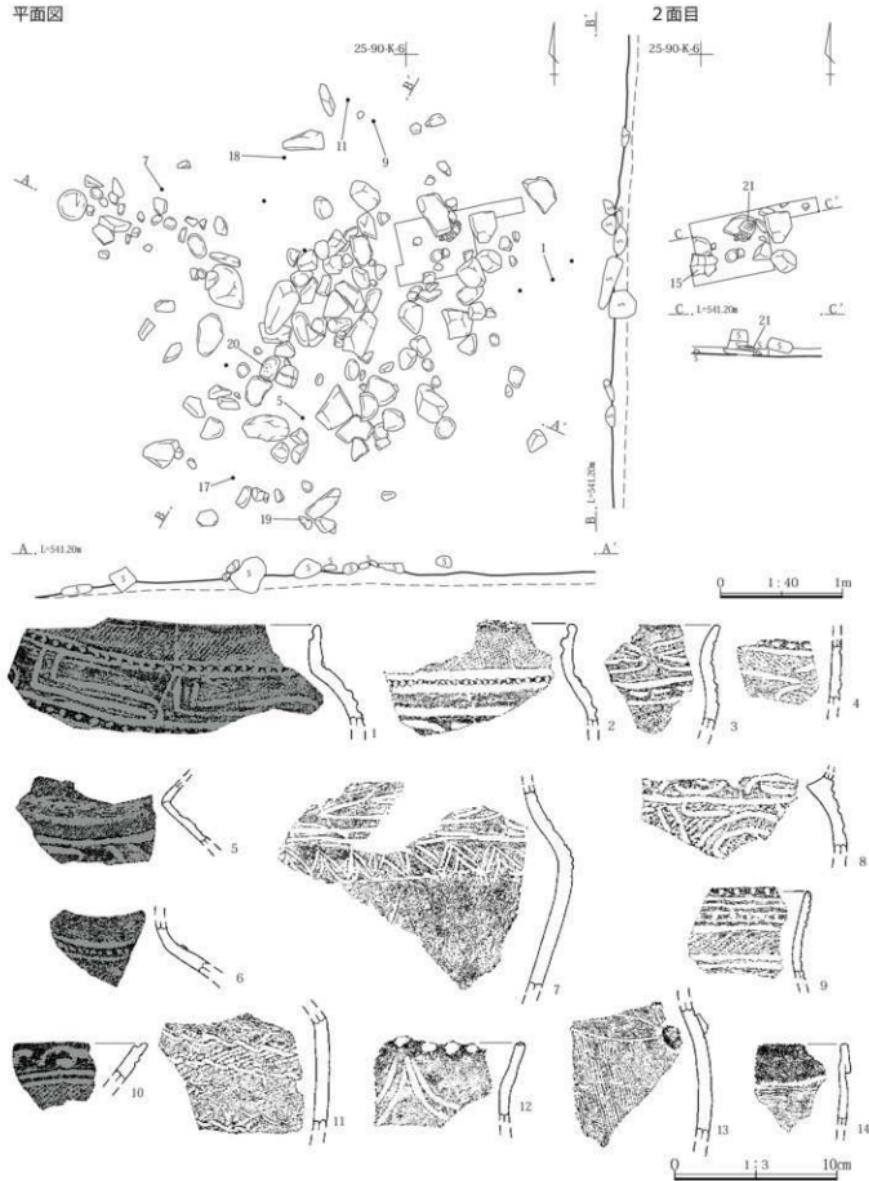
この配石は、確認当初から107号竪穴建物の周堤に伴う配石施設と認識しているが、U字状の形状が一連のものとして整っており、相似形とはならない点も考慮して、ここでは単独の配石としても扱っておくことにした。なお、その後の調査でこの配石の下から58号配石が見つかったが、両者に共有する石はない。

石材等 河原石(円礫)を主体とする。

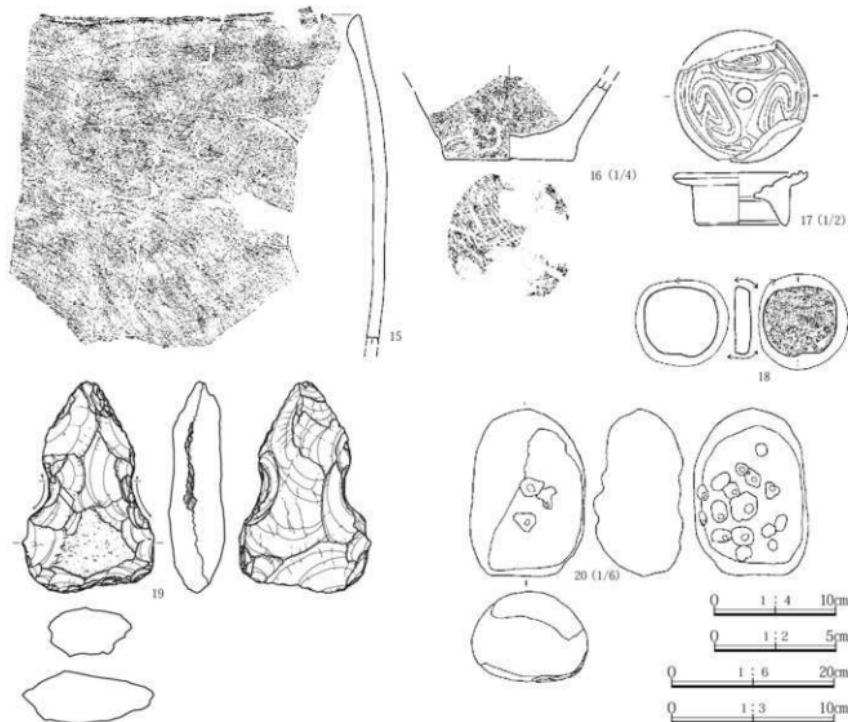
遺物 1は天神原式新段階、2は瘤付土器第3段階である。

時期 出土遺物や周辺遺構との関係から、晩期中葉に比定されたい。

平面図



第673図 7区121号配石・121号配石出土遺物(1)



第674図 7区121号配石出土遺物(2)

123号配石(第14表 第676図)

調査年度 平成30年度

位置 90区M-3

経過 7区西側に位置する。被熱した礫が散在したことから、「3号配石H」として調査を行った。

規模 約400cm×380cm

形状

構造 108号竪穴建物の西側で確認した。その後に確認される4号列石の上面にあり、この時期はまだ周辺に土器や礫がほとんど無い状態であったため、かなり目立つ配石だった。4面の52号竪穴建物によって大部分を壊されているため、全体像は把握できない。50cm四方の大きな鉄平石の周囲に20~30cm程の石5個が取り巻いており、その周囲にもいくつかの被熱した石が散在していた。

石の下を断ち割ってみると、25cm程下面に多量の土器と礫があったが、これが4号列石の上面であった。なお、確認面では土器の出土がほとんど無いため、配石の時期は確定できない。

石材等 河原石(円礫)を主体とする。

遺物 後期後葉の小片が出土している。

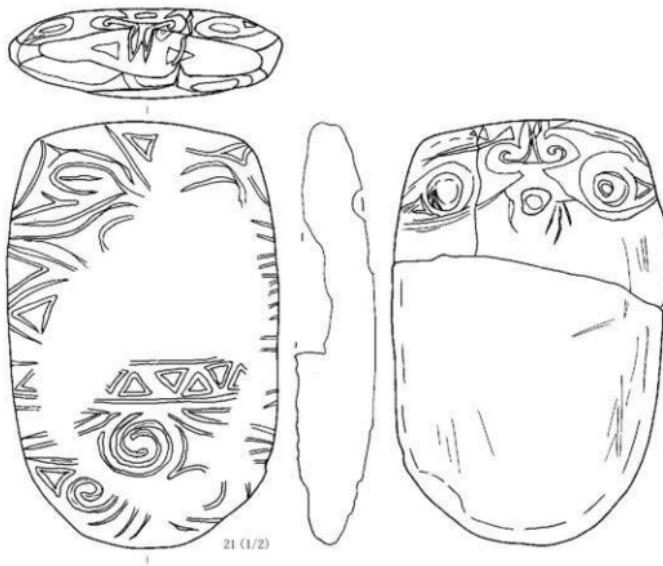
時期 後期後葉

124号配石(第14表 第676図)

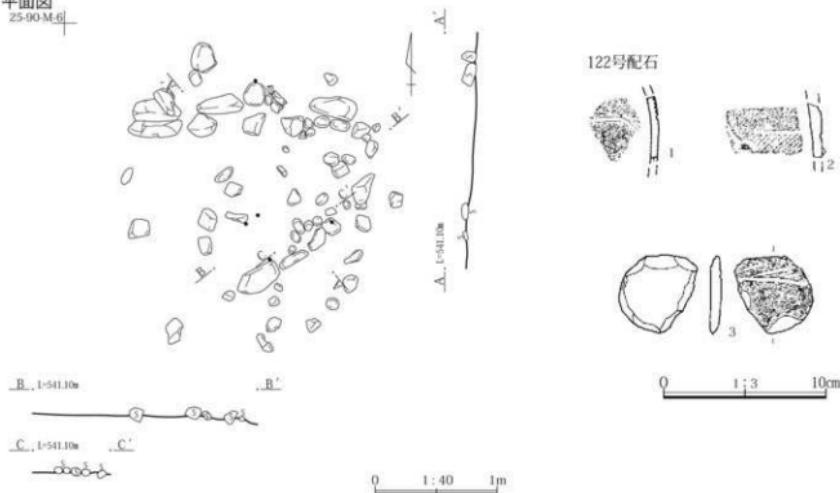
調査年度 平成30年度

位置 90区M-6

経過 7区西側に位置し、121号竪穴建物と重複している。平成30年度に礫の密集が認められたことから、「3号配石N」として調査を行った。整理作業時には「124号配石」に変更した。

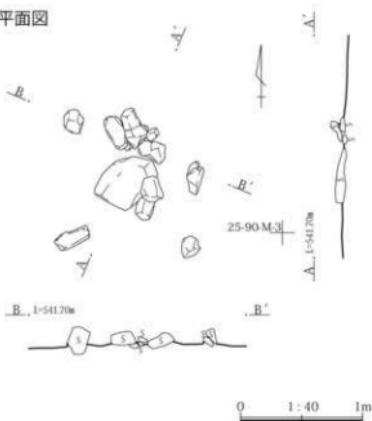


平面図
25-90M-6



第675図 7区121号配石出土遺物(3)・122号配石・122号配石出土遺物

平面図



重複 121号竪穴建物と重複、竪穴建物よりも新しい。

規模 約137cm×98cm 深さ32cm

形状 圓丸方形状

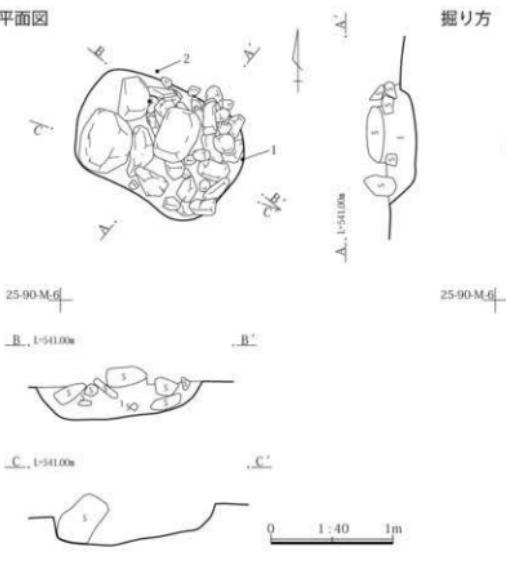
構造 圓丸方形状に10~50cmの礫を集積する。下部には土坑状の掘り込みを有する。位置は107号竪穴建物の想定される出入り口部の北側延長線上にあたる。50cm程の厚手の大石2個を中心にならべて上面を覆っており、掘り方内部に石をほとんど含まないことがから、本配石は墓坑の可能性が高いと思われる。

石材等 河原石や鉄平石を主体とする。

遺物 1は安行3a式、2は直径1.6cmの耳飾りである。

時期 晩期初頭

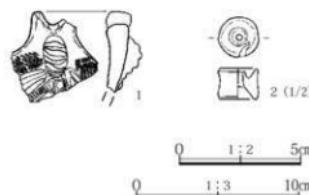
平面図



掘り方



124号配石



第676図 7区123・124号配石・124号配石出土遺物

第2章 発見された遺構と遺物

127号配石(第14表 第677図、PL.311)

調査年度 平成30年度

位置 89区Y-5

経過 7区東側、配石墓群の西側で確認した。450cm範囲に礫が密集しており、下部からは配石墓が確認された。調査当初は、上部配石を「4号配石I」、下部の配石墓を「4号配石S」、「4号配石T」、「4号配石R」とした。整理作業時には、「4号配石I」を「127号配石」、「4号配石S」を70号配石墓、「4号配石T」を71号配石墓、「4号配石R」を69号配石墓とした。

規模 約450cm×360cm

形状 不整円形

構造 約450cm×360cmの範囲に10~50cmの河原石と地山礫を集積する。70号配石墓の上面は、50~70cmの礫の中に10~20cmの礫を多量に集積する一方で、69号配石墓、71号配石墓上面には、50~70cmの礫を多用する特徴がある。4号配石T上面の北側には、50cm程の河原石を面を描えて、敷設する箇所がみられることから、祭壇状の施設の可能性もあり得る。石の中には、台石などの石製品の転用も多くみられた。遺物は、後期後葉から晩期中葉まで出土しており、晩期中葉まで遺構更新を行っていたと想定される。

石材等 地山礫と河原石を用いる。

遺物 1~3は、高井東式新段階、5は瘤付土器の注口土器、6は天神原式古段階、7は佐野I b~II式古段階である。8~10は、佐野式系の粗製土器である。

時期 後期後葉から晩期中葉

128号配石(第14表 第677図、PL.311)

調査年度 平成30、31年度

位置 89区X・Y-5・6

経過 7区東側、配石墓群の西側に位置する。平成30年度に認知し、平成31年度までに「4号配石J」として調査を行った。整理作業時には、128号配石として調査を行った。

規模 上部配石：約400cm×200cm

下部土坑：184cm×80cm

形状 楕円形

構造 約400cm×200cmの範囲に50cm程の礫が土坑部を中心にして東西へ列状に延びる。土坑上面の石は、B断面をみると、陥没部に埋没した状態で石が確認されていること

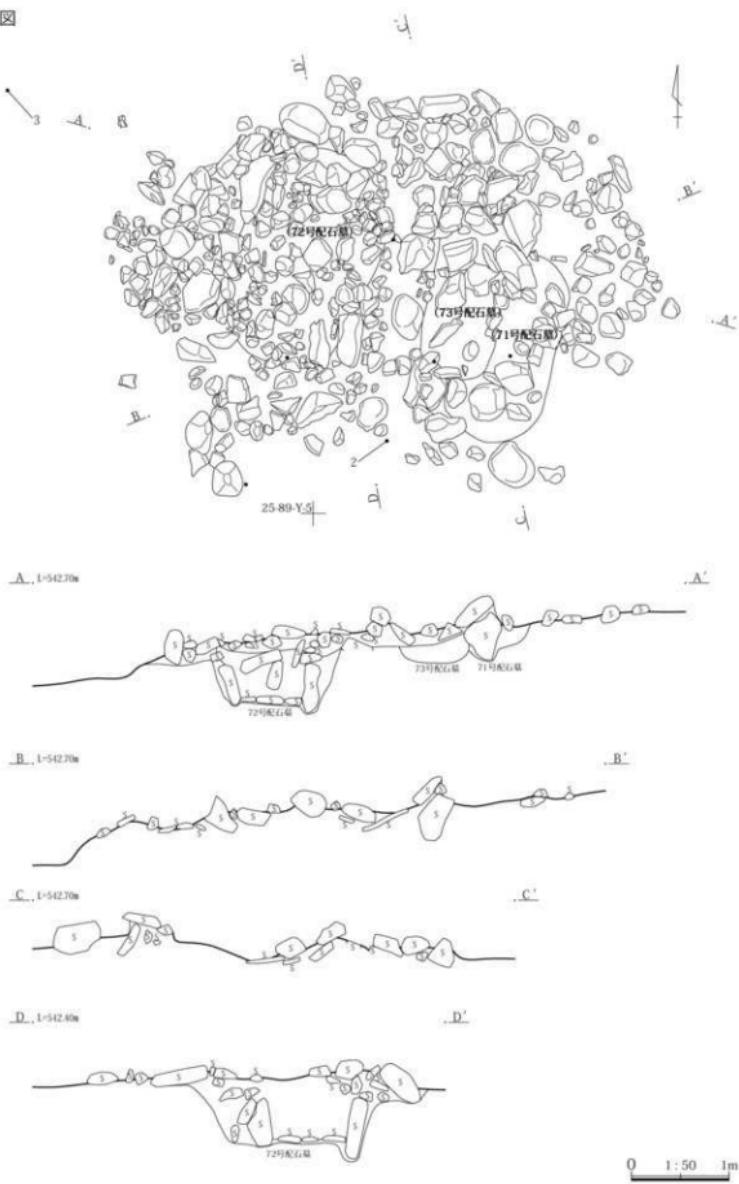
から、当初は空間が空いており、上面に石を敷設したと考えられ、両者は時期差はないともみられる。2面目では、土坑北端部に中屋2式の浅鉢が逆位の状態で出土している。さらに下面にはC断面をみると、礫の面を描えて、敷設しているように捉えられる。これらの様相から、土器被り葬の可能性もあり得る。

石材等 河原石と鉄平石を用いる。

遺物 1は中屋2式、2は佐野I a式である。

時期 晩期前葉

平面图



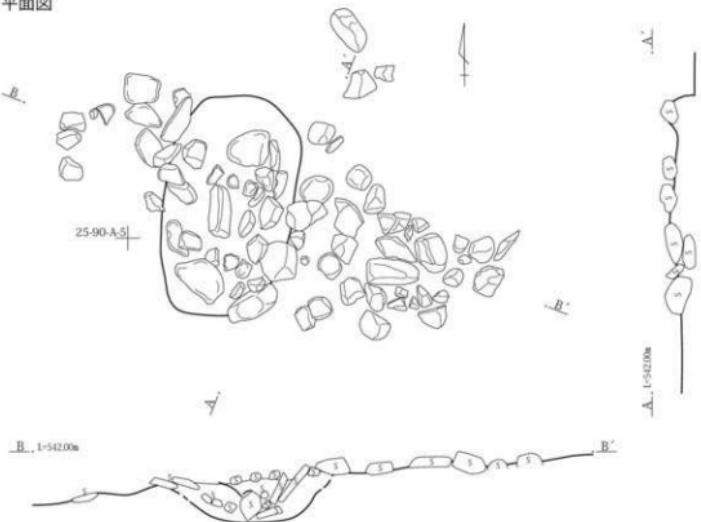
第677圖 7區127號配石

127号配石

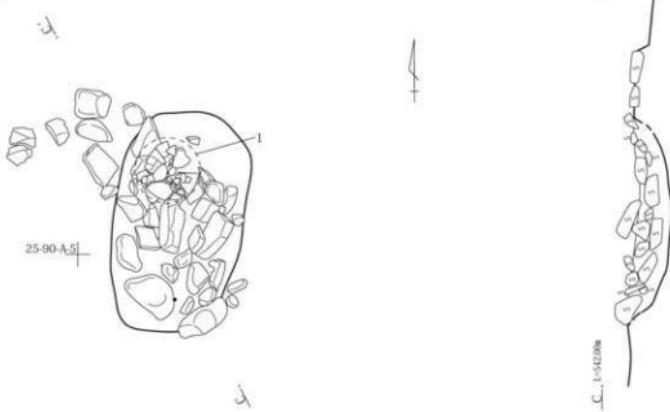


第678図 7区127号配石出土遺物

平面図

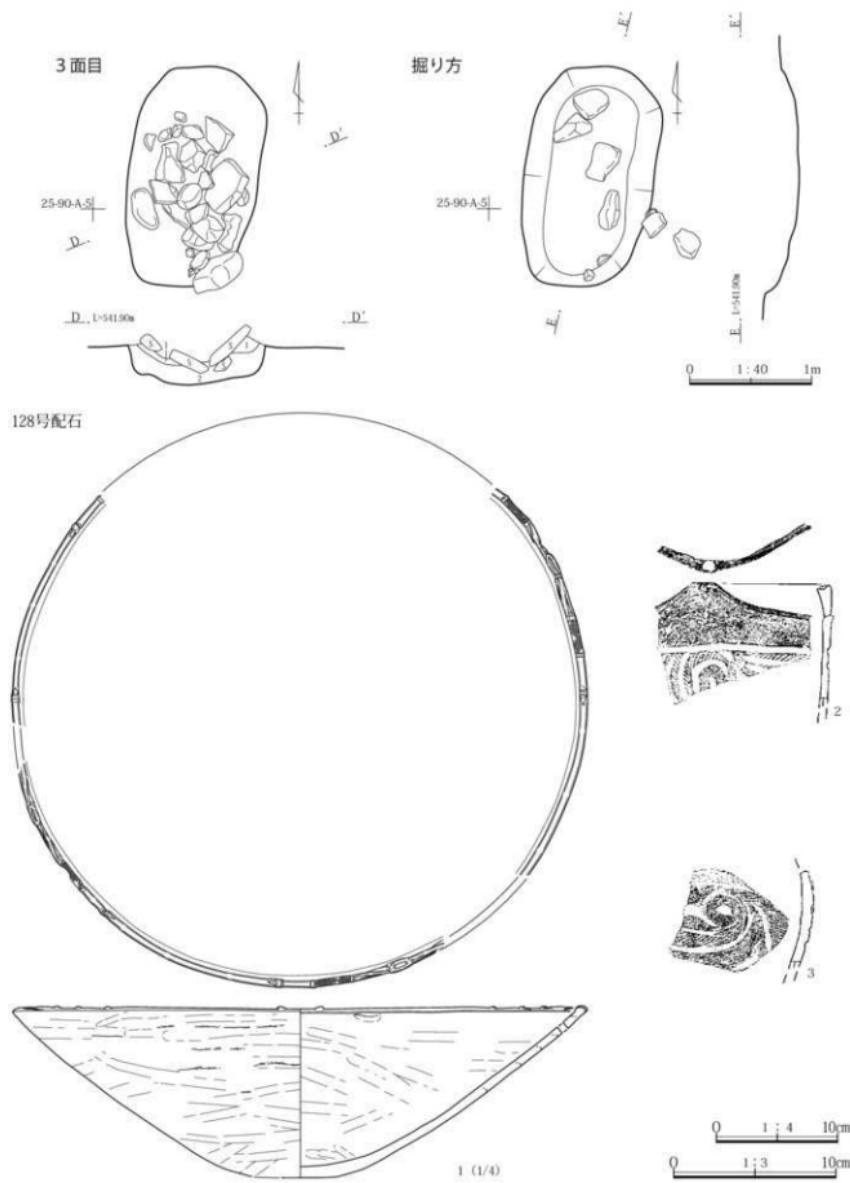


2面図



0 1:40 1m

第679図 7区128号配石(1)



第680図 7区128号配石(2)・128号配石出土遺物

129号配石(第14表 第681図、PL.312)

調査年度 平成30年度

位置 90区 C- 5・6

経過 7区東側、配石墓群の南側に位置する。平成29年度に「4号配石A」とした区域の下面に石組みを確認したことから、「4号配石M」として調査を行った。整理作業時には、「129号配石」として扱った。

規模 200cm×150cm

形状 長方形

構造 200cm×150cm程の範囲に50cm程の扁平礫を敷設する。石は横位に据えられているものがほとんどである。中央部には、石はみられないが、平成29年度には、礫がみられた。周囲には配石墓などの遺構は構築されておらず、遺構の状況などから、墓の構築に用いる石の仮置き場として利用された可能性もある。

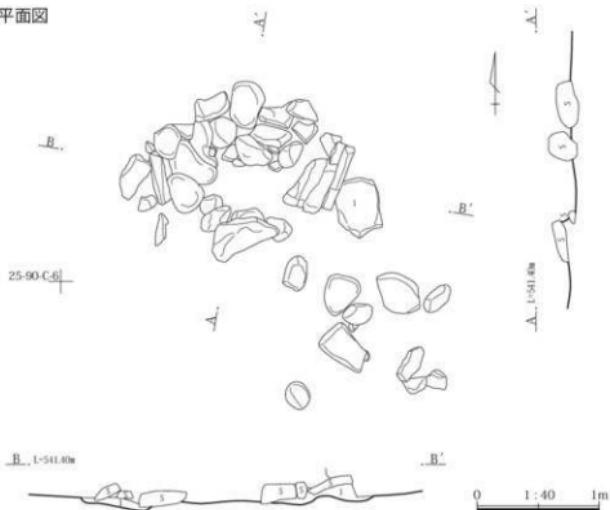
石材等 扁平礫を多用する。

遺物 1は佐野I a式である。

時期 晩期前葉



平面図



第681図 7区129号配石・129号配石出土遺物

第2章 発見された遺構と遺物

130号配石(第14表 第682図、PL.312)

調査年度 平成31年度

位置 89区Y-7

経過 7区東側、配石墓群南側に位置し、50号配石墓に隣接する。調査時に巨礫の集中が認められたことから、「4号配石V」として調査を行った。整理作業時には、「130号配石」として扱った。

規模 120cm×100cm

形状 不整形

重複 南側を50号配石墓によって切られる。

構造 120cm×100cmの範囲に30~50cmの角礫、河原石の集積された範囲がみられた。横位に据えられた石が多いが、配列は不規則である。多孔石などの石器からの転用材もみられる。下部には遺構ではなく、石の高さも抑えられていないことから、配石墓の構築材の一時的な集積場所と想定される。

石材等 角礫や河原石を主体とする。

遺物 なし

時期 後期中葉～後葉

131号配石(第14表 第682図、PL.313)

調査年度 平成31年度

位置 89区Y・Z-5

経過 7区東側、配石墓群南側に位置し、50号配石墓に隣接する。調査時に列状の配石がみられたことから、「4号配石Z」として調査を行った。整理作業時には、「131号配石」として扱った。

規模 約230cm×20cm

形状 列状

重複 72号配石墓によって南西部を切られる。

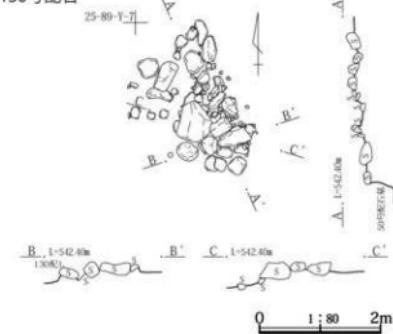
構造 230cmに渡って20cm程の円礫を横位に列状に配石する。配石の高さは、既知の配石墓と同じく、同じ高さに抑えられており、配石墓の側壁の基石と考えられる。

石材等 河原石(円礫)

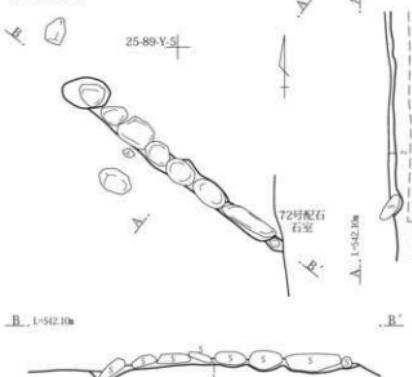
遺物 1は佐野I-a式～I-b式の土器である。周辺でも当該期の遺物は出土しており、周辺の配石墓の時期を考えれば、後期中葉から後葉に構築され、晚期前葉に人為的な行為が働いたと考えられる。

時期 後期中葉～後葉

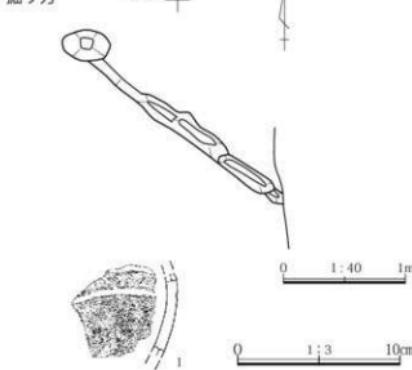
130号配石



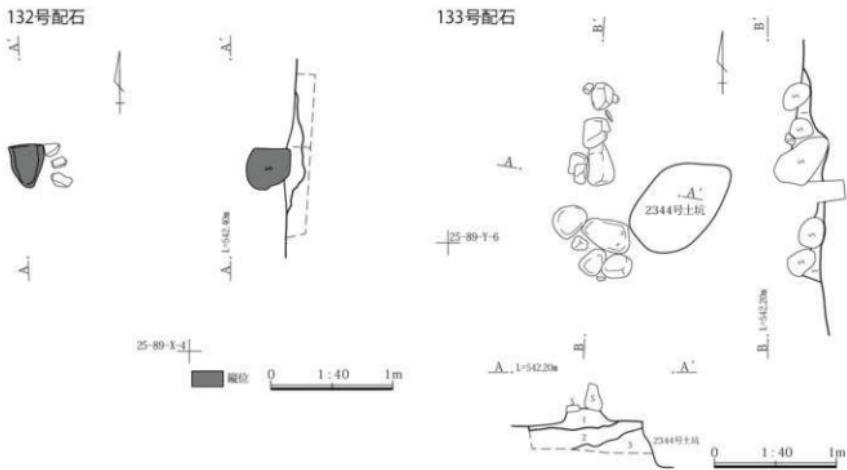
131号配石



掘り方



第682図 7区130・131号配石・131号配石出土遺物



第683圖 7區132・133號配石

132号配石(第14表 第683図、PL.313)

調査年度 平成31年度

位置 89区X-4

経過 7区東側、配石墓群南側に位置し、72号配石墓に隣接する。調査時に単独の立石がみられたことから、「4号配石イ」として調査を行った。整理作業時には、「132号配石」として扱った。

規模 30cm前後

形状 立石

構造 30cm程の河原石を縦位に配し、周囲に10cm程の礫が散在する。掘り込みは、石を配置する際の掘り込みは確認できるが、掘り込みの平面形態は不明である。周囲には、132号配石以外に周囲には、礫は散在しておらず、72号配石墓に切られているため、全容は把握できないが、土坑墓の側石の可能性がある。

石材等 河原石

遺物 なし

時期 周辺の遺構などから後期前葉に比定される。

133号配石(第14表 第683図、PL.313)

調査年度 平成31年度

位置 89区Y-6

経過 7区東側、配石墓群南側に位置する。調査時に石の集積がみられたことから、「4号配石工」として調査を

行った。整理作業時には、「133号配石」として扱った。

規模 約160cm×70cm

形状 列状

構造 2344号土坑の西側において、列状の配石が確認された。石は、30～50cm程の河原石を用い、北側は縦位の石が、南側は横位の石がみられるなど配列は不規則である。配石墓の一部であった可能性も考えられる。

石材等 河原石を主体とする。

遺物 なし。

時期 遺物は出土していないが、周辺の遺構から後期中葉から後葉に比定される。

134号配石(第14表 第684図)

調査年度 平成30年度

位置 90区D-12

経過 7区東側、配石墓群北側に位置する。調査時に単独の立石がみられたことから、「2号配石モ」として調査を行った。整理作業時には、「134号配石」として扱った。

規模 約(110cm)×70cm

形状 椭圆形

構造 7区2号配石群の北西側、平安時代の竪穴建物群に削平された一画で確認した。長さ35cm程の柱状の石を立てた立石で、平安時代の削平を免れたが、周囲の石等は認められなかった。掘り方調査では、長さ100cm、幅

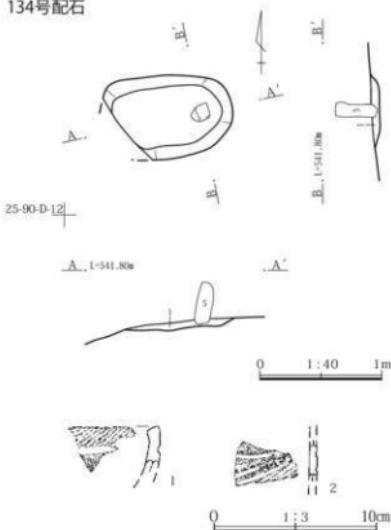
70cm程の梢円形の浅い掘り方を確認したが、石等は確認されていない。

石材等 角柱状の地山礫

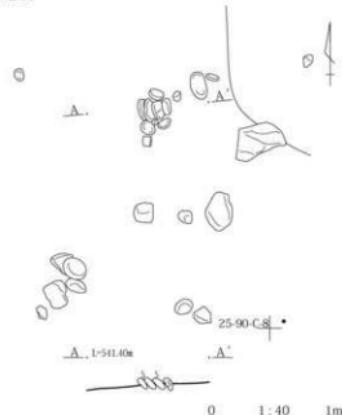
遺物 1、2は高井東式古段階

時期 後期後葉以降

134号配石



135号配石



第684図 7区134・135号配石・134号配石出土遺物

135号配石(第14表 第684図)

調査年度 平成30年度

位置 90区D-12

経過 7区東側、配石墓群南側に位置し、72号配石墓に隣接する。調査時に10cm程の円礫の集積がみられたことから、「2号配石G」として調査を行った。整理作業時には、「135号配石」として扱った。

規模 約400cm×380cm

形状 不整形

構造 直径10cm、長さ12~18cm、厚さ2~3cmの扁平な川原石4枚が並べた状態で置かれ、縁辺に巡るように円礫を据えていた。周囲は類似した石が散在しており、本

来はもう少し石が集積されていた可能性がある。

こうした石は、配石墓の底面に施される石敷きやその根詰めにも必ず使うもので、それ用に備蓄されていたものであろう。これより小さいが、1号配石や100号配石でも類似した河原石を捕えた状態で確認されている。

石材等 円礫

遺物 なし

時期 晩期か

第7項 集石

概要

集石遺構は、配石遺構のような石の配列に規則性を有するもの、意図を持って、配列したものではなく、石を規則性無く一箇所に集積したもので、配置や形状に意図が認めがたいものを集石遺構とした。

集石遺構の立地

集石遺構は、配石や礫が散在する場所で確認されていない。ある特定箇所に集中する等の立地条件には、差異は認められないが、6区で確認された27号集石以外は7区に限られる。7区における立地は、丘陵部裾や沢部縁辺など様々だが、居住域などが形成される緩傾斜地ではなく、居住域とは離れた縁辺部や配石墓群、水場遺構の上面に構築されることが多い。

集石遺構の性格

集石遺構から出土する遺物や石については、土地利用の為に無作為に上面の礫や土器片を集積、廃棄するものと祖先崇拝の追憶、儀礼行為として、特定遺構の上面に丸石などの特殊な石器、石製品、注口土器の注口部、縄文土器の把手部など縄文土器の特定部位を集積する行為を行なうものがみられた。両者の場合でも、構築材となる石は大きさが様々で、60cmほどの石が多量にみられる中に小礫が混じる、小礫のみ集積するなど、各集石によって、構築材は様々である。

前者は20、21、27、33、35、40~47号集石、後者は30、31、36~38号集石が該当する。集石遺構の性格として、前者が主にみられ、土地利用または不要物の廃棄のため、モノを集積した結果、形成されたと考えられる。また前者には、下部に土坑状の掘り込みを持ち、石などを投げ込むいわゆる「集石土坑」と呼ばれる部類もみられる。本遺跡では、115号配石が該当する。

後者は、儀礼行為と関わっており、30号集石は9号水場遺構、31号集石は6号水場遺構上面に構築され、下部遺構との時間差はある中、特異な遺物などが出土している。配石墓群の配石墓上面にみられる上部配石においても下部遺構との時間差はあるものの、継続して儀礼行為などを行う性格的に一致する。ある特定の遺物を集積する意味では、配石と呼ぶべき部類に類するが、構築材である石などに規則性がないため、集石遺構として

扱った。

時期と規模

石川原遺跡では、20基確認した。時期別には、後期が7基、晩期が11基で、後期中葉以降に構築され始める。最も多く構築されるのは、晩期中葉である。時期的に規模が増大する、特定の形状を用いる等の傾向は見られない。規模は、90cmほどのものから1100cmのものまで大きさは様々である。高さは、面的に集積した以降がほとんどであるが、31号集石のように100cm程の塚状に積み重なったものもみられた。

以上のように、石川原遺跡で確認された集石の性格や特徴を述べた。各遺構の特徴については後述する。

27号集石(第15表 第586図 PL.314)

調査年度 平成30年度

位置 89区W-6

経過 6区東側の緩傾斜地に位置する。102号竪穴建物の確認面で、上面に集石が確認されたことから、27号集石と呼称して調査を行った。

規模 90×70×10

形状 楕円形

重複 102号竪穴建物よりも新しい。

構造 本集石は長軸90cm、短軸70cmの範囲に30~40cm大の礫を土坑状の掘り込みに集石した状態で確認された。石には規則性ではなく、不規則に集積されている。石は扁平礫が多く、周囲に縄文時代後期の敷石竪穴建物もみられることから、竪穴建物などから集石したと想定される。

石材等 扁平礫を主体とする。

遺物 なし。

時期 下面には、後期初頭の102号竪穴建物が構築されていることから、後期前葉以降に比定される。

30号集石(第15表 第586図 PL.315)

調査年度 平成30年度

位置 90区K・L-11・12

経過 7区の沢部に位置する。9号水場上面に丸石の集中が認められることから、30号集石として調査を行った。

規模 南北300cm×東西約250cm

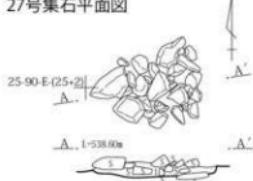
重複 9号水場廃絶後、丸石を故意に集め、構築したと考えられる。



第15表 集石一覧表

No.	調査年度	時期	形状	規模(cm)			造場の重複			備考	調査時 遺構名称	補遺編へ
				長径	短径	深さ	(新)	(古)	(?)			
19	H28	中世以降								2面		
20	H29	古代以降		380	300	16						
21	H29	古代以降		370	340	32						
22	H29	晚期		550	350	30						
23	H29											
24	H30	平安時代以降								7号道に付隨か。		
25	H30											
26	H30											
27	H30	後削後葉		90	70	10						
28	H30	平安時代以降		200	150	32				63号構 平安以降、63建と一体		補遺編へ
29	H30									1面		
30	H30	晚期前葉		370	310	—				9・10号水堀上面か。		
31	H30	後期中葉～後葉		1100	750	?		6号水堀				
32	H30									3-3面		補遺編へ
33	H30	後削後葉		70	55	—						
34	H30	後削後葉		100	60	—						
35	H30	後削後葉		110	65	—				8号列石と一体		
40	H30	晚期中葉									3号配石 I	
41	H30	晚期中葉									3号配石 J	
42	H30	晚期中葉									3号配石 K	
43	H30	晚期中葉		(735)	335	25					3号配石 M	
44	H30	佐野Ⅱ式		670	550	22					4号配石 A	
45	H30	晚期中葉									4号配石 D	
46	H30	晚期中葉									4号配石 E	
47	H30	晚期中葉									4号配石 F	

27号集石平面図



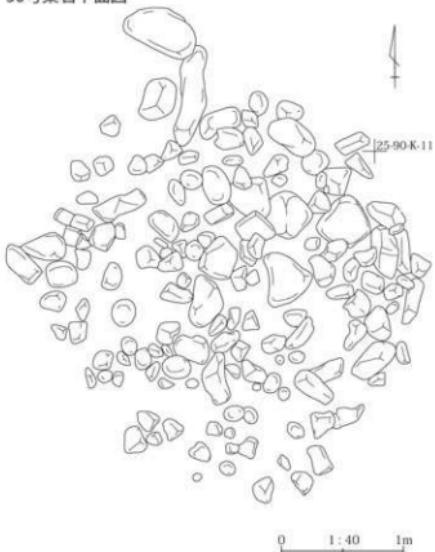
30号集石



30号集石遺物出土状況



30号集石平面図



第686図 7区27・30号集石・30号集石出土遺物

形状 周囲の水場、配石の状況から、方形と想定される。

として調査した。

構造 30~50cmほどの角礫、河原石に混じって、40点以

南北10m×東西約7m

上の丸石が集中して出土した。丸石は、20~30cm程の大きさのものが多い。

重複 6号水場廃絶後、丸石を故意に集め、構築したと考えられる。

石材等 丸石は、河原石を多用する。その他は河原石、地山礫ともにみられるが作為は認められない。

形状 周囲の水場、配石の状況から、円形と想定される。

遺物 丸石や凹み石が多量に認められた。

構造 50~70cmほどの角礫、河原石が最大60cm程堆積す

る中、40点以上の丸石が集中して出土した。丸石は、20

~30cm程の大きさのものが多い。丸石の他に、注口土器

の注口部も多く出土した。

石材等 丸石は、河原石を多用する。その他は河原石、

時期 晩期前葉

地山礫ともにみられるが作為は認められない。

31号集石(第15表 第687~694図 PL.315~316)

遺物 丸石や凹み石が多量に認められた。

調査年度 平成30年度

時期 後期中葉~後葉

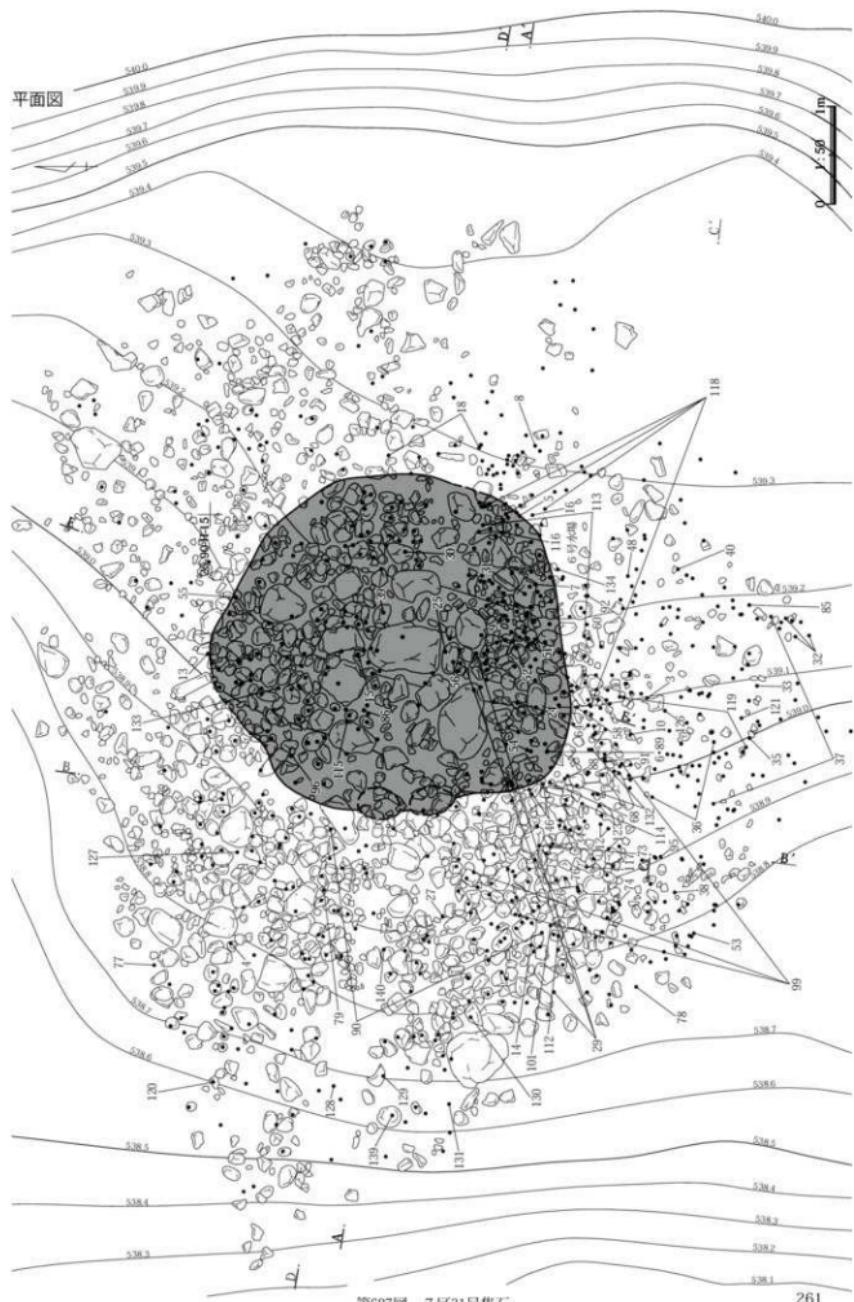
位置 90区K・L-11・12

経過 7区西側の沢縁辺部に位置する。6号水場上面で

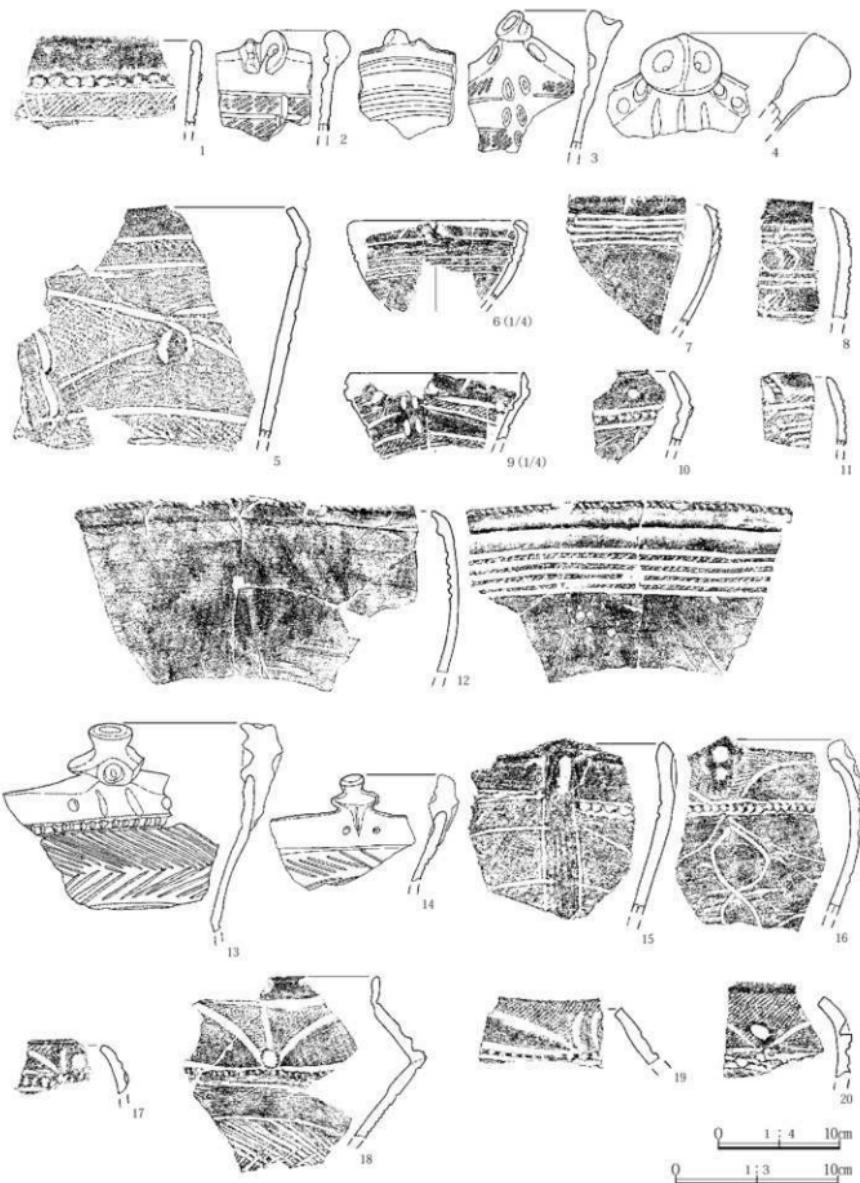
確認した。多量の礫を塚状に密集させており、31号集石

の調査結果によれば、丸石は、20~30cm程の大きさのものが多い。

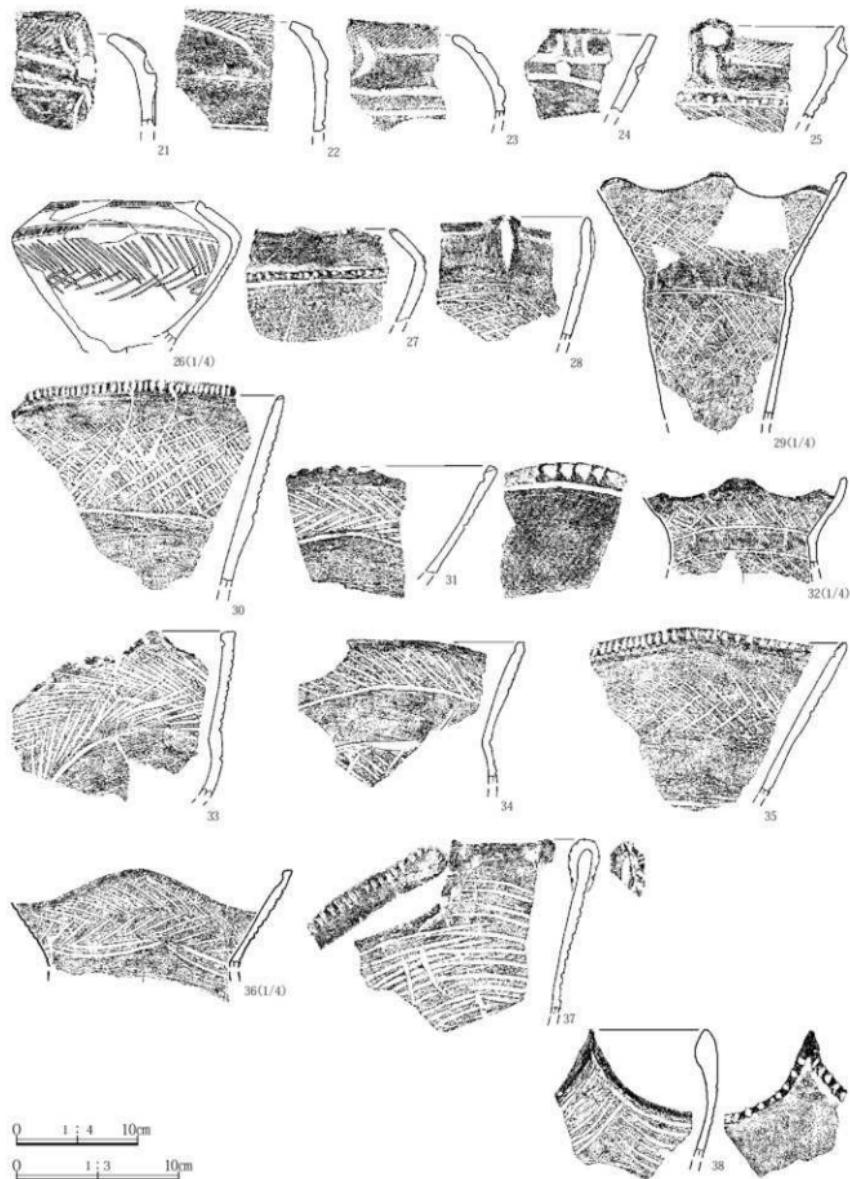
として調査した。



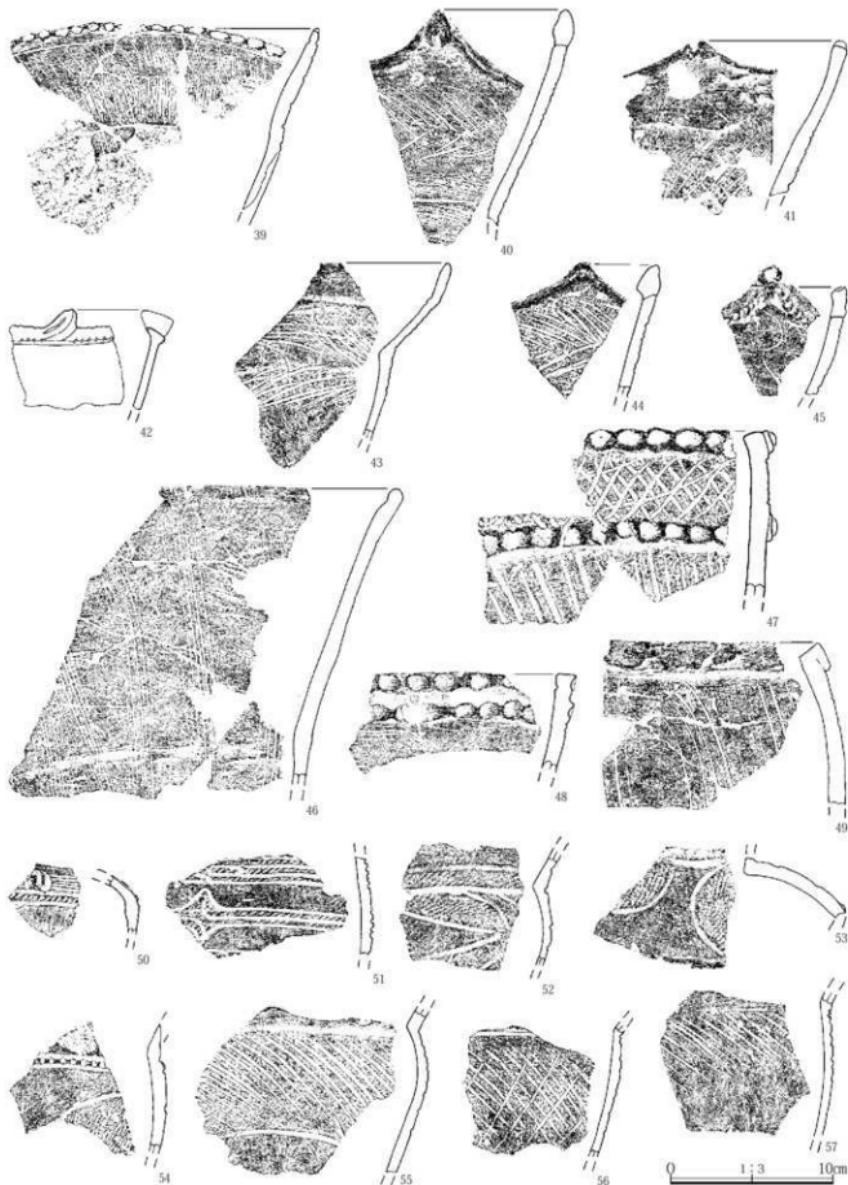
第687図 7区31号集石



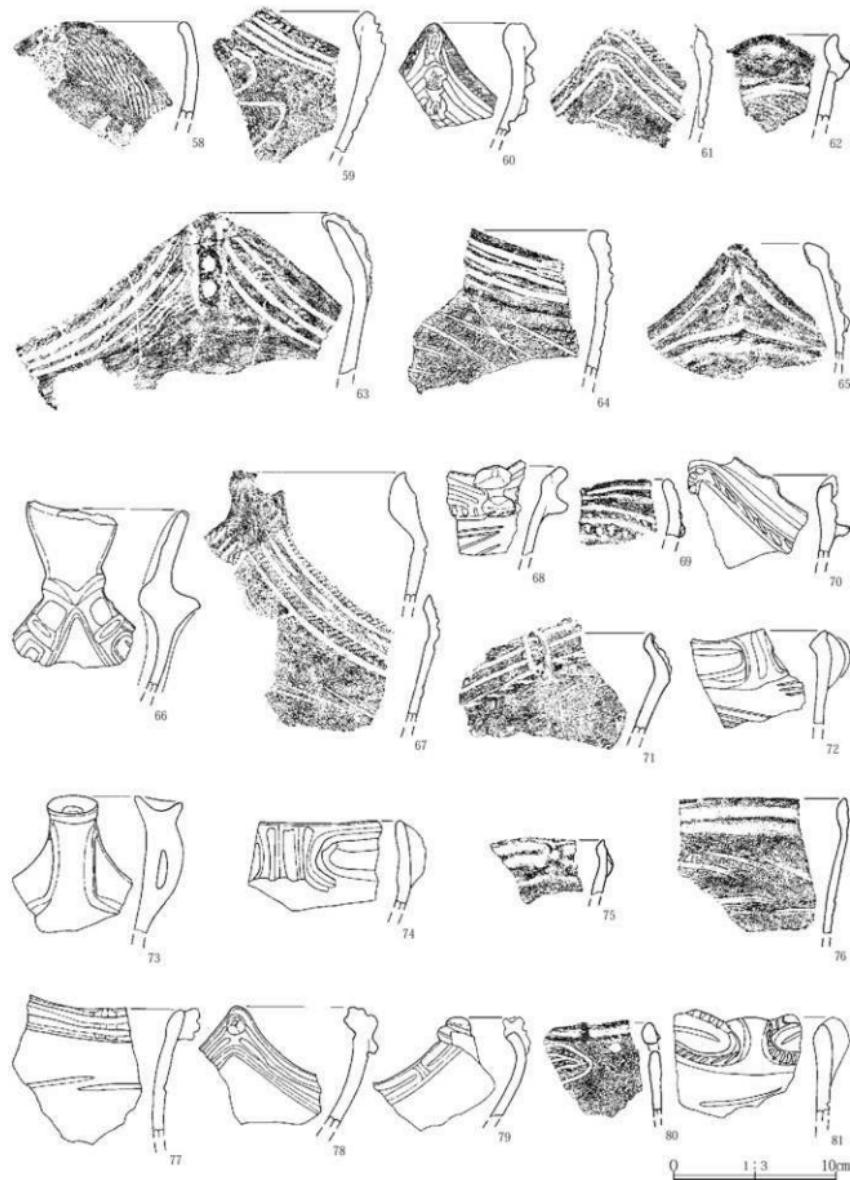
第688図 7区31号集石出土遺物(1)



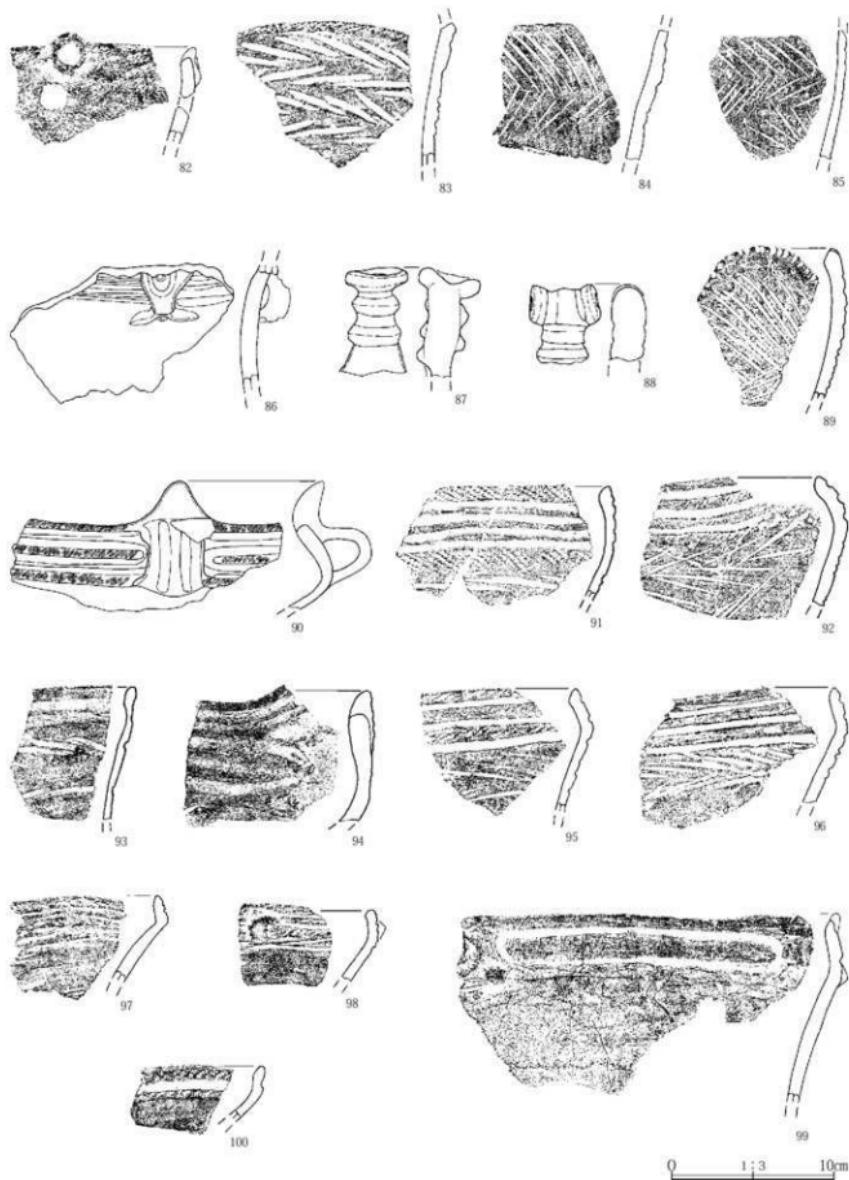
第689図 7区31号集石出土遺物(2)



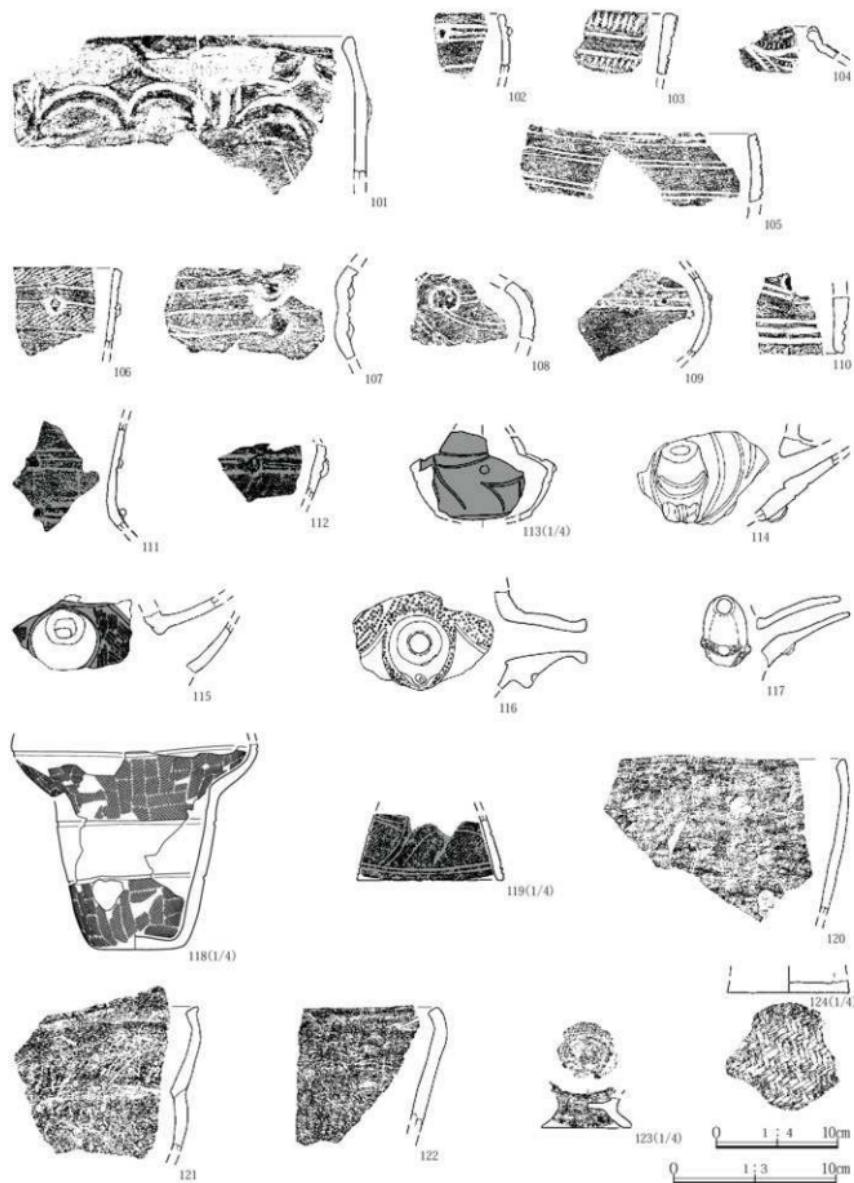
第690図 7区31号集石出土遺物(3)



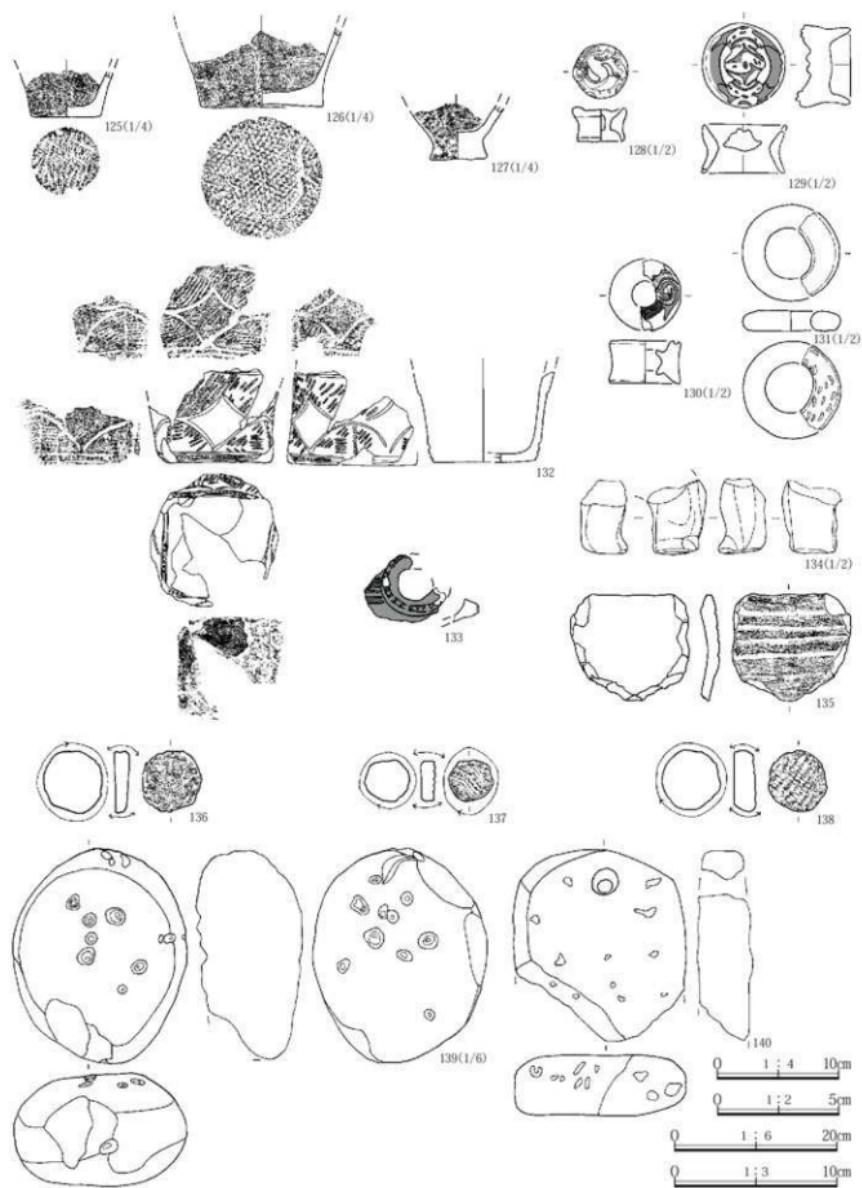
第691図 7区31号集石出土遺物(4)



第692図 7区31号集石出土遺物(5)



第693図 7区31号集石出土遺物(6)



第694図 7区31号集石出土遺物(7)

33号集石(第15表 第695図)

調査年度 平成30年度

位置 89区X-2

経過 7区西側 配石墓群の西側に位置する。70cmに渡って、石の集積が確認できしたことから、33号集石として調査を行った。

規模 長軸70cm×短軸55cm

形状 不整形。

構造 20cm程の角礫を長軸70cm、短軸50cmの規模で形成されている。石の配置は不規則で集積された状態で確認された。近接して34、35号集石が確認されており、関連性が想定される。

石材等 地山礫を用いる。

遺物 高井東式中段階(1)が出土している。

時期 後期後葉

34号集石(第15表 第695図)

調査年度 平成30年度

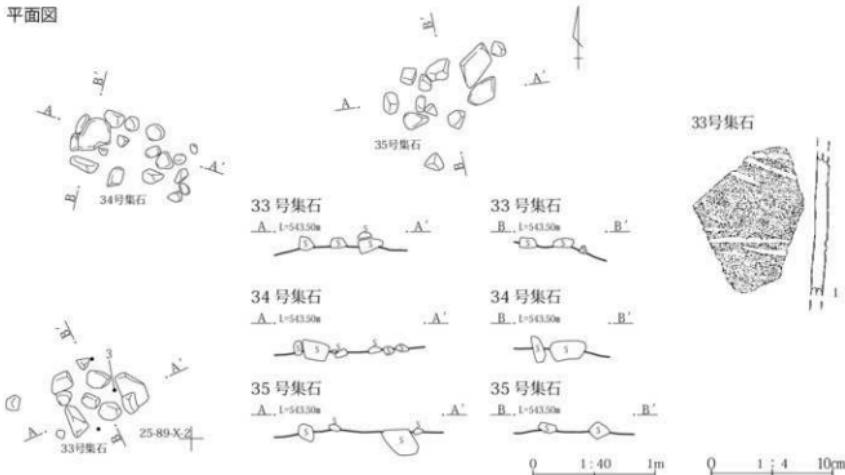
位置 89区X-2

経過 7区西側 配石墓群の西側に位置する。70cmに渡って、石の集積が確認できることから、34号集石として調査を行った。

規模 長軸100cm×短軸60cm

形状 不整形。

平面図



第695図 7区33～35号集石・33号集石出土遺物

第2章 発見された遺構と遺物

40号集石(第15表 第696、697図)

調査年度 平成31年度

位置 90区I-4

経過 7区中央部、108号竪穴建物の東に隣接する。10cmほどの石の集石が直径200cmにわたって確認できたことから、3号配石Iとして調査を行った。整理作業時には、遺構の形態から40号集石として名称を変更した。

規模 長軸180cm×短軸162cm

重複

形状 不整形

構造 20cmほどの円礫を中心に180cmの範囲で集積されていた。角礫や扁平礫を中心に散在した状態で確認した。配置は集石南側に扁平礫がまとまって出土したが、全体的に不規則な様相を呈する。

石材等 角礫を中心とする。

遺物 集石の中でも遺物の出土量は、比較的多く、67点出土した。中でも晩期前葉の遺物が主体を占めており、集石の構築時期は晩期前葉に比定される。1、2、5は佐野I b式、3、4は天神原式古段階、7、8は佐野式併行、9は折り返し口縁の粗製土器である。10は瘤付土器である。

時期 晩期前葉

土した。全体的な様相は晩期中葉が主体を占めており、構築時期に比定される。1と6は佐野II式古段階、2、7、8は大洞C2式、4は中屋2式、5は長竹式に比定される。

時期 晩期中葉

41号集石(第15表 第696、697図)

調査年度 平成31年度

位置 90区K-5

経過 7区中央部、108号竪穴建物の東に隣接する。30~50cm程の石の集石が直径528cmにわたって確認できたことから、3号配石Mとして調査を行った。整理作業時には、遺構の形態から41号集石として名称を変更した。

規模 長軸528cm×短軸222cm

重複

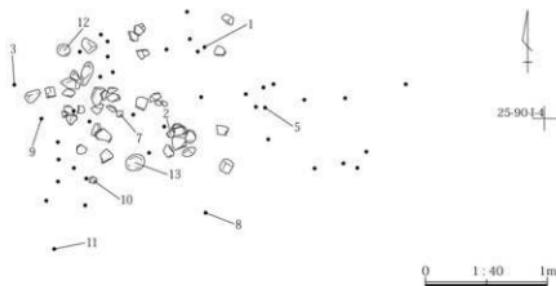
形状 不整形

構造 528cmの範囲に石の集積が認められた。南側は50~80cmほどの石を、北側では30cmほどの石を中心にして集積している。石は、河原石と地山礫が用いられ、角礫と円礫が散在していた。南側に80cm前後の角礫の集石がみられたが、全体的に不規則な様相を呈する。

石材等 角礫を中心に用いる。

遺物 石の中でも遺物の出土量は、比較的多く、67点出

平面図

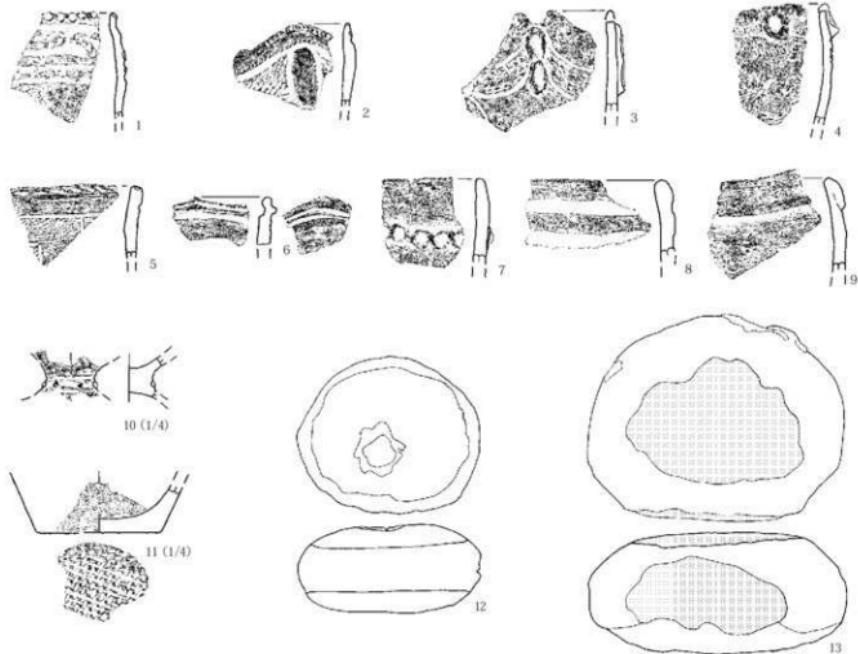


平面図

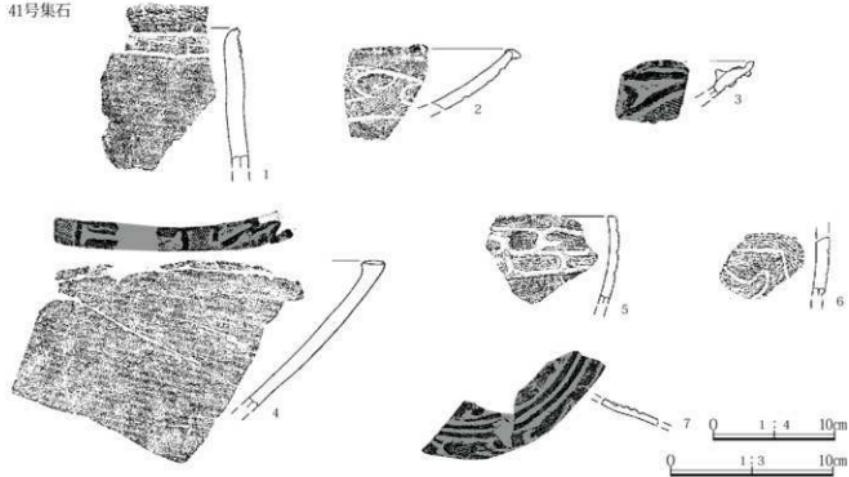


第696図 7区40・41号集石

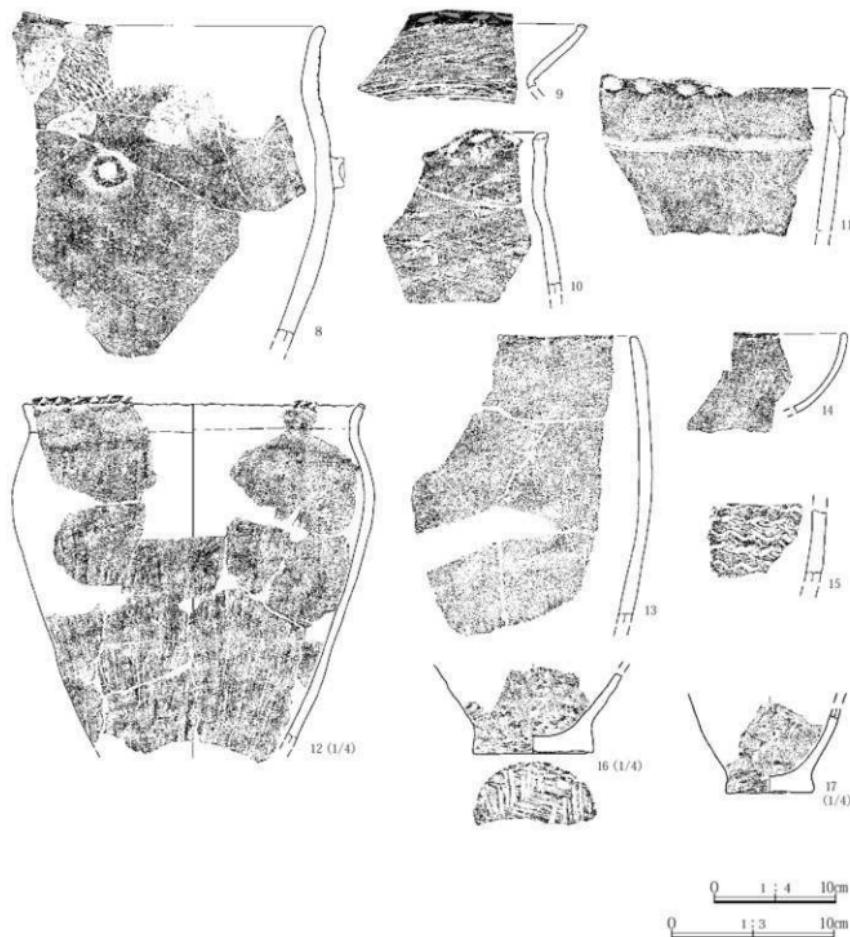
40号集石



41号集石



第697図 7区40号集石出土遺物・41号集石出土遺物(1)



第698図 7区41号集石出土遺物(2)

第2章 発見された遺構と遺物

42号集石(第15表 第699、700図)

調査年度 平成30年度

位置 90区F-2・3

経過 7区南側、15号列石の北側に隣接し、127号竪穴建物の上面に位置する。緩傾斜地に位置し、河原石を主体とした石が4mの範囲に集積していたことから、「3号配石K」として調査を行った。整理作業時には、形態に規則性がないことから、「42号集石」に名称を変更した。

規模 長軸480cm×短軸450cm

重複 下面には127号竪穴建物が確認されており、一連の遺構の可能性がある。

形状 不整円形

構造 形状は楕円形を呈し、4m程の範囲に河原石を主体に石が散在している。集石の南側では、北側方向に開口する形で孤状に50cmほどの円礫が横位に横位に敷設される。石は、河原石や鉄平石などの扁平礫を多用する。北側外縁部は、南側よりも石が散在するが、1.6m程に集石の範囲が窄まる様相を呈する。外縁部の石の内側には、石の集石が疎らになっており、外縁部の形態が竪穴建物の形状に類似している。42号集石調査後に下面から127号竪穴建物(平地式)が確認されており、竪穴建物の一部の可能性が考えられる。

石材等 河原石、鉄平石扁平礫を多用する。

遺物 晩期中葉の土器を中心に20点出土した。1、2は佐野Ⅱ式、3は折り返し口縁の粗製土器である。

時期 晩期中葉

43号集石(第15表 第701、702図)

調査年度 平成30年度

位置 90区F-2・3

経過 7区南側、122号竪穴建物の東側の緩傾斜地に位置する。谷状に緩く落ち込んだ部分に河原石を主体とした石が南北軸に750cmの範囲に集積していたことから、「3号配石L」として調査を行った。整理作業時には、形態に規則性がないことから、「43号集石」に名称を変更した。

規模 長軸750cm×短軸300cm

重複 下面には127号竪穴建物が確認されており、一連の遺構の可能性がある。

形状 不整円形

構造 形状は南北軸に長い楕円形を呈し、7.5m程の谷状に河原石を主体として石が散在している。北側には、60cm前後の河原石に混じって、10~20cm程の石が集積し、南側では60~80cm程の河原石が中心に集積している。配置は不規則で、繩文土器片や石器類も多量に混じっていたことから、落ち込みを利用した廐棄場と想定される。

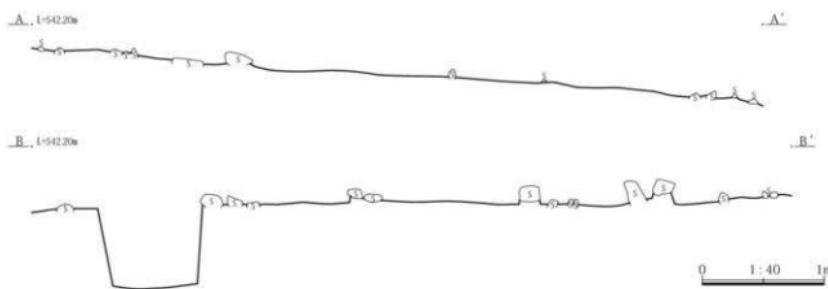
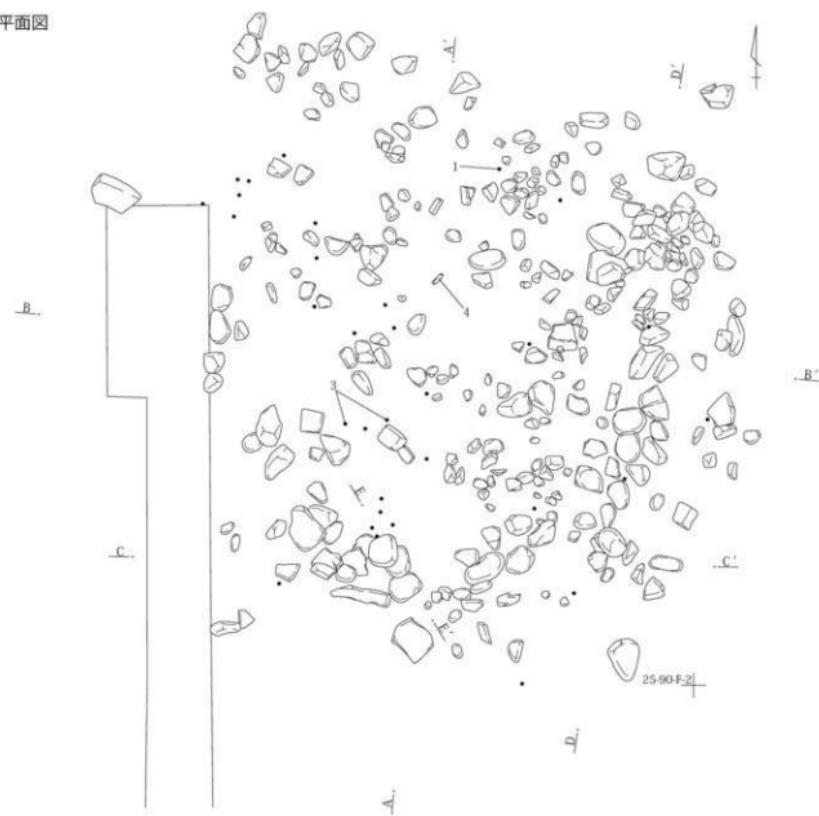
掘り方 南北軸に沿って谷状に落ち込み、北方向に向かって、傾斜している。人為的な掘り込みなどは確認できず、自然の落ち込みを利用して、遺物や石を廐棄したと考えられる。

石材等 河原石や地山礫を中心とする。

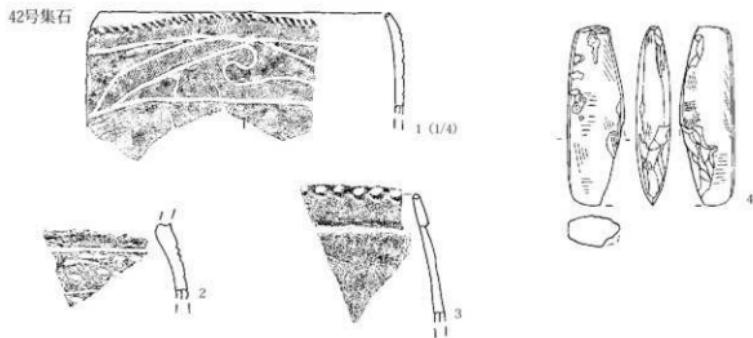
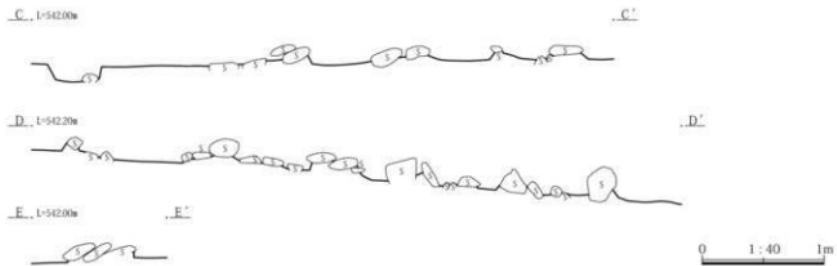
遺物 晩期中葉の土器を中心に306点出土した。1、2は佐野Ⅰa式、3は佐野Ⅱ式古段階、4~10は佐野Ⅱ式中段階、11、12は佐野Ⅱ式新段階、13は安行3b式、14~18は大洞C2式、19、20は中屋2式である。

時期 晩期中葉

平面図



第699図 7区42号集石出土遺物(1)



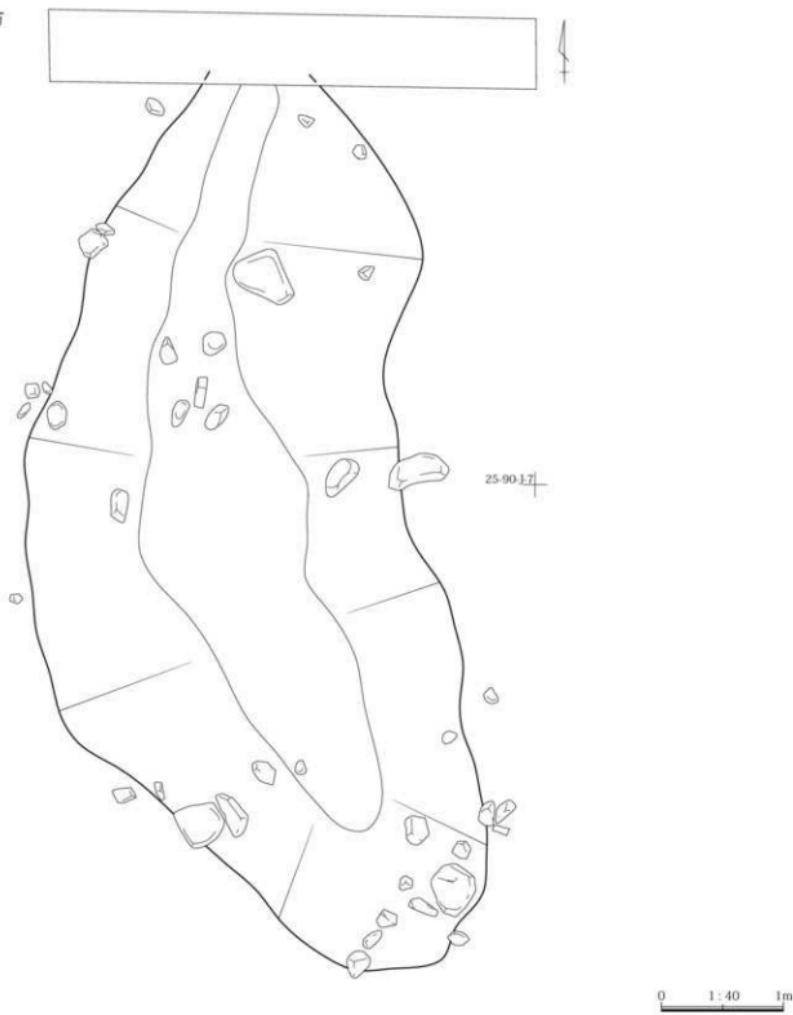
第700図 7区42号集石出土遺物(2)・42号集石出土遺物

平面図



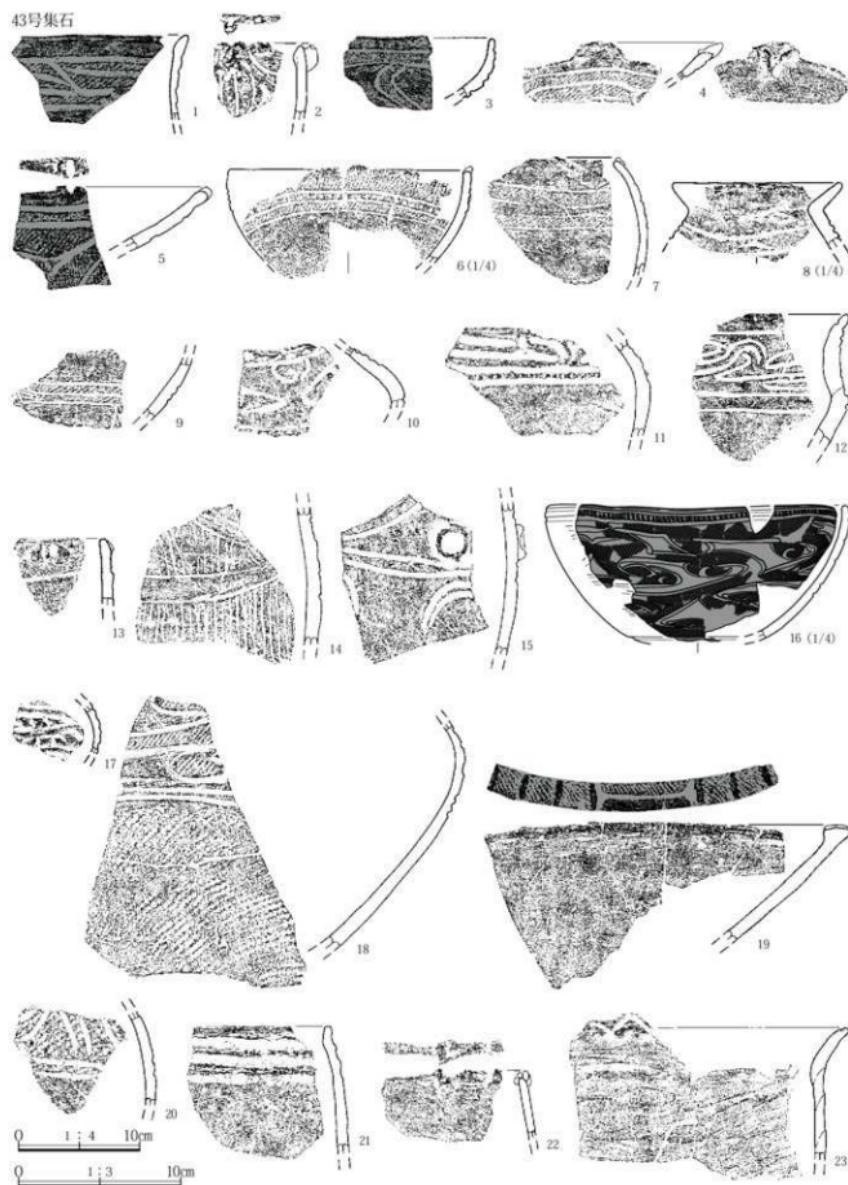
第701図 7区43号集石出土遺物(1)

掘り方

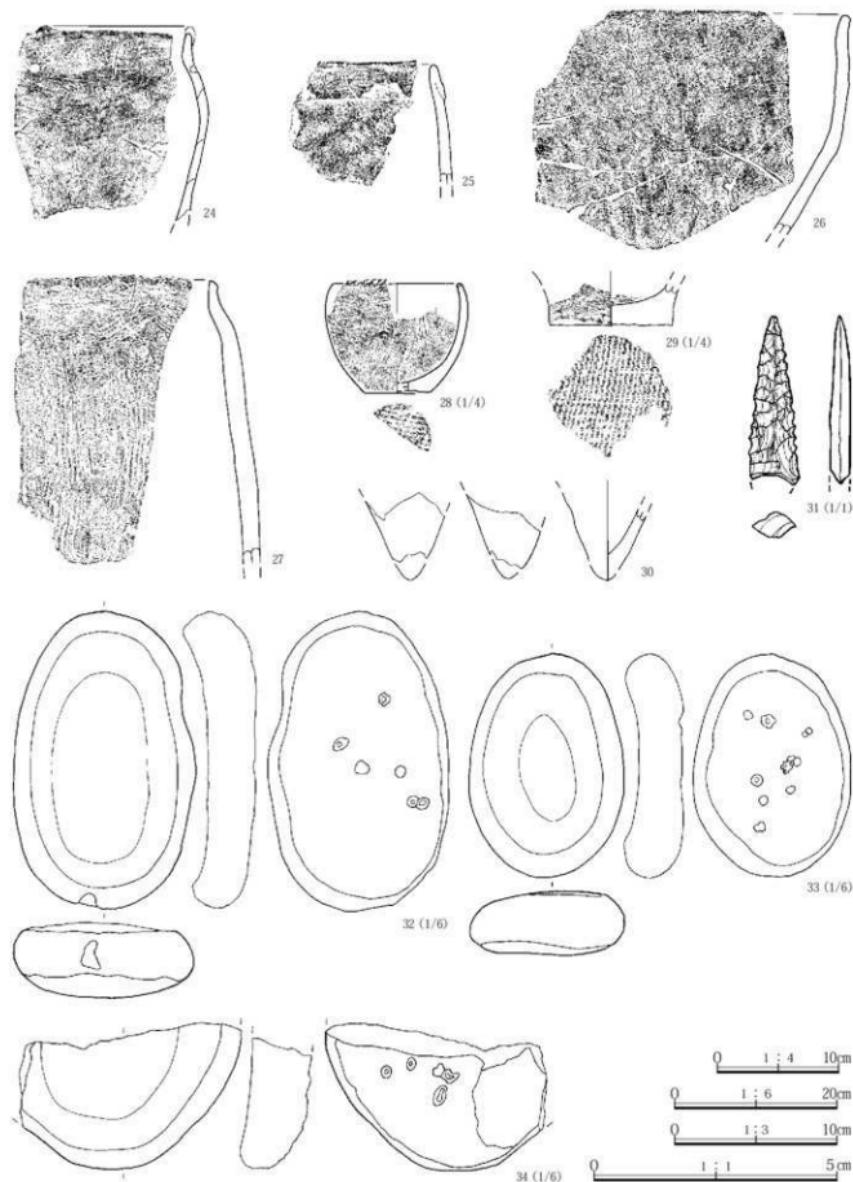


第702図 7区43号集石出土遺物(2)

43号集石



第703図 7区43号集石出土遺物(1)



第704図 7区43号集石出土遺物(2)

44号集石(第15表 第705図)

調査年度 平成29年度

位置 90区F-2・3

経過 7区東側、配石墓群の西側の緩傾斜地に位置し、南西側に形成された埋没沢へ緩く傾斜している。長軸560cmほどの範囲に50cmほどの石の集石を確認したことから、「4号配石A」として調査を行った。整理作業時に遺構の形態から、44号集石とした。

規模 長軸600cm×短軸530cm

重複 下部に土坑が確認されているが、同時期のものかは断定できない。

形状 不整形

構造 南東から北西方向へ向かって長軸560cmの範囲に石の集石が確認された。南東部は隅丸方形状に60cm～80cm程の角礫を中心に囲むように集積している。中央部は、角礫を集積しているが、外縁部よりも空隙が目立つ。北西部は、150cm程の範囲に60cm前後の礫を集積し、中には、丸石も確認できた。所見等ではなく、断定はできないが、遺構の形状などから平地式建物の残骸あるいは祭壇状の構造物だった可能性が考えられる。

石材等 地山礫を中心集石している。

遺物 晩期中葉の土器を中心に70点出土した。1～3のように後期中葉の遺物も出土しているが、4～13のよう晩期中葉の土器が主体を占め、独鉛石も出土した。

時期 晩期中葉

45号集石(第15表 第708図)

調査年度 平成29年度

位置 90区F-2・3

経過 7区東側、配石墓群の西側の緩傾斜地に位置し、南西側に形成された埋没沢へ緩く傾斜している。長軸560cmほどの範囲に50cmほどの石の集石を確認したことから、「4号配石D」として調査を行った。

規模 直径400cm

重複

形状 円形

構造 400cmの範囲に石が集積している。外縁部は円形状に60cm～80cm程の角礫を中心に囲むように集積している。中央部は、角礫を集積しているが、外縁部よりも空隙が目立つ。所見等ではなく、断定はできないが、遺構の形態などから平地式建物の残骸の可能性が考えられる。

石材等 地山礫を中心集石している。

遺物 なし

時期 晩期

46号集石(第15表 第708図)

調査年度 平成29年度

位置 90区F-2・3

経過 7区東側、配石墓群の西側の緩傾斜地に位置し、44号集石に隣接する。南西側に形成された埋没沢へ緩く傾斜している。長軸400cmほどの範囲に50cmほどの石の集石を確認したことから、「4号配石D」として調査を行った。整理作業時に遺構の形態から、46号集石とした。

規模 長軸600cm×短軸530cm

重複 下部に土坑が確認されているが同時期のものかは断定できない。

形状 不整形

構造 500cmの範囲に石が集積している。外縁部は円形状に60cm～80cm程の角礫を中心に囲むように集積している。中央部は、角礫を集積しているが、外縁部よりも空隙が目立つ。所見等ではなく、断定はできないが、遺構の形態などから平地式建物の残骸可能性が考えられる。

石材等 地山礫を中心集石している。

遺物 なし

時期 晩期

47号集石(第15表 第709図)

調査年度 平成30年度

位置 90区E・F-7・8

経過 7区東側、130, 131号竪穴建物の北側に位置する、平成29年に石のまとまりを確認したことから、「4号配石F」と名称を設定し、平成30年に本格的に調査を行った。4号配石Fを調査する過程で、南側に20号配石を設定した。石を取り外した段階で、82号焼土が確認された。整理作業時には、遺構の形態から47号集石として扱い、20号配石は範囲、形態が不明瞭のため、47号集石の一部として捉えた。

規模 500cm規模

重複 なし

形状 不整形

構造 500cmの範囲に石が集積している。石は西側では、40～50cmほどの扁平礫を中心に確認できた。配置は横位に据えられている石が多いが、規則性はない。東側では

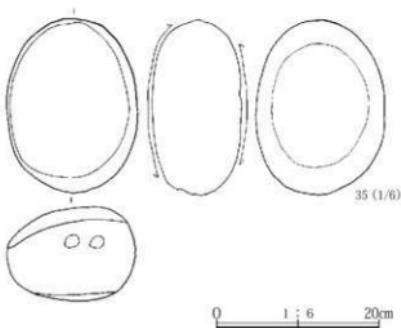
第2章 発見された遺構と遺物

10~20cmほどの礫が弧状に集積している。規則性はなく、外縁部に巡る状態で確認された。石は地山礫を中心とする。中央部は空間が形成され、82号焼土が確認された。集石の石には、叩き石などの石器類も混じっていた。47集石と82号焼土との関係は不明であるが、確認状況から判断すると、同時期に形成された可能性がある。

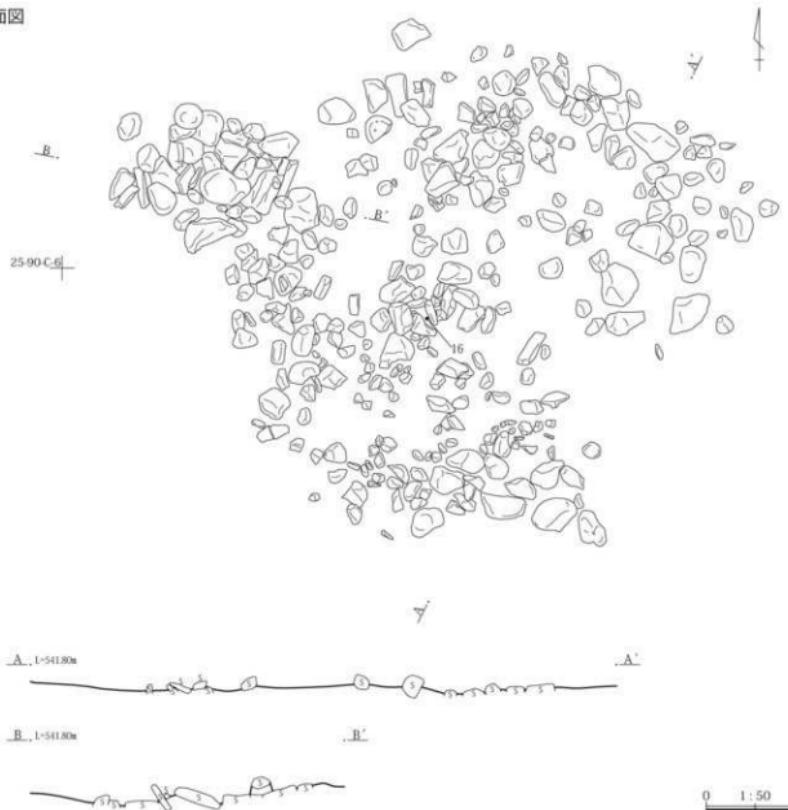
石材等 扁平礫を中心に使用。

遺物 叩き石や凹石が出土した。

時期 晩期

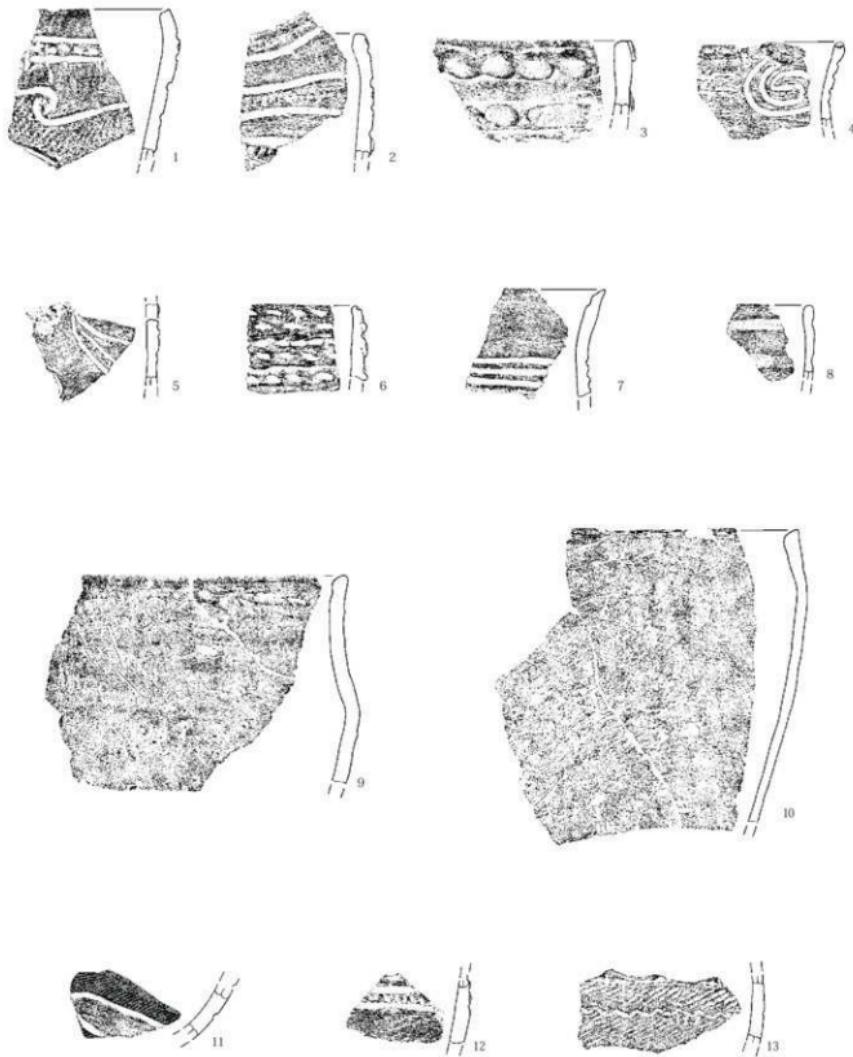


平面図



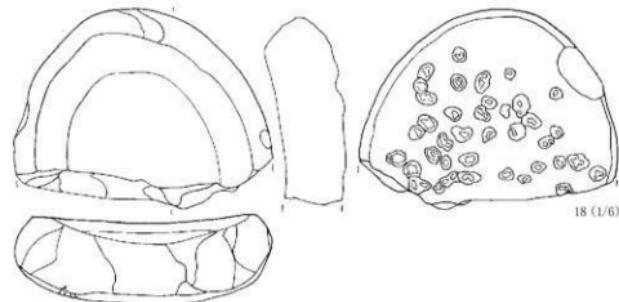
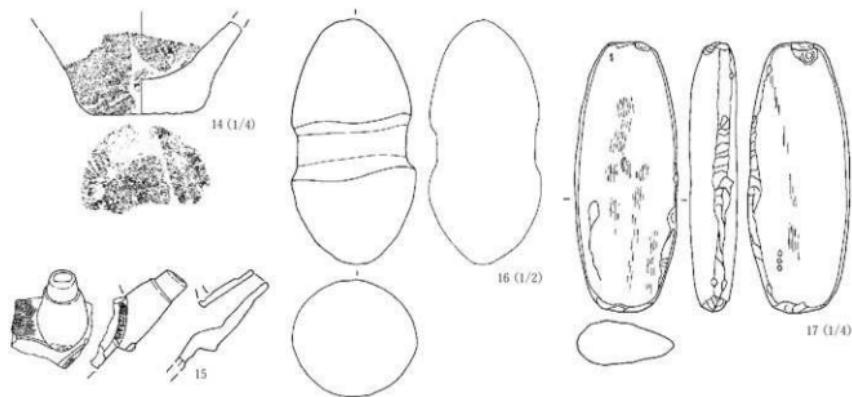
第705図 7区43号集石出土遺物(3)・44号集石

44号集石

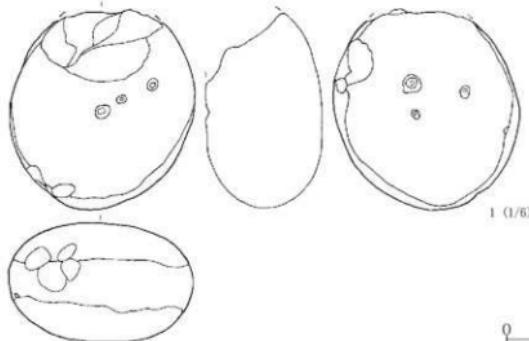


0 1:3 10cm

第706図 7区44号集石出土遺物(1)

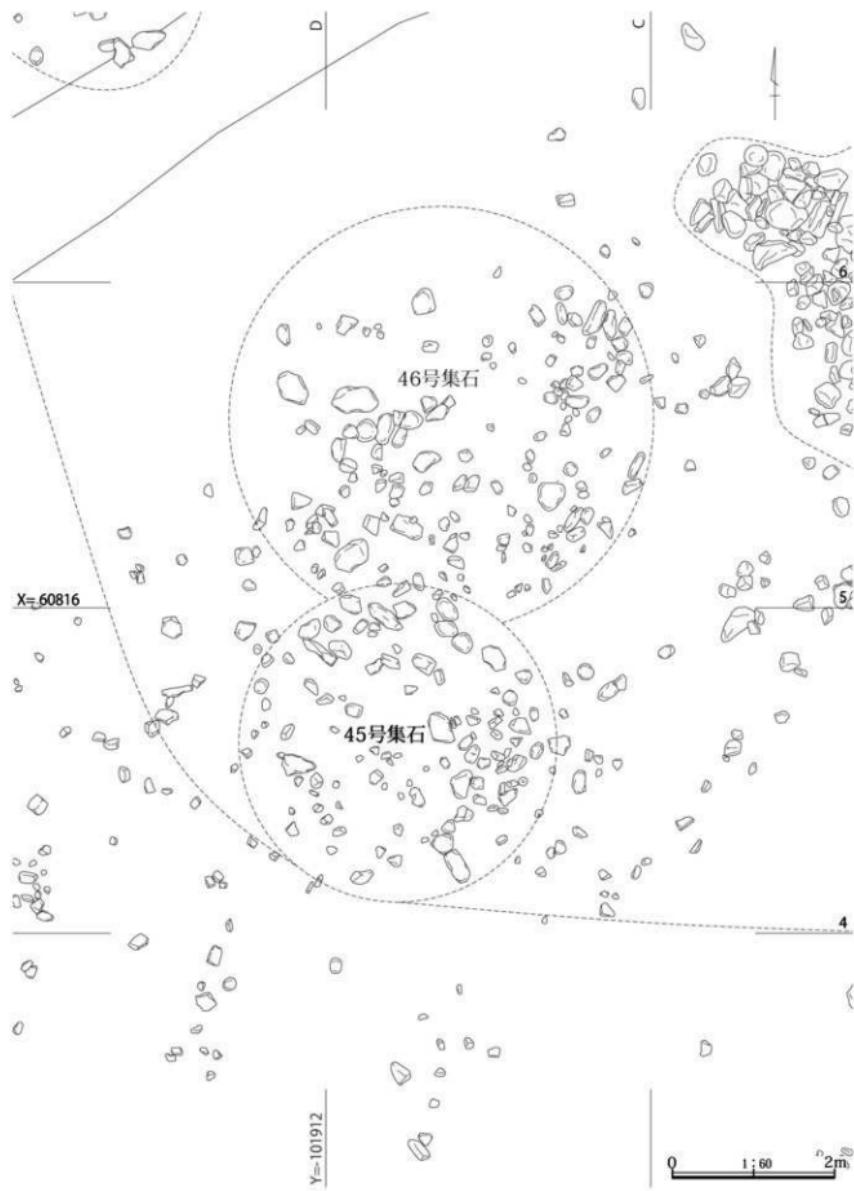


47号集石



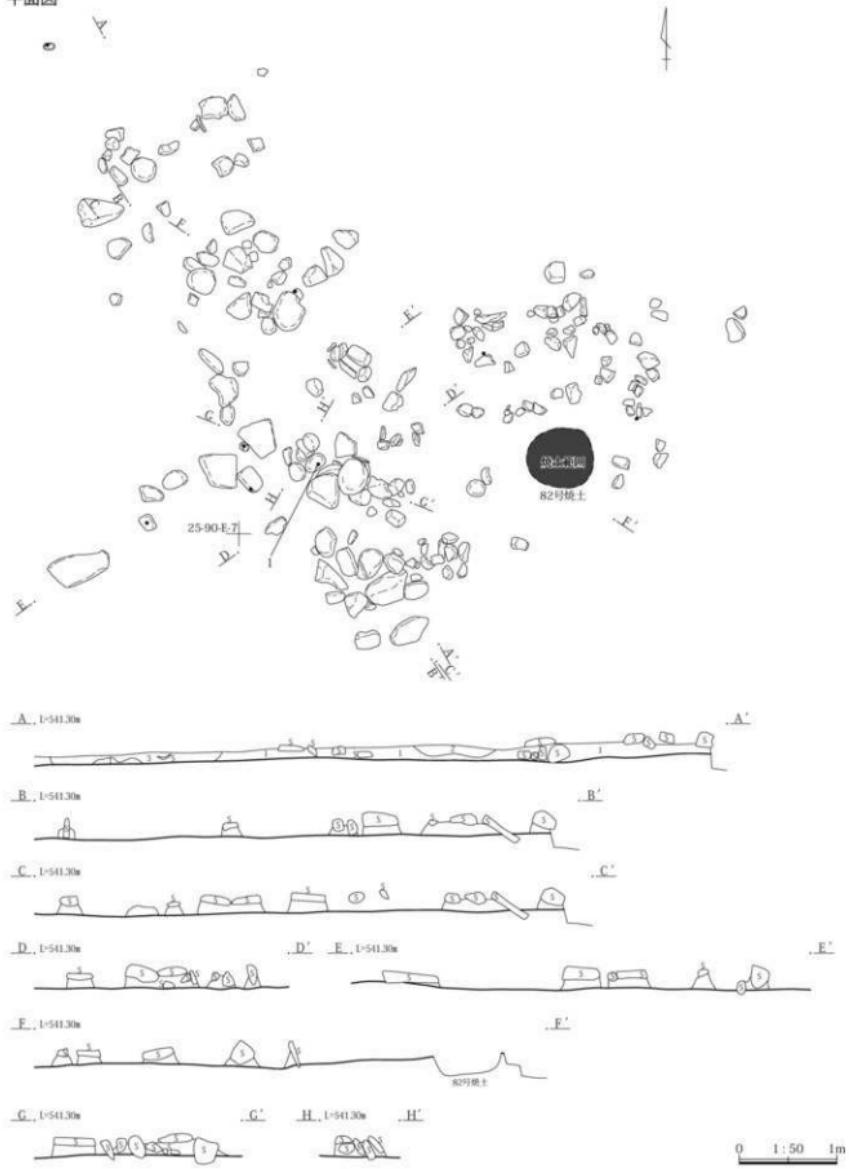
0	1 : 4	10cm
0	1 : 2	5cm
0	1 : 6	20cm
0	1 : 3	10cm

第707図 7区44号集石出土遺物(2)・47号集石出土遺物



第708図 7区45・46号集石

平面図



第709図 7区47号集石

第8項 埋設土器

縄文時代の埋設土器は合計60基を確認したが、これらのは多くは竪穴建物の上層部を削平等により失ったもので、検討の結果、竪穴建物と判断されたものは竪穴建物として報告した。それらを除いて単独の埋設土器と判断したものとここで報告する。

単独の埋設土器は合計26基である。これらの分布は東側の1区で1箇所、6区で1箇所があるが、その他の24基は全て7区に集中しており、しかもその多くは晩期に該当する。

1号埋設土器

1区西側で確認された。遺跡範囲のほぼ中央に位置し、周辺にその他の遺構もほとんど確認されていない。1区調査時に基本土層の記録を撮るために壁面をカットした際に、正位に埋設された深鉢が確認されたもので、土層断面に明瞭な遺構は確認できることから、単独の埋設土器と判断された。

使用された土器はやや細身で直線的に開く半粗製の深鉢で、全体に輪積み痕が残る無文土器である。欠落する部分も多いが、口縁部から胴部下半まで残っており、口縁部等に明瞭な被熱痕跡も認められない。時期は後期壠之内2式期に比定されようか。

第16表 埋設土器一覧表

区	遺構No.	調査年度	位置	時期	備考(年度別遺構台帳から)
1	1	IE26	1区西端部	後期か?	正位埋設、口辺・胴下半を打ち欠いた深鉢使用。単独か。
2	7	9	IE28		逆位埋設、大型深鉢の口辺を使用。伏せ置か?
3	7	13	IE29	晩期安行3a式	1号配石内、正位埋設、胴下半部を打ち欠いた深鉢を使用。
4	7	14	IE29	晩期安行3a式	1号配石内、正位埋設、胴下半部を打ち欠いた深鉢を使用。
5	7	15	IE29	晩期か?	1号配石内、正位埋設、深鉢の体部上半を使用。
6	7	23	IE29	晩期 無文	大型深鉢を正位埋設、深鉢内上面に大型破片を敷いたように配置。
7	7	35	IE30	晩期	大型深鉢を正位埋設。
8	7	36	IE30	晩期	大型深鉢を正位埋設、体部下半を打ち欠いた深鉢を使用。
9	7	38	IE30	後期後半 痛付	正位埋設。口辺部が理費の内面に落ち込んだ状態で確認。土器は無文。
10	7	39	IE30	晩期か?	正位埋設、胴下半部のみ、底部あり、上面削平か。小片2片被熱、1点は壠之内1式。
11	7	40	IE30	晩期	大型深鉢を正位埋設、すぐ下や周囲に礫あり。
12	7	41	IE30	晩期	大型深鉢を正位埋設、底部付近を打ち欠いた深鉢を使用。
13	7	42	IE30	晩期	無文大型深鉢を正位埋設、2個体入れ子、底部付近を打ち欠いた深鉢を使用。
14	7	43	IE30	晩期佐野1式	礫を集積した部分に高台付き浅鉢を正位に置いた状態で確認。周囲に板石や円礫あり。
15	7	44	IE30	後期後半	痛付上器大型深鉢を正位埋設、内部に数個の礫を伴い、上面に大型礫数個を載せる。
16	7	45	IE30	晩期か?	正位埋設、胴下半部を打ち欠いた大型深鉢を使用。底面に板状の礫を敷く。
17	7	46	IE30	加曾利E3式古	水場に位置する。大型深鉢の胴部を正位埋設。
18	7	47	IE30	晩期か?	無文大型深鉢を正位埋設。胴下半部を打ち欠き。底面に板状の礫を敷く。
19	7	50	IE30	壠之内2式	小型精製深鉢の体部中位を正位埋設。土器を確認。
20	7	52	IE30	晩期か?	無文大型深鉢の体部中位を正位埋設。壠之内2式の可能性もありか?
21	7	53	IE30	佐野1式	配石中に大型深鉢を正位埋設。土器内上面を大型破片で蓋をし、その上に板石を載せる。
22	7	54	IE31	晩期	配石中に正位埋設。大型深鉢を使用。
23	7	55	IE31	晩期	配石中に正位埋設。大型深鉢を使用。
24	7	58	IE30	壠之内2式	4号列石1号埋設。完形の小型深鉢を正位に埋設。
25	7	59	IE31	高井東式	81号配石埋設。大型の深鉢を正位に埋設。
26	6	60	IE20	6区台地西寄り	6区1号住居の炉から変更。大型深鉢2個体を入れ子状態で正位に埋設。
27	7	61	IE30	後期後半か?	7区79号竪穴建物出土上器No2から変更。深鉢を正位に埋設。

9号埋設土器

7区南西側の139号竪穴建物の南側で確認した。ここは7区の遺構が密集する範囲からかなり離れているが、139号などの後期前半期や中期後半の竪穴建物がいくつかまとまる地区でもある。遺構の大半が床面まで削平されたなかで、大型深鉢の口縁部が逆位に伏せた状態で確認された。使用された土器は口辺部だけがわずかに残っていたが、劣化が進み固化できなかった。

13号埋設土器

7区南側、後期後半期の157号竪穴建物の範囲内で確認された。底部付近を打ち欠いた深鉢を正位に埋設しており、口縁部も明瞭に残っている。周囲に焼土等は認められず、土器に被熱痕跡もなかった。

14号埋設土器

7区南側、15号列石の西側端部付近で確認された。西側4mに15号埋設土器があり、東側16m前後に13号埋設土器が位置する。この3個の埋設土器はグリッド25ライン上にほぼ並んでおり、時期もほぼ同時期に該当する。13号と同様に底部付近を打ち欠いた大きな深鉢を正位に埋設しており、口縁部周囲にいくつか石の配置があった。焼土や被熱痕跡は確認できない。

15号埋設土器

14号の西側4mで確認された。胴部下半を打ち欠いた無文の粗製深鉢を正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は認められない。

23号埋設土器

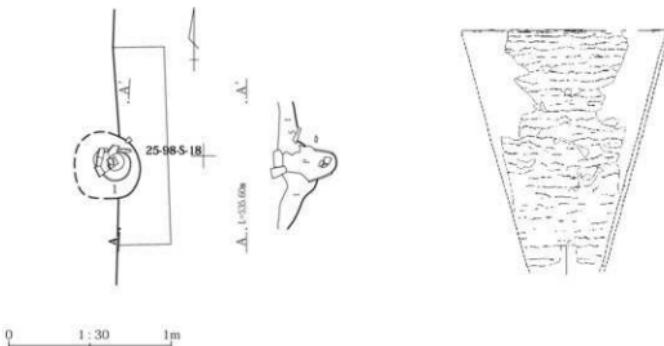
7区北東側、134号竪穴建物の北側で確認した。胴部下半を打ち欠いた無文の粗製深鉢を正位に埋設しており、口縁部内側の上面に一部の破片が伏せて置いてあった。また、周囲等からやや大きな深鉢の胴部も出土しており、2個体の土器が使用されたものと判断した。焼土や被熱痕跡は認められない。

35号埋設土器

7区中央、120号と121号竪穴建物の間で確認した。口縁部と胴部下半を打ち欠いた深鉢を正位埋設したもので、おそらく無文土器であろう。焼土や被熱痕跡は認められない。

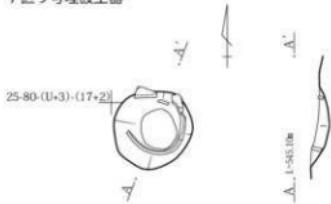
36号埋設土器

7区中央、35号の東側4mで確認した。胴部下半を打ち欠いた無文の粗製土器を正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は認められない。

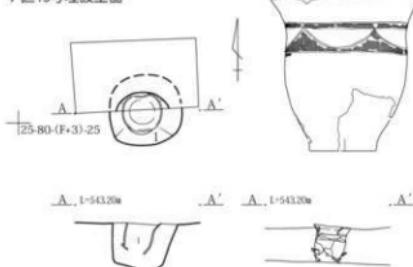
1区1号埋設土器

第710図 1区1号埋設土器

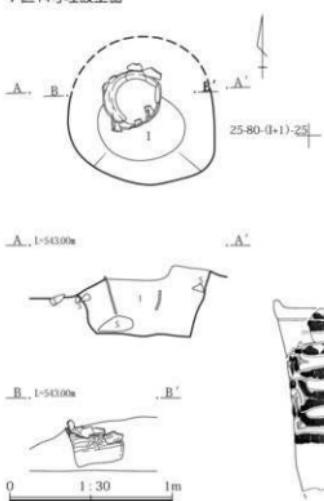
7区9号埋設土器



7区13号埋設土器



7区14号埋設土器



38号埋設土器

7区中央、6号列石の段下で確認した。胸部下半を打ち欠いた2個体の粗製の深鉢を入れ子状にして正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は認められない。

39号埋設土器

7区中央、121号竪穴建物の南西側の1号自然流路内で確認した。胸部上半を打ち欠いた深鉢を正位に埋設したもので、焼土や被熱痕跡は認められない。他の埋設土器は胸部下半を打ち欠いたものが多いが、これはその逆であり、興味深い。

40号埋設土器

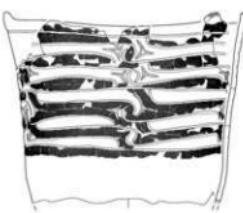
7区中央、38号埋設土器のすぐ南東部で確認した。小ぶりの円錐がいくつか集積したなかに、胸部下半を打ち欠いた無名の深鉢が正位で置いたような状態で出土したことから埋設土器とされたが、不明瞭な部分もある。

41号埋設土器

7区中央、108号竪穴建物の南東部で確認した。胸部下半を打ち欠いた半粗製の深鉢を正位に埋設したもので、焼土や被熱痕跡は認められない。なお、調査に伴って土器片加工円盤が4個出土しており、注目したい。

42号埋設土器

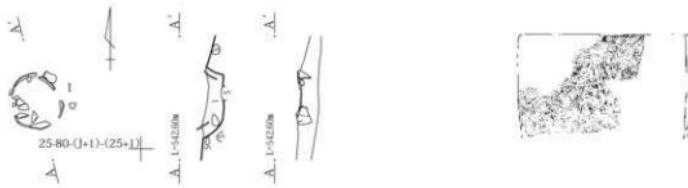
7区南側、127号竪穴建物のすぐ西側で確認した。胸部下半を打ち欠いた粗製土器を正位で埋設したもので、焼土や被熱痕跡は認められない。土器内の上面には小ぶりな川原石が置いてあり、下面には別の粗製深鉢を破片にして敷き詰めてあった。土器内の上面に土器を敷いたものはいくつかあるが、底面に敷くものは少ない。



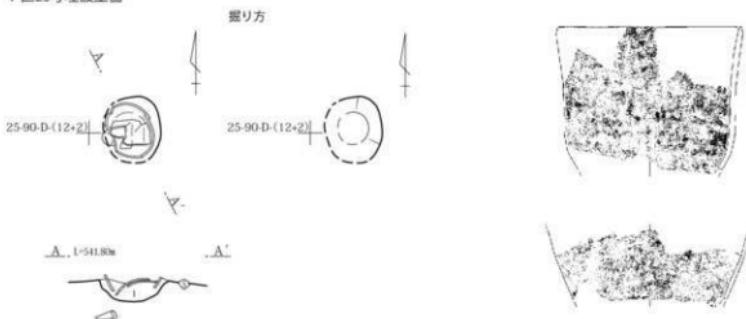
第711図 7区9・13・14号埋設土器

第2章 発掘された遺構と遺物

7区15号埋設土器



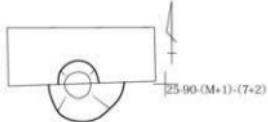
7区23号埋設土器



7区35号埋設土器



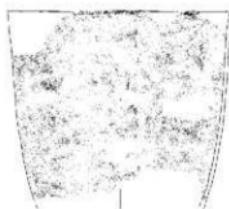
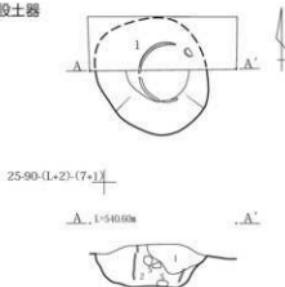
置り方



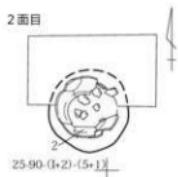
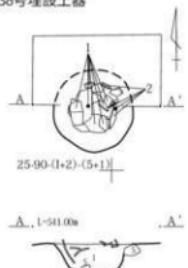
0 1:30 1m

第712図 7区15・23・35号埋設土器

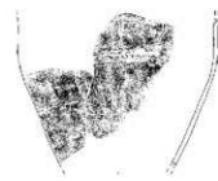
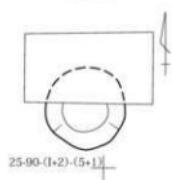
7区36号埋設土器



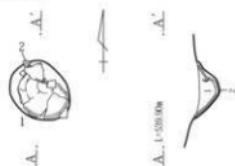
7区38号埋設土器



掘り方



7区39号埋設土器

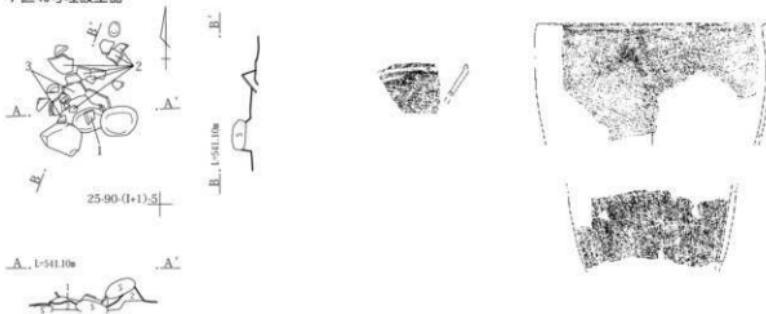
25-90-(O+2)-(6+1)
掘り方

25-90-(O+2)-(6+1)

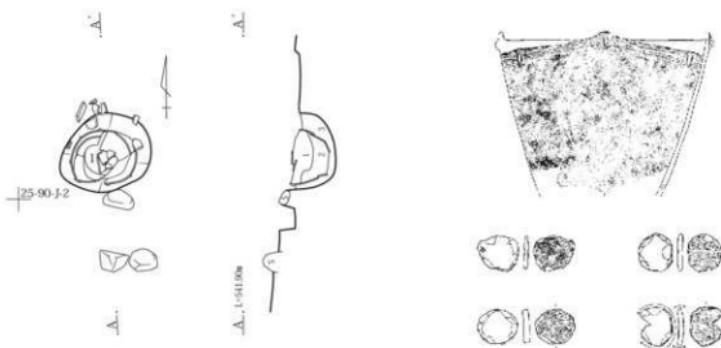
0 1:30 1m

第713図 7区36・38・39号埋設土器

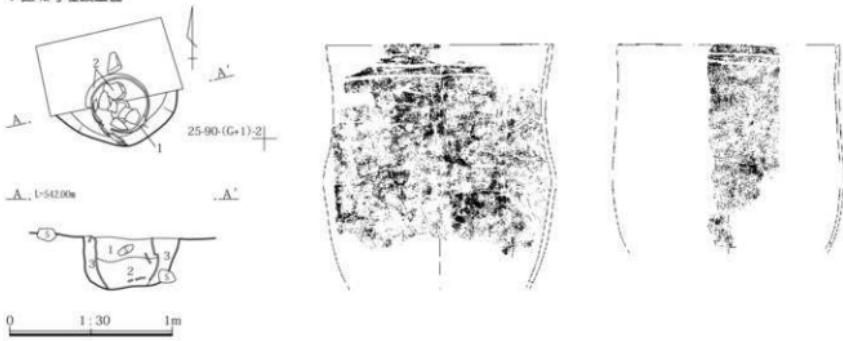
7区40号埋設土器



7区41号埋設土器

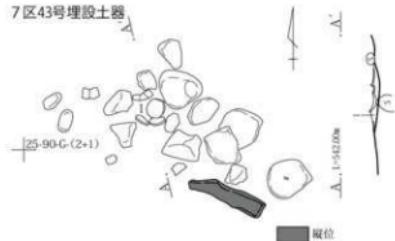


7区42号埋設土器

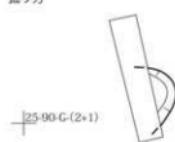


第714図 7区40~42号埋設土器

7区43号埋設土器



掘り方



7区46号埋設土器

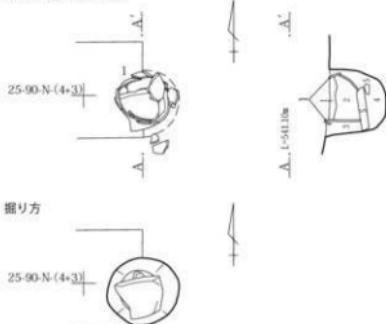


掘り方

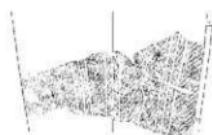
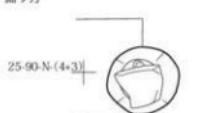


第715図 7区43・45・46号埋設土器

7区45号埋設土器

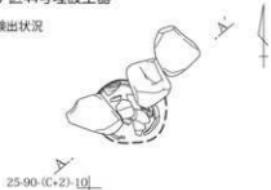


掘り方



7区44号埋設土器

検出状況

 Δ , L=541.80m

2面目



43号埋設土器

7区南側、127号竪穴建物内の中央部で確認した。

127号がまだ調査される以前に、大きな川原石や鉄平石が集中する中に精製の台付鉢が正位で置かれており、単独の埋甕とされた。その後の調査でその範囲が127号竪穴建物となったが、この土器も127号に含まれると考えたい。

44号埋設土器

7区北東側、B1群配石墓群の北西側で確認した。胴部上半と底部付近を打ち欠いた深鉢(1)を正位に埋設したもので、焼土や被熱痕跡は認められない。確認時は上面を配石墓に伴う大きな礫に覆われていた。土器内の上面には、別個体の深鉢(2)を打ち欠いて敷いており、底面付近には中央に大きな川原石を敷き、その周囲を小さな川原石で根詰めしている。

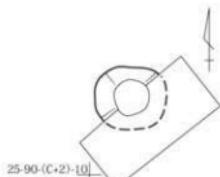
45号埋設土器

7区中央、107号竪穴建物の西側で確認した。底部付近を打ち欠いた粗製土器を正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は認められない。埋設した土器を取り除くとその下に鉄平石があり、鉄平石を敷いた後にその上に正位に置いたことがわかった。

46号埋設土器

6区南西側、1号水場の北西側で確認した。口縁部と胴部下半を打ち欠いた中期加曾利E3式古段階の深鉢を正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は認められない。

振り方

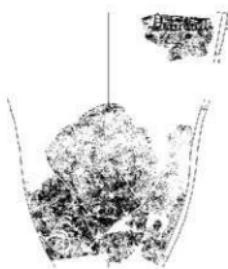
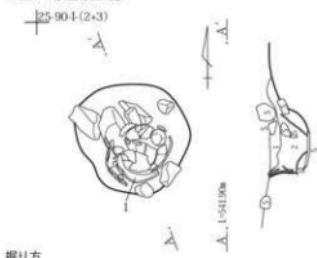


0 1:30 1m

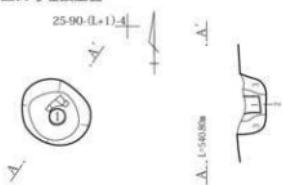


第716図 7区44号埋設土器

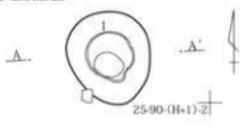
7区47号埋設土器



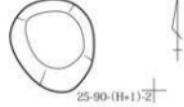
7区50号埋設土器



7区52号埋設土器



掘り方



0 1:30 1m

第717図 7区47・50・52号埋設土器

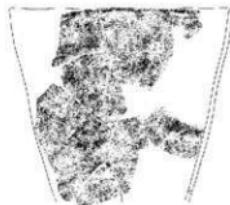
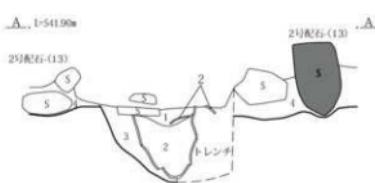
7区53号埋設土器



25-90-E9



25-90-E10



遺物出土状況



25-90-E9



■ 碑位

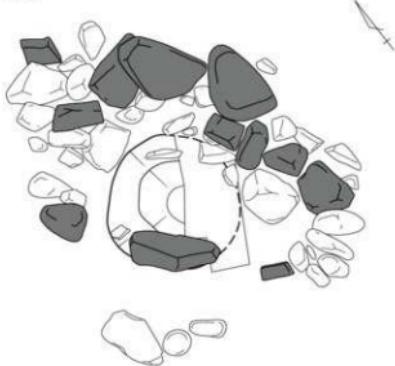
0 1:30 1m

第718図 7区53号埋設土器(1)

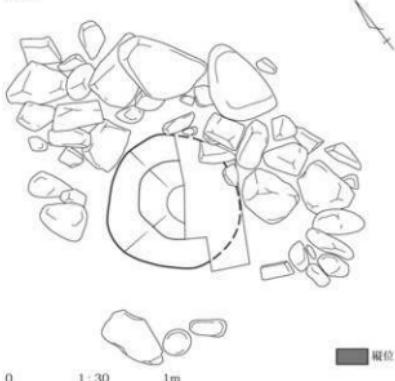
2面目



3面目



掘り方

**47号埋設土器**

7区北側、41号埋設土器のすぐ南東側で確認した。口縁部と底部付近を打ち欠いた深鉢を正位に埋設しており、土器内に長径20cm前後の柱状の石を立てている。立石であろうか。また、底面に45号と同様に鉄平石を敷いていた。

50号埋設土器

7区中央、4号列石の東側掘り方で確認した。胴部下半を打ち欠いた小型深鉢を正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は認められない。

52号埋設土器

7区南側、41号と42号埋設土器の間で確認した。西側5.5mに41号、東側4mに42号があり、いずれもグリッド2ライン上に並ぶ。胴部下半を打ち欠いた無文の粗製土器(1)を正位に埋設したもので、調査に伴って土器が出土している。

53号埋設土器

7区北東側、44号埋設土器の南東側5mで確認した。これは立石を伴う祭壇状の111号配石に伴うもので、底部まで完存する半粗製の大型深鉢を正位に埋設したもので、手前に厚手の鉄平石を斜めに差し込んで設置し、上面に薄い結晶片岩で蓋をしている。また、土器内の上面には深鉢の大きな破片を伏せてあった。焼土や被熱痕跡は認められない。

54号埋設土器

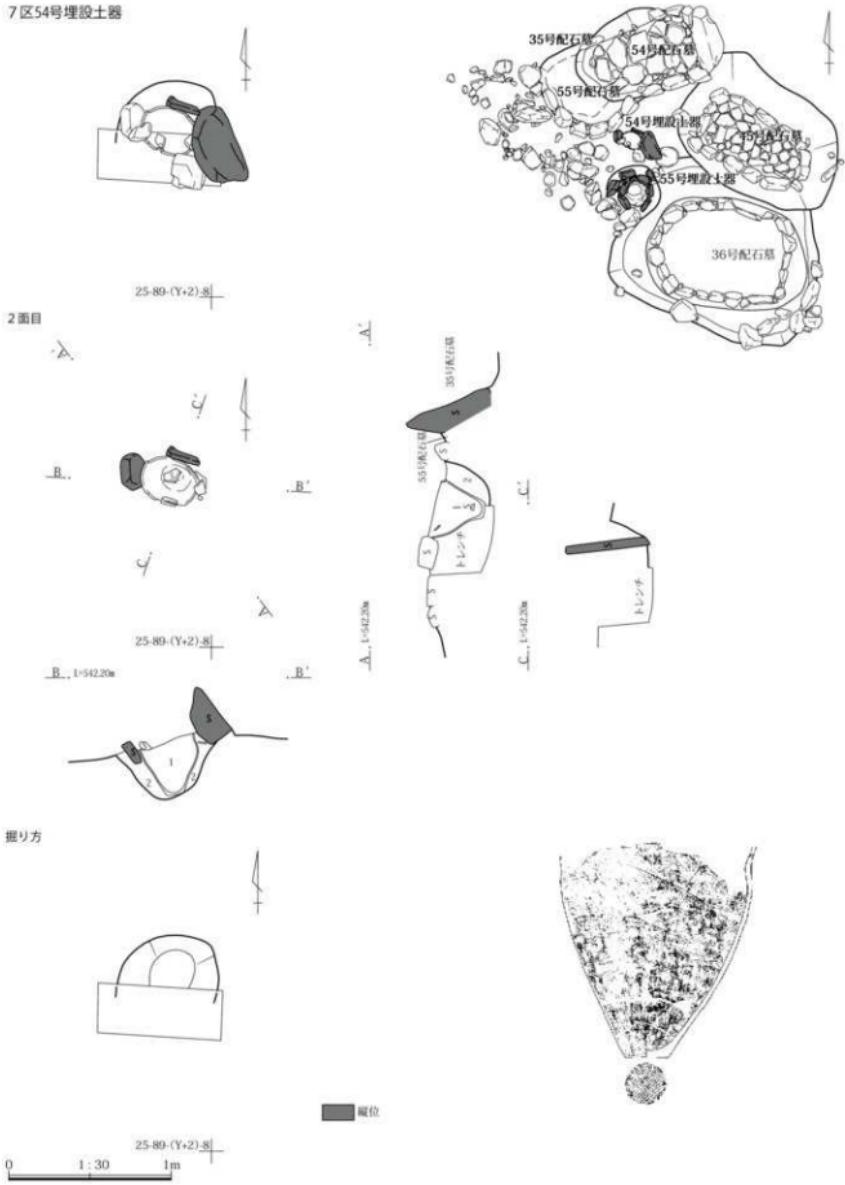
7区北東側、53号の南東6mで確認した。南側1mに55号が近接する。54号の背後：北東側に立石があり、全面：南西側に石敷きが施されている。口縁部を失っているが、底部まで完存の深鉢を正位に埋設し、焼土や被熱痕跡は無い。

55号埋設土器

周囲を立石で囲い、土器の上面に平石2枚をのせて蓋をし、さらに石をのせている。まるで土器を覆い隠しているように見える。これは底部を打ち欠いた深鉢を正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は無い。

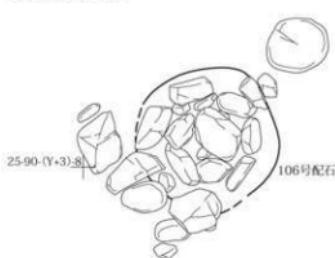
第719図 7区53号埋設土器(2)

7区54号埋設土器

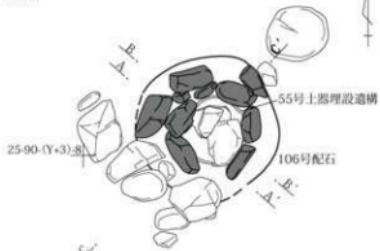


第720図 7区54号埋設土器

7区55号埋設土器



2面目

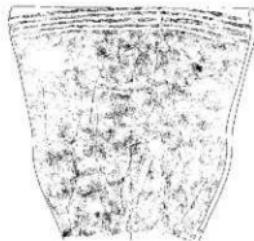


A, L-542.10e

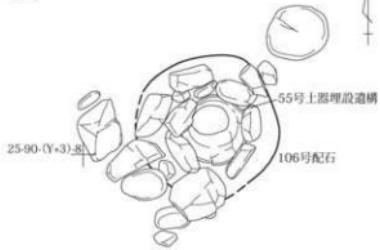
A'

B

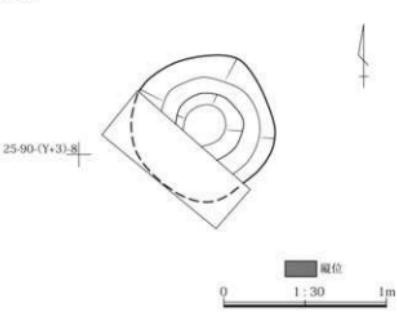
B'



3面目



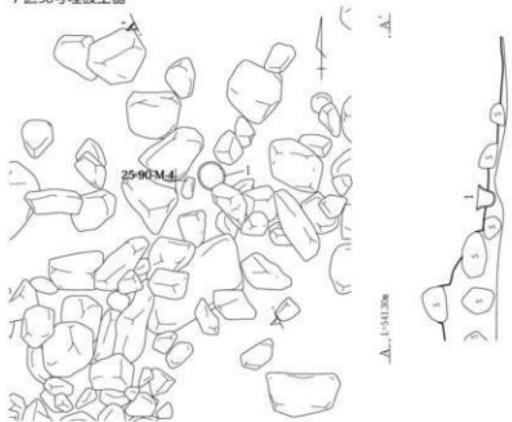
振り方



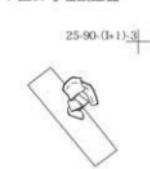
■ 墓位
0 1:30 1m

第721図 7区55号埋設土器

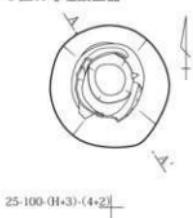
7区58号埋設土器



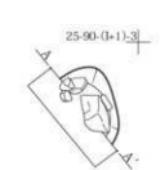
7区59号埋設土器



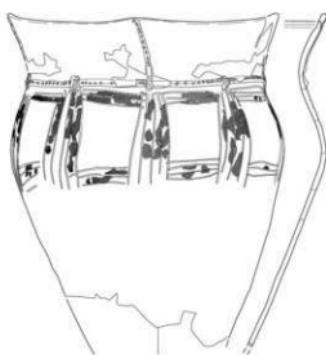
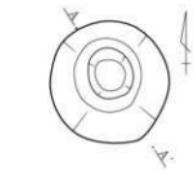
6区60号埋設土器



握り方



握り方



25-100-(1+3)-(4+2)

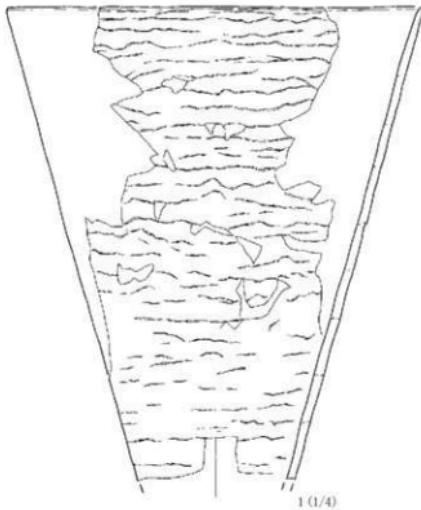
A-A' 1-541.40e A-A' 1-538.60e



0 1 : 30 1m

第722図 6・7区58~60号埋設土器

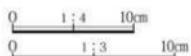
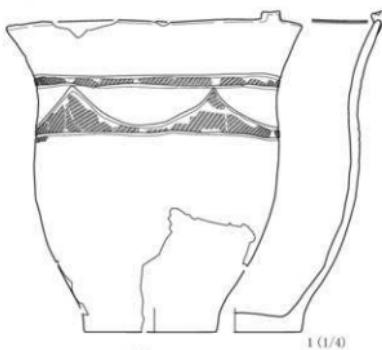
1号埋設土器



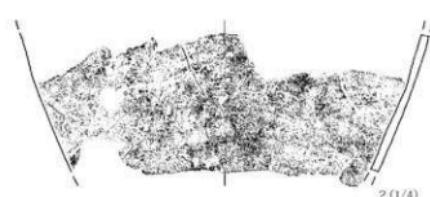
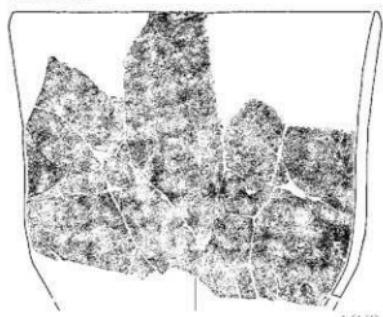
15号埋設土器



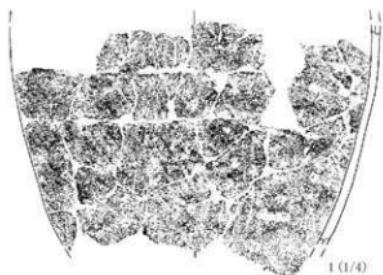
13号埋設土器



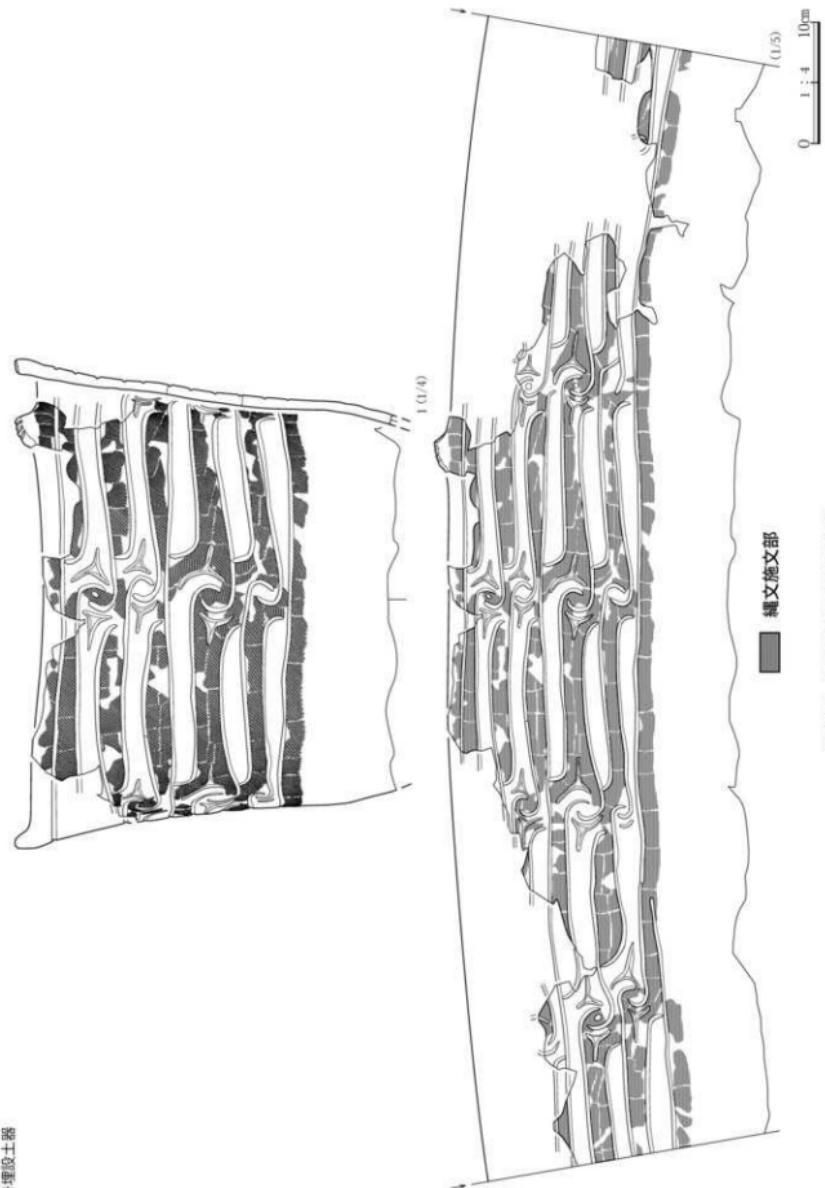
23号埋設土器



35号埋設土器

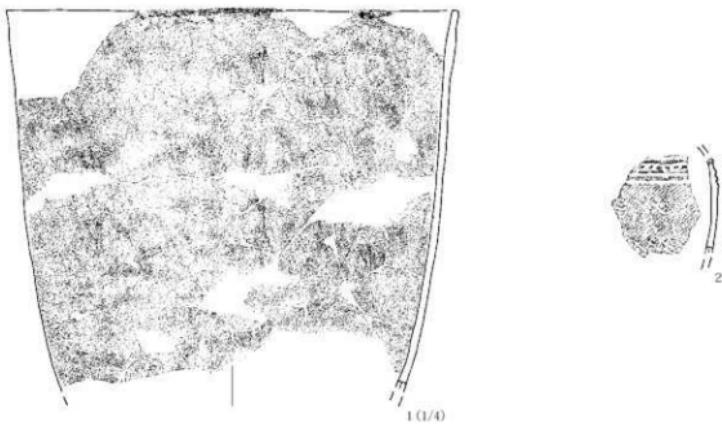


第723図 1区1・7区13・15・23・35号埋設土器出土遺物

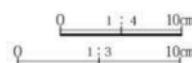
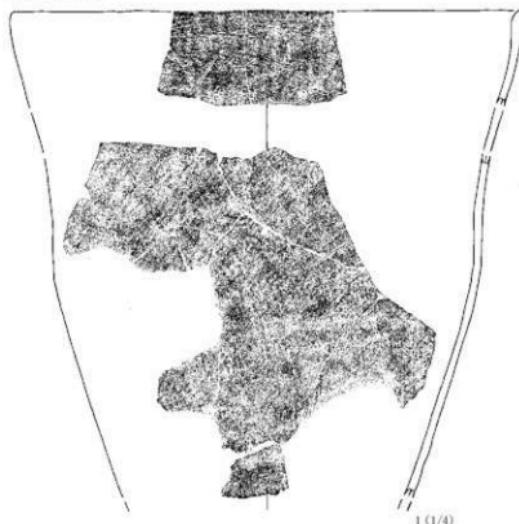


14号埋設土器

36号埋設土器



38号埋設土器

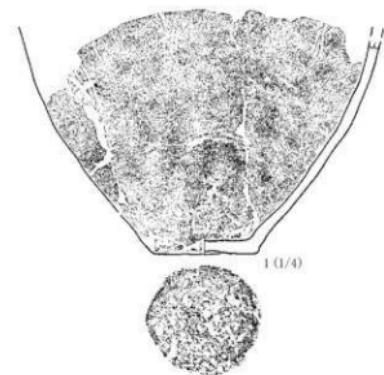


第725図 7区36・38号埋設土器出土遺物

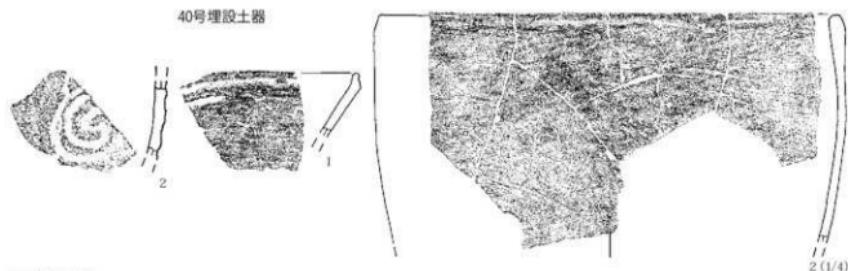
38号埋設土器



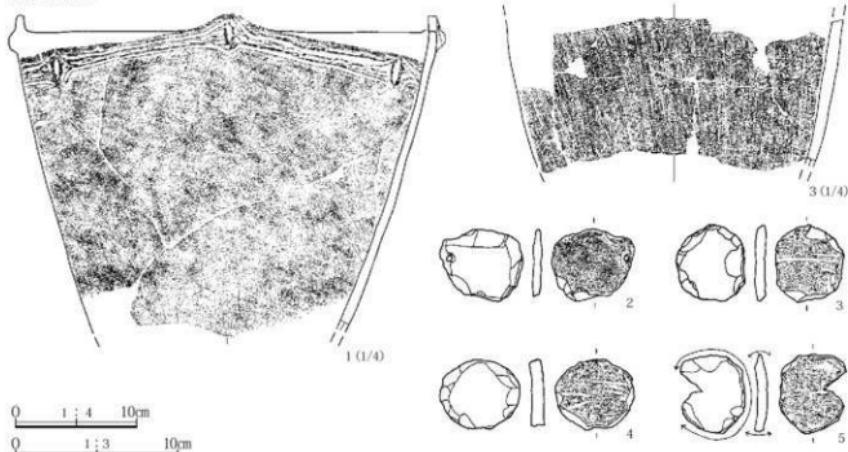
39号埋設土器



40号埋設土器

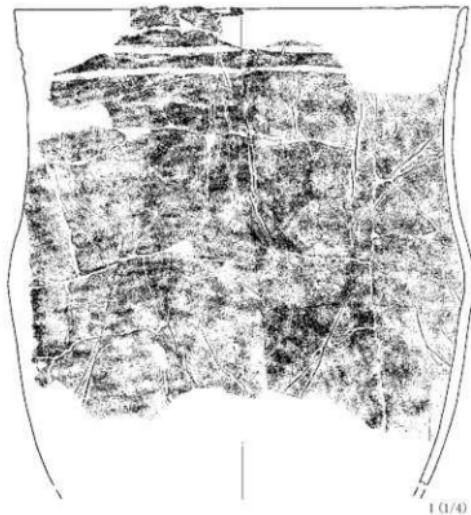


41号埋設土器

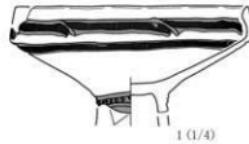


第726図 7区38~41号埋設土器出土遺物

42号埋設土器



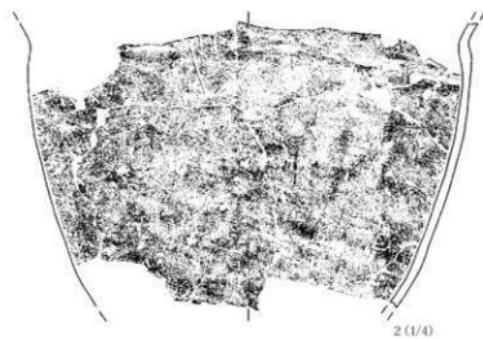
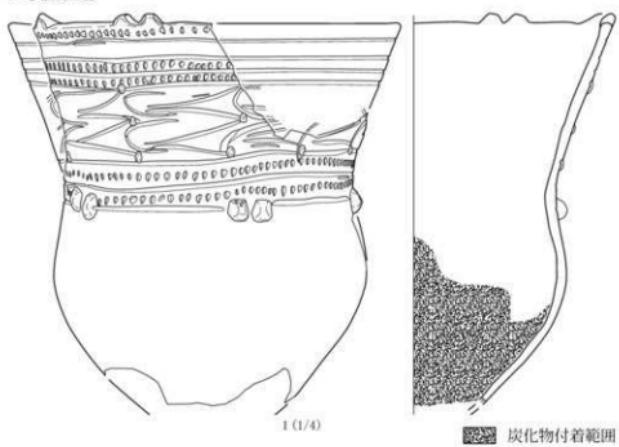
43号埋設土器



0 1 : 4 10cm

第727図 7区42・43号埋設土器出土遺物

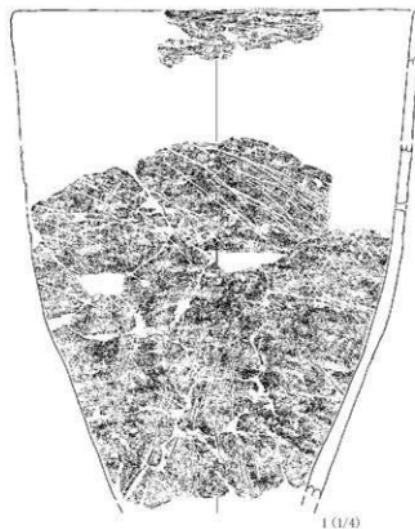
44号埋設土器



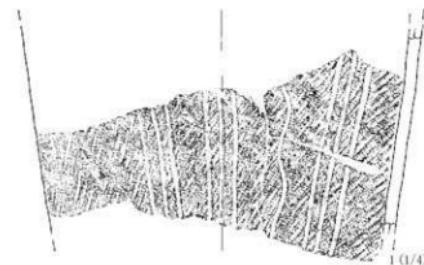
0 1 : 4 10cm

第728図 7区44号埋設土器出土遺物

45号埋設土器



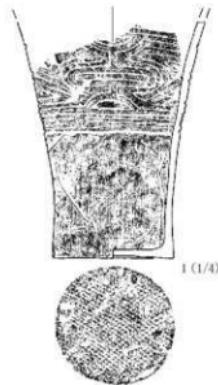
46号埋設土器



47号埋設土器



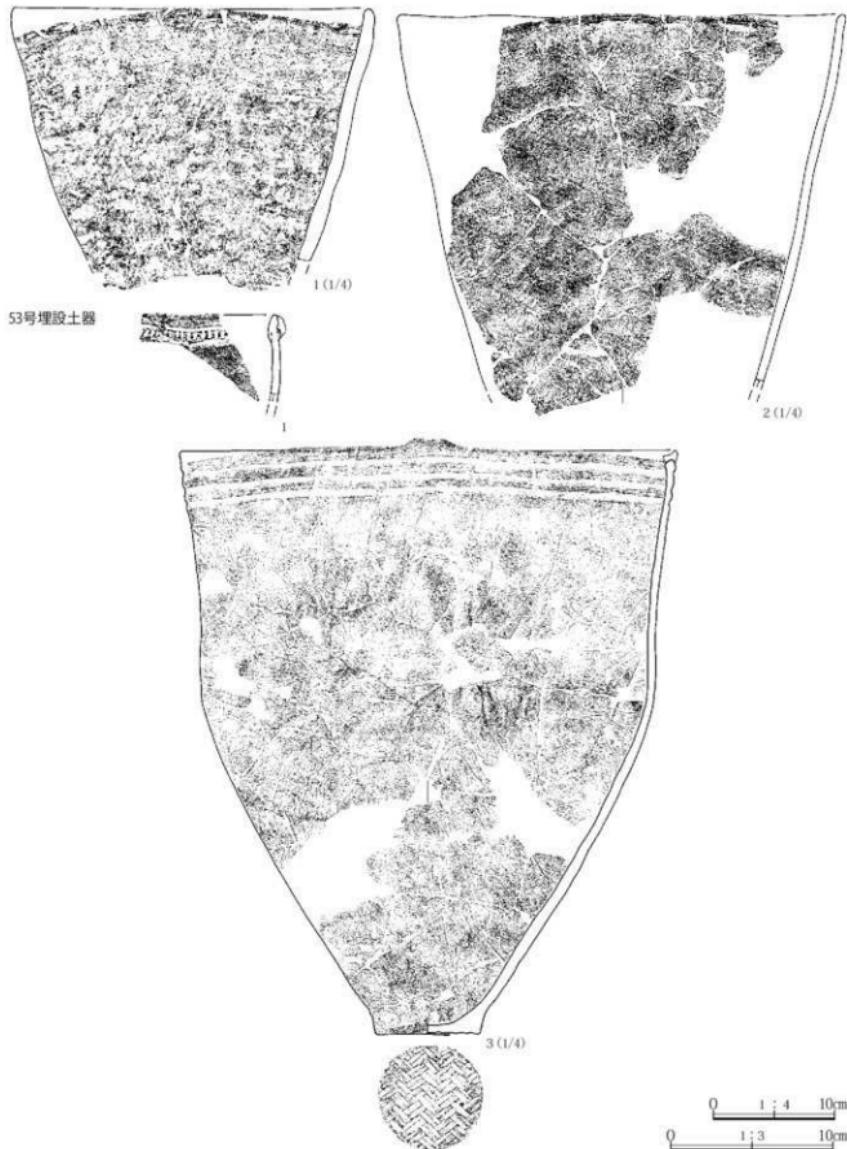
50号埋設土器



0 1 : 4 10cm

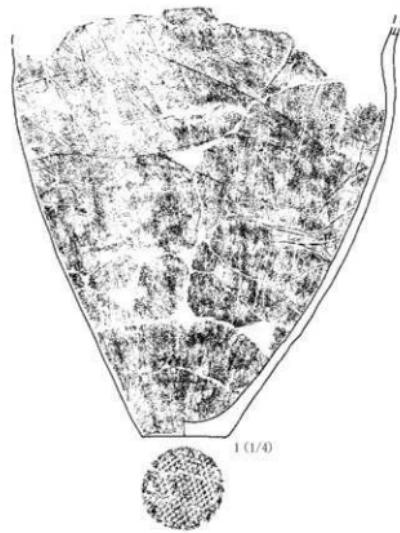
第729図 7区45~47・50号埋設土器出土遺物

52号埋設土器

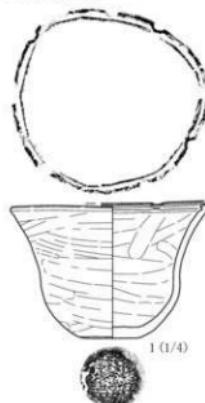


第730図 7区52・53号埋設土器出土遺物

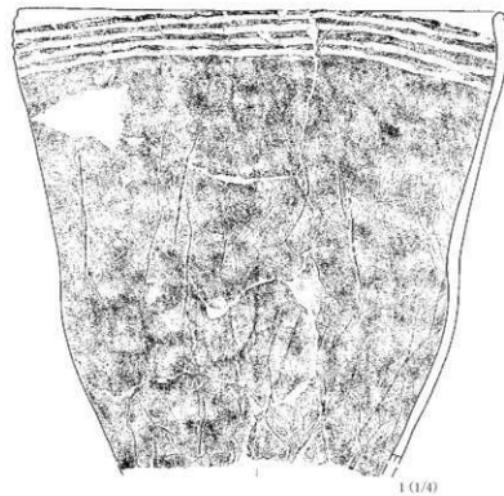
54号埋設土器



58号埋設土器



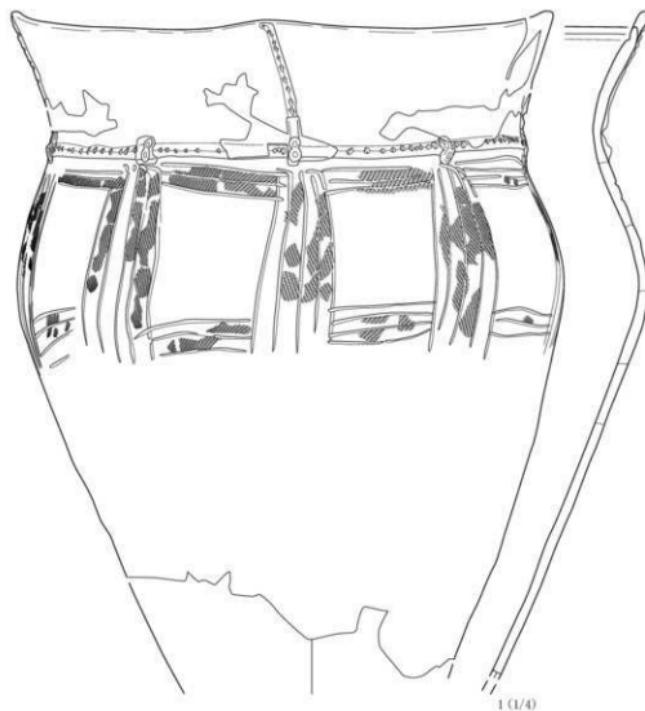
55号埋設土器



0 1 4 10cm

第731図 7区54・55・58号埋設土器出土遺物

60号埋設土器



0 1 4 10cm

第732図 6区60号埋設土器出土遺物

58号埋設土器

7区中央、4号列石西側の中段で確認した。当初は土器の上に大きな礫がのっていた。列石の斜面に完形の小型深鉢を正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は無い。

59号埋設土器

7区南側、41号埋設土器の東側で確認した。調査時は81号配石内にあったが、81号が竪穴建物に変更になり、単独の埋設土器と判断した。胴部下半を打ち欠いた深鉢を正位に埋設しており、焼土や被熱痕跡は認められない。

60号埋設土器

6区中央西側で確認した。調査時は11号竪穴建物の炉とされたが、後期壙之内2式の大型深鉢2個体が入れ子になっており、単独のものと判断した。底部付近を打ち欠いた高さ60cm以上の大型深鉢(1)の中に深鉢(2)が入れ子の状態で正位に埋設されており、焼土や被熱痕跡は認められない。

61号埋設土器

6区南西部の79号竪穴建物の南西側で確認した。調査時は79号の扱いになっていたが、79号は後期壙之内1式の柄鏡形敷石タイプの建物であり、61号は後期後半以後のものと判断される。61号は底部付近を打ち欠いた無文の粗製土器を正位に埋設したもので、焼土や被熱痕跡は認められない。

第9項 焼土

縄文時代の単独の焼土と判断したものは、第17表に示した24箇所である。これらについては以下に図を掲載し、必要な写真を掲載したので、参照いただきたい。

第10項 土坑

土坑は1064基を確認した。これらの位置については、第737図～第752図に土坑・ピットも含む遺構配置割図を掲載したので参照していただきたい。また、第18表に土坑一覧表を、第753図～第860図に土坑とその出土遺物を掲載した。

第11項 ピット

ピットは1397基を確認した。これらの位置については、土坑と同様の遺構配置割図を参照していただきたい。また、第19表にピット一覧表を、第861図にピットの出土遺物を掲載した。

89号焼土



90号焼土



91号焼土



100号焼土

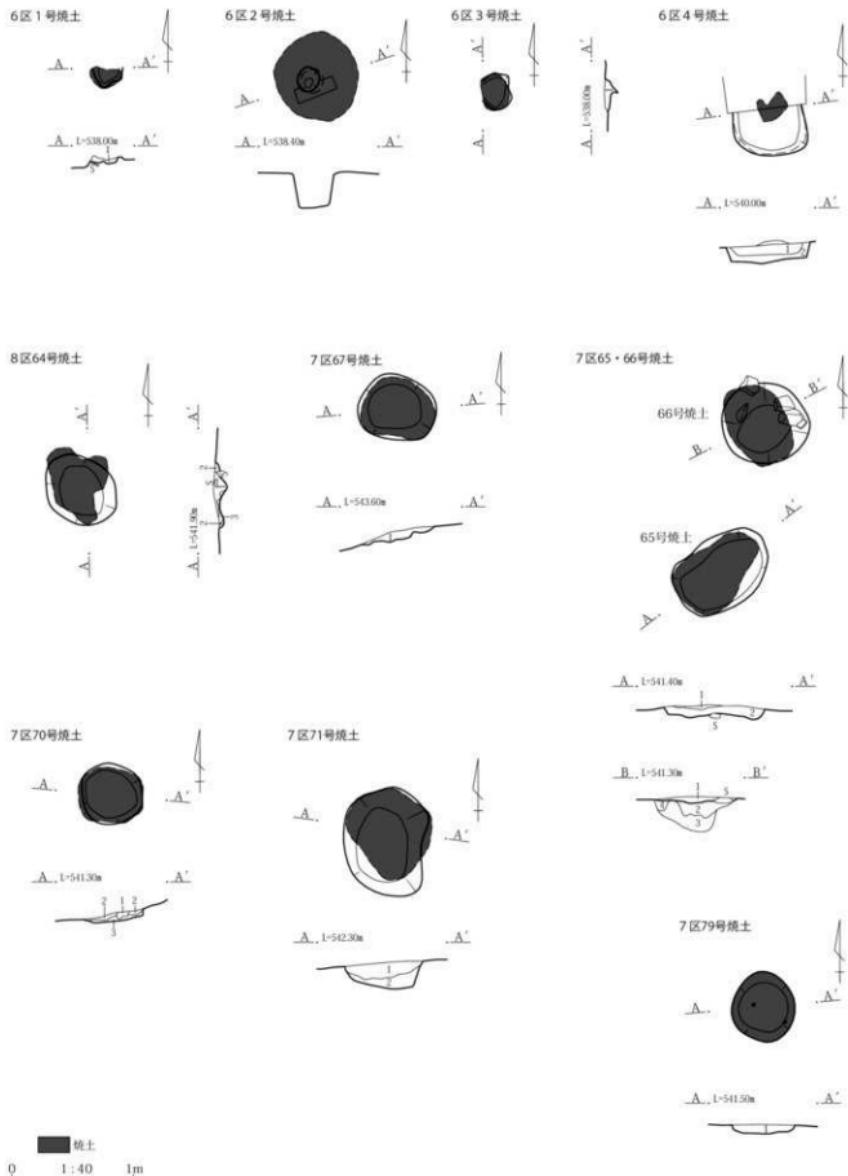


第733図 89・90・91・100号焼土出土遺物

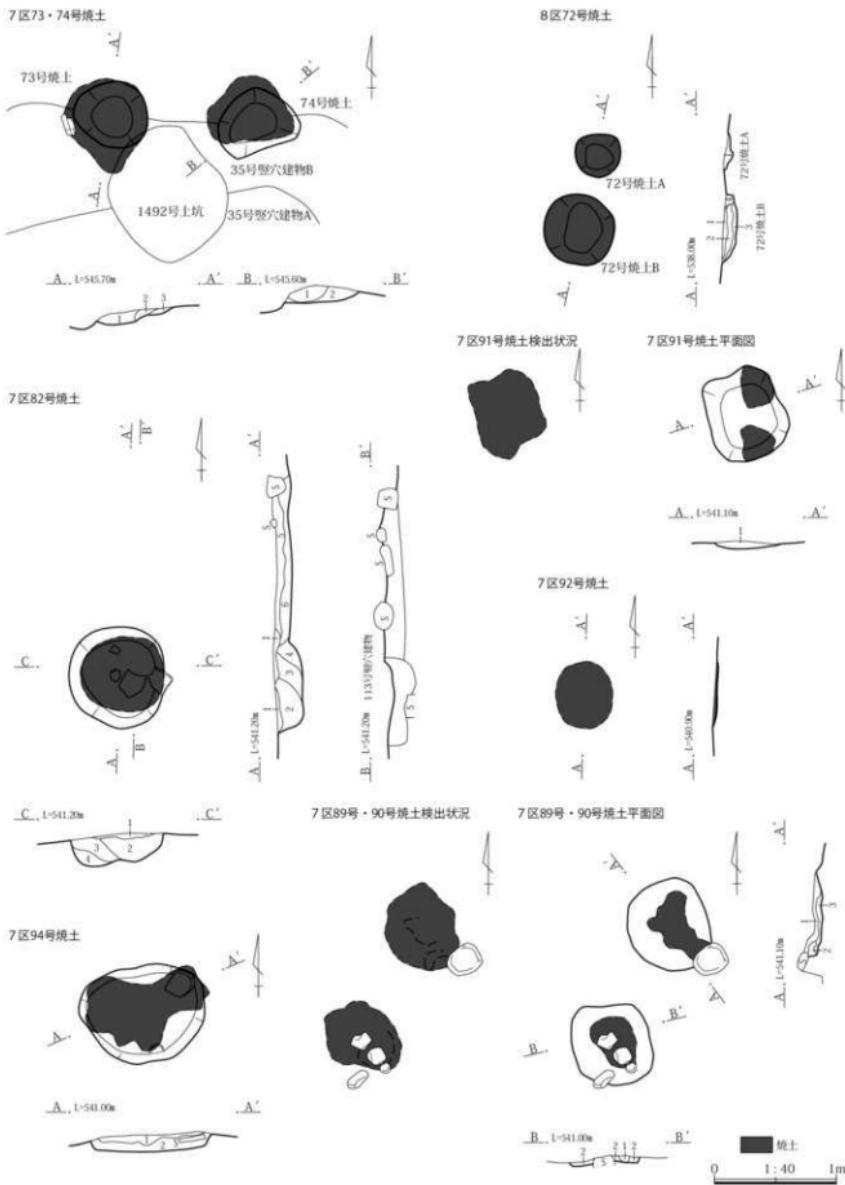
第17表 墓土一覧表

No.	年度	調査区	地区	区	グリッド	時期	形状	規格(cm)	遺構の前歴			備考
									長径	幅径	深さ	
1	H20	6	25	100	K.1		不整形	26	16	15	(断)	(?)
	矢器	H20	6	25	100	K.1	楕円形	34	22	14		
2	H20	6	25	100	I.3		円形	72	70	30		100E41号地上 100E23号地上、11号墳穴内
3	H20	6	25	90	K.25		椭円形	30	18	12		100E31号地上
4	H20	6	25	90	F.25・24		不整形	57	48	19		90E51号土
65	H29	7	25	90	C.7		椭円形	76	50	12		90E52号土
66	H29	7	25	90	C.8		楕円形	77	48	6		
67	H29	7	25	89	X.9+10		椭円形	60	48	12		
70	H29	7	25	90	C.11		楕円形	53	42	10		
71	H29	7	25	90	B.13		不整形	74	70	23		
73	H29	7	26	71	A.17	古代	不整形	73	68	14	35号墳穴建物A 1492号上坑	35号墳穴建物もカマドの可能性あり。
74	H29	7	26	71	A.17	古代	不整形	70	52	14	35号墳穴建物A 1492号下坑	35号墳穴建物もカマドの可能性あり。
79	H30	7	25	90	M.3+4	古代以降か	円形	58	50	8		古代以降の可能性あり。
82	H30	7	25	90	D.7		円形	66	62	26		113往から振替
89	H30	7	25	90	K.5		不整形	70	60	15		
90	H30	7	25	90	K.5		不整形	58	56	8		
91	H30	7	25	90	I.4		不整形	68	54	7		
92	H30	7	25	90	I.5		楕円形	56	47	—		
94	H30	7	25	90	L.3		不整形	98	70	16		
97	H30	7	25	90	H.2+3, 13		不整形	83	66	16		
98	H31	7	25	89	Y.7		不整形	46	30	10		
99	H31	7	25	90	A-B.10		楕円形	40	37	8		
100	H31	7	25	89	Y.2		不整形	(130)	102	34		
101	H31	7	25	89	X-Y.10+11	後期前半	不整形	52	48	14		56・57号墳土器
102	H31	7	25	89	X-Y.10	後期前半	不整形	56	42	13		160号墳穴建物
103	H31	7	25	89	Y.11	後期前半	不整形	46	46	14		162号墳穴建物
104	H31	7	25	89	Y.11	後期前半	不整形	90	82	22		162号墳穴建物
105	H31	7	25	89	Y.11	後期前半	不整形	108	86	40		163号墳穴建物
64	H29	8	26	81	A.11		不整形	70	50	12		
72a	H29	8	25	90	S.24		円形	36	36	7		
72b	H29	8	25	90	S.24		円形	58	58	14		

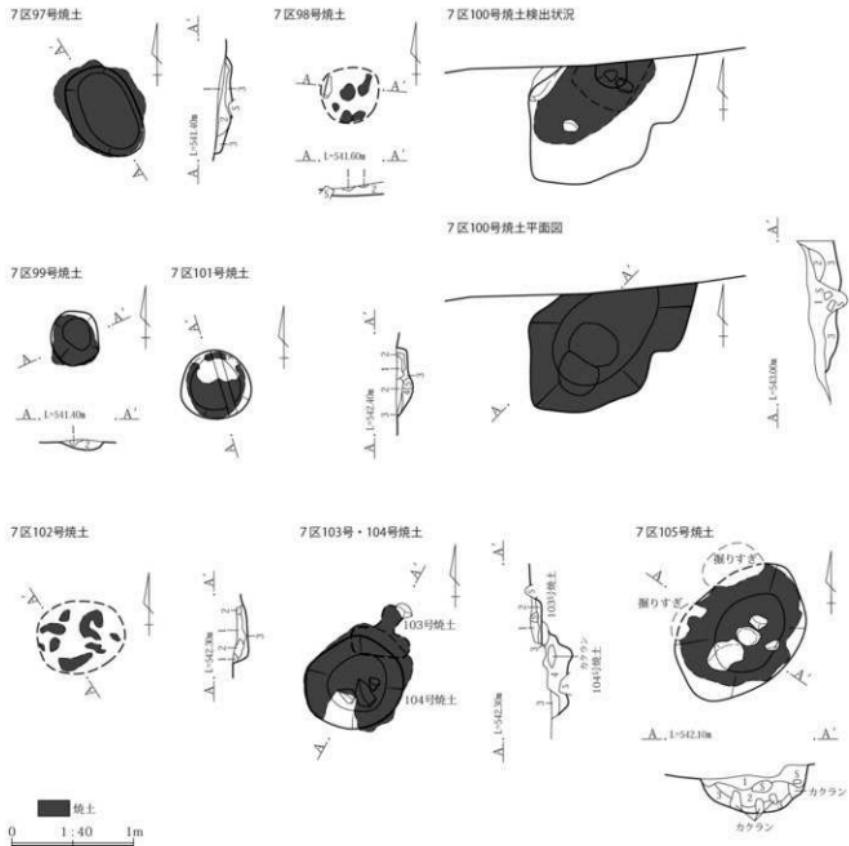
第1節 縄文時代の遺構



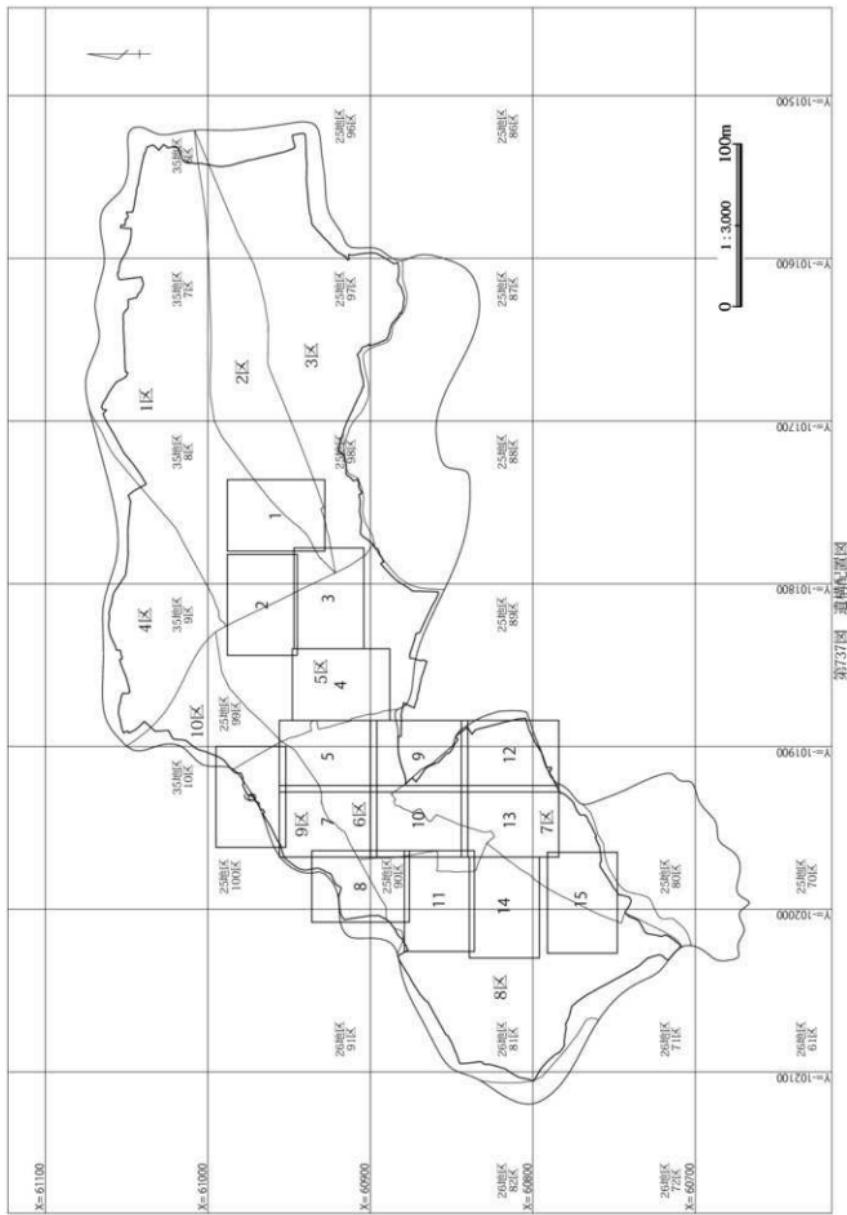
第734図 6～8区1～4・64～67・70・71・79号焼土

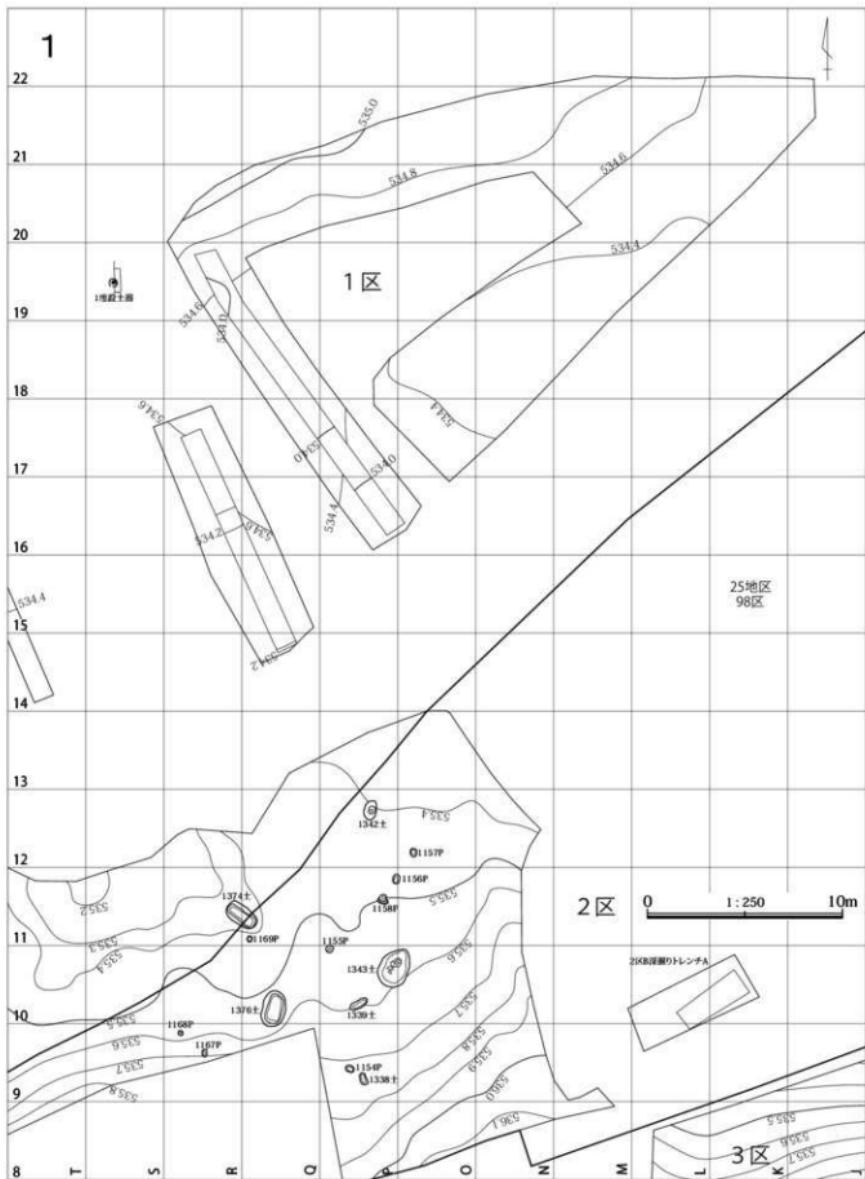


第735図 7・8区72~74・82・89~91・94号焼土

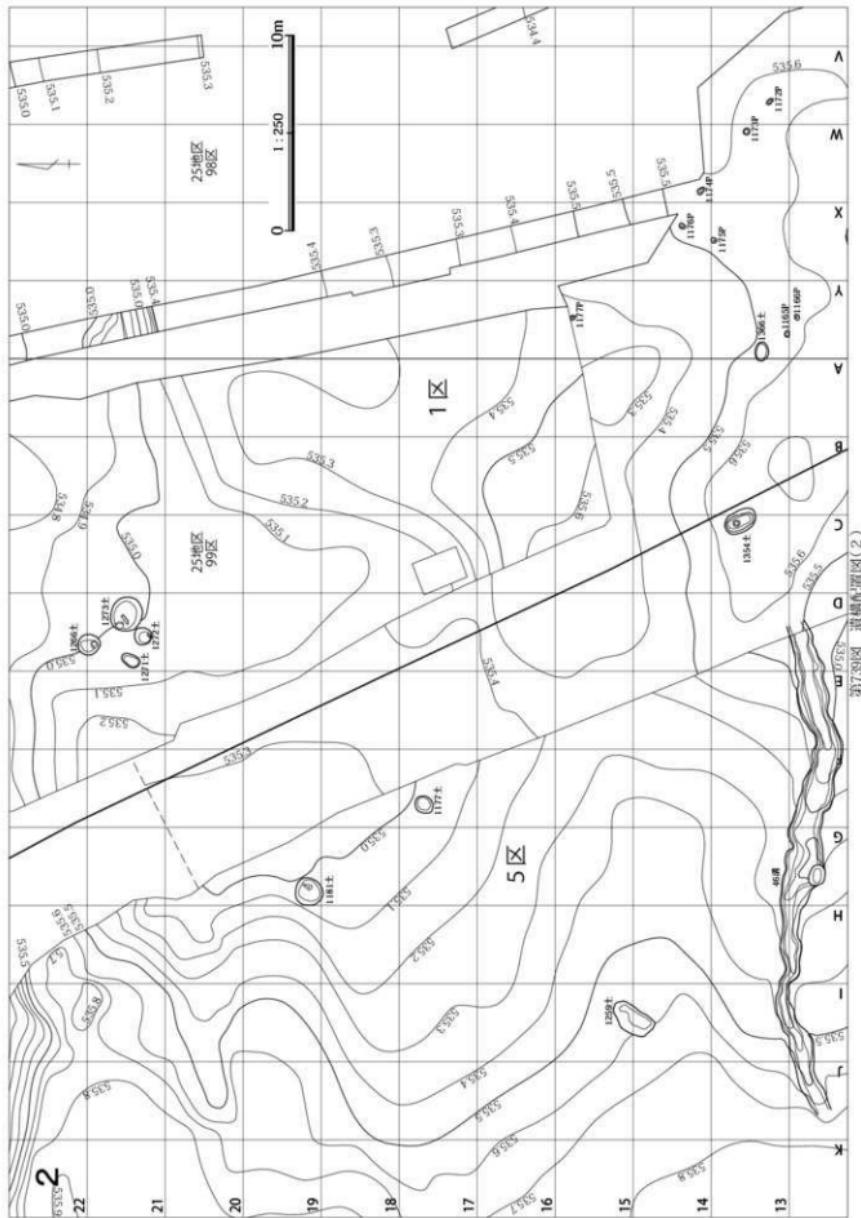


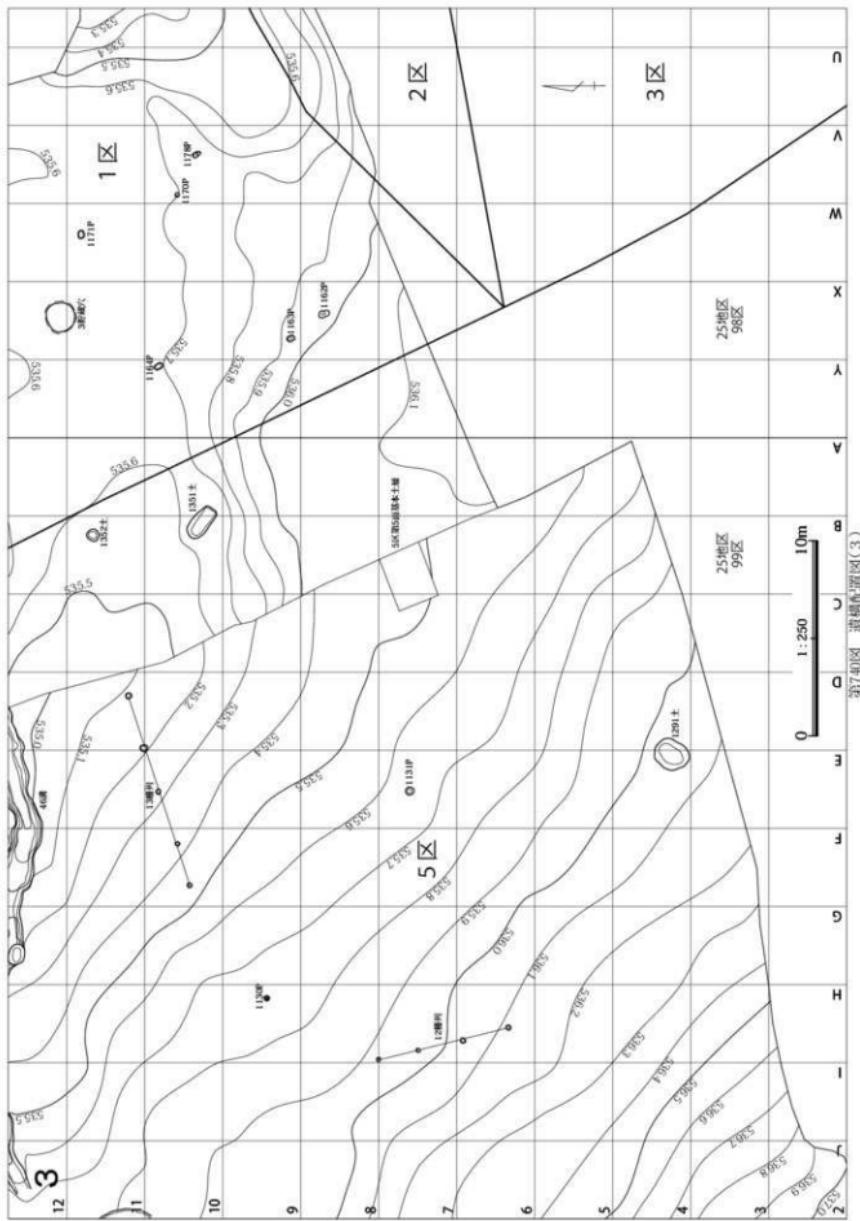
第736図 7区97~105号焼土

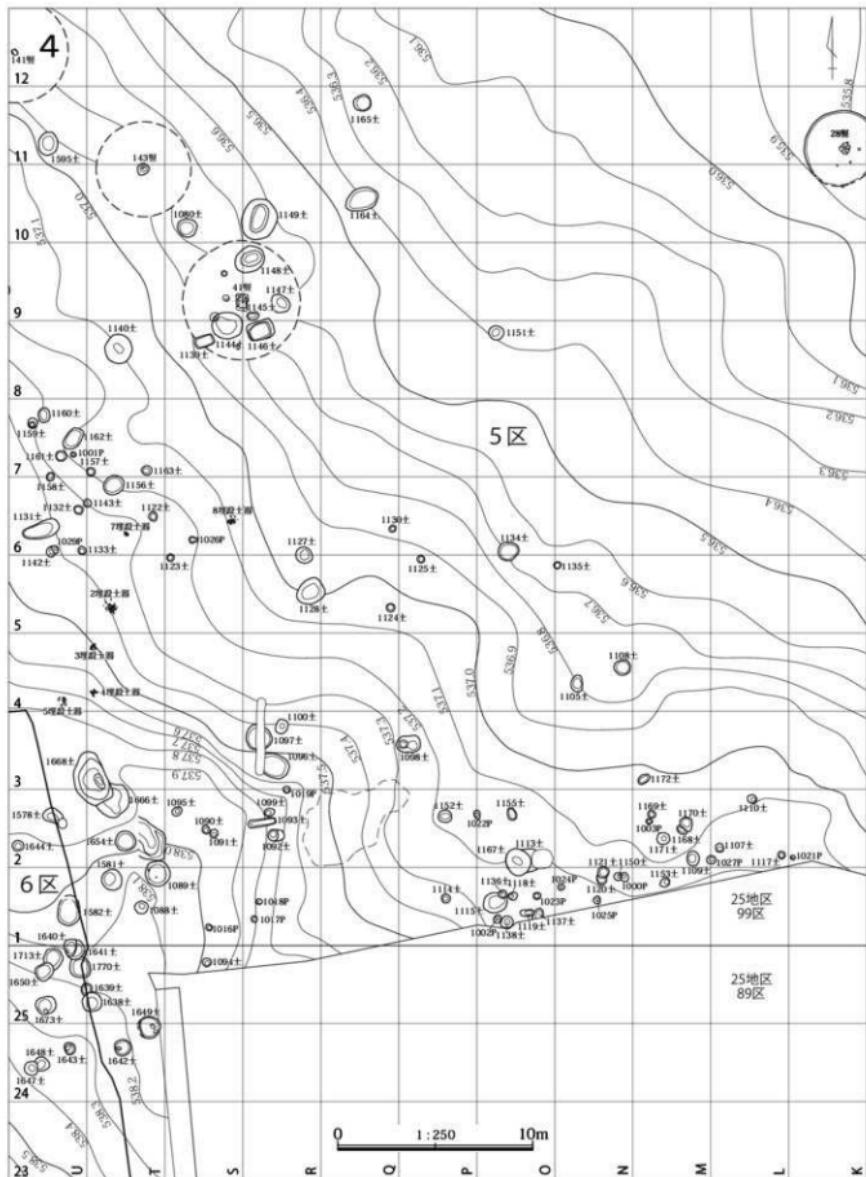




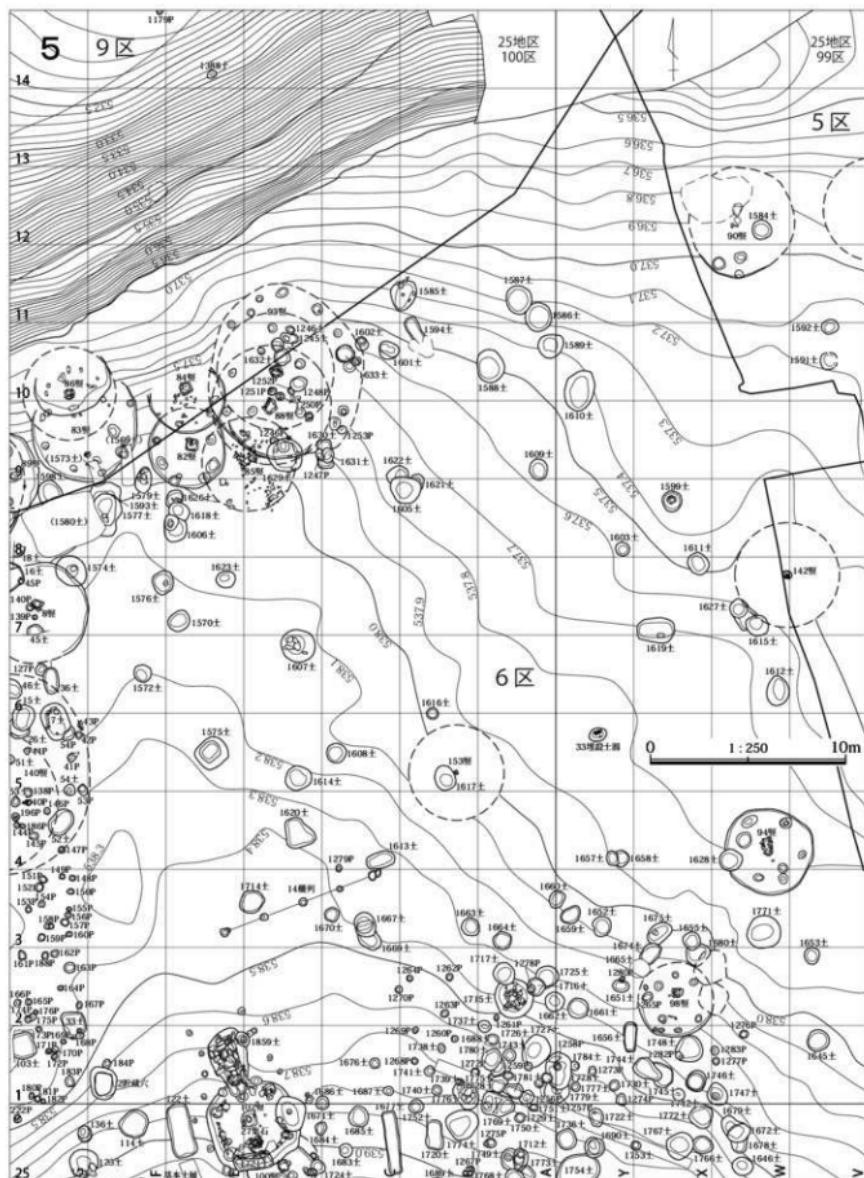
第738図 遺構配置図(1)



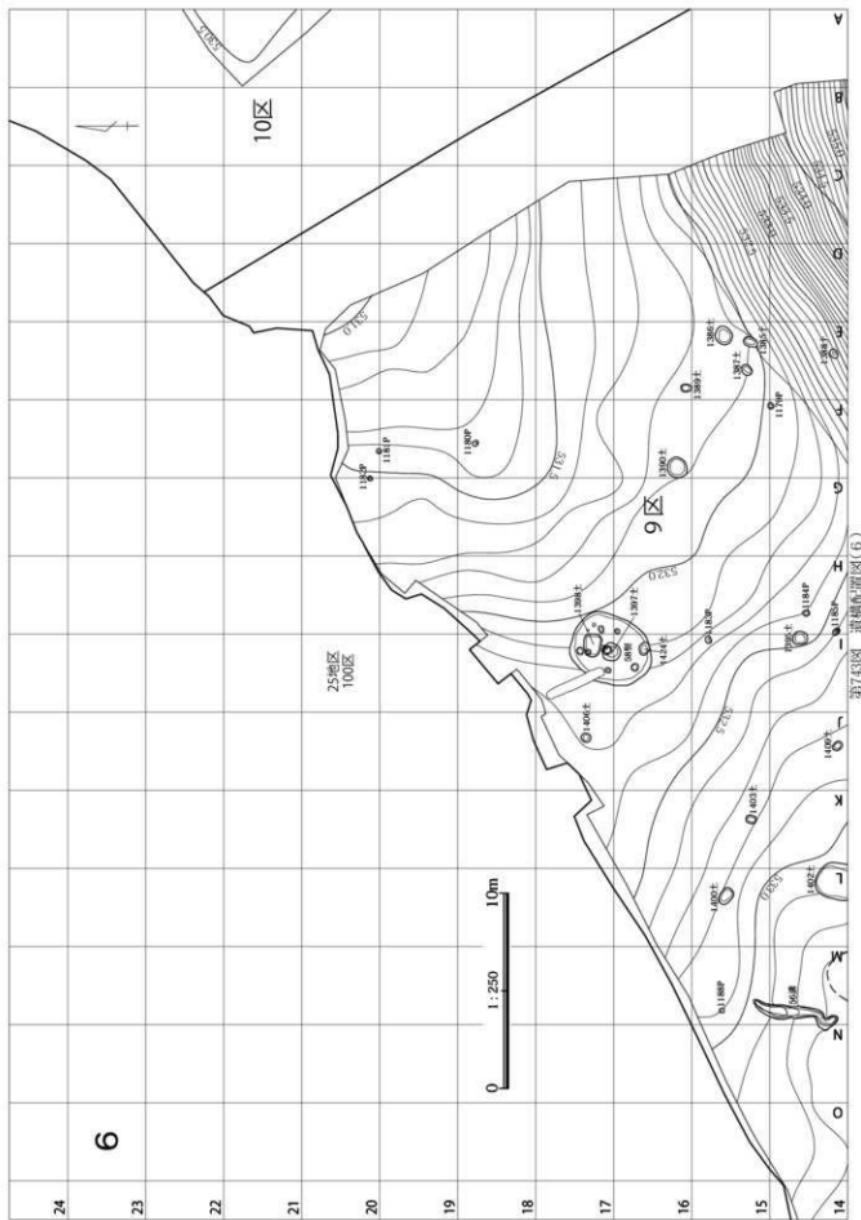




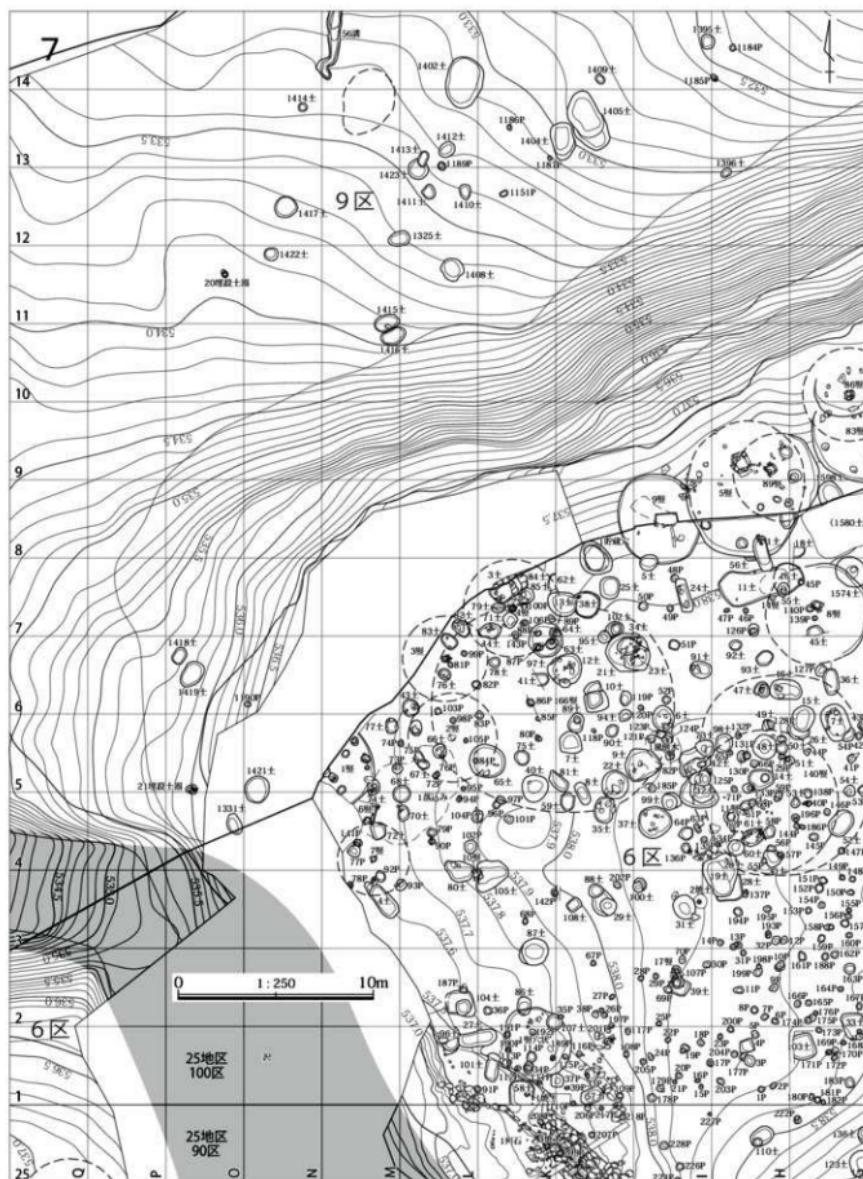
第741図 遺構配置図(4)



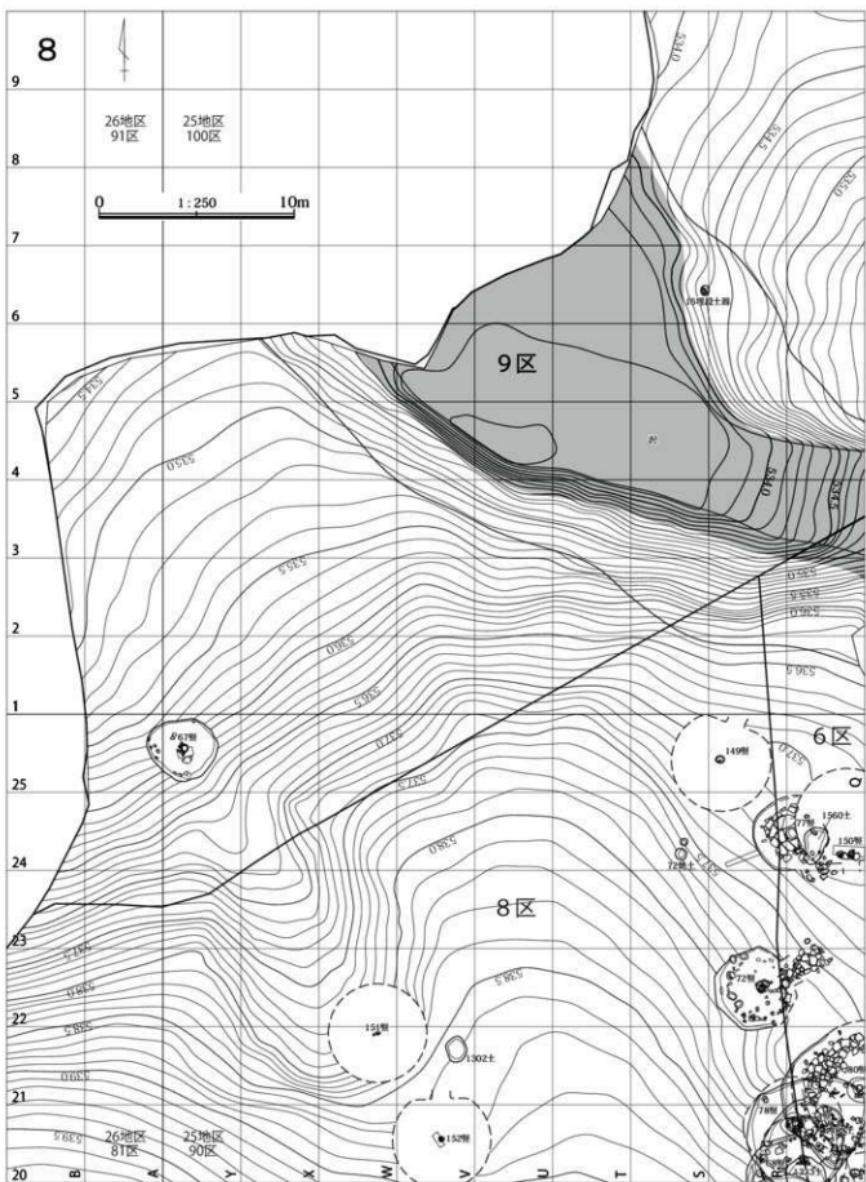
第742図 遺構配置図(5)



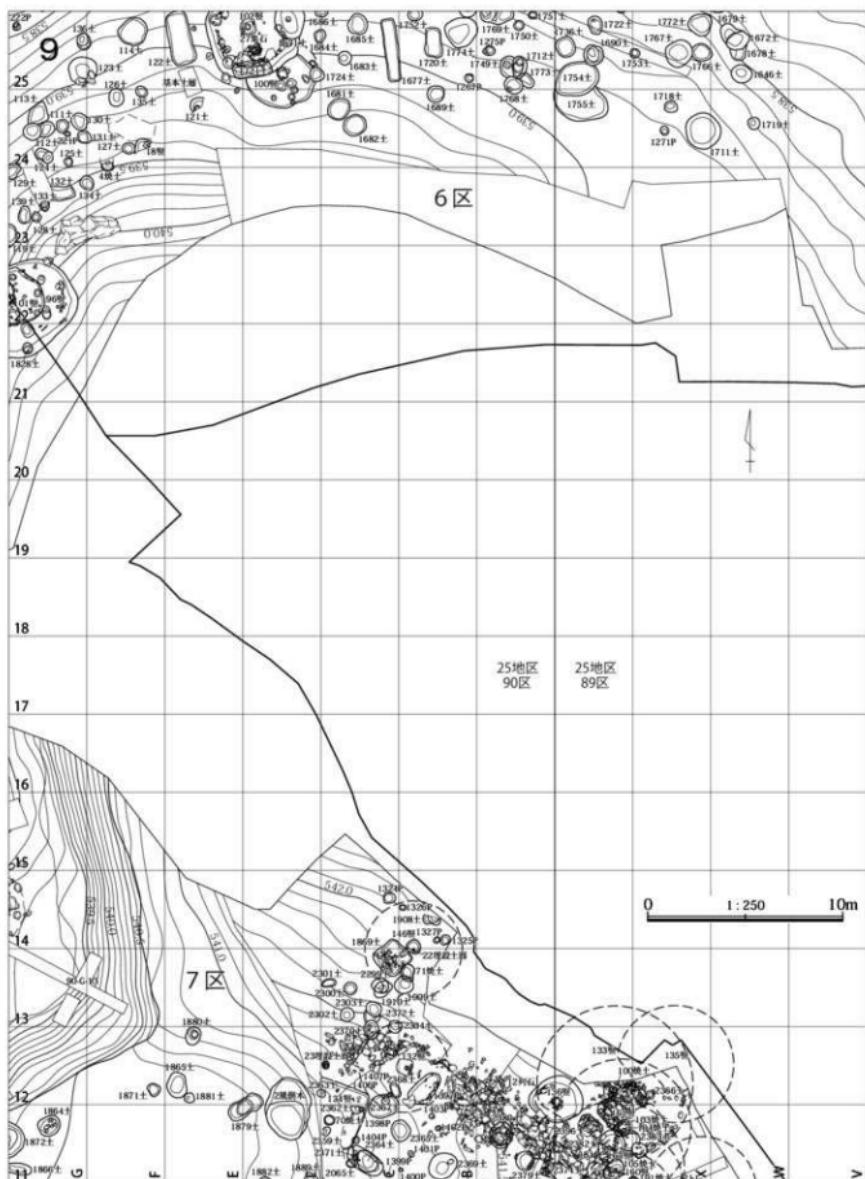
第743回 遺稿配置 (6)



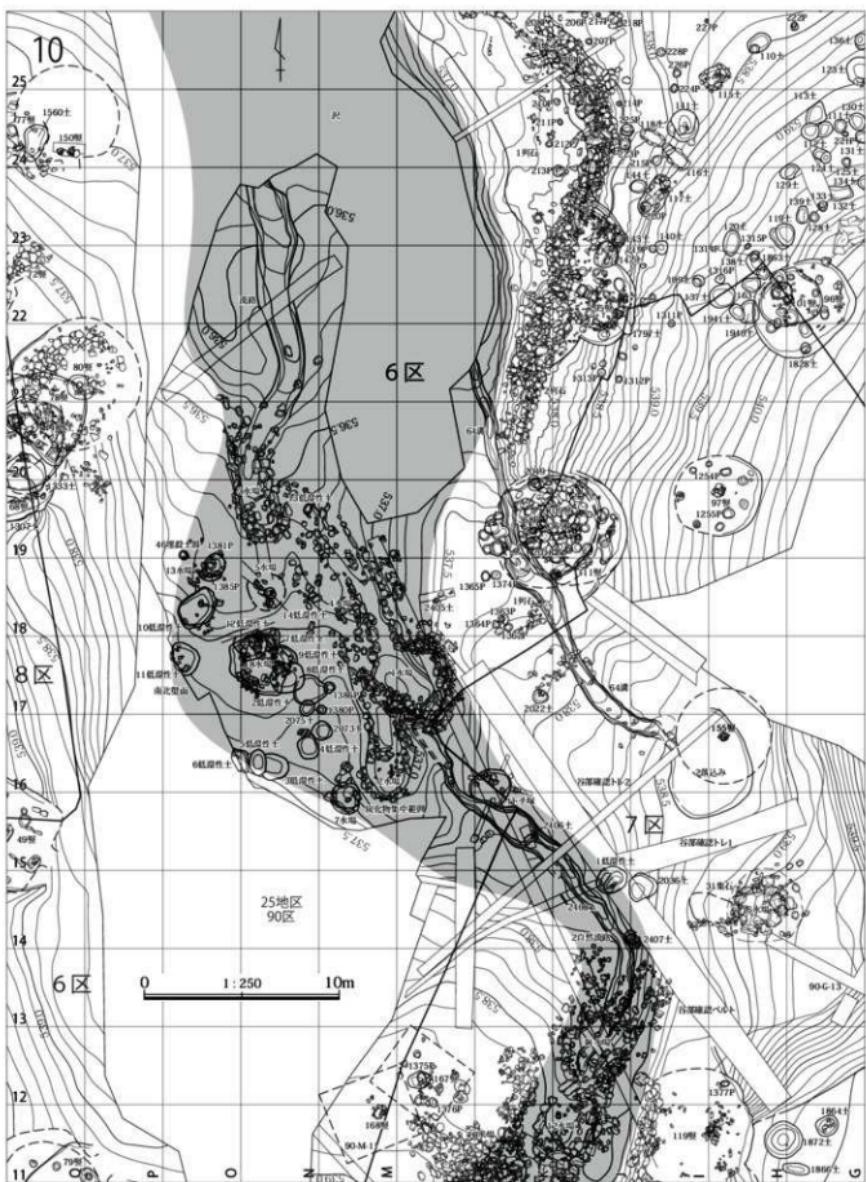
第744図 遺構配置図(7)



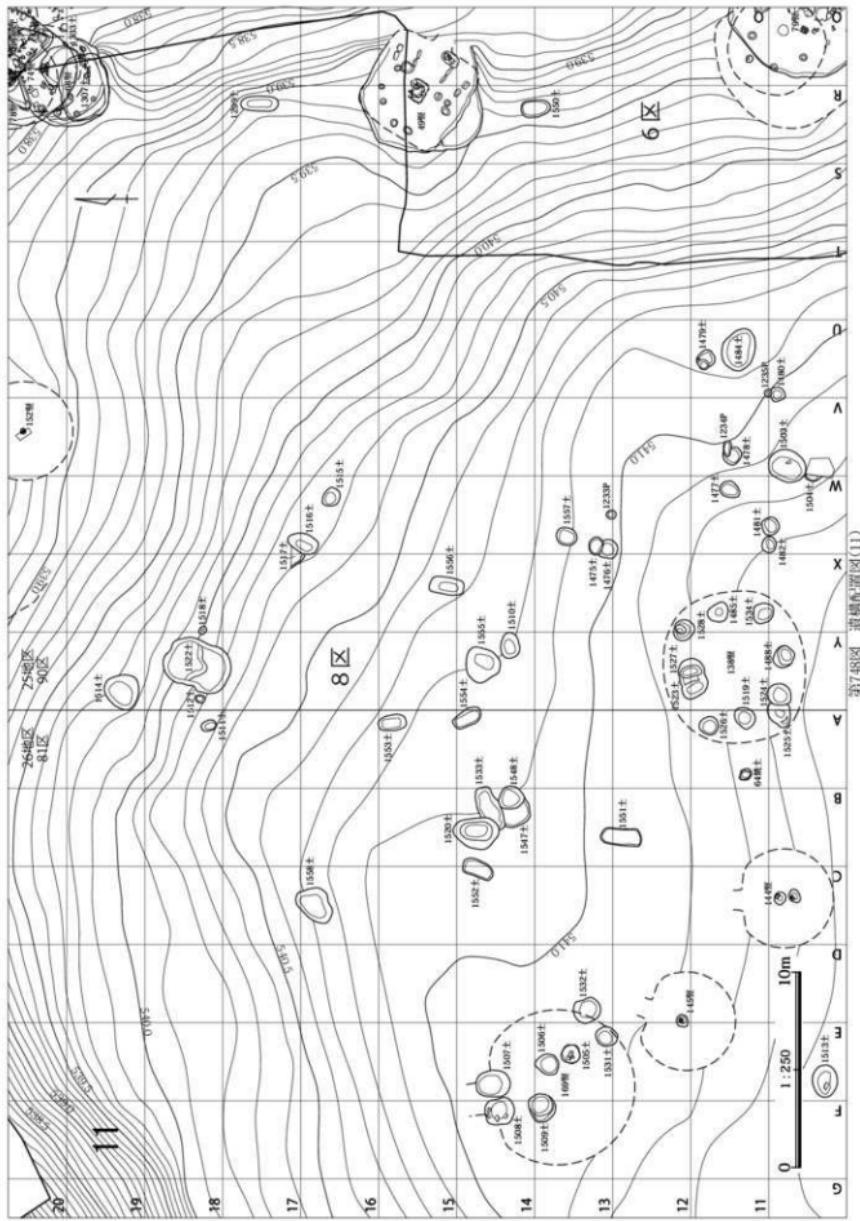
第745図 遺構配置図(8)



第746図 遺構配置図(9)



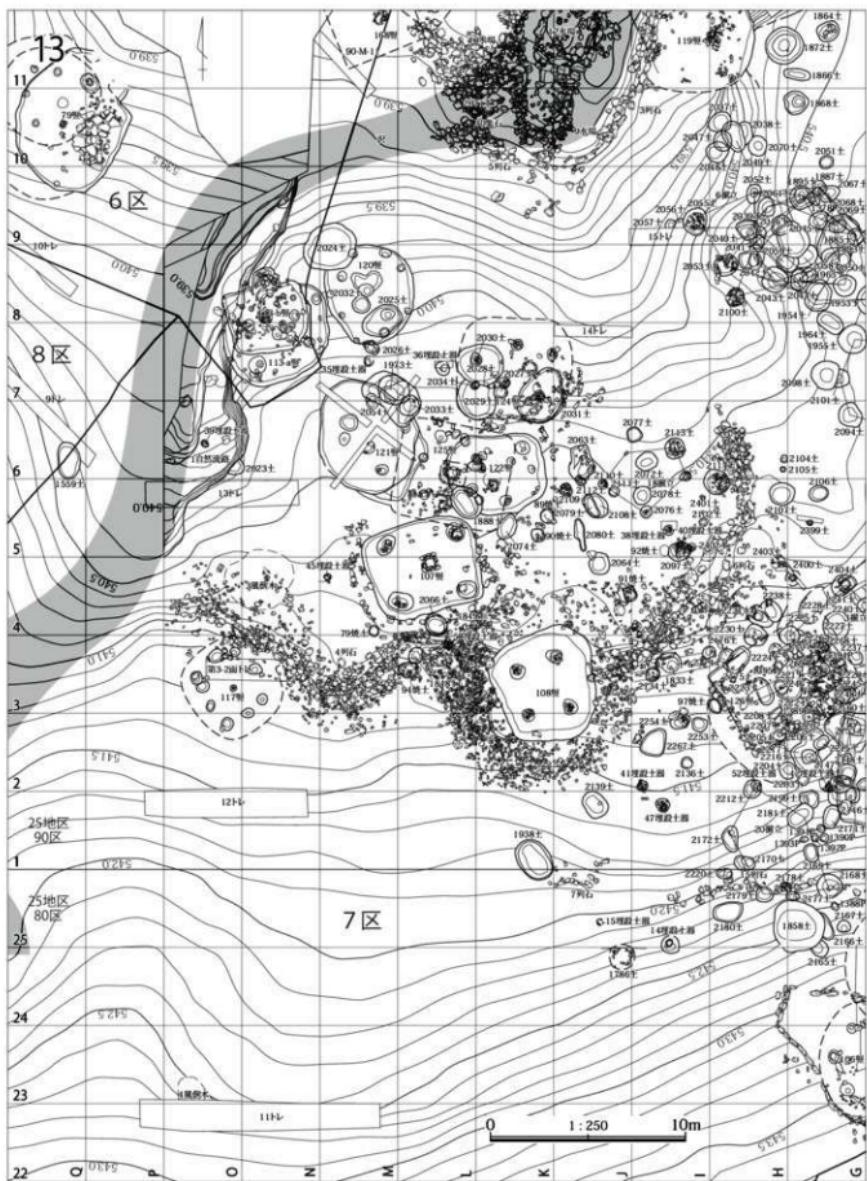
第747図 遺構配置図(10)



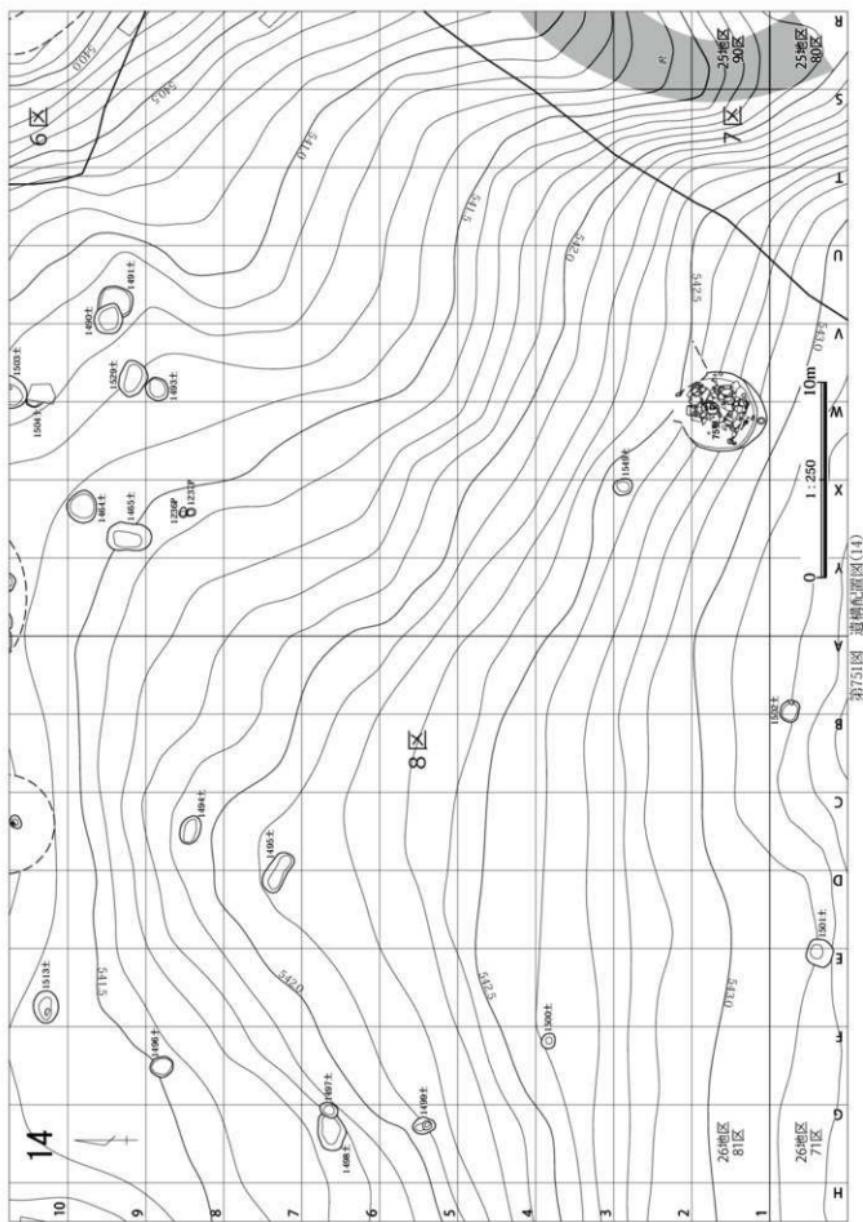
第748回 遭禍配置図(11)



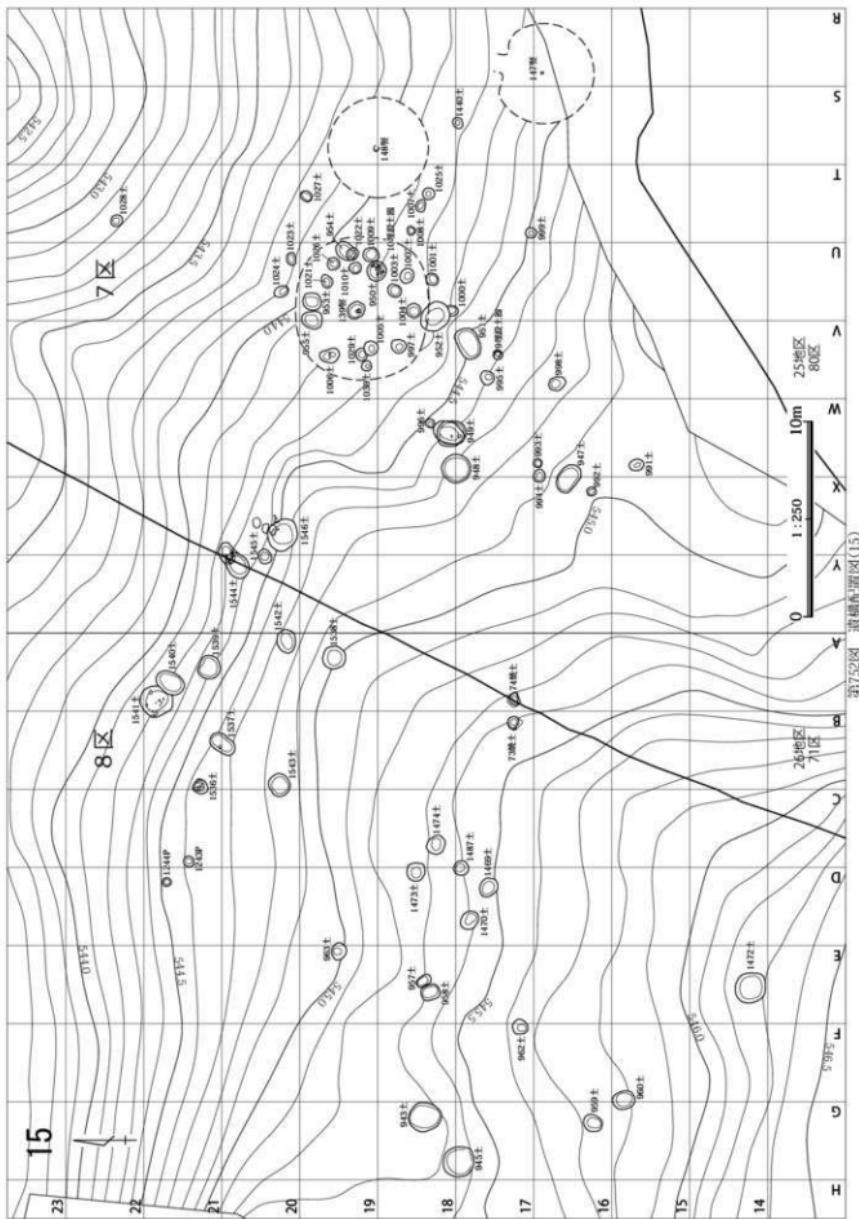
第749図 造構配置図(12)



第750図 遺構配置図(13)



第751圖 遺構配置圖(14)



第2章 発掘された遺構と遺物

第18表 土坑一覧表

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1号土坑		長方形	183	72	88		5号堅穴建物、11号土坑・56号土坑		100×1号土坑
1号土坑		不整形	167	161	127			2号土坑から振替	100×2号土坑
2号土坑		不整形	167	161	127			1号貯藏穴	100×2号土坑
2号土坑		不整形	167	131	86			106号土坑から振替	100×106号土坑
3号土坑		(長方形)	155	(76)	86		84号土坑		100×3号土坑
3号土坑		円形	147	144	57			1365号土坑から振替	
4号土坑		長方形	198	87	62		78号ピット		100×4号土坑
5号土坑		楕円形	89	80	23		9号堅穴建物		100×5号土坑
6号土坑		楕之内2式～加曾利81式	130	112	55			166号堅穴建物	100×6号土坑
7号土坑		不整形	112	109	17				100×7号土坑
8号土坑		長方形	120	59	77				100×8号土坑
9号土坑		不整形	185	166	27				100×9号土坑
10号土坑		不整形	154	122	58				100×10号土坑
11号土坑		(長方形)	(273)	186	21	1号土坑	16号土坑・55号土坑		100×11号土坑
12号土坑		(不整形)	175	151	35			166号堅穴建物	100×12号土坑
13号土坑		楕之内2式～加曾利82式	143	119	70		38号土坑	166号堅穴建物	100×13号土坑
14号土坑		楕之内2式	126	104	26			140号堅穴建物柱穴	100×14号土坑
15号土坑		円形	132	111	73			26号土坑	100×15号土坑
16号土坑		不整形	157	156	11	11号土坑	55号土坑		100×16号土坑
17号土坑		楕之内2式	188	131	47			140号堅穴建物柱穴	100×17号土坑
18号土坑		—	(65)	(56)	16				100×18号土坑
19号土坑		楕円形	208	104	49		20号土坑・28号土坑		100×19号土坑
20号土坑		(楕円形)	(108)	103	52	19号土坑	28号土坑		100×20号土坑
21号土坑		楕之内2式～加曾利82式	194	218	60		23号土坑・34号土坑・102号土坑	166号堅穴建物	100×21号土坑
22号土坑		楕之内2式～加曾利82式	140	132	85			166号堅穴建物	100×22号土坑
23号土坑		楕之内2式～加曾利82式	130	126	27	21号土坑	34号土坑	166号堅穴建物	100×23号土坑
24号土坑		長方形	176	60	85		48号ピット		100×24号土坑
25号土坑		長方形	113	93	27				100×25号土坑
26号土坑		(円形)	111	(93)	49	15号土坑			100×26号土坑
27号土坑		長方形	198	74	30		96号土坑		100×27号土坑
28号土坑		(方形)	134	(124)	14	19・20号土坑			100×28号土坑
29号土坑		不整形	88	83	35		88号土坑		100×29号土坑
30号土坑		楕之内2式	93	80	41		55号～57号ピット	140号堅穴建物柱穴	100×30号土坑
31号土坑		(円形)	127	111	58				100×31号土坑
32号土坑		楕之内2式	(不整形)	198	132	95	99号土坑	140号堅穴建物柱穴	100×32号土坑
33号土坑		(不整形)	137	119	28				100×33号土坑
34号土坑		楕円形	108	87	13	21・23号土坑		166号堅穴建物	100×34号土坑
35号土坑		長方形	134	97	39				100×35号土坑
36号土坑		長方形	132	73	18		127号ピット		100×36号土坑
37号土坑		円形	168	162	16				100×37号土坑
38号土坑		楕之内2式～加曾利82式	(円形)	135	127	65	13号土坑		100×38号土坑
39号土坑		(長方形)	105	84	11	17号堅穴建物2号埋甕			100×39号土坑
40号土坑		楕之内2式～加曾利82式	139	134	56			166号堅穴建物	100×40号土坑
41号土坑		(長方形)	(53)	62	15				100×41号土坑
42号土坑		楕之内2式	(114)	119	31		73号土坑	140号堅穴建物柱穴	100×42号土坑
43号土坑		円形	91	85	18				100×43号土坑
44号土坑		楕之内2式～加曾利82式	不整形	116	81	30		166号堅穴建物	100×44号土坑
45号土坑		—	94	50	14				100×45号土坑
46号土坑		楕之内2式	164	98	29			140号堅穴建物柱穴	100×46号土坑
47号土坑		楕之内2式	楕円形	80	42	51		140号堅穴建物柱穴	100×47号土坑
48号土坑		円形	130	128	42		50号土坑		100×48号土坑
49号土坑		不整形	53	(35)	24				100×49号土坑
50号土坑		不整形	61	61	16	48号土坑			100×50号土坑
51号土坑		不整形	52	49	27				100×51号土坑
52号土坑		楕之内2式	楕円形	146	104	20		140号堅穴建物柱穴	100×52号土坑
53号土坑		不整形	32	44	15				100×53号土坑

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
54号土坑		不整形	58	57	36			140号竪穴建物柱穴	100K54号土坑
55号土坑		楕円形	71	59	41	11号土坑、16号土坑			100K55号土坑
56号土坑		—	(56)	(21)	19	5号竪穴建物、1号土坑			100K56号土坑
57号土坑		長方形	122	72	41				100K57号土坑
58号土坑		(長方形)	(124)	125	13				100K58号土坑
59号土坑		(楕円形)	(78)	70	20				100K59号土坑
60号土坑	堀之内2式	円形	80	80	34			140号竪穴建物柱穴	100K60号土坑
61号土坑		不整形	108	82	25				100K61号土坑
62号土坑		(楕円形)	95	(43)	19				100K62号土坑
63号土坑		楕円形	66	55	17		97号土坑		100K63号土坑
64号土坑		不整形	55	48	18		97号土坑		100K64号土坑
65号土坑		円形	182	178	54				100K65号土坑
66号土坑		円形	74	68	41	76号ビット			100K66号土坑
67号土坑		(楕円形)	63	48	17	75号ビット			100K67号土坑
68号土坑		円形	90	88	26				100K68号土坑
69号土坑		(楕円形)	139	42	42				欠番
70号土坑		楕円形	80	56	35				100K70号土坑
71号土坑		方形	71	70	47				100K71号土坑
72号土坑		不整形	88	74	29			7号竪穴建物の可能性あり	100K72号土坑
73号土坑	堀之内2式	不整形	102	83	46	42号土坑		140号竪穴建物柱穴	100K73号土坑
74号土坑		不整形	82	61	41				100K74号土坑
75号土坑		楕円形	79	72	19				100K75号土坑
76号土坑	堀之内2式 附加曾利式	楕円形	65	55	33			166号竪穴建物	100K76号土坑
77号土坑		楕円形	78	59	7				100K77号土坑
78号土坑		方形	56	51	40				100K78号土坑
79号土坑		楕円形	70	46	26				100K79号土坑
80号土坑		不整形	145	83	35				100K80号土坑
81号土坑		長方形	119	62	23				100K81号土坑
82号土坑		楕円形	100	70	22				100K82号土坑
83号土坑		円形	90	66	34				100K83号土坑
84号土坑		(楕円形)	(70)	(35)	28	3号土坑	85号土坑		100K84号土坑
85号土坑		円形	85	74	46	84号土坑			100K85号土坑
86号土坑		不整形	94	66	37				100K86号土坑
87号土坑		円形	137	132	34				100K87号土坑
88号土坑		円形	79	68	25	29号土坑			100K88号土坑
89号土坑		不整形	98	74	25				100K89号土坑
90号土坑		不整形	65	60	20				100K90号土坑
91号土坑		楕円形	110	84	19				100K91号土坑
92号土坑		楕円形	63	51	20				100K92号土坑
93号土坑		楕円形	89	72	15				100K93号土坑
94号土坑		不整形	60	58	34				100K94号土坑
95号土坑		円形	63	60	29		102号土坑		100K95号土坑
96号土坑		不整形	(103)	(68)	88	27号土坑			100K96号土坑
97号土坑		円形	174	170	58	63号土坑・64号土坑			100K97号土坑
98号土坑		方形	92	87	21				100K98号土坑
99号土坑		不整形	93	87	34	32号土坑			100K99号土坑
100号土坑		円形	73	67	30				100K100号土坑
101号土坑		不整形	140	59	49				100K101号土坑
102号土坑		(楕円形)	86	70	47	21号土坑・95号土坑			100K102号土坑
103号土坑		(不整形)	133	(126)	20				100K103号土坑
104号土坑		不整形	150	147	45	187号ビット			100K104号土坑
105号土坑		不整形	160	132	47				100K105号土坑
106号土坑		不整形	167	131	86		2号的藏穴		100K106号土坑
107号土坑		円形	80	78	24				100K107号土坑
108号土坑		長方形	74	58	33				100K108号土坑
109号土坑		円形	59	58	29				90K1号土坑
110号土坑		楕円形	127	85	29				90K2号土坑
111号土坑		円形	65	63	44				90K3号土坑
112号土坑		(円形)	(74)	57	33		113号土坑		90K4号土坑
113号土坑		(不整形)	108	94	32	112号土坑			90K5号土坑
114号土坑		円形	149	141	15				90K6号土坑
115号土坑		楕円形	192	142	41				90K7号土坑
116号土坑		楕円形	110	87	57				90K11号土坑
120号土坑		楕円形	131	85	33				90K12号土坑

第2章 発掘された遺構と遺物

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
121号土坑	—	—	90	(58)	50				90区13号土坑
122号土坑	(長方形)	(長方形)	(275)	(83)	46				90区14号土坑
123号土坑	(円形)	(109)	147	39					90区15号土坑
124号土坑	楕円形	96	58	27					90区16号土坑
125号土坑	不整形	46	42	33					90区17号土坑
126号土坑	楕円形	91	74	33					90区18号土坑
127号土坑	楕円形	67	55	48					90区19号土坑
128号土坑	方形	50	46	29					90区20号土坑
129号土坑	楕円形	84	69	56					90区21号土坑
130号土坑	楕円形	92	80	50					90区22号土坑
131号土坑	楕円形	75	63	50					90区23号土坑
132号土坑	(長方形)	(124)	71	24					90区24号土坑
133号土坑	不整形	50	49	56					90区25号土坑
134号土坑	(円形)	69	(68)	31					90区26号土坑
135号土坑	楕円形	63	53	38					90区27号土坑
136号土坑	楕円形	84	66	30					90区28号土坑
137号土坑	—	132	(48)	27					90区29号土坑
138号土坑	(長方形)	(80)	72	43			1863号土坑・1314号ビット		90区30号土坑
139号土坑	楕円形	83	62	39					90区31号土坑
140号土坑	不整形	67	55	51					90区32号土坑
141号土坑	円形	166	160	71					90区33号土坑
142号土坑	不整形	125	124	25			95号壁穴建物、1号列石		90区34号土坑
143号土坑	(円形)	79	71	46			95号壁穴建物		90区35号土坑
144号土坑	楕円形	82	69	20					90区36号土坑
698号土坑									欠番
773号土坑									欠番
778号土坑									欠番
807号土坑									欠番
866号土坑									欠番
873号土坑									欠番
882号土坑									欠番
908号土坑									欠番
909号土坑									欠番
910号土坑									欠番
911号土坑									欠番
912号土坑									欠番
943号土坑	円形	168	150	31					
944号土坑	楕円形	162	109	32					
945号土坑	円形	154	152	43					
946号土坑	楕円形	90	80	36					
947号土坑	楕円形	154	100	30					
948号土坑	円形	148	148	20					
949号土坑	楕円形	148	130	37					
950号土坑	円形	100	100	15					
951号土坑	長方形	162	110	25					
952号土坑	楕円形	162	132	68			1000号土坑		
953号土坑	壁之内式か	円形	95	88	42			139号壁穴建物の入り口対ビット	
954号土坑	楕円形	110	85	14			1022号土坑		
955号土坑	壁之内式か	不整形	104	88	48			139号壁穴建物	
957号土坑	長方形	80	50	23					
958号土坑	楕円形	95	76	24					
959号土坑	円形	98	86	17					
960号土坑	円形	116	92	27					
962号土坑	円形	78	76	33					
963号土坑	円形	90	74	32					
991号土坑	楕円形	72	58	33					
992号土坑	円形	46	46	19					
993号土坑	円形	43	43	9					
994号土坑	不整形	62	60	22					
995号土坑	円形	70	70	27					
996号土坑	方形	46	43	20					
997号土坑	壁之内式か	不整形	78	70	40			139号壁穴建物	
998号土坑	不整形	84	69	24					
999号土坑	円形	53	53	34					
1000号土坑	楕円形	(46)	58	27	952号土坑				
1001号土坑	楕円形	64	58	24					
1002号土坑	壁之内式か	楕円形	75	68	45			139号壁穴建物	

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1003号土坑		楕円形	74	64	23				
1004号土坑	壠之内1式か	円形	72	72	31				139号竪穴建物
1005号土坑		円形	70	70	29				1029号土坑
1006号土坑	壠之内1式か	不整形	100	72	47				139号竪穴建物
1007号土坑		楕円形	63	48	29				
1008号土坑		不整形	54	44	18				
1009号土坑	壠之内1式か	不整形	76	75	28				139号竪穴建物
1010号土坑		円形	58	58	19				
1021号土坑		不整形	67	56	14				
1022号土坑		楕円形	64	58	28	954号土坑			
1023号土坑		楕円形	64	46	16				
1024号土坑		楕円形	76	54	26				
1025号土坑		円形	62	60	22				
1026号土坑	壠之内1式	円形	62	62	47				139号竪穴建物
1027号土坑		楕円形	63	49	15				
1028号土坑		円形	63	63	25				
1029号土坑		楕円形	64	(50)	18	1055号土坑			
1030号土坑	壠之内1式か	円形	50	48	28				139号竪穴建物
1080号土坑		不整形	99	92	12				
1088号土坑		円形	68	62	28				
1089号土坑		円形	127	127	20				
1090号土坑		楕円形	46	36	23				
1091号土坑		円形	44	36	28				
1092号土坑		楕円形	80	58	40				
1093号土坑		長方形	143	40	14				
1094号土坑		円形	43	42	28				
1095号土坑		楕円形	48	40	14				
1096号土坑	(楕円形)	(125)	118	21	1116号土坑				
1097号土坑		不整形	137	127	34	1116号土坑			
1098号土坑		不整形	120	86	15				
1099号土坑		楕円形	48	41	27				
1100号土坑		長方形	74	58	31				
1105号土坑		楕円形	84	58	30				
1107号土坑		方形	45	39	37				
1108号土坑		円形	86	78	33				
1109号土坑		楕円形	74	63	35				
1110号土坑		不整形	46	42	42				
1112号土坑									欠番
1113号土坑		楕円形	(180)	122	89	1167号土坑			
1114号土坑		円形	46	44	23				
1115号土坑		楕円形	118	103	12				1136号土坑
1117号土坑		円形	38	36	28				
1118号土坑		楕円形	46	40	18				
1119号土坑		楕円形	72	34	27				
1120号土坑	(楕円形)	(32)	50	40	1121号土坑				
1121号土坑		円形	60	56	40				1120号土坑
1122号土坑		円形	46	44	26				
1123号土坑		円形	38	37	14				
1124号土坑		円形	45	42	25				
1125号土坑		円形	57	36	14				
1127号土坑		楕円形	87	77	42				
1128号土坑		不整形	141	130	22				
1130号土坑		円形	34	34	22				
1131号土坑		不整形	191	77	13				
1132号土坑		不整形	44	44	8				
1133号土坑		円形	41	38	15				
1134号土坑		不整形	107	97	31				
1135号土坑		円形	36	36	25				
1136号土坑		円形	45	40	12	1115号土坑			
1137号土坑	(楕円形)	(50)	50	41					
1138号土坑		円形	64	58	27				
1139号土坑		長方形	100	57	10				
1140号土坑		円形	142	142	70				
1142号土坑	(円形)	(32)	50	20	1029号ピット				
1143号土坑		円形	41	40	28				
1144号土坑		楕円形	153	135	55				
1145号土坑		不整形	60	37	20				
1146号土坑		長方形	136	93	37				

第2章 発掘された遺構と遺物

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1147号土坑		不整形	103	88	22				
1148号土坑		椭円形	153	130	83				
1149号土坑		椭円形	212	177	91				
1150号土坑		(円形)	136	38	52	1000号ピット			
1151号土坑		円形	73	71	18				
1152号土坑		円形	68	63	23				
1153号土坑		不整形	50	42	33				
1155号土坑		椭円形	62	46	16				
1156号土坑		椭円形	108	95	52				
1157号土坑		円形	44	42	22				
1158号土坑		椭円形	42	39	15				
1159号土坑		円形	50	48	40				
1160号土坑		椭円形	75	58	38				
1161号土坑		円形	54	54	13				
1162号土坑		長方形	123	77	17				
1163号土坑		円形	49	48	18				
1164号土坑		椭円形	176	116	15				
1165号土坑		円形	87	83	9				
1166号土坑		不整形	182	(138)	60				
1167号土坑						1113号土坑			
1168号土坑		椭円形	58	32	21	1170号土坑			
1169号土坑		円形	40	38	29	1003号ピット			
1171号土坑		椭円形	65	62	30				
1172号土坑		椭円形	68	44	48				
1177号土坑		円形	93	86	25				
1181号土坑		円形	146	142	27				
1207号土坑									
1259号土坑		不整形	226	124	60				
1266号土坑		円形	112	108	38				
1271号土坑		椭円形	98	64	5				
1272号土坑		円形	88	88	48				
1273号土坑		椭円形	176	158	54				
1291号土坑		不整形	168	146	53				
1299号土坑		椭円形	192	75	85				
1302号土坑		円形	134	107	15				
1307号土坑		長方形	330	252	87			68号堅穴建物、 1333号土坑	
1330号土坑									
1331号土坑		椭円形	110	71	22				
1333号土坑		円形	(118)	202	50	1307号土坑		68号堅穴建物	
1338号土坑		長方形	62	33	19				
1339号土坑		椭円形	96	37	17				
1342号土坑		椭円形	98	62	49				
1343号土坑		不整形	208	149	33				
1351号土坑		長方形	183	90	93				
1352号土坑		方形	62	57	15				
1354号土坑		椭円形	168	108	98				
1365号土坑		円形	147	144	57			3号防壁穴	
1366号土坑		椭円形	94	68	28				
1374号土坑		長方形	172	93	100				
1376号土坑		椭円形	184	117	118				
1385号土坑		椭円形	74	46	24				
1386号土坑		椭円形	90	86	20				
1387号土坑		椭円形	60	50	18				
1388号土坑		椭円形	50	38	24				
1389号土坑		椭円形	56	40	14				
1390号土坑		円形	105	98	32				
1395号土坑		不整形	75	68	22				
1396号土坑		椭円形	56	42	14				
1397号土坑		円形	90	88	20			58号堅穴建物	
1398号土坑		不整形	118	90	18			58号堅穴建物	
1400号土坑		椭円形	90	60	20				
1402号土坑		椭円形	262	186	20				
1403号土坑		長方形	54	40	13				
1404号土坑		不整形	192	114	46				
1405号土坑		不整形	310	170	55				
1406号土坑		円形	48	—	20				
1408号土坑		不整形	110	108	39				

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1409号土坑		楕円形	52	40	14				
1410号土坑		楕円形	80	58	12				
1411号土坑		不整形	66	64	27				
1412号土坑		楕円形	90	70	40				
1413号土坑		楕円形	78	48	13		1423号土坑		
1414号土坑		円形	45	—	12				
1415号土坑		楕円形	130	78	12				
1416号土坑		不整形	130	78	18				
1417号土坑		円形	112	108	12				
1418号土坑		方形	88	64	13				
1419号土坑		楕円形	146	100	32				
1421号土坑		円形	138	124	28				
1422号土坑		円形	70	66	18	1313号土坑			
1423号土坑		円形	106	104	22	1413号土坑			
1424号土坑		楕円形	64	54	36				
1440号土坑	後期	不整形	54	48	24				
1464号土坑		円形	158	148	38				
1465号土坑		楕円形	222	146	60				
1469号土坑		楕円形	104	88	62				
1470号土坑		楕円形	100	80	53				
1471号土坑								欠番	
1472号土坑		円形	159	152	36				
1473号土坑		方形	94	92	55				
1474号土坑		不整形	100	90	56				
1475号土坑		楕円形	92	70	19		1476号土坑		
1476号土坑		円形	96	(78)	29	1475号土坑			
1477号土坑		円形	104	86	20				
1478号土坑		楕円形	96	(62)	20	1234号ピット			
1479号土坑		円形	94	80	24				
1480号土坑		方形	(72)	76	28	1235号ピット			
1481号土坑		円形	92	90	17				
1482号土坑		円形	84	70	17				
1483号土坑								欠番	
1484号土坑		楕円形	202	172	47				
1485号土坑	縄之内1式	円形	108	100	93			138号堅穴建物に変更	
1487号土坑		円形	76	76	64				
1488号土坑	縄之内1式	円形	112	98	73			138号堅穴建物に変更	
1489号土坑		楕円形	338	(110)	38				
1490号土坑		円形	160	144	40		1491号土坑		
1491号土坑	(方形)	176	(76)	13	1490号土坑				
1493号土坑		円形	124	112	25				
1494号土坑		楕円形	148	100	34				
1495号土坑		楕円形	218	108	44				
1496号土坑		円形	118	106	14				
1497号土坑		円形	96	70	25		1498号土坑		
1498号土坑	(楕円形)	(170)	144	56	1497号土坑				
1499号土坑		楕円形	116	86	42				
1500号土坑		円形	80	68	46				
1501号土坑		円形	132	136	57				
1502号土坑		円形	112	94	26				
1503号土坑		円形	196	158	49				
1504号土坑		計測不可	(86)	(32)	(23)				
1505号土坑		円形	98	90	48				
1506号土坑		円形	120	104	35				
1507号土坑		楕円形	176	134	37				
1508号土坑		円形	150	130	59				
1509号土坑		円形	146	132	50				
1510号土坑		楕円形	130	100	39				
1511号土坑		楕円形	80	50	36				
1512号土坑		円形	50	40	16				
1513号土坑		楕円形	164	128	73				
1514号土坑		不整形	176	—	38				
1515号土坑		円形	96	86	25				
1516号土坑		楕円形	158	100	34		1517号土坑		
1517号土坑	(不整形)	(70)	(100)	25	1516号土坑				
1518号土坑		円形	42	34	29				
1519号土坑	縄之内1式	円形	114	100	97			138号堅穴建物に変更	
1520号土坑	(不整形)	234	160	90	1533号土坑				

第2章 発掘された遺構と遺物

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1522号土坑		長方形	346	240	31				
1523号土坑		壠之内1式 (不整形)	142	(76)	73			138号竪穴建物に変更	
1524号土坑		壠之内1式 円形	120	108	83			1525号土坑	138号竪穴建物に変更
1525号土坑		壠之内1式 (不整形)	(116)	118	41	1524号土坑		138号竪穴建物に変更	
1526号土坑		壠之内1式 円形	96	94	62			138号竪穴建物に変更	
1527号土坑		壠之内1式 (不整形)	130	(94)	64			138号竪穴建物に変更	
1528号土坑		壠之内1式 円形	108	104	70			138号竪穴建物に変更	
1529号土坑		椭円形	172	136	44				
1531号土坑		円形	106	100	42				
1532号土坑		円形	140	116	42				
1533号土坑		椭円形	238	114	48	1520号土坑	1547号・1548号土坑		
1534号土坑		壠之内1式 円形	106	98	77				138号竪穴建物に変更
1536号土坑		不整形	77	70	18				
1537号土坑		椭円形	139	80	38				
1538号土坑		円形	120	120	88				
1539号土坑		不整形	118	108	34				
1540号土坑		椭円形	150	106	34			1541号土坑	
1541号土坑		円形	162	162	38	1540号土坑			
1542号土坑		椭円形	108	106	29				
1543号土坑		方形	118	110	24				
1544号土坑		椭円形	203	106	37				
1545号土坑		円形	75	75	80				
1546号土坑		方形	142	120	142				
1547号土坑		(不整形)	(138)	(94)	29	1548号土坑			
1548号土坑		円形	(130)	116	42			1547号土坑	
1549号土坑		椭円形	88	82	9				
1550号土坑		椭円形	150	86	10				
1551号土坑		長方形	210	85	12				
1552号土坑		長方形	164	80	15				
1553号土坑		椭円形	142	80	50				
1554号土坑		椭円形	156	80	20				
1555号土坑		不整形	180	172	45				
1556号土坑		長方形	176	90	57				
1557号土坑		円形	108	90	35				
1558号土坑		不整形	212	152	33				
1559号土坑		椭円形	180	114	14				
1560号土坑		椭円形	190	120	24	77号竪穴建物			
1570号土坑		椭円形	114	92	27				
1572号土坑		円形	90	86	39				
1574号土坑		椭円形	170	141	82	1574号土坑			
1575号土坑		方形	160	143	67				
1576号土坑		不整形	111	105	37				
1577号土坑		不整形	216	(133)	102	1580号土坑	1593号土坑		
1578号土坑		不整形	106	72	112	81号竪穴建物			
1579号土坑		椭円形	128	80	50			82号竪穴建物	
1581号土坑		円形	104	102	70				
1582号土坑		椭円形	(154)	115	24				
1584号土坑		円形	97	95	39			90号竪穴建物	
1585号土坑		不整形	148	130	23				
1586号土坑		(椭円形)	144	134	60	1587号土坑			
1587号土坑		椭円形	148	130	32			1586号土坑	
1588号土坑		椭円形	168	137	47				
1589号土坑		不整形	130	118	27				
1591号土坑		方形	88	83	55				
1592号土坑		椭円形	82	70	34				
1593号土坑		不整形	(58)	153	51			1573号・1577号土坑・1580号土坑	
1594号土坑		(長方形)	(120)	70	20				
1595号土坑		椭円形	117	96	38				
1598号土坑		(椭円形)	(94)	108	39	1580号土坑			
1599号土坑		円形	106	98	31				
1601号土坑		不整形	96	94	42				
1602号土坑		方形	68	60	29				
1603号土坑		円形	70	70	27				
1605号土坑		不整形	154	140	65			1621号・1622号土坑	
1606号土坑		不整形	125	118	54			1618号土坑	

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1607号土坑		円形	171	164	47				
1608号土坑		円形	99	98	30				
1609号土坑		楕円形	107	92	26				
1610号土坑		楕円形	210	137	38				
1611号土坑		楕円形	114	87	35				
1612号土坑		不整形	150	114	40				
1613号土坑		長方形	142	84	27				
1614号土坑		不整形	136	120	34				
1615号土坑		不整形	112	104	24			1627号土坑	
1616号土坑		円形	58	58	16				
1617号土坑		楕円形	124	98	66				
1618号土坑		(楕円形)	106	(75)	29	1606号土坑		1626号土坑	
1619号土坑		長方形	191	130	30				
1620号土坑		不整形	154	144	51				
1621号土坑		不整形	70	(34)	48	1605号土坑			
1622号土坑		不整形	100	(64)	56	1605号土坑			
1623号土坑		楕円形	95	82	32				
1626号土坑		不整形	(61)	80	26	1618号土坑			
1627号土坑		不整形	(116)	104	34	1615号土坑			
1628号土坑		不整形	117	110	37			94号壁穴建物	
1629号土坑		楕円形	174	167	76	1246号ピット			
1630号土坑		(長方形)	(144)	73	32	1631号土坑・1247号ピット			
1631号土坑		不整形	72	59	53	1247号ピット		1630号土坑	
1632号土坑		方形	78	75	28				
1633号土坑		不整形	90	87	63			88号壁穴建物	
1637号土坑		不整形	88	80	36				
1638号土坑		円形	98	94	27			1639号土坑	
1639号土坑		(楕円形)	(53)	53	17	1638号土坑			
1640号土坑		不整形	88	60	30			1641号土坑	
1641号土坑		不整形	(41)	98	27	1640号土坑		1770号土坑	
1642号土坑		円形	82	82	22				
1643号土坑		楕円形	64	62	12				
1644号土坑		円形	58	52	17				
1645号土坑		円形	114	108	15				
1646号土坑		楕円形	103	92	26				
1647号土坑		不整形	70	66	33			1648号土坑	
1648号土坑		不整形	(62)	70	21	1647号土坑			
1649号土坑		不整形	106	102	44				
1650号土坑		不整形	93	82	29			1713号土坑	
1651号土坑		楕円形	84	60	22			1280号ピット	
1652号土坑		不整形	100	83	22				
1653号土坑		不整形	85	79	24				
1654号土坑		円形	105	100	28				
1655号土坑		不整形	91	85	39			1680号土坑	
1656号土坑		長方形	152	57	26				
1657号土坑		不整形	74	56	37			1658号土坑	
1658号土坑		不整形	(56)	83	32	1657号土坑			
1659号土坑		不整形	106	81	14				
1660号土坑		不整形	88	74	37				
1661号土坑		円形	103	101	28				
1662号土坑		円形	98	94	54				
1663号土坑		円形	94	88	28				
1664号土坑		不整形	90	88	17				
1666号土坑		不整形	176	(98)	72	1668号土坑			
1667号土坑		楕円形	125	103	61			1669号土坑	
1668号土坑		不整形	263	167	109			1666号土坑	
1669号土坑		不整形	(72)	108	27	1667号土坑			
1670号土坑		不整形	74	70	14				
1671号土坑		長方形	170	150	73			102号壁穴建物	
1672号土坑		不整形	100	88	55			1678号土坑・1679号土坑	
1673号土坑		長方形	101	88	54				
1674号土坑		長方形	120	81	38	1665号土坑		1675号土坑	
1675号土坑		長方形	128	90	46	1674号土坑			
1676号土坑		方形	50	48	38				
1677号土坑		長方形	923	70	25				
1678号土坑		不整形	(57)	78	42	1672号土坑			
1679号土坑		不整形	(62)	80	42	1672号土坑			

第2章 発掘された遺構と遺物

No	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1680号土坑		不整形	120	(110)	42	46号建物1号土坑、 1655号土坑			
1681号土坑		楕円形	122	102	19				
1682号土坑		楕円形	115	102	22				
1683号土坑		円形	68	66	40				
1684号土坑		不整形	64	54	33				
1685号土坑		不整形	102	99	45				
1686号土坑		不整形	68	60	24				
1687号土坑		不整形	50	43	44				
1688号土坑		楕円形	59	52	18				
1689号土坑		方形	85	84	36				
1690号土坑		円形	105	103	50		1754号土坑		
1711号土坑		円形	188	183	65				
1712号土坑	縄文以降	楕円形	114	72	60		1749号土坑、1768 号土坑		
1713号土坑		不整形	110	90	21	1650号土坑			
1714号土坑		楕円形	130	114	17				
1715号土坑		円形	200	197	95	1716・1717号土坑、 1278号ビット			
1716号土坑		不整形	92	92	30	1278号ビット	1715号土坑・1725 号土坑		
1717号土坑		楕円形	114	102	46		1715号土坑		
1718号土坑		楕円形	64	58	14				
1719号土坑		不整形	60	58	26				
1720号土坑		長方形	152	77	16				
1721号土坑		長方形	190	81	43		102号竪穴建物		
1722号土坑		不整形	82	80	27				
1723号土坑								欠番	
1724号土坑		不整形	70	70	16		100号竪穴建物		
1725号土坑		不整形	119	105	55	1716号土坑			
1726号土坑		不整形	44	41	21		1727号土坑		
1727号土坑		楕円形	169	134	39	1726号土坑			
1728号土坑		不整形	90	76	30	1259号ビット	1781号土坑		
1729号土坑		楕円形	72	63	39	1781号土坑			
1730号土坑		円形	54	52	16				
1736号土坑		方形	103	94	16				
1737号土坑		不整形	67	58	26				
1738号土坑		楕円形	46	35	27				
1739号土坑		円形	37	36	19		1776号土坑		
1740号土坑		方形	49	48	29				
1741号土坑		不整形	51	50	17				
1742号土坑		円形	61	58	24				
1743号土坑		不整形	67	60	17				
1744号土坑		不整形	144	96	29		1745号土坑		
1745号土坑		不整形	(60)	110	27	1744号土坑			
1746号土坑		方形	110	95	56				
1747号土坑		不整形	100	98	46				
1748号土坑		不整形	140	132	18	1282号ビット			
1749号土坑		不整形	(106)	(60)	19	1712号土坑	1768号土坑		
1750号土坑		円形	52	49	29				
1751号土坑		楕円形	41	40	17				
1752号土坑		不整形	71	68	29				
1753号土坑		円形	48	47	23				
1754号土坑		楕円形	237	173	24	1690号土坑	1755号土坑		
1755号土坑		不整形	(130)	263	16	1754号土坑			
1766号土坑		(楕円形)	(102)	88	22	1767号土坑			
1767号土坑		不整形	142	131	62		1766号土坑		
1768号土坑		楕円形	95	80	55	1749号土坑			
1769号土坑		不整形	167	110	26				
1770号土坑		(方形)	104	104	34	1641号土坑			
1771号土坑		楕円形	173	164	28				
1772号土坑		不整形	114	110	29				
1773号土坑		不整形	87	58	39	1712号土坑、1768 号土坑			
1774号土坑		不整形	160	156	57				
1775号土坑		不整形	109	88	51		1780号土坑		
1776号土坑		不整形	(131)	106	38	1739号土坑			
1777号土坑		円形	46	42	24				

No	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1778号土坑		楕円形	190	128	64	1257号ビット・ 1258号ビット	1779号土坑		
1779号土坑		不整形	(78)	125	55	1778号土坑、1257 号ビット			
1780号土坑		不整形	90	(41)	41	1775号土坑			
1781号土坑		不整形	(93)	75	34	1728号土坑	1729号土坑		
1784号土坑		不整形	44	42	40				
1786号土坑		方形	88	75	22				
1823号土坑		円形	56	54	36			223Pと同一遺構のため欠番	
1828号土坑		円形	58	50	60		96号磐穴建物		
1833号土坑		(円形)	130	110	53				
1847号土坑	縄文以降	楕円形	158	133	—			平安時代の陥し穴の可能性あり。	
1848号土坑		楕円形	86	66	36				
1849号土坑		円形	110	102	25				
1856号土坑		円形	(220)	(215)	56				
1857号土坑	縄文以降	円形	156	153	—			平安時代の陥し穴の可能性あり。	
1858号土坑		不整形	265	262	58				
1859号土坑		楕円形	80	58	20		102号磐穴建物		
1862号土坑									欠番
1863号土坑		不整形	65	58	22	138号土坑			
1864号土坑		楕円形	114	99	25				
1865号土坑		不整形	126	105	45				
1866号土坑		楕円形	137	58	35				
1867号土坑		円形	146	140	27				
1868号土坑		不整形	120	117	32				
1869号土坑		方形	162	160	38				
1870号土坑		楕円形	120	80	54				
1871号土坑		不整形	66	60	18				
1872号土坑		円形	190	186	50				
1879号土坑	古代	不整形	188	94	42				
1880号土坑		楕円形	90	74	74			柱軸か。	
1881号土坑		不整形	52	50	45				
1882号土坑		不整形	118	82	37				
1883号土坑		不整形	157	(86)	45				
1884号土坑		不整形	172	137	42				
1885号土坑		長方形	264	177	23	1893号土坑・2050 号土坑・2069号土 坑			
1886号土坑		不整形	66	56	25		1893号土坑		
1887号土坑		(円形)	(75)	70	47	2067号土坑			
1888号土坑	縄文以降	楕円形	184	142	—			平安時代の陥し穴の可能性あり。	
1889号土坑		不整形	67	70	42				
1890号土坑		円形	104	100	29				
1891号土坑		方形	82	74	89		1907号土坑		
1892号土坑		楕円形	135	116	78			1937号土坑	
1893号土坑		円形	75	85	55	1886号土坑	1885号土坑		
1894号土坑		楕円形	116	104	105			1939号土坑	
1895号土坑		不整形	120	117	55			1378号ビット	
1906号土坑		楕円形	104	68	93				
1907号土坑		不整形	(56)	65	64	1891号土坑			
1908号土坑		不整形	90	(44)	65				
1909号土坑		円形	94	94	102				
1910号土坑		楕円形	100	72	43				
1911号土坑		不整形	146	82	78	2095号土坑			
1912号土坑		—	112	110	61	1933号土坑			
1913号土坑		楕円形	(180)	175	66	1934号土坑			
1916号土坑		—	—	—	—				
1919号土坑		不整形	144	(106)	68				
1920号土坑		不整形	(42)	52	53				
1921号土坑		楕円形	102	76	50		19223号土坑		
1922号土坑		円形	66	64	23				
1923号土坑		楕円形	70	60	18	1921号土坑			
1924号土坑		—	(84)	83	30	1937号土坑			
1926号土坑		楕円形	56	52	—				
1927号土坑		楕円形	84	48	—				
1928号土坑		長方形	332	60	36				
1930号土坑									
1931号土坑		楕円形	114	96	100				
1932号土坑		不整形	126	90	81				

第2章 発掘された遺構と遺物

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
1933号土坑		不整形	83	80	93			1912号土坑	
1934号土坑		円形	75	76	96			1913号土坑	
1935号土坑		—	70	(66)	65				
1936号土坑		椭円形	95	83	99				
1937号土坑		—	(60)	90	37	1892号土坑		1924号土坑	
1938号土坑	縄文以降	椭円形	225	160					平安時代の陥し穴の可能性あり。
1939号土坑		不整形	(80)	76	40	1894号土坑			
1940号土坑		不整形	118	(74)	41	96号・堅穴建物、 1941号土坑			
1941号土坑		不整形	76	64	32			1940号土坑	
1942号土坑		椭円形	112	96	35			1948号土坑	
1943号土坑		円形	90	90	28				
1944号土坑		長方形	194	120	22				
1945号土坑		円形	60	54	28				
1946号土坑		不整形	80	76	40				
1947号土坑		円形	100	100	118※			1957号土坑	
1948号土坑		円形	90	90	17	1942号土坑			
1949号土坑		不整形	160	154	91※				
1950号土坑		—	170	(94)	33	1958号土坑・1959号土坑・2096号土坑			
1951号土坑		円形	148	146	99※			1952号土坑	
1952号土坑		不整形	(80)	130	57	1951号土坑			
1953号土坑		円形	114	110	64※				
1954号土坑		椭円形	165	130	104※				
1955号土坑		円形	148	143	85				
1956号土坑		椭円形	80	73	75※				
1957号土坑		—	(66)	86	48	1947号土坑		2096号土坑	
1958号土坑		不整形	90	76	87			1950号土坑・2096号土坑	
1959号土坑		円形	92	90	35			1950号土坑	
1960号土坑		円形	214	205	25				
1961号土坑		椭円形	80	46	26	1962号土坑			
1962号土坑		不整形	58	44	30			1961号土坑	
1963号土坑		(椭円形)	(90)	70	43	2044号土坑			
1964号土坑		長方形	142	90	80※				
1965号土坑		椭円形	116	58	38				
1966号土坑		不整形	90	74	32				
1967号土坑								欠番	
1973号土坑		円形	158	150	28			121号堅穴建物	
1984号土坑								欠番	
1985号土坑								欠番	
1986号土坑								欠番	
1987号土坑								欠番	
1988号土坑								欠番	
1989号土坑								欠番	
1990号土坑								欠番	
2018号土坑		椭円形	96	66	21				
2019号土坑		不整形	86	68	43				
2020号土坑		不整形	90	(58)	27			109号堅穴建物P26	
2021号土坑		不整形	88	—	24				
2022号土坑		円形	78	70	32				
2023号土坑		—	(64)	90	22	1号自然溜路			
2024号土坑		不整形	280	250	36			120号堅穴建物	
2025号土坑		不整形	208	142	30			120号堅穴建物	
2026号土坑		不整形	86	56	25				
2027号土坑		円形	70	60	20				
2028号土坑		不整形	240	216	22				
2029号土坑		不整形	(184)	200	30				
2030号土坑		不整形	68	58	37				
2031号土坑		不整形	296	230	44				
2032号土坑		円形	89	88	32	120号堅穴建物			
2033号土坑		椭円形	106	96	30			121号堅穴建物	
2034号土坑		長方形	44	38	14			2028号土坑	
2035号土坑		椭円形	166	134	35			1低湿性土坑へ転替	
2036号土坑		不整形	144	138	53				
2037号土坑		椭円形	122	(90)	40	2049号土坑		2047号土坑	
2038号土坑		不整形	120	(50)	51	2049号土坑		2070号土坑	

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複			備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古			
2039号土坑		不整形	112	102	74	幸		2040号土坑・2041号土坑		
2040号土坑		—	(54)	66	29	幸	2039号土坑・2041号土坑			
2041号土坑		円形	70	70	47		2039号土坑	2040号土坑		
2042号土坑		長方形	128	94	58					
2043号土坑		方形	126	122	58					
2044号土坑		椭円形	110	84	55			1963号土坑		
2045号土坑		不整形	184	155	100			2046号土坑・2058号土坑・2059号土坑		
2046号土坑		(円形)	107	(100)	70	2045号土坑				
2047号土坑		—	100	—	25	2037号土坑・2048号土坑・2049号土坑			2047号土坑	
2048号土坑		円形	108	106	61					
2049号土坑		椭円形	163	106	59			2037号土坑・2038号土坑・2047号土坑		
2050号土坑		不整形	148	128	98	幸		1885号土坑		
2051号土坑		椭円形	73	65	26					
2052号土坑		椭円形	98	70	64					
2053号土坑		椭円形	122	106	57					
2054号土坑		不整形	308	200	67	121号磐穴建物				
2055号土坑		不整形	140	120	55			2056号土坑		
2056号土坑		—	(46)	(56)	15	2055号土坑・2057号土坑				
2057号土坑		不整形	(42)	50	24			2056号土坑		
2058号土坑		不整形	(104)	(98)	26	2045号土坑・2059号土坑				
2059号土坑		(円形)	112	112	25	2045号土坑		2058号土坑		
2060号土坑		椭円形	74	55	66					
2061号土坑		不整形	94	74	90					欠番
2062号土坑										
2063号土坑		不整形	174	134	28					
2064号土坑		方形	112	106	25					
2065号土坑		不整形	53	42	18					
2066号土坑		椭円形	118	100	38					
2067号土坑		不整形	105	84	35			1887号土坑		
2068号土坑		不整形	91	88	48					
2069号土坑		不整形	90	63	28			1885号土坑		
2070号土坑		円形	98	94	45	2038号土坑				
2071号土坑		椭円形	60	46	45					
2072号土坑		椭円形	104	90	37					
2073号土坑		不整形	102	95	15					
2074号土坑		不整形	136	90	24					
2075号土坑		円形	82	72	16					
2076号土坑		円形	62	62	51					
2077号土坑		方形	77	76	15					
2078号土坑		椭円形	94	90	22					
2079号土坑		長方形	128	58	23					
2080号土坑		不整形	168	50	16					
2081号土坑		不整形	123	86	19					
2082号土坑		—	(60)	70	38			2090号土坑		
2083号土坑		長方形	125	86	28					
2084号土坑		円形	114	110	75					
2085号土坑		円形	114	110	18					
2086号土坑		円形	140	140	25					
2087号土坑		椭円形	70	55	25	2088号土坑				
2088号土坑		椭円形	53	45	28			2087号土坑		
2089号土坑		椭円形	85	62	14					
2090号土坑		—	(158)	170	30	2082号土坑				
2091号土坑		円形	68	62	51					
2092号土坑		不整形	230	160	47			2090号土坑		
2093号土坑		椭円形	126	102	28					
2094号土坑		不整形	134	115	23					
2095号土坑		方形	64	56	72			1911号土坑		
2096号土坑		—	76	(42)	35	1957号土坑・1958号土坑		1950号土坑		
2097号土坑		椭円形	122	94	45					

第2章 発掘された遺構と遺物

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複	備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深			
2098号土坑		不整形	147	136	48		2101号土坑	
2099号土坑		不整形	156	(140)	45			12低湿性土坑へ振替
2100号土坑		円形	90	90	25			
2101号土坑		(円形)	93	(60)	48	2098号土坑		
2102号土坑		円形	46	40	30			
2103号土坑		椭円形	56	38	8		13低湿性土坑へ振替	
2104号土坑		長方形	40	35	25			
2105号土坑		方形	27	27	23			
2106号土坑		橢円形	98	78	47			
2107号土坑		円形	130	116	25			
2108号土坑		橢円形	136	110	47			
2109号土坑		不整形	72	68	48			
2110号土坑		円形	48	46	38			
2111号土坑		円形	54	52	35			
2112号土坑		橢円形	58	42	20			
2113号土坑		橢円形	104	96	47			
2114号土坑		円形	136	124	35			
2118号土坑		不整形	116	(56)	30			
2119号土坑		橢円形	200	130	76			
2120号土坑		円形	104	95	86			
2121号土坑		不整形	—	133	75			
2122号土坑		方形	120	112	45			
2123号土坑		橢円形	120	90	42			
2124号土坑		不整形	—	130	65			
2125号土坑		不整形	163	128	112		2132号土坑・2133号土坑	
2126号土坑	晩期	橢円形	136	128	25			
2127号土坑	晩期	長方形	140	114	32			
2128号土坑	晩期	橢円形	133	113	21			
2129号土坑	晩期	橢円形	84	48	18	127号壁穴建物		
2130号土坑	後期前葉	不整形	140	90	54			
2131号土坑		不整形	164	145	77			
2132号土坑		—	—	132		2125号土坑・2133号土坑		
2133号土坑		不整形	(184)	128	57	2125号土坑	2132号土坑	
2134号土坑		円形	76	70	31			
2135号土坑		橢円形	136	113	37			
2136号土坑		(円形)	58	(58)	30			
2137号土坑		円形	191	184	28			
2138号土坑		円形	132	120	44			
2139号土坑		長方形	142	110	25			
2140号土坑		不整形	146	96	55		2159号土坑	
2141号土坑		長方形	105	88	30	2162号土坑・2163号土坑	2159号土坑	
2142号土坑		不整形	100	90	19			
2143号土坑		不整形	152	134	81			
2144号土坑		長方形	82	72	45			
2145号土坑		橢円形	68	58	26		127号壁穴建物P15～振替	
2146号土坑		長方形	160	80	40	2147号土坑		
2147号土坑		不整形	112	88	71		2146号土坑・2148号土坑	
2148号土坑		—	(62)	95	17	2147号土坑		
2149号土坑		橢円形	130	90	65		2157号土坑	
2150号土坑		不整形	90	87	88		2173号土坑	127号壁穴建物P13～振替
2151号土坑		橢円形	140	120	43			
2152号土坑		橢円形	113	105	28			
2153号土坑		不整形	230	190	113			
2154号土坑		円形	75	70	18			
2155号土坑		円形	50	50	33		127号壁穴建物P17	
2156号土坑		不整形	90	73	24			
2157号土坑		不整形	(45)	50	42	2149号土坑		
2158号土坑		不整形	78	75	35		127号壁穴建物P16	
2159号土坑		—	(84)	84	19	2140号土坑・2141号土坑		
2160号土坑		円形	96	95	60			
2161号土坑		—	(110)	(130)	29			
2162号土坑		橢円形	60	48	23		2141号土坑	
2163号土坑		円形	66	63	50		2141号土坑	127号壁穴建物P14
2164号土坑		不整形	180	123	88			

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
2165号土坑		(不整形)	(70)	80	27				
2166号土坑		(楕円形)	(148)	(64)	18				
2167号土坑		円形	70	62	33				
2168号土坑		円形	127	124	65				
2169号土坑		楕円形	94	72	14				
2170号土坑		楕円形	110	70	35				
2171号土坑		長方形	118	84	17				
2172号土坑		不整形	132	82	17				
2173号土坑		不整形	116	60	68	2150号土坑			
2174号土坑		楕円形	70	58	27				
2175号土坑		楕円形	148	94	19			2176号土坑	
2176号土坑		不整形	75	(66)	12	2175号土坑			
2177号土坑		方形	76	76	20			2178号土坑	
2178号土坑		楕円形	146	93	39	2177号土坑			
2179号土坑		方形	84	76	17				
2180号土坑		不整形	150	104	15				
2181号土坑		長方形	147	94	40			2199号土坑	
2182号土坑		不整形	173	154	62				
2183号土坑		楕円形	82	60	26				
2184号土坑		不整形	145	100	104				
2185号土坑		不整形	(160)	174	78	2214号土坑		2234号土坑	
2186号土坑		楕円形	47	39	40			2201号土坑	
2187号土坑		楕円形	194	105	109			2210号土坑・2233号土坑	
2188号土坑		楕円形	103	80	17				
2189号土坑		楕円形	72	50	11				
2190号土坑		楕円形	88	58	17				
2191号土坑		楕円形	164	114	104				
2192号土坑									
2193号土坑		不整形	105	97	118				
2194号土坑		不整形	90	90	30			2197号土坑	
2195号土坑		方形	(90)	120	49	2209号土坑		2198号土坑	
2196号土坑		円形	85	74	91			2233号土坑	
2197号土坑		楕円形	116	58	39	2194号土坑			
2198号土坑		不整形	150	(154)	28	2195号土坑			
2199号土坑		不整形	100	90	30	2181号土坑			
2200号土坑		楕円形	80	54	45				
2201号土坑		円形	57	56	38	2186号土坑			
2202号土坑		円形	64	60	38				
2203号土坑		方形	53	54	18				
2204号土坑		円形	87	82	55				
2205号土坑		楕円形	79	58	28				
2206号土坑		長方形	46	36	35				
2207号土坑		円形	58	50	38				
2208号土坑		楕円形	84	42	28				
2209号土坑		楕円形	144	87	48			2195号土坑	
2210号土坑		—	—	120	52	2187号土坑・2229号土坑			
2211号土坑		—	—	—	—				
2212号土坑		(楕円形)	(98)	88	45				
2213号土坑		—	—	136	90				
2214号土坑		不整形	136	90	52			2185号土坑	
2215号土坑		楕円形	84	58	45			2217号土坑	
2216号土坑		方形	75	70	68			2217号土坑	
2217号土坑		不整形	224	175	22	2215号土坑・2216号土坑			
2218号土坑		不整形	193	170	114	1396号ピット			
2219号土坑		不整形	136	110	80			2240号土坑	
2220号土坑		不整形	80	44	37				
2221号土坑		楕円形	48	32	47				
2222号土坑		—	(150)	(77)	33				
2223号土坑		長方形	148	74	29				
2224号土坑		—	(44)	67	30				
2225号土坑		円形	98	95	89				
2226号土坑		円形	98	94	34				
2227号土坑		円形	150	140	30				
2228号土坑		(楕円形)	205	(130)	18				
2229号土坑		不整形	140	105	111			2210号土坑	
2230号土坑		方形	114	112	60				

第2章 発掘された遺構と遺物

No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複			備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古			
2231号土坑		(楕円形)	140	94	74	2238号土坑				
2232号土坑		—	—	137	94					
2233号土坑		—	(140)	—	96	2187号土坑・2196号土坑				
2234号土坑		—	—	110	72	2185号土坑				
2235号土坑		円形	50	50	45					
2236号土坑		—	—	106	77					
2237号土坑		不整形	(63)	70	29					
2238号土坑		不整形	124	(82)	58					
2239号土坑		円形	60	60	13					
2240号土坑		(円形)	(68)	(60)	23	2219号土坑				
2241号土坑		不整形	(82)	90	17	2240号土坑				
2242号土坑		—	—	110	85					
2243号土坑										
2244号土坑										
2245号土坑		—	(80)	(62)	45					
2246号土坑		—	(100)	(90)	33					
2247号土坑		不整形	112	—	94					
2248号土坑		楕円形	110	94	103					
2249号土坑										
2250号土坑		楕円形	52	44	17					
2251号土坑		不整形	80	68	17					
2252号土坑										
2253号土坑	晩期か	方形	75	70	45					164号竪穴建物
2254号土坑	晩期か	楕円形	107	70	35					164号竪穴建物
2255号土坑										
2256号土坑										
2257号土坑										
2258号土坑		楕円形	160	138	75					
2259号土坑		楕円形	190	150	43					
2260号土坑		楕円形	210	184	65					
2261号土坑		円形	154	(130)	38					
2262号土坑		不整形	115	108	20					
2263号土坑		円形	96	94	97					
2264号土坑		方形	100	94	77					
2265号土坑		—	(104)	(48)	40					
2266号土坑		不整形	182	154	50					2272号土坑
2267号土坑		不整形	146	124	13					
2268号土坑		不整形	130	—	50					
2269号土坑		楕円形	60	50	40					
2270号土坑		円形	63	62	33					
2271号土坑										
2272号土坑		円形	70	70	44	2266号土坑				
2273号土坑		円形	66	64	40					
2274号土坑		長方形	90	82	106					
2275号土坑		不整形	96	80	78					
2276号土坑		円形	65	60	54					
2277号土坑		楕円形	240	214	78					
2278号土坑		長方形	230	165	53					
2279号土坑		不整形	78	76	16					
2280号土坑						平面図なし				
2281号土坑										
2282号土坑		楕円形	137	66	18					
2283号土坑		円形	45	44	32					130号竪穴建物or131号竪穴建物柱穴
2284号土坑		楕円形	56	45	22					130号竪穴建物or131号竪穴建物柱穴
2285号土坑		楕円形	136	108	41					
2286号土坑		円形	76	68	45					
2287号土坑										
2288号土坑		不整形	96	90	62					
2289号土坑		不整形	106	90	45					
2290号土坑		円形	83	76	48					
2291号土坑		楕円形	65	54	53					
2292号土坑		不整形	108	105	87					
2293号土坑		不整形	88	74	89					
2294号土坑		不整形	139	107	98					
2295号土坑		不整形	90	87	51					
2296号土坑		不整形	134	100	86					
2297号土坑		不整形	80	79	26					

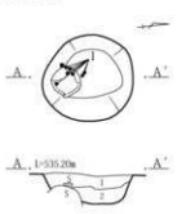
No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
2298号土坑	—	—	83	(50)	50				
2299号土坑	椭円形	93	78	57					
2300号土坑	円形	66	64	23					
2301号土坑	椭円形	76	40	12					
2302号土坑	円形	72	69	62					
2303号土坑	椭円形	84	68	58					
2304号土坑	円形	68	65	54					
2305号土坑	椭円形	100	74	46					
2306号土坑	円形	103	96	90					
2307号土坑	椭円形	126	110	81					
2308号土坑	不整形	102	94	61					
2309号土坑	円形	106	102	101					
2310号土坑	椭円形	86	(80)	73					
2311号土坑	円形	110	98	116					
2312号土坑	—	(86)	81	65					
2313号土坑	加曾利B3式	—	98	(80)	72				
2314号土坑	—	(52)	(44)	88					
2315号土坑	称名寺2式	円形	72	66	60				
2316号土坑	加曾利E5 称名寺1式	円形	96	83	82				
2317号土坑	椭之内1式	椭円形	84	84	102				
2318号土坑	椭之内1式	円形	64	62	61				
2319号土坑	称名寺2式	円形	46	46	63				
2320号土坑	不整形	154	154	48					
2321号土坑	椭之内1式	椭円形	71	52	37				2356号土坑
2322号土坑	円形	72	68	62					
2323号土坑	椭之内1式	不整形	70	56	30				2325号土坑
2324号土坑	加曾利B3式	不整形	70	58	74				
2325号土坑	後期	円形	48	44	28				
2326号土坑	加曾利B2式	—	(52)	72	11				
2327号土坑	加曾利B2式	長方形	150	82	16				
2328号土坑	椭之内1式	椭円形	64	49	26				
2329号土坑	椭之内1式	椭円形	104	77	32				
2330号土坑	円形	81	70	23					
2331号土坑	椭之内1式	椭円形	87	63	65				
2332号土坑	椭之内中墳	不整形	176	142	48				
2333号土坑	称名寺2式 椭之内1式	円形	96	92	35				
2334号土坑	称名寺2式	不整形	106	106	73				
2335号土坑	称名寺2式	円形	120	110	42				2350号土坑
2336号土坑	高井東式	長方形	156	74	25				
2337号土坑	加曾利B3式	椭円形	162	104	16				2356号土坑
2338号土坑	椭之内1式	円形	64	54	34				
2339号土坑	椭之内中墳	不整形	154	90	35				
2340号土坑	円形	68	66	24					
2341号土坑	称名寺2式	—	(90)	74	54				
2342号土坑	称名寺2式	円形	83	80	83				
2343号土坑	称名寺2式	椭円形	170	145	84				
2344号土坑	高井東式	不整形	94	56	57				
2345号土坑	椭之内1式	—	76	(50)	60				
2346号土坑	円形	76	74	90					
2347号土坑	椭円形	125	88	133					
2348号土坑	高井東式	円形	86	86	17				
2349号土坑	称名寺2式	円形	118	107	55				
2350号土坑	称名寺2式	—	(80)	90	9	2335号土坑・2336号土坑			
2351号土坑	椭之内1式	椭円形	(220)	105	38				椭之内1式の大きな浅鉢片が出土。 後期の上塼墓か。
2352号土坑	称名寺2式	円形	83	80	51				
2353号土坑	椭円形	50	38	25					
2354号土坑	加曾利B2式	椭円形	116	96	30				
2355号土坑	円形	60	58	18					
2356号土坑	弥生時代初期	—	(62)	(29)	14	2321号土坑・2337号土坑			
2357号土坑	中期初頭	椭円形	147	(96)	28				
2358号土坑	高井東式	円形	94	83	29				東上部に信州系と思われる大きな上 器片出土。
2359号土坑	加曾利B2 B3式	—	(46)	38	24				

第2章 発掘された遺構と遺物

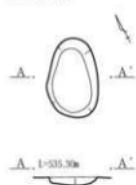
No.	時期	形状	規模(cm)			遺構の重複		備考	調査時遺構No.
			長径	短径	深	新	古		
Z360号土坑	加曾利2式	楕円形	38	(28)	13				
Z361号土坑	加曾利2式 3式	長方形	154	100	31				
Z362号土坑		円形	60	58	52	1398号ビット			
Z363号土坑	前期	楕円形	43	36	30			165号竪穴建物	
Z364号土坑	加曾利2式	不整形	120	100	27			165号竪穴建物	
Z365号土坑	加曾利2式	不整形	110	100	32				
Z366号土坑	加曾利2式 3式	円形	44	42	16				
Z367号土坑		楕円形	158	117	22				
Z368号土坑		楕円形	78	46	27				
Z369号土坑	加曾利2式	楕円形	156	128	36				
Z370号土坑	中期中葉	楕(長)円形	97	85	32				
Z371号土坑	加曾利2式	楕(長)円形	203	106	32				
Z372号土坑	加曾利2式	—	(66)	82	35				
Z373号土坑	加曾利4式	不整形	66	57	19				
Z374号土坑	前期末葉	—	(56)	70	26				
Z375号土坑		円形	66	57	18				
Z376号土坑		円形	42	40	27				
Z377号土坑	前期末葉	円形	150	134	31				
Z378号土坑	五頭ヶ台式	不整形	(126)	106	13				
Z379号土坑	中期初頭	円形	69	94	30				
Z380号土坑	中期初頭	楕円形	135	116	77				
Z381号土坑		円形	27	26	17				
Z382号土坑	称名寺2式	楕円形	166	134	42				
Z383号土坑	輦之内1式	—	106	(100)	35				
Z384号土坑		楕円形	116	56	28			遺構番号ダブリのため付与	
Z385号土坑	古代	—	—	—	—				2号配石-H
Z386号土坑		楕円形	56	32	8				2号配石-I-29
Z387号土坑		楕円形	23	17	13				2号配石-I-20
Z388号土坑		円形	32	29	20				2号配石-II-22
Z389号土坑		円形	85	78	20				2号配石-II-23
Z390号土坑	不整形	60	41	12					2号配石-II-24
Z391号土坑		円形	50	43	18				2号配石-II-29
Z392号土坑		円形	60	55	25				2号配石-II-26
Z393号土坑		円形	53	48	22				2号配石-II-27
Z394号土坑		円形	58	55	21				2号配石-II-28
Z395号土坑		円形	102	92	38				2号配石-II-29
Z396号土坑	不整形	126	90	52					2号配石-II-30
Z397号土坑		方形	68	68	15			170号竪穴建物のかに変更。	2号配石-II-36
Z398号土坑	後期	楕円形	102	82	56				4号配石-I-4
Z399号土坑	—	—	33	(22)	18				37号配石
Z400号土坑		円形	75	74	35				38号配石
Z401号土坑	加曾利3式	—	—	—	—				40号配石
Z402号土坑	—	—	50	45	40				44号配石
Z403号土坑	—	—	42	(28)	27				73号配石
Z404号土坑		楕円形	130	100	92				76号配石
Z405号土坑	—	—	—	—	—				流木1
Z406号土坑	—	—	57	(25)	15				流木2
Z407号土坑	—	—	100	(35)	45				流木3
Z408号土坑	—	—	—	—	—				流木4
Z409号土坑	—	—	154	82	20				4号配石-II-N

1区

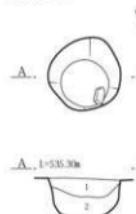
1266号土坑



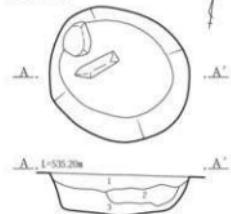
1271号土坑



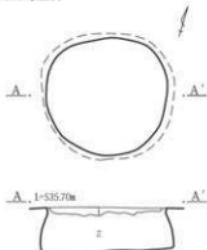
1272号土坑



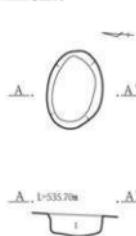
1273号土坑



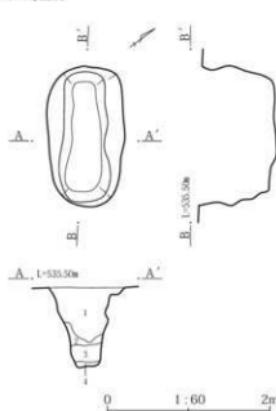
1365号土坑



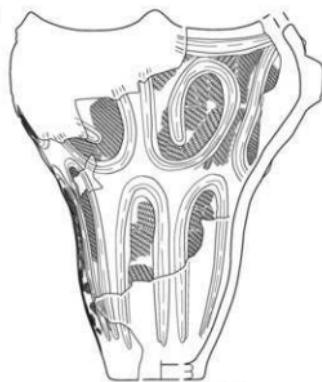
1366号土坑



1374号土坑



1266号土坑



第753図 1区1266・1271～1273・1365・1366・1374号土坑・1266号土坑出土遺物

2区

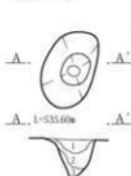
1338号土坑



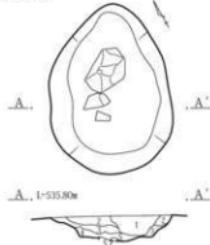
1339号土坑



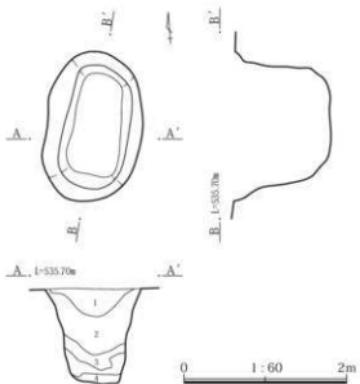
1342号土坑



1343号土坑

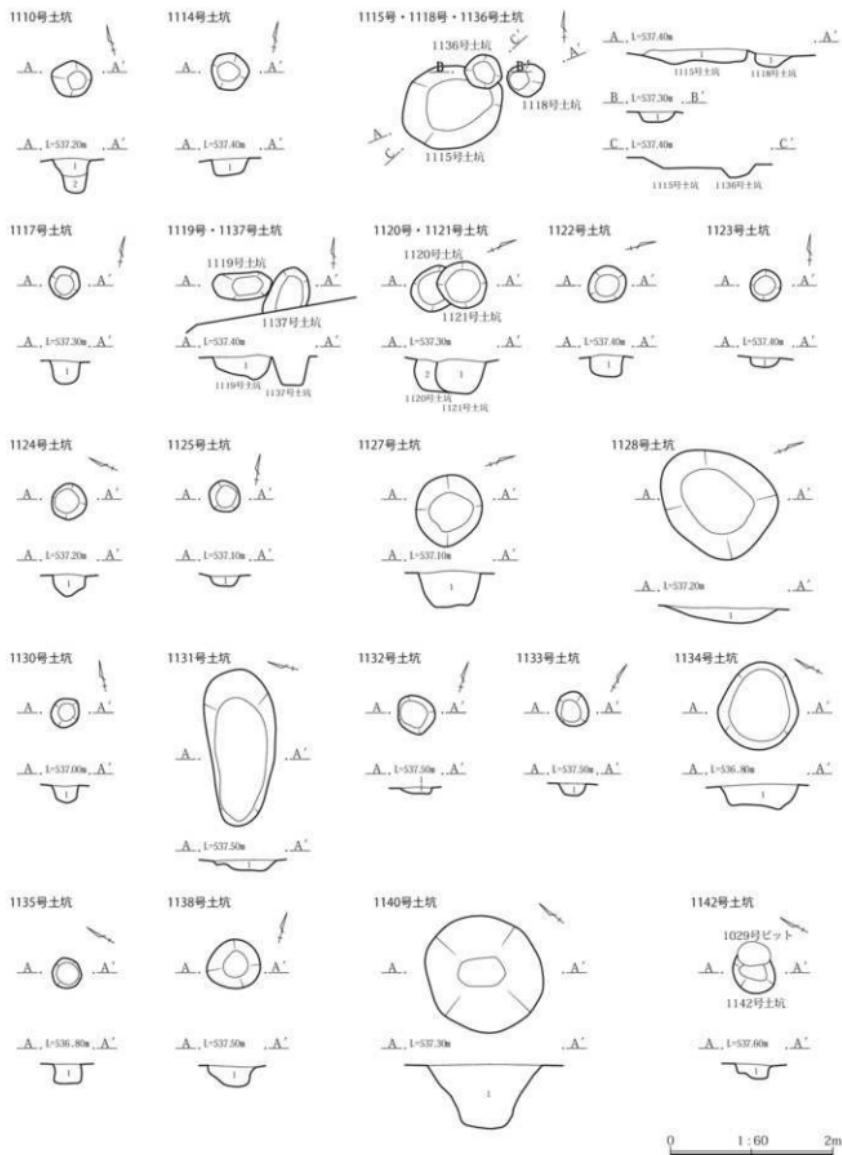


1376号土坑



第754図 2区1338・1339・1342・1343・1376号土坑

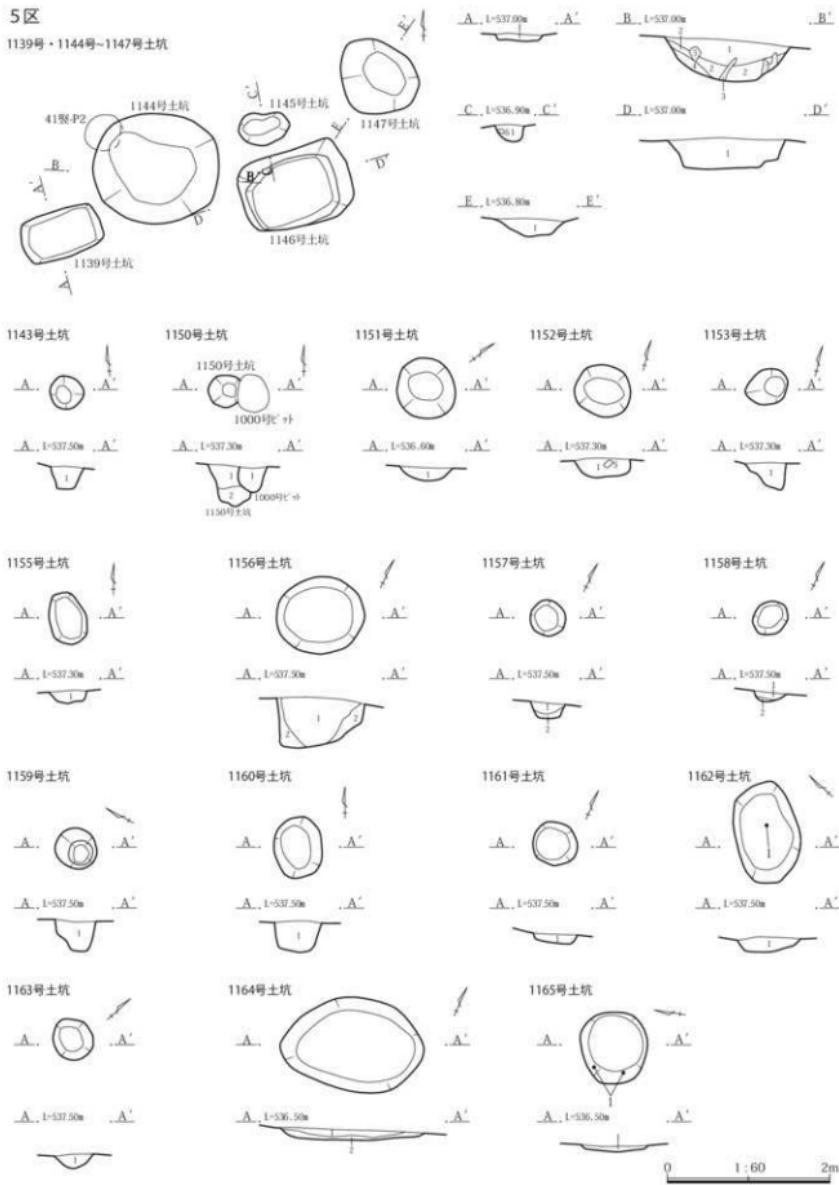
5区



第756図 5区1110・1114・1115・1117~1125・1128・1130~1138・1140・1142号土坑

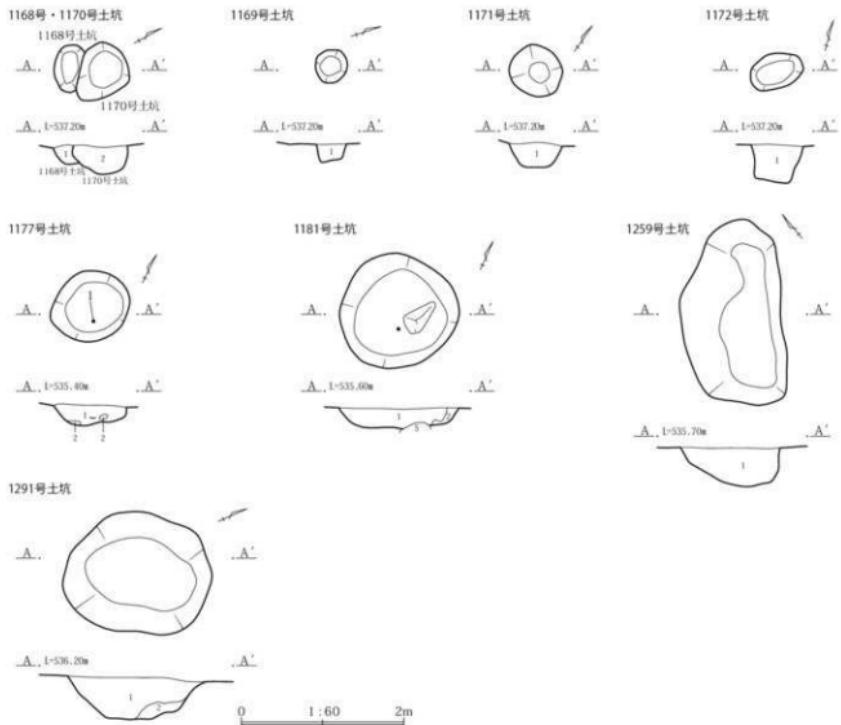
5区

1139号・1144号～1147号土坑



第757図 5区1139・1143～1147・1150～1153・1155～1165号土坑

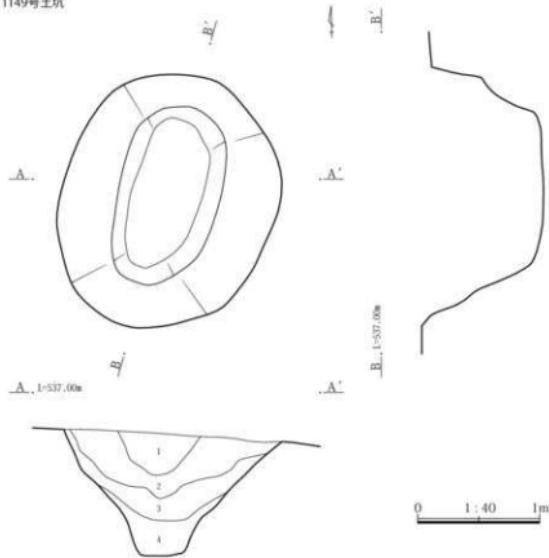
5区



第758図 5区1168~1172・1177・1181・1259・1291号土坑

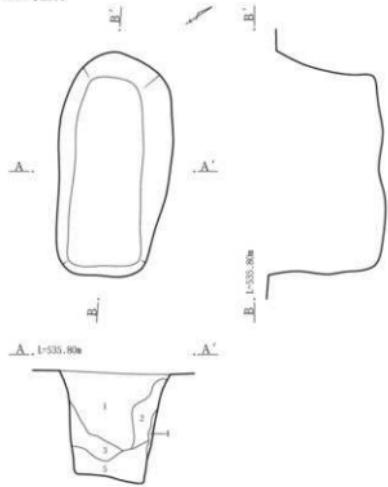
5区

1149号土坑

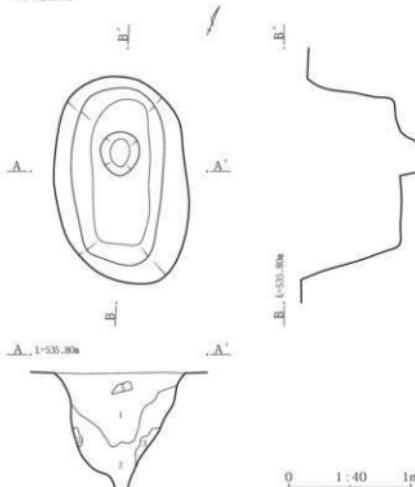


5区

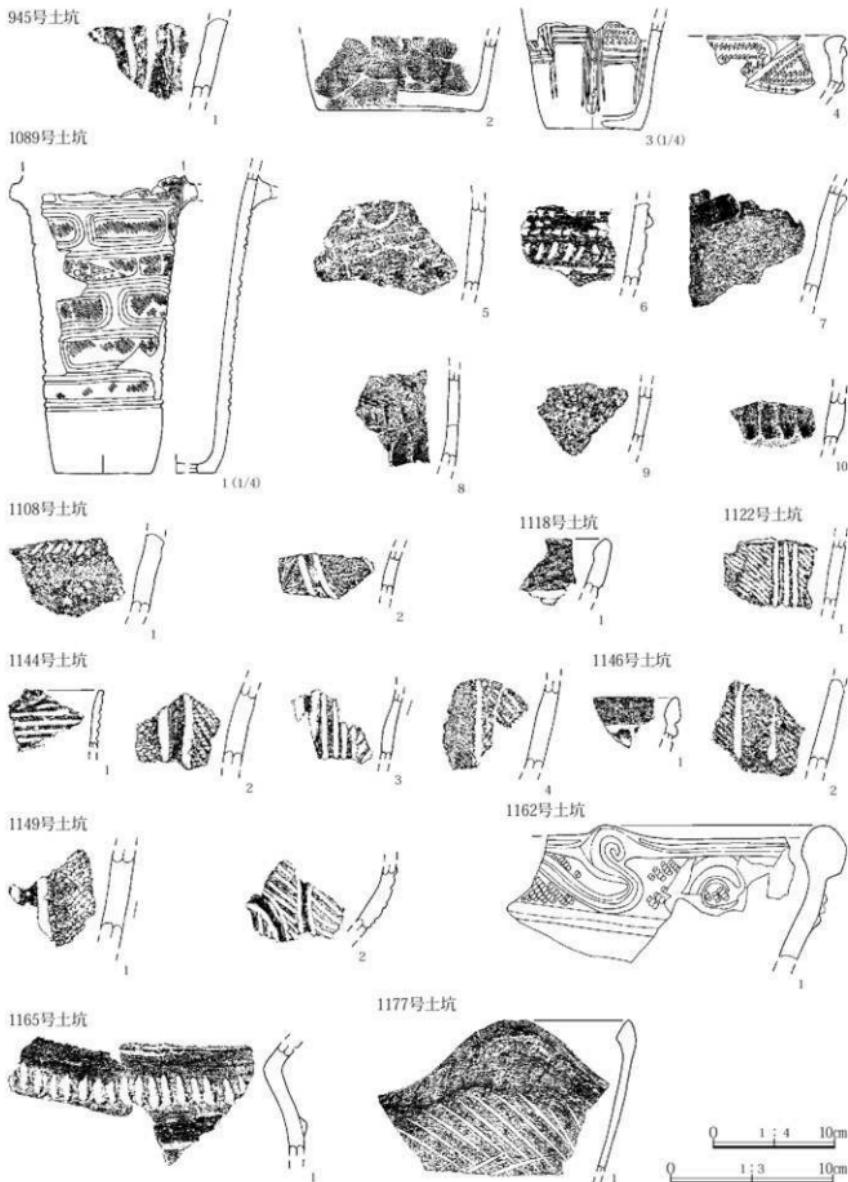
1351号土坑



1354号土坑



第759図 5区1149・1351・1354号土坑



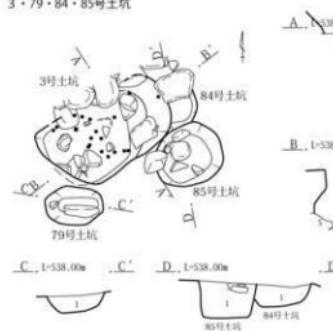
第760図 5区945・1089・1108・1118・1122・1144・1146・1149・1162・1165・1177号土坑出土遺物

6区

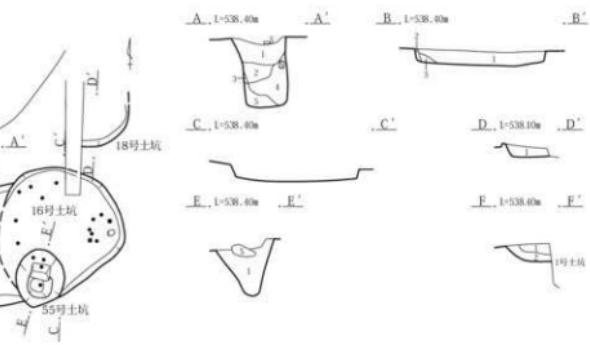
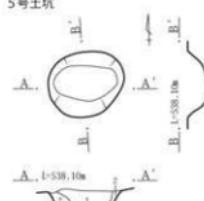
1・11・16・18・55・56号土坑



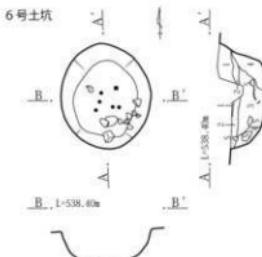
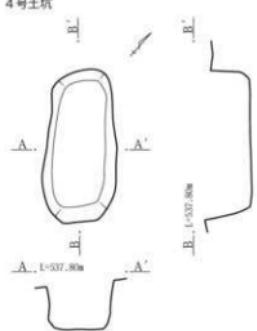
3・79・84・85号土坑



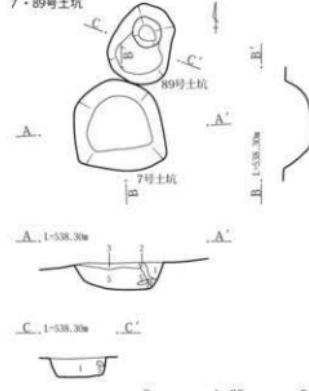
5号土坑



4号土坑



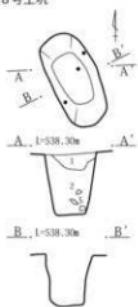
7・89号土坑



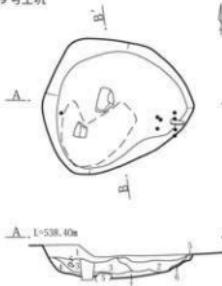
第761図 6区1・3～7・11・16・18・55・56・79・84・85・89号土坑

6区

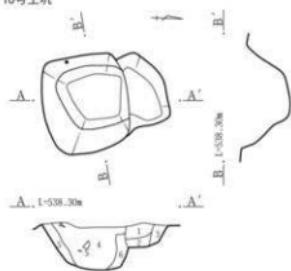
8号土坑



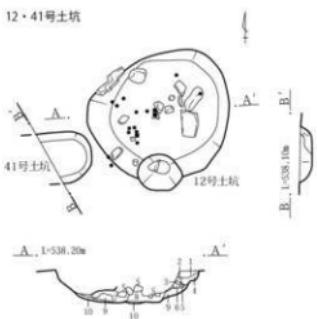
9号土坑



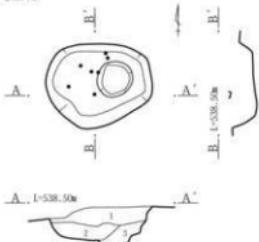
10号土坑



12・41号土坑



14号土坑



15・26号土坑

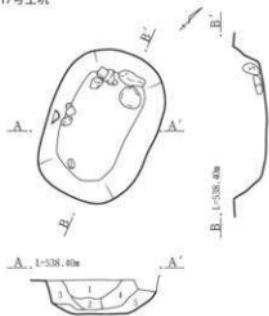


0 1:60 2m

第762図 6区 8~10・12・14・15・26・41号土坑

6区

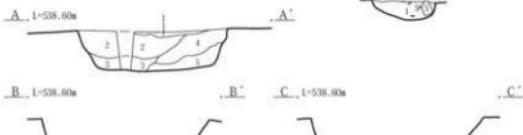
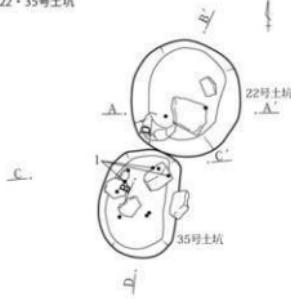
17号土坑



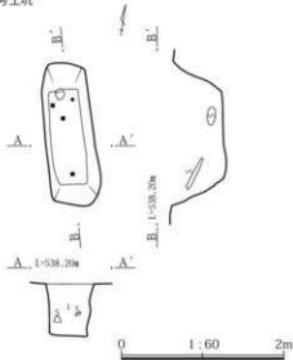
19・20・28・60・61号土坑



22・35号土坑



24号土坑

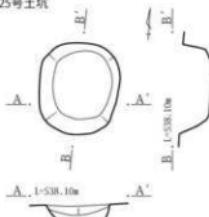


0 1:60 2m

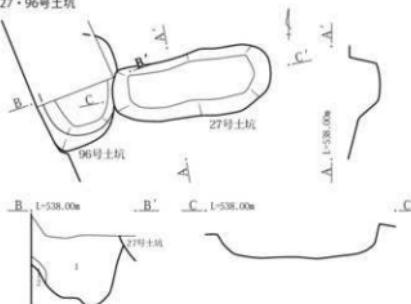
第763図 6区17・19・20・22・24・28・35・60・61号土坑

6区

25号土坑



27・96号土坑



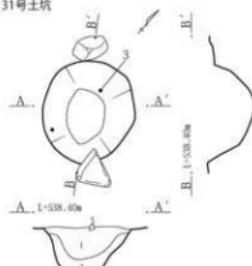
29・88号土坑



30号土坑



31号土坑



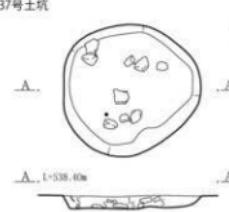
33号土坑



36号土坑



37号土坑



39号土坑

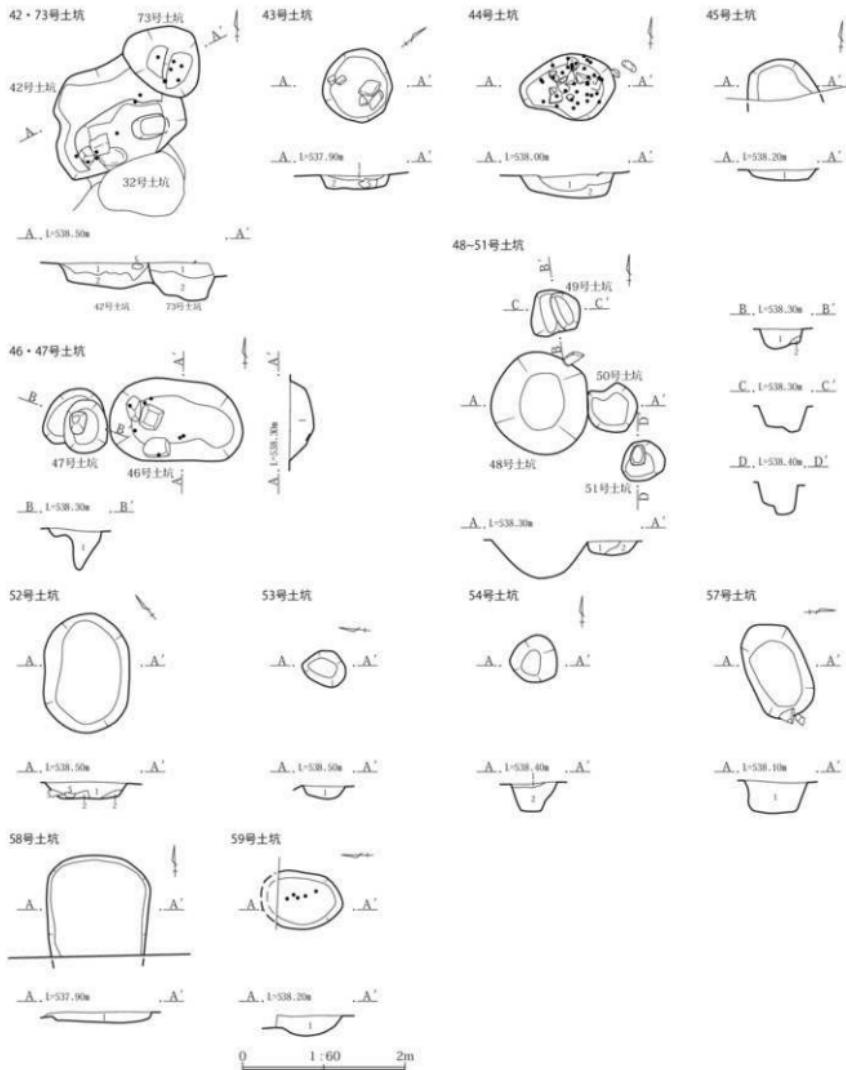


40号土坑



第764図 6区25・27・29~31・33・36・37・39・40・88・96号土坑

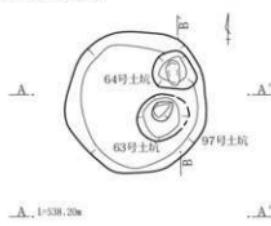
6区



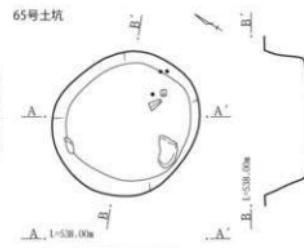
第765図 6区42~54・57~59・73号土坑

6区

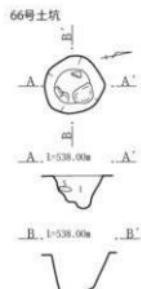
63・64・97号土坑



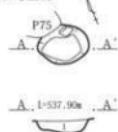
65号土坑



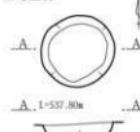
66号土坑



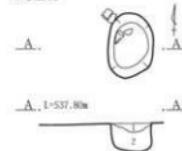
67号土坑



68号土坑



70号土坑



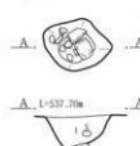
71号土坑



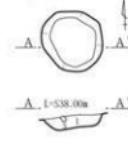
72号土坑



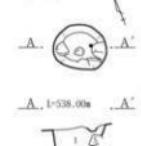
74号土坑



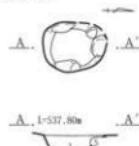
75号土坑



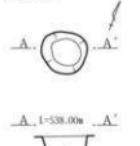
76号土坑



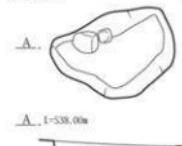
77号土坑



78号土坑



80号土坑



81号土坑

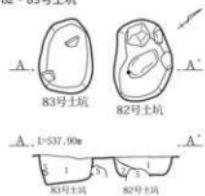


0 1:60 2m

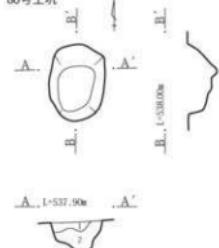
第766図 6区63~68・70~72・74~78・80・81・97号土坑

6区

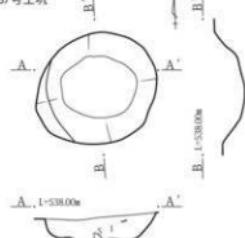
82・83号土坑



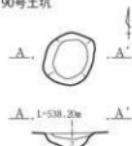
86号土坑



87号土坑



90号土坑



91号土坑



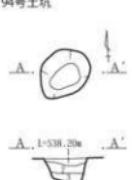
92号土坑



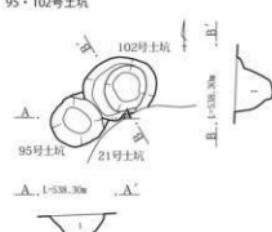
93号土坑



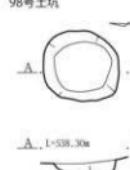
94号土坑



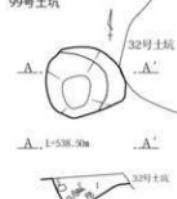
95・102号土坑



98号土坑



99号土坑



100号土坑



101号土坑

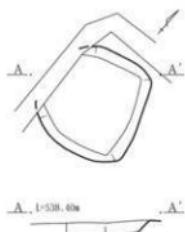


0 1:60 2m

第767図 6区82・83・86・87・90～95・98～102号土坑

6区

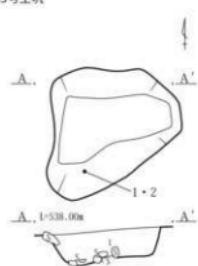
103号土坑



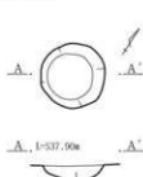
104号土坑



105号土坑



107号土坑



108号土坑



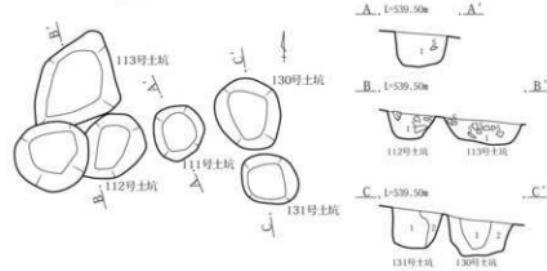
109号土坑



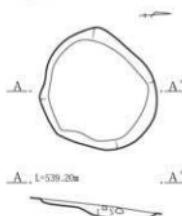
110号土坑



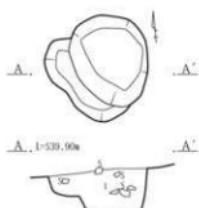
111~113・130・131号土坑



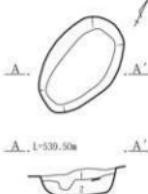
114号土坑



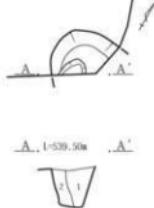
119号土坑



120号土坑



121号土坑



0 1:60 2m

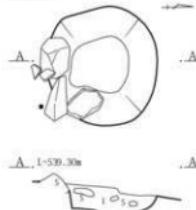
第768図 6区103~105・107~114・119~121・130・131号土坑

6区

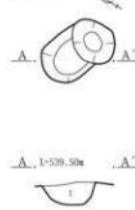
122号土坑



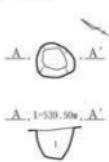
123号土坑



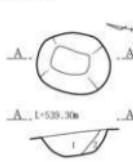
124号土坑



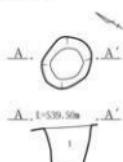
125号土坑



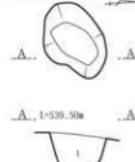
126号土坑



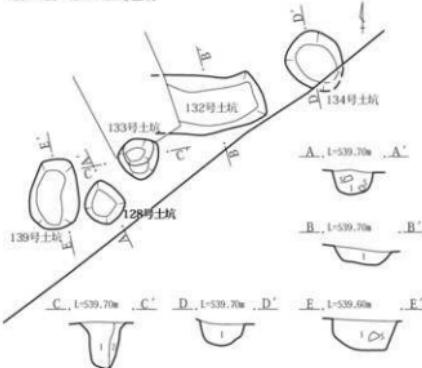
127号土坑



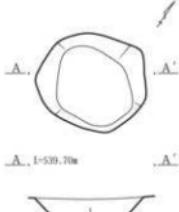
129号土坑



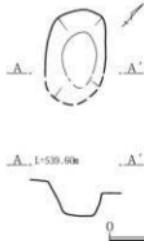
128・132～134・139号土坑



137号土坑

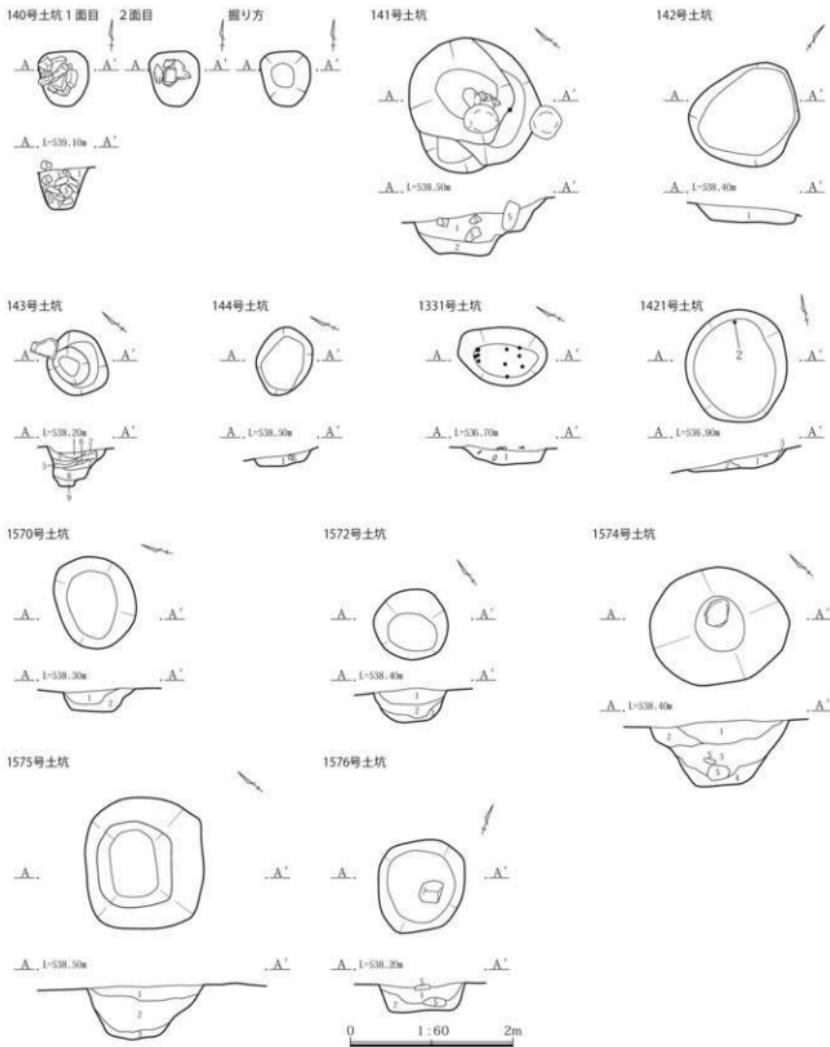


138号土坑



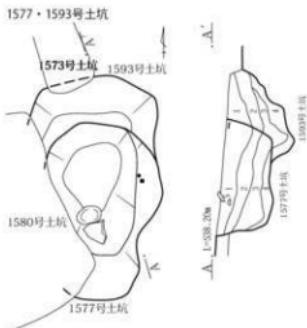
第769図 6区122～129・132～139号土坑

6区



第770図 6区140~144・1331・1421・1570・1572・1574~1576号土坑

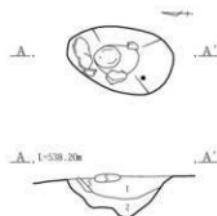
6区



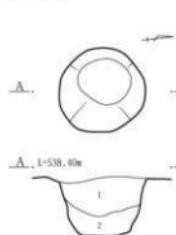
1578号土坑



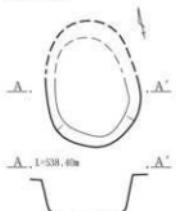
1579号土坑



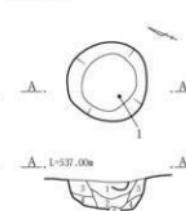
1581号土坑



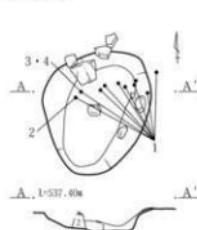
1582号土坑



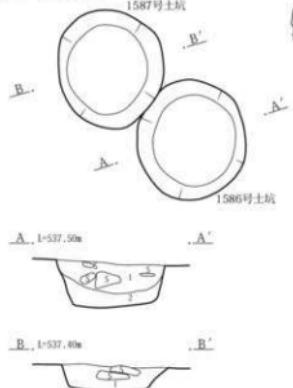
1584号土坑



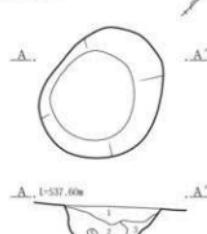
1585号土坑



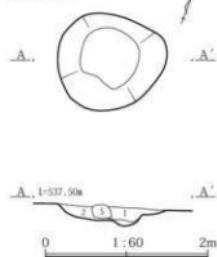
1586・1587号土坑



1588号土坑

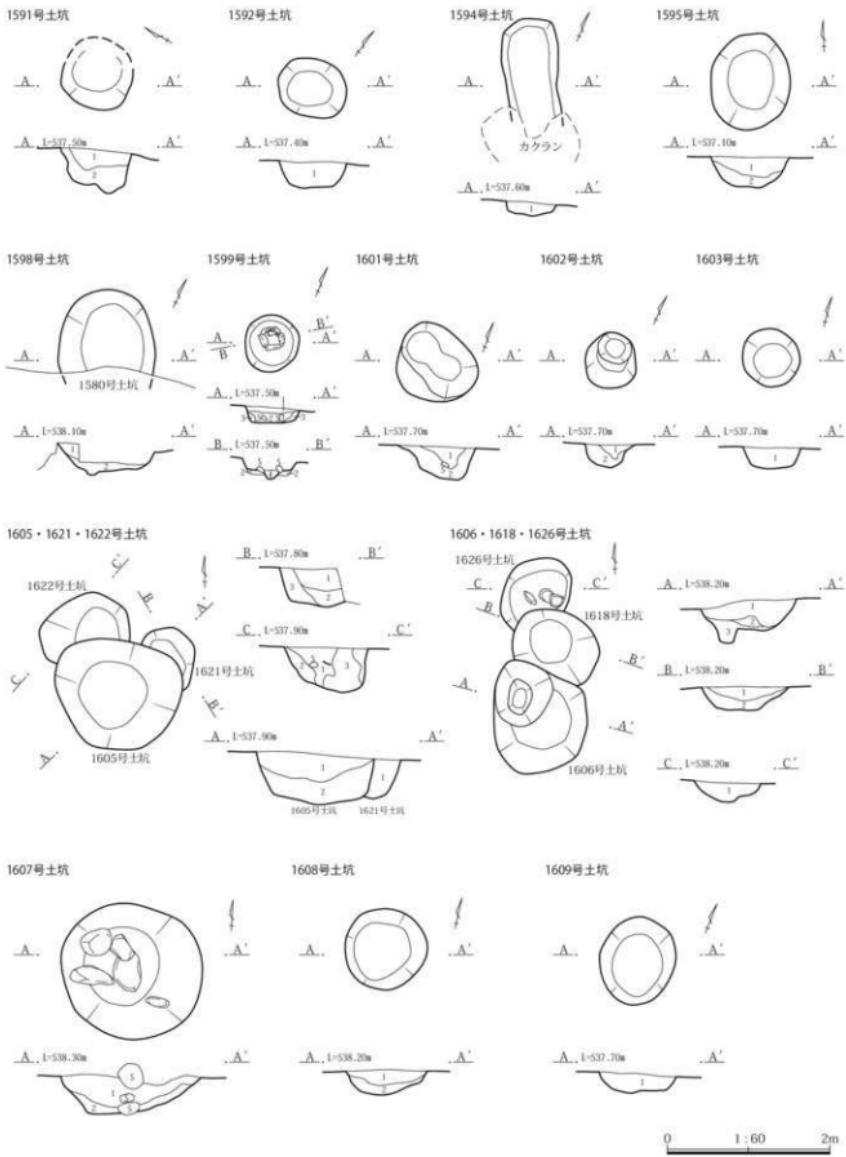


1589号土坑



第771図 6区1577～1579・1581・1582・1584～1589・1593号土坑

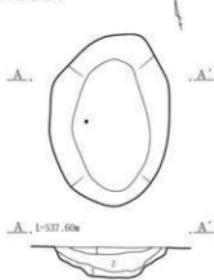
6区



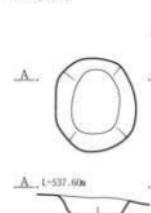
第7722号 6区1591·1592·1594·1595·1598·1601~1603·1605~1609·1618·1621·1622·1626号土坑

6区

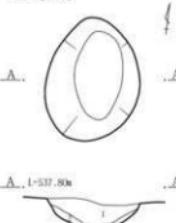
1610号土坑



1611号土坑



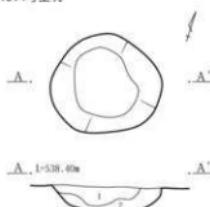
1612号土坑



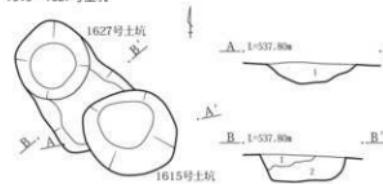
1613号土坑



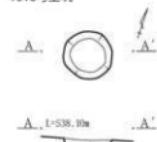
1614号土坑



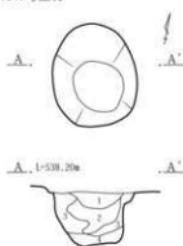
1615・1627号土坑



1616号土坑



1617号土坑



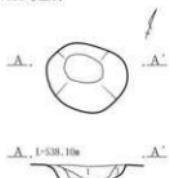
1619号土坑



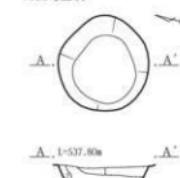
1620号土坑



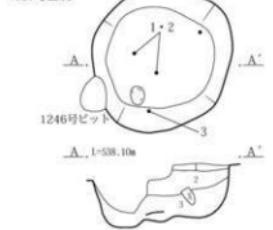
1623号土坑



1628号土坑



1629号土坑

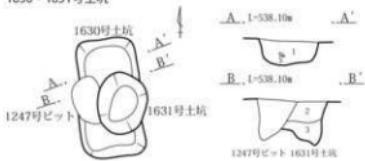


0 1:60 2m

第773図 6区1610～1617・1619・1620・1623・1627～1629号土坑

6区

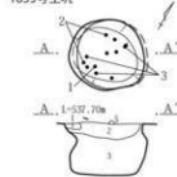
1630・1631号土坑



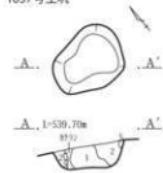
1632号土坑



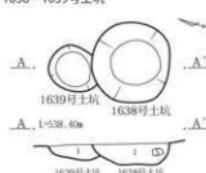
1633号土坑



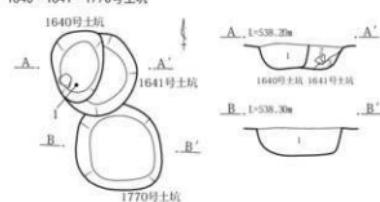
1637号土坑



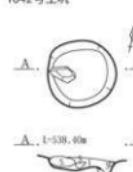
1638・1639号土坑



1640・1641・1770号土坑



1642号土坑



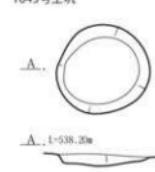
1643号土坑



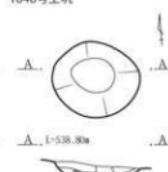
1644号土坑



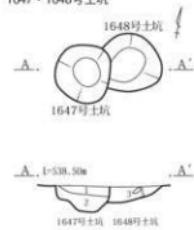
1645号土坑



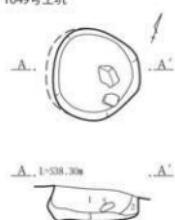
1646号土坑



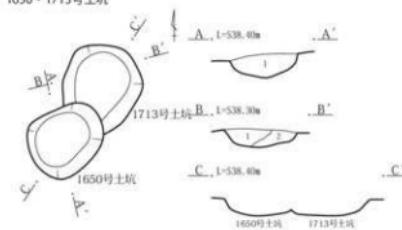
1647・1648号土坑



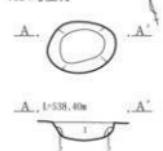
1649号土坑



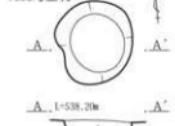
1650・1713号土坑



1651号土坑



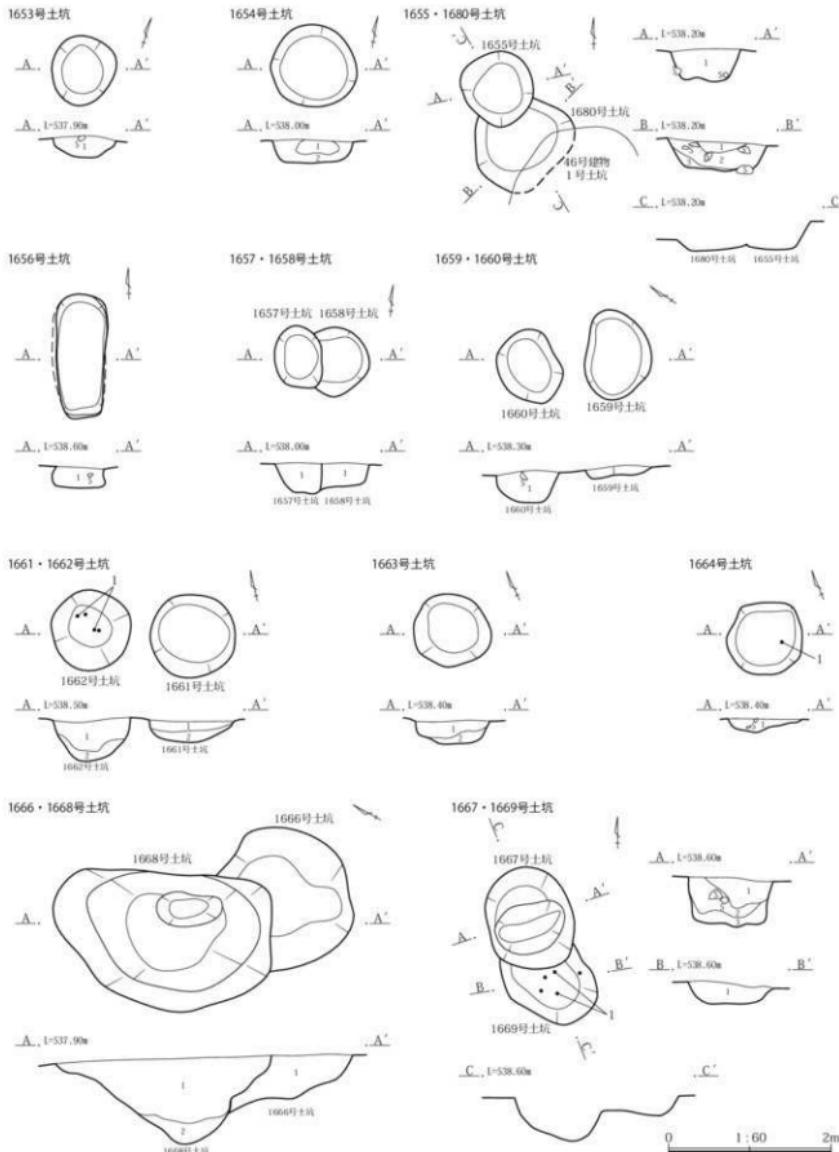
1652号土坑



0 1:60 2m

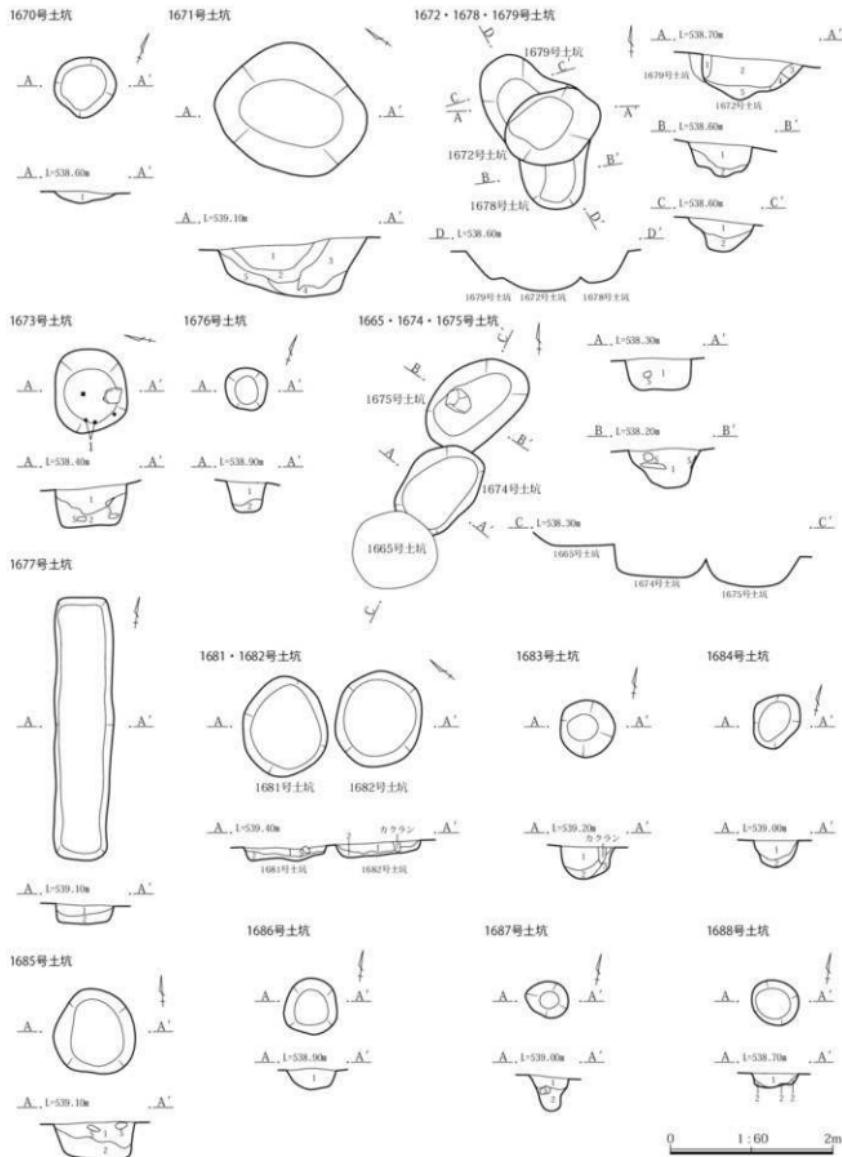
第774図 6区1630～1633・1637～1652・1713・1770号土坑

6区



第775図 6区1653～1664・1666～1669・1680号土坑

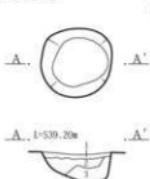
6区



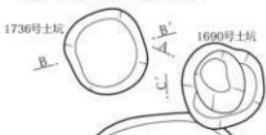
第776図 6区1665・1670～1679・1681～1688号土坑

6区

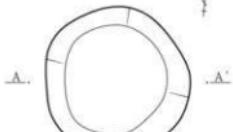
1689号土坑



1690・1736・1754・1755号土坑



1711号土坑



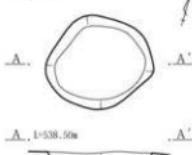
1754号土坑



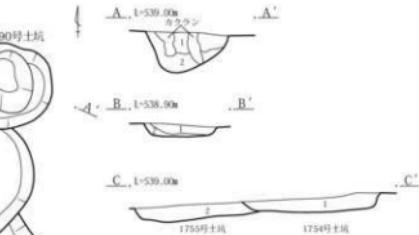
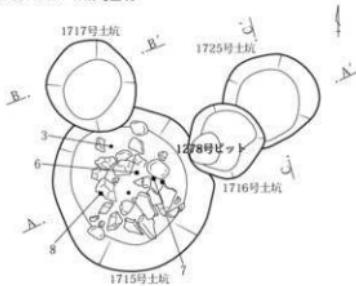
1712・1749・1768・1773号土坑



1714号土坑



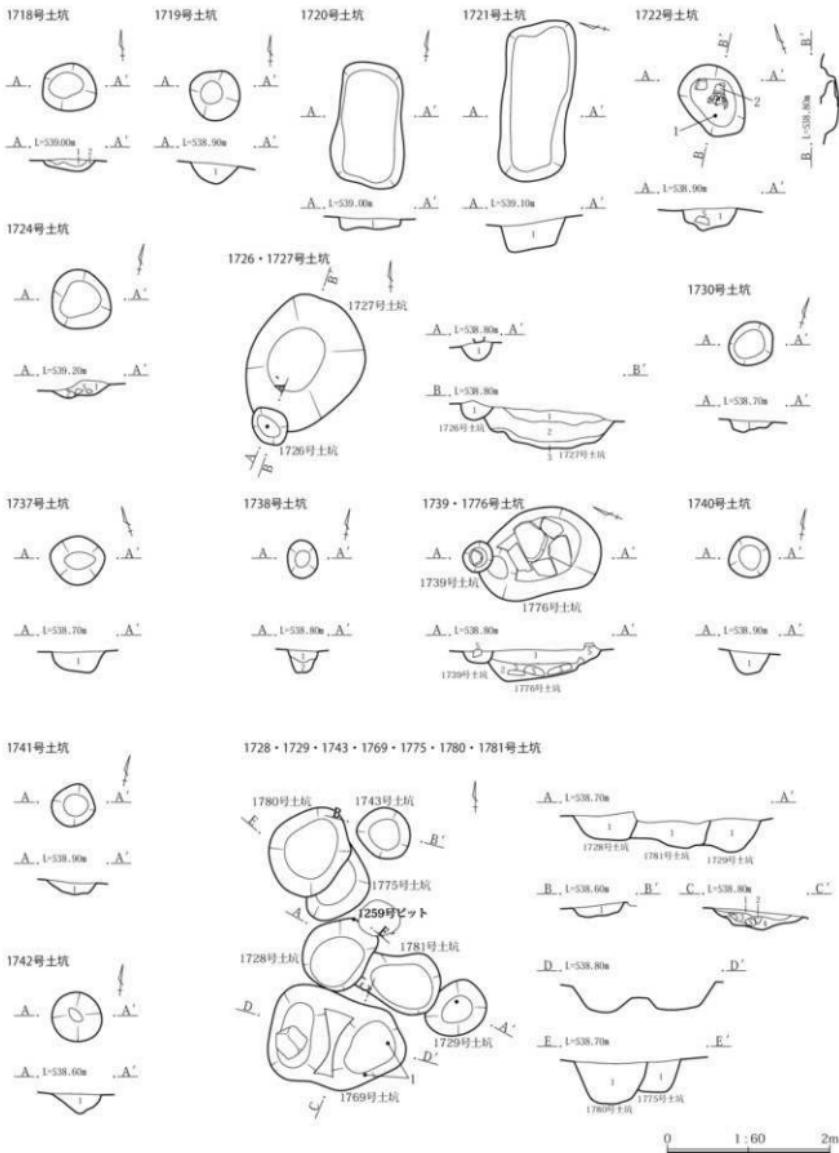
1715~1717・1725号土坑



0 1 : 60 2m

第777図 6区1689・1690・1711・1712・1714~1717・1725・1736・1749・1754・1755・1768・1773号土坑

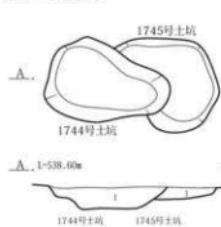
6区



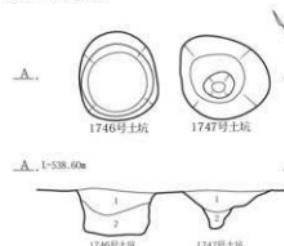
第778図 6区1718～1722・1724・1726～1730・1737～1743・1769・1775・1776・1780・1781号土坑

6区

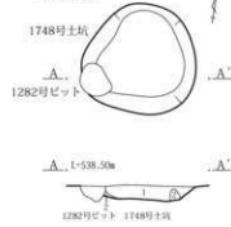
1744・1745号土坑



1746・1747号土坑



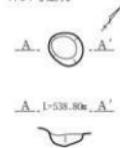
1748号土坑



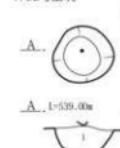
1750号土坑



1751号土坑



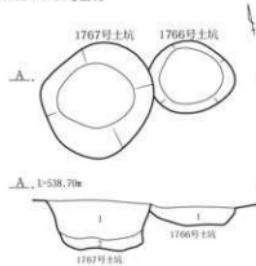
1752号土坑



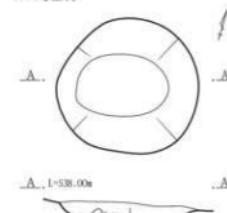
1753号土坑



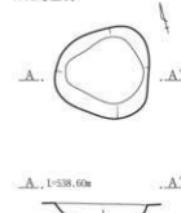
1766・1767号土坑



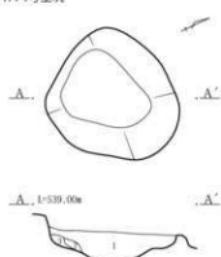
1771号土坑



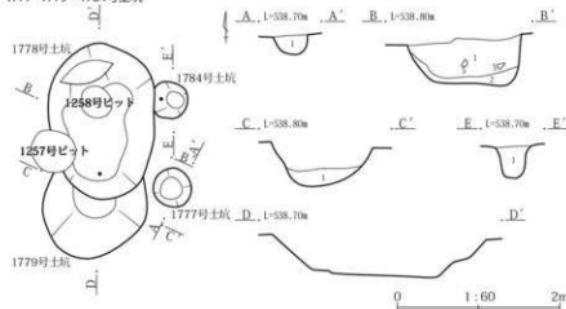
1772号土坑



1774号土坑

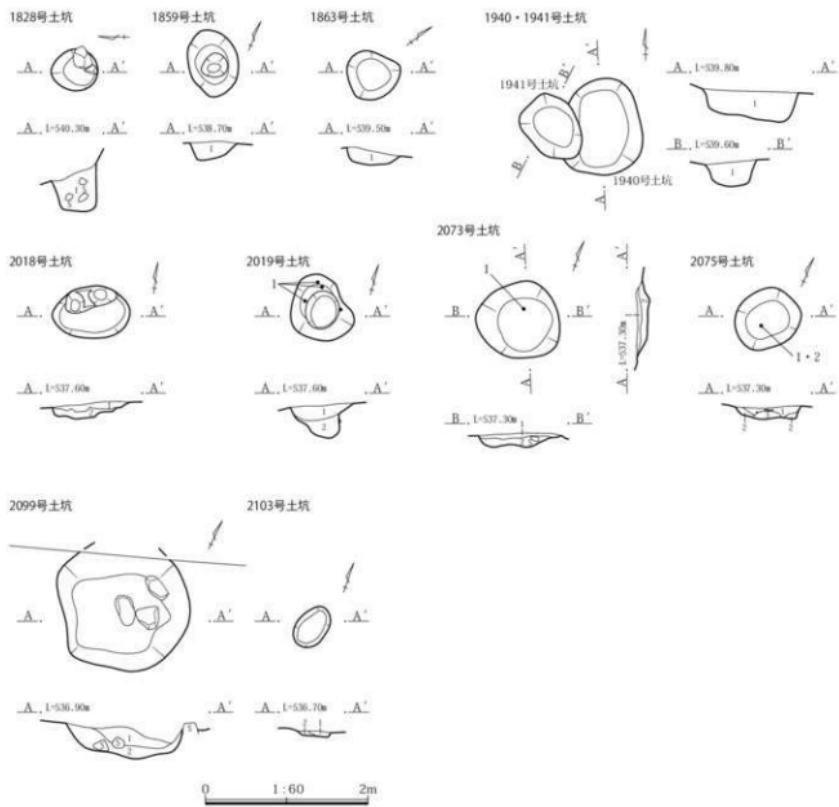


1777-1779・1784号土坑



0 1:60 2m

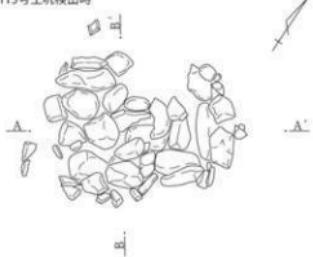
第779図 6区1744～1748・1750～1753・1766・1767・1771・1772・1774・1777～1779・1784号土坑



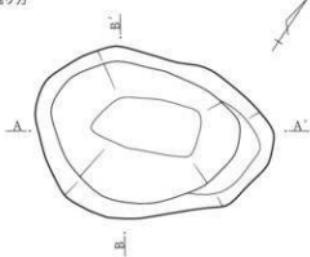
第780図 6区1828・1859・1863・1940・1941・1818・2019・2073・2075・2099・2103号土坑

6区

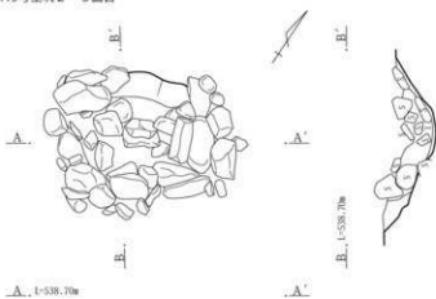
115号土坑検出時



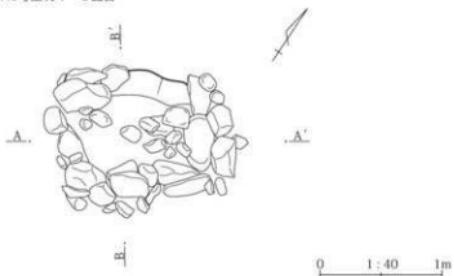
115号土坑掘り方



115号土坑 2・3面目



115号土坑 4・5面目

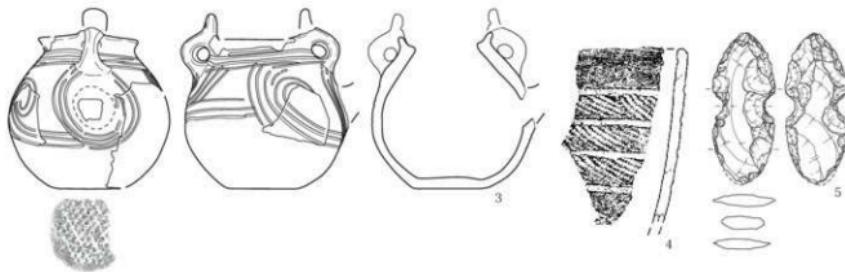
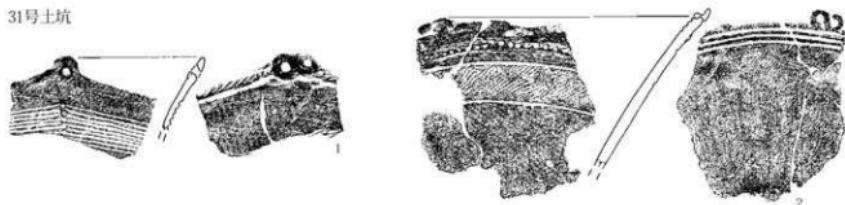


第781図 6区115号土坑

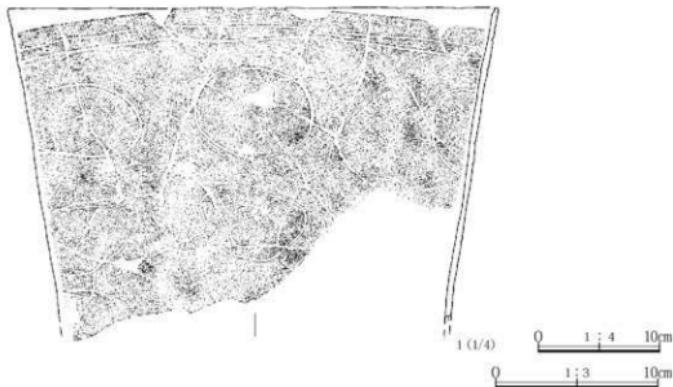
11号土坑



31号土坑

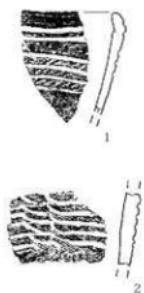


35号土坑

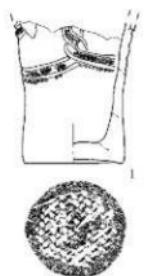


第782図 6区11・31・35号土坑出土遺物

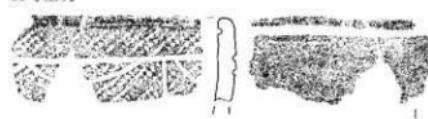
37号土坑



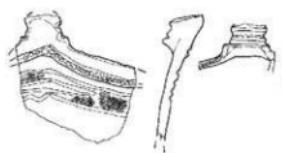
48号土坑



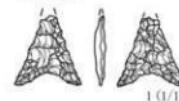
59号土坑



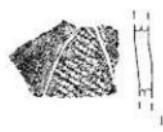
67号土坑



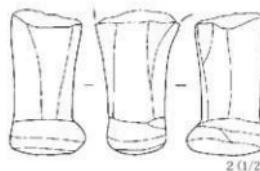
72号土坑



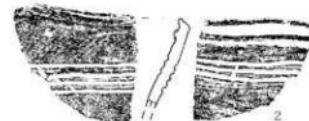
85号土坑



86号土坑



87号土坑

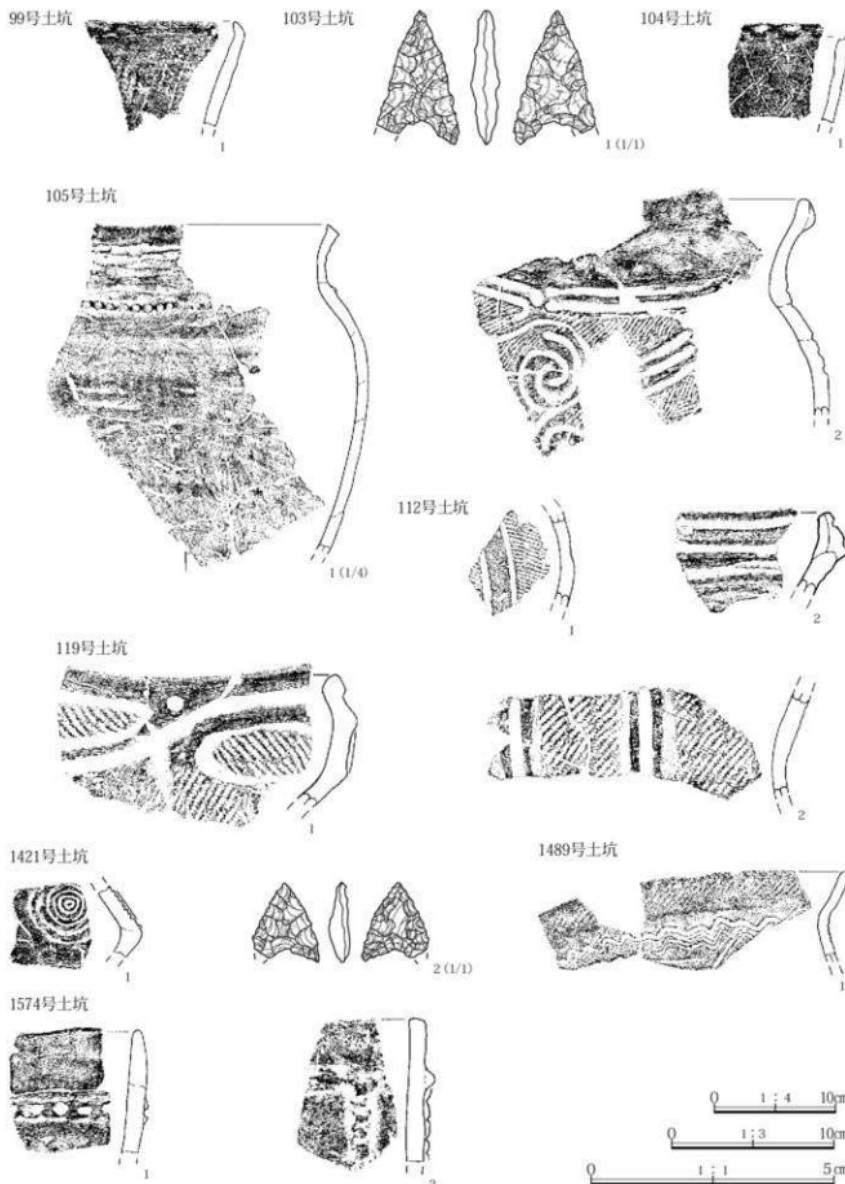


0 1 2 5cm

0 1 3 10cm

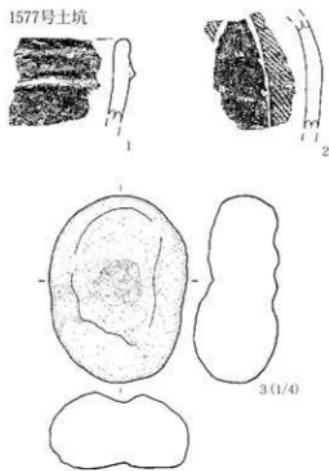
0 1 1 5cm

第783図 6区37・48・59・67・72・85～87号土坑出土遺物

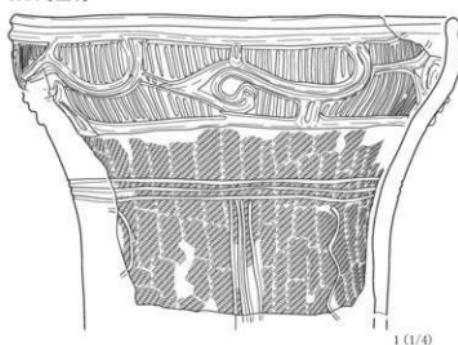


第784図 6区99・103~105・112・119・1421・1489・1574号土坑出土遺物

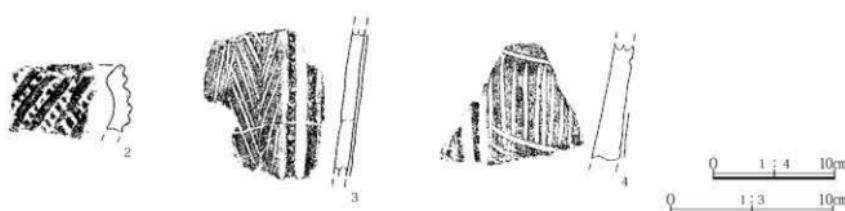
1577号土坑



1584号土坑

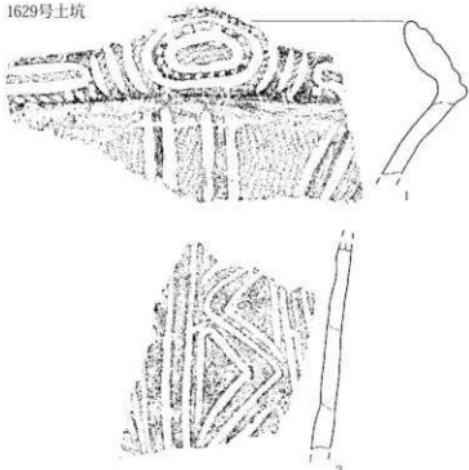


1585号土坑

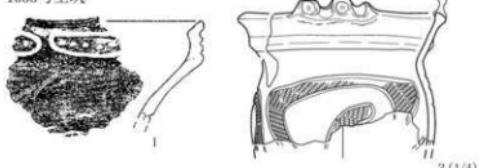


第785図 6区1577・1584・1585号土坑出土遺物

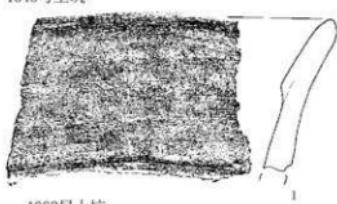
1629号土坑



1633号土坑



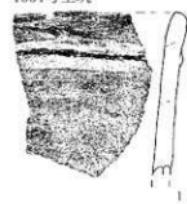
1640号土坑



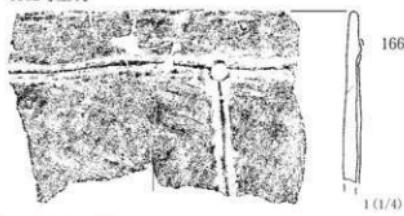
1649号土坑



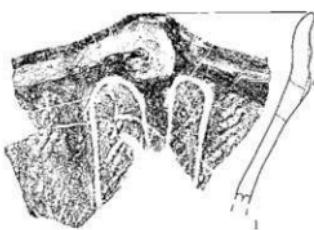
1664号土坑



1662号土坑



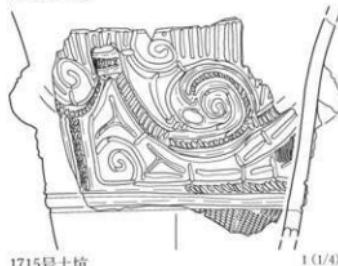
1669号土坑



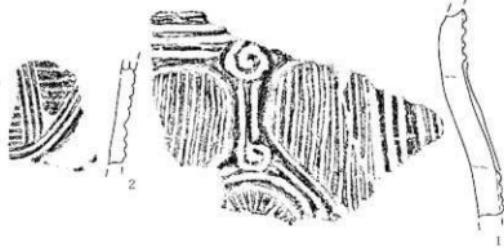
0 1 : 4 10cm
0 1 : 3 10cm

第786図 6区1629・1633・1640・1649・1662・1664・1669号土坑出土遺物

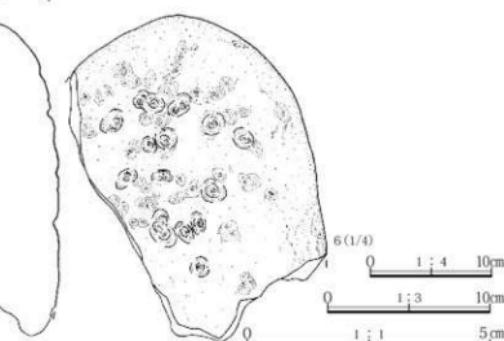
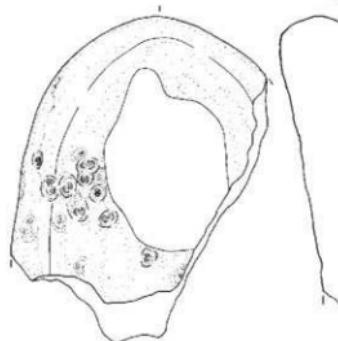
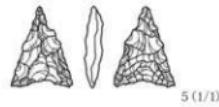
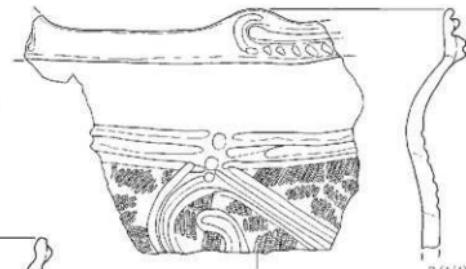
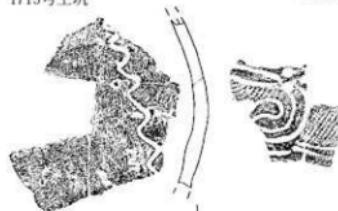
1673号土坑



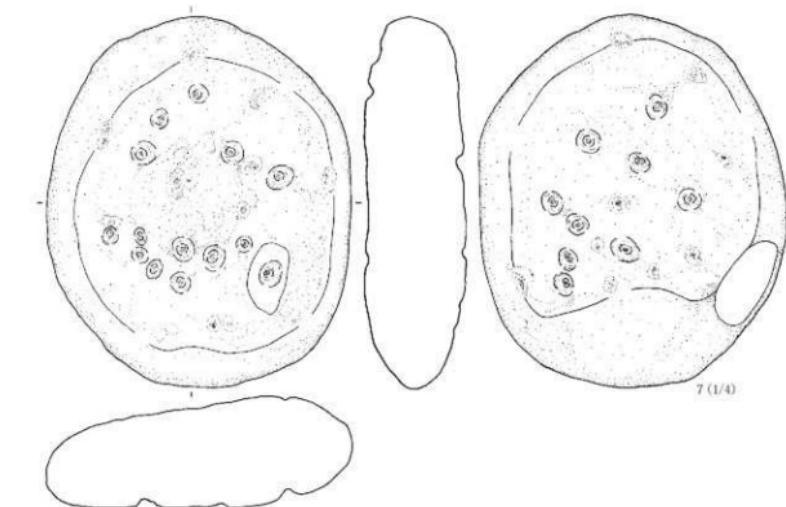
1711号土坑



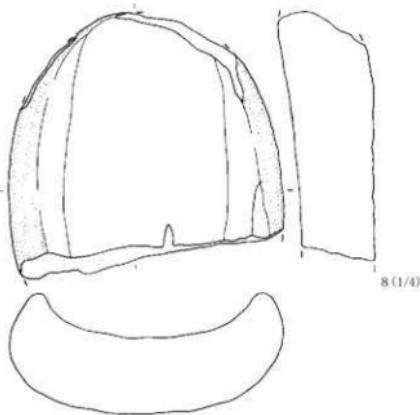
1715号土坑



第787図 6区1673・1711・1715号土坑出土遺物

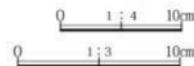


7 (1/4)



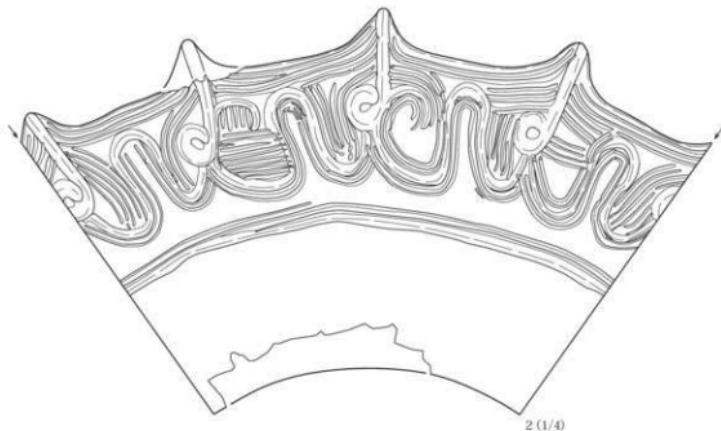
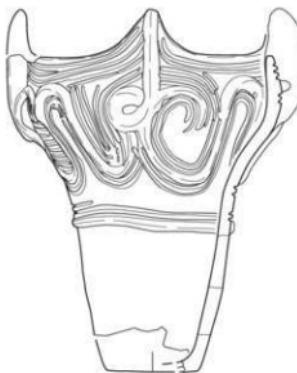
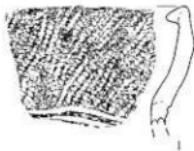
8 (1/4)

1721号土坑



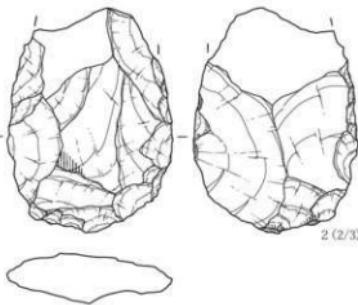
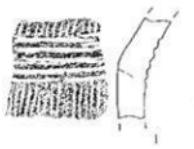
第788図 6区1715・1721号土坑出土遺物

1722号土坑

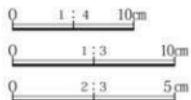


2 (1/4)

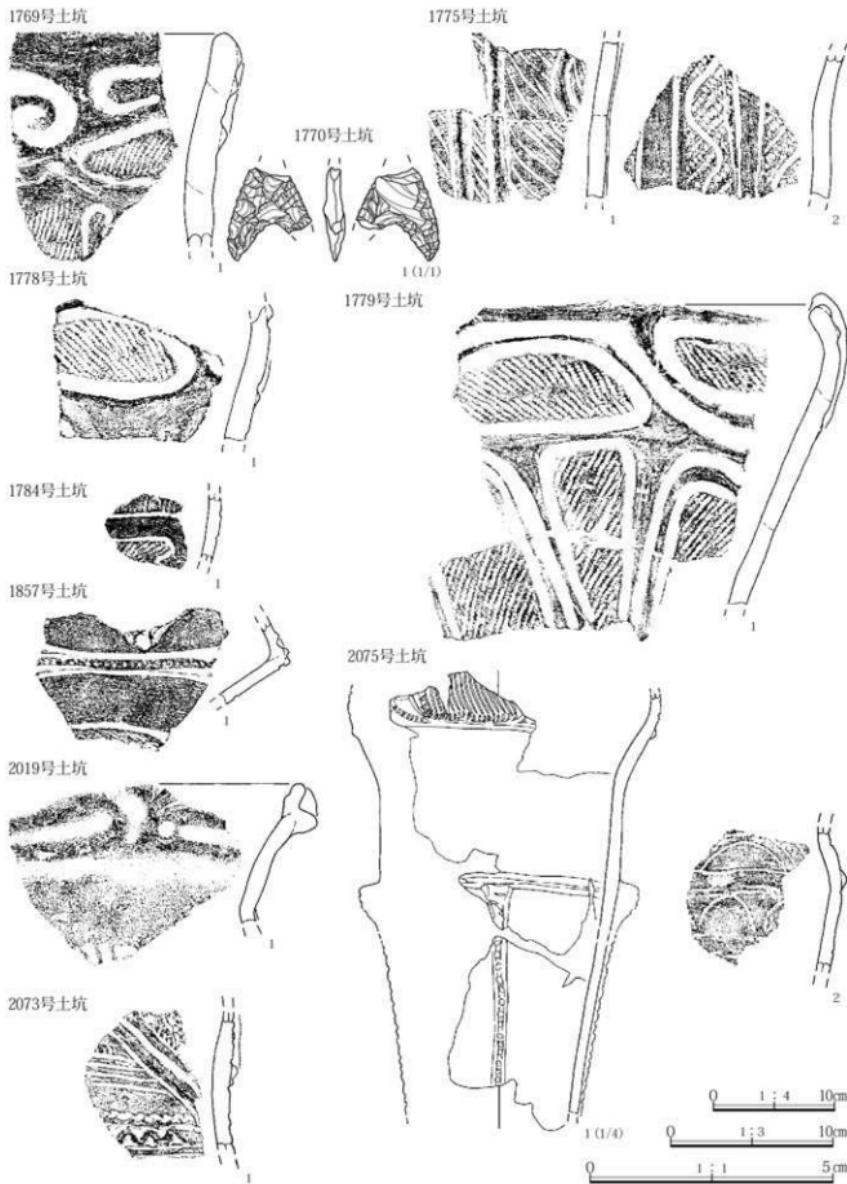
1729号土坑



1768号土坑



第789図 6区1722・1729・1768号土坑出土遺物



第790図 6区1769・1770・1775・1778・1779・1784・1857・2019・2073・2075号土坑出土遺物